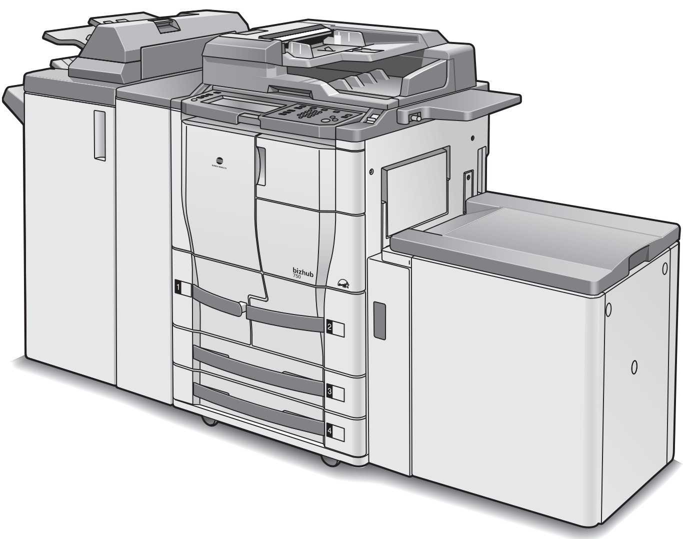
The essentials of imaging

IC-202

ユーザーズガイド



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

bizhub 750/600 は、あらかじめ bizhub 750/600 に内蔵されているプリンタコントローラに、IC-202（コントローラ解除チップ）を取り付けることで、Windows 対応パソコンまたは Macintosh から直接プリントすることができます。

このユーザーズガイドには、プリンタコントローラのプリンタ機能や操作方法、使用上のご注意などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず「ユーザーズガイド　コピー機能編『設置取り扱いの注意』」をお読みください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。

この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- Novell、NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- IBM は、米国 International Business Machines, Inc. の登録商標です。
- Apple、Macintosh、および Mac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴ、PostScript、および PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- PCL は、米国 Hewlett-Packard Company Limited の登録商標です。
- Citrix, MetaFrame, MetaFrameXP は、米 Citrix Systems, Inc. およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本ユーザーズガイドに記載されているその他の会社名、商品名は、該当各社の登録商標または商標です。

Citrix access Partner Network Premier について

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、Citrix access Partner Network メンバーです。

＊ Citrix access Partner Network とは、Citrix 社のソリューションとの組み合わせにより、ソリューションの推進、開発を行い、お客様により優れたソリューションをご提供するプログラムです。

CITRIX access PARTNER
The Global Network of Citrix Partners

PageScope Box Operator：

- This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Compact-VJE
COPYRIGHT 1986-2003 VACS Corp.

- RC4 ® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA ® is a registered trademark or trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.

OpenSSL ステートメント

- OpenSSL ライセンス :
  COPYRIGHT © 1998-2000 The OpenSSL Project. 無断転載禁止。次の条件が満たされた場合に限り、修正の有無に関わりなくソース形式およびバイナリ形式での再配布ならびに使用が認められます。

1. ソースコードの再配布に際しては上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を表示しなければなりません。
2. バイナリ形式による再配布の場合、関連ドキュメンテーションやその他の資料に上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を複製しなければなりません。
3. このソフトウェアの機能あるいは使用に言及した広告素材にはすべて、次の通告文を表示しなければなりません。
   「このソフトウェアは OpenSSL Toolkit で使用することを目的に、OpenSSL Project が開発したものです。(http://www.openssl.org/)」
4. 書面による事前の許可なしに、このソフトウェアで作られたプロダクトの保証あるいは販売促進に「OpenSSL Toolkit」および「OpenSSL Project」の名称を使用することはできません。許可については、openssl-core＠openssl.org までご連絡ください。
5. このソフトウェアで作られたプロダクトの名前については、OpenSSL Project の書面による事前の許可なしに「OpenSSL Toolkit」あるいは「OpenSSL Project」の名称を使用することはできません。
6. 再配布物についてはその形式に関わりなく、次の通告文を表示しなければなりません。

「このプロダクトには OpenSSL Toolkit で使用することを目的に OpenSSL Project が開発したソフトウェアが含まれています。(http://www.openssl.org/)」
このソフトウェアは「現状のまま」OpenSSL Project が提供するものであり、商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含めあらゆる明示的、黙示的保証を排除するものです。OpenSSL Project およびその寄稿者は、このソフトウェアを使用したことによって損害が生じ、事前にそのような損害が発生する可能性について通知を受けていた場合であっても、その原因に関わりなく、また、損害賠償責任に関するいかなる法理によっても、また、契約、厳格責任あるいは（過失などを含む）不法行為によるものであるかどうかに関わりなく、（代替品あるいは代替サービスの購入、使用不能損失／データ損失／利益損失、事業の中断など）直接的、間接的、付随的、特別、懲罰的あるいは派生的損害のいずれに関しても責任を負わないものとします。

このプロダクトには Eric Young (eay＠cryptsoft.com) が作成した暗号ソフトウェアが含まれています。このプロダクトには Tim Hudson (tjh＠cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています。

- SSL eay ライセンス
  COPYRIGHT © 1995-1998 Eric Young (eay＠cryptsoft.com) 無断転載禁止。
  このパッケージは Eric Young (eay＠cryptsoft.com) が作成した SSL インプリメンテーションです。このインプリメンテーションは Netscape の SSL に準じて書かれています。
  このライブラリは次の条件を満たす限りにおいて、商用および商用以外の用途に無償で使用することができます。次の条件は SSL コードのみならず、この配布物で使われているすべてのコード、つまり RC4、RSA、lhash、DES などの各コードに適用されます。この配布物に含まれる SSL ドキュメンテーションについては、保有者が Tim Hudson (tjh＠cryptsoft.com) である点を除き、同じ著作権条項の対象となります。
  著作権は Eric Young に帰属し、コードに含まれる著作権通知を排除することはできません。
  このパッケージをあるプロダクトに使用する場合、使用ライブラリの複数部分の作成者としての権限は Eric Young に与えるものとします。
  プログラムスタートアップ時のテキストメッセージの形式またはパッケージに付随するドキュメンテーション（オンラインまたはテキスト）に含めることができます。

  次の条件が満たされた場合に限り、修正の有無に関わりなくソース形式およびバイナリ形式での再配布ならびに使用が認められます。

1. ソースコードの再配布に際しては上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を表示しなければなりません。
2. バイナリ形式による再配布の場合、関連ドキュメンテーションやその他の資料に上記の著作権通知、条件リスト（本書）および次の免責条項を複製しなければなりません。このソフトウェアの機能あるいは使用に言及した広告素材にはすべて、次の通告文を表示しなければなりません。
3. 「このプロダクトには Eric Young (eay＠cryptsoft.com) が作成した暗号ソフトウェアが含まれています」使用するライブラリからのルーチンに暗号が関係していない場合、「暗号」という単語は省くことができます。
4. apps ディレクトリ（アプリケーションコード）から Windows 固有コード（またはその派生物）を含める場合、次の通告文を表示しなければなりません。「このプロダクトには Tim Hudson (tjh＠cryptsoft.com) が作成したソフトウェアが含まれています」

このソフトウェアは Eric Young が「現状のまま」提供するものであり、商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含めあらゆる明示的、黙示的保証を排除するものです。作成者および寄稿者は、このソフトウェアを使用したことによって損害が生じ、事前にそのような損害が発生する可能性について通知を受けていた場合であっても、その原因に関わりなく、また、損害賠償責任に関するいかなる法理によっても、ま

た、契約、厳格責任あるいは（過失などを含む）不法行為によるものであるかどうかに関わりなく、（代替品あるいは代替サービスの購入、使用不能損失／データ損失／利益損失、事業の中断など）直接的、間接的、付随的、特別、懲罰的あるいは派生的損害のいずれに関しても責任を負わないものとします。

このコードの一般に使用可能なバージョンまたは派生物のライセンスおよび流通条件は変更できません。つまり、このコードを単に複写し、（GNU Public Licence など）他の販売ライセンスの適用対象とすることはできません。

- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

COPYRIGHT

免責

- 本ユーザーズガイドの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本プリンティングシステムおよび本ユーザーズガイドを運用した結果の影響につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本ユーザーズガイドに記載されている情報は、予告なく変更される場合があります。
- プリンタドライバの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社にあります。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンタシステムの一部を構成するソフトウエア、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピュータシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピュータにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピュータにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピュータにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしてのソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者（以下、譲受人）に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人にソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様はソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。

8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行にしたがって使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲渡することはできません。ただし、上述の、すべてのソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。
10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第３者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

目次

3 ネットワーク印刷の設定

4 色々な印刷方法

5 PCL ドライバの設定

6 KONICA MINOLTA PS ドライバの設定

7 PPD ドライバの設定（Windows）

8 PPD ドライバの設定（Mac OS 9）

9 PPD ドライバの設定（Mac OS X）

10 各種設定

本書について

本書は、コニカミノルタプリンタコントローラで実現できるプリント機能のユーザーズガイドです。コピー機能、スキャナ機能、ボックス機能についてはそれぞれのユーザーズガイドをご覧ください。

本書はパソコンの基本操作、および本機の基本操作を理解しているお客様を対象としています。Windows または Macintosh の各オペレーティングシステムの操作方法や、アプリケーションの操作方法は、それぞれの操作説明書をご覧ください。

マニュアルの構成

コントローラに関するマニュアルは機能ごとに以下のように分かれています。

マニュアル	説明
IC-202 ユーザーズガイド	本書です。プリンタとして使用する際にお読みください。
IC-202 クイックガイド	プリンタとして使用する際にお読みください。
ファクシミリ機能編	ファクスとして使用する際にお読みください。
ネットワーク／スキャナ機能編	スキャナとして使用する際にお読みください。
ボックス機能編	本機のボックス機能を使用する際にお読みください。

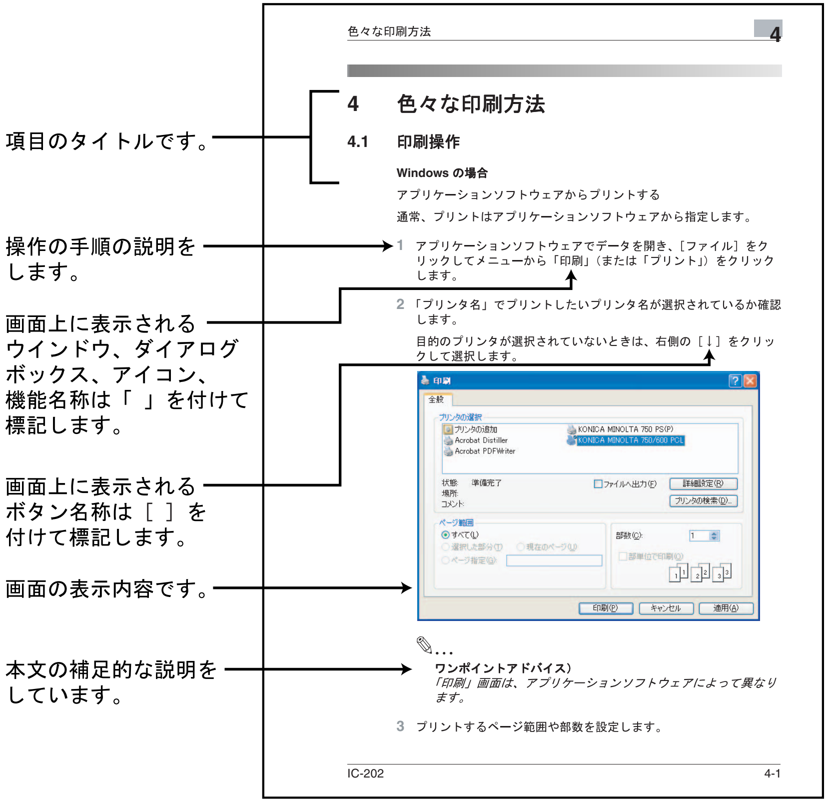
表記について

製品名	本書内での表記
bizhub 750/600 複写機	本機
内蔵ネットワークコントローラ	ネットワークコントローラ
プリンタコントローラ、本機を組み合わせたプリンティングシステム	プリンティングシステム
Microsoft Windows	Windows

本書で使用している画面について

プリンタドライバの機能に関する説明は、とくに断りのない限り、Windows XP 用プリンタドライバを使用して説明しています。

本書の使い方



このページは実際には存在しません。

1 概要

1.1 プリンタコントローラ用の CD 構成

プリンタコントローラ用の CD には、以下のものがあります。

- User Software CD-ROM（Win/Mac）
- PageScope Utilities CD

各 CD には、プリンタドライバ（Windows 用、Macintosh 用）やユーティリティのほかに、ユーザーズガイド、リリースノートなどのドキュメントデータやスクリーンフォントが収録されています。

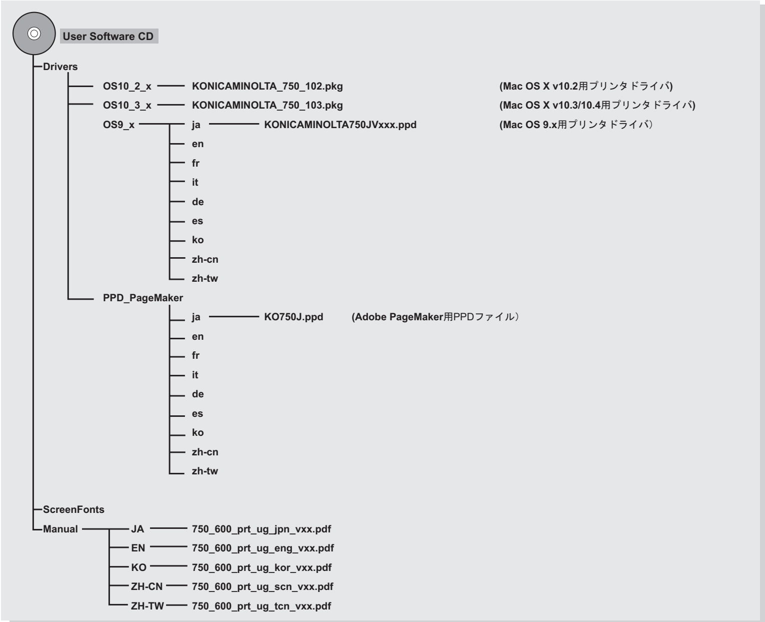
CD 内のプリンタドライバの構成は以下の通りです。フォルダやファイルの検索などの参考にしてください。

- ここでは、フォルダ名やファイル名をルートから記述していない場合があります。
- ファイルは全て JA（Japanese）フォルダ内のものをご使用ください。

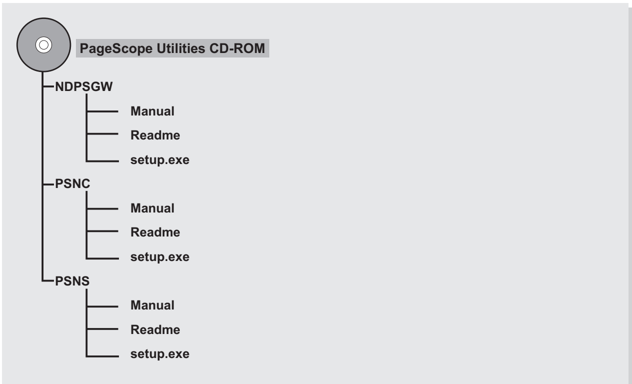
User Software CD-ROM：Windows 用

- User Software CD
  - Drivers
    - KonicaMinoltaPCL
      - bizhub750_600
        - JA
          - Win9X_Me (Windows 98/Me用プリンタドライバ)
          - WinNT (Windows NT4.0用プリンタドライバ)
          - Win2000_XP (Windows 2000/XP/Server 2003用プリンタドライバ)
        - EN
        - FR
        - IT
        - DE
        - ES
        - KO
        - ZH-CN
        - ZH-TW
      - Lang
      - P2P
    - KonicaMinoltaPS
      - ja
        - AddType
          - NT4 (Windows NT4.0用プリンタドライバ)
          - W2K (Windows 2000/XP/Server 2003用プリンタドライバ)
        - Setup
      - en
      - fr
      - it
      - de
      - es
      - ko
      - zh-cn
      - zh-tw
    - PPD
      - ja
        - Win9xMe (Windows 98/Me用プリンタドライバ)
        - WinNT (Windows NT4.0用プリンタドライバ)
        - Win2kXP (Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64用プリンタドライバ)
      - en
      - fr
      - it
      - de
      - es
      - ko
      - zh-cn
      - zh-tw
    - PPD_PageMaker
      - ja KO750J.PPD (Adobe PageMaker用PPDファイル)
      - en
      - fr
      - it
      - de
      - es
      - ko
      - zh-cn
      - zh-tw
  - DirectP
  - J2RE
  - Manual
    - JA 750_600_prt_ug_jpn_vxx.pdf
    - EN 750_600_prt_ug_eng_vxx.pdf
    - KO 750_600_prt_ug_kor_vxx.pdf
    - ZH-CN 750_600_prt_ug_scn_vxx.pdf
    - ZH-TW 750_600_prt_ug_tcn_vxx.pdf
  - PSNCPlugin
  - Readme
    - JA
    - EN
    - KO
    - ZH-CN
    - ZH-TW
  - ScreenFont
  - Setupini

User Software CD-ROM：Macintosh 用



PageScope Utilities CD-ROM



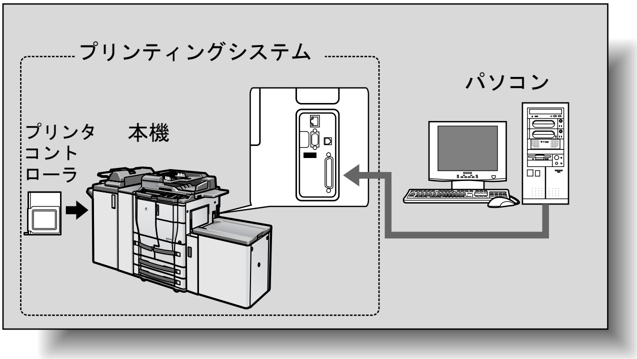
1.2　プリンタコントローラとは

プリンタコントローラは、本機にプリンタ機能、ネットワークプリント機能を実現するための装置です。

プリンタコントローラの役割

プリンタコントローラは、あらかじめ本機に内蔵されており、IC-202を取り付けることでプリントが可能になります。

プリンティングシステムとつながっているパソコン上のアプリケーションからプリントができます。本機をネットワークプリンタとして使用する場合も、パソコン上のアプリケーションからプリントができます。



※　パラレルインターフェースキット（オプション）装着済み

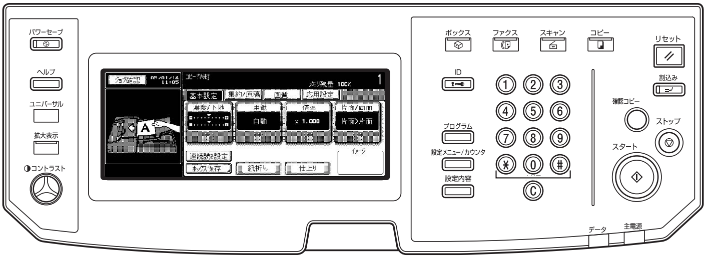
プリンタコントローラでできること

プリンタコントローラは、以下の機能を持っています。

- パソコンからのプリント機能（PCL/PS 各プリンタドライバ使用）
- TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalk、Bonjour/Rendezvous などのネットワークプロトコルをサポート
- SMB 印刷（Windows 印刷）、LPR 印刷、IPP 印刷などを利用した、ネットワーク経由によるプリント機能
- ネットワーク経由での、クライアント PC からの本機／プリンタコントローラの設定（Web ブラウザ使用）
- プリント枚数の管理（ユーザ認証・部門管理機能）

各モード

プリンタドライバの設定は主にパソコンで行いますが、本機の操作パネルでフォントリストのプリントやコントローラの設定、プリント時の初期設定ができます。また、モードを切換えることによってスキャナとして使うこともできます。



コピーモード

本機をコピー機として使用します。

ファクスモード

本機をファクシミリとして使用します。

スキャナモード

本機をスキャナとして使用します。

ボックスモード

本機にジョブを保存したり、ネットワーク上のパソコンへ転送するドキュメントフォルダとして使用します。

ワンポイントアドバイス）
どのモードでも、本機をプリンタとして使用することができます。

プリント時の初期設定を変更する場合は、設定メニューで行います。

プリントの流れ

プリンタとして本プリンティングシステムを使用するときの大まかな処理の流れは以下の通りです。

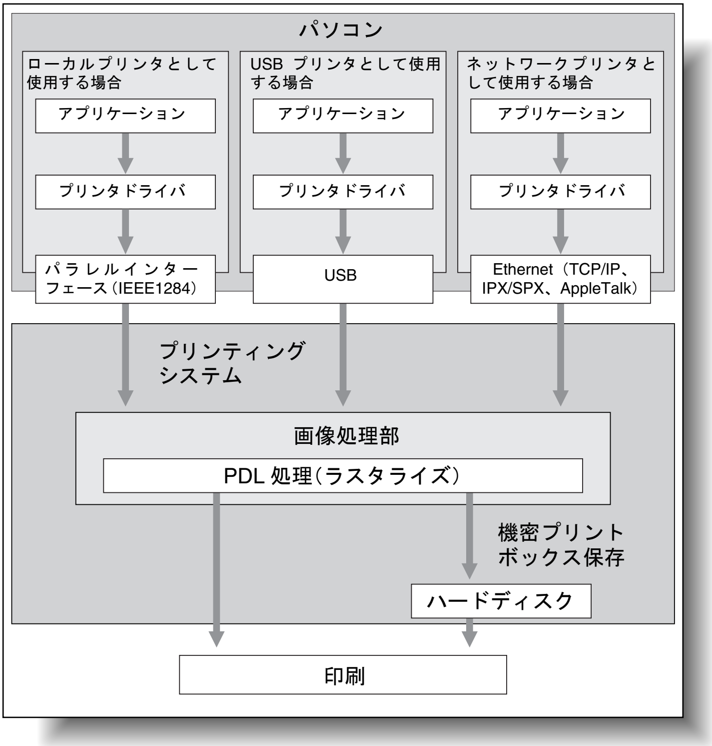
アプリケーションから送られたプリントコマンドは、プリンタドライバが受け取ります。

ローカルプリンタとして使用する場合はパラレルインターフェース(IEEE1284)、USB プリンタとして使用する場合は USB インターフェース、ネットワークプリンタとして使用する場合は Ethernet(TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk、Bonjour/Rendezvous)を通じてデータが本機に渡されます。本機では画像のラスタライズ(出力する文字や画像をビットマップデータに展開する)処理が行われます。このデータが本機からプリントされます。

✎...

重要)
Ethernet、USB とパラレルインターフェースは同時に使用することができます。

パラレルおよびUSB インターフェースを使用するためには、オプションのローカル接続キット(EK-701)が必要です。



プリンタとして機能している途中で、コピー機能を使うこともできます。コピー機として使用するときは、操作パネルの【コピー】を押すと、コピーができるようになります。

コピー中にプリントジョブを受信したときは、データが本機のメモリに蓄積されます。コピーが終了すると自動的に出力を再開します。

1.3 動作環境

本プリンティングシステムを使うために必要なシステムと、接続に使用するインターフェースについて説明します。

プリンタドライバと対応 OS

本プリンティングシステムは、標準で KONICA MINOLTA 製 PCL プリンタドライバ、PostScript3（KONICA MINOLTA 製 PS、PostScript PPD）プリンタドライバが搭載されています。

本プリンティングシステムを使用するには、お使いのコンピュータにプリンタドライバをインストールする必要があります。

KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ

対応 Windows

- Windows 98 Second Edition (以降 Windows 98SE)
- Windows Millennium Edition (以降 Windows Me)
- Windows NT 4.0 Service Pack6a 以上 (以降 Windows NT 4.0)
- Windows 2000 Service Pack4 以上 (以降 Windows 2000)
- Windows XP Home Edition/Professional Service Pack1 以上 (以降 Windows XP)
- Windows Server 2003（Service Pack 1 含む）

KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ（PostScript3）

対応 Windows

- Windows NT 4.0 Service Pack6a 以上
- Windows 2000 Service Pack4 以上
- Windows XP Home Edition/Professional Service Pack1 以上
- Windows Server 2003（Service Pack 1 含む）
- Windows XP Professional x64 Edition（以降 Windows XP x64）
- Windows Server 2003 x64 Editions（以降 Windows Server 2003 x64）

※ Windows XP x64/Server 2003 x64 用 KONICA MINOLTA 製 PS ドライバの入手方法については、サービス管理店へお問い合わせください。

PostScript PPD ドライバ（PostScript3）

対応 Windows

- Windows 98 Second Edition
- Windows Millennium Edition
- Windows NT 4.0 Service Pack6a 以上
- Windows 2000 Service Pack4 以上
- Windows XP Home Edition/Professional Service Pack1 以上
- Windows Server 2003（Service Pack 1 含む）
- Windows XP Professional x64 Edition
- Windows Server 2003 x64 Editions

対応 Macintosh

- Mac OS 9.2x (以降 Mac OS 9)
- Mac OS X v10.2x/v10.3x/v10.4x (以降 Mac OS X)
（v10.4 は Intel Mac 含む）

PageScope Web Connection

対応 Web ブラウザ

Windows

- Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（JavaScript 有効・Cookie 有効）
- Internet Explorer Ver.5.5 の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須
- Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）
- Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

Macintosh

- Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）
- Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

✎...

ご注意）
Windows NT 4.0、Mac OS 8/9 は、Flash Player 8 以降をサポートしていません。
これらの OS をお使いの場合は、Adobe サイトより Flash Player 7 をダウンロードしてご使用いただくか、または PageScope Web Connection の表示形式で HTML を選択してください。

接続に使用するインターフェース

本プリンティングシステムとパソコンを接続するには、以下の種類のインターフェースが使用できます。

パラレルおよび USB インターフェースを使用するためにはオプションのローカル接続キット（EK-701）が必要です。

Ethernet

本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用するときに接続します。

接続には、Ethernet ケーブル（RJ45）が必要になります。

100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、RAW、IPP、SMB）、IPX/SPX（NetWare）、NetBEUI、AppleTalk（EtherTalk）、Bonjour/Rendezvous などに対応しています。

パラレルインターフェース（オプション：EK-701）

本プリンティングシステムをローカルプリンタとして使用するときに接続します。

接続には Windows のパソコンと IEEE1284 パラレルケーブルが必要です。パラレルケーブルは、一端がアンフェノール 36pin オスコネクタのものを使用してください。

パラレルインターフェースはコンパチブル、ニブル、ECP の各モードに対応しています。

USB インターフェース（オプション：EK-701）

本プリンティングシステムを USB プリンタとして使用するときに接続します。

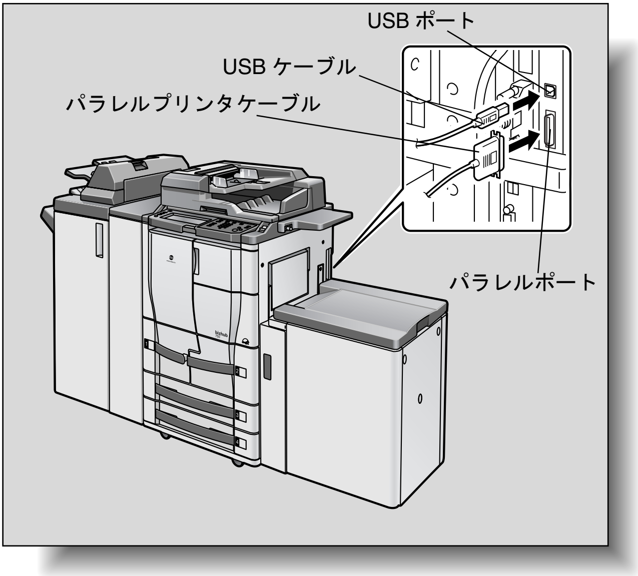
Windows パソコン、Macintosh で接続できます。接続には USB ケーブルが必要です。USB ケーブルは A タイプ（4 ピンオス）- B タイプ（4 ピンオス）のものを使用してください。USB ケーブルは 3 m 以下をおすすめいたします。

Ethernet、USB、パラレルインターフェースは同時に使用可能です。

接続図

プリンタケーブルは、本機側面の各ポートに接続します。

本機側面



1.4 セットアップの流れ

本プリンティングシステムをご使用いただくためには、セットアップを行う必要があります。

セットアップとは、本機とパソコンを接続し、プリンタドライバをパソコンへインストールする一連の準備をいいます。

セットアップする場合は、以下の流れとなります。

1 本機とパソコンを接続する。（「接続に使用するインターフェース」（p. 1-10）参照）

2 プリンタドライバをインストールする。（「プリンタドライバのインストール」（p. 2-1）、（p. 2-33）参照）

3 ネットワーク接続の場合は、ネットワークを設定する。（「ネットワーク印刷の設定」（p. 3-1）参照）

4 テストプリントをして確認をする。（「テスト印刷」（p. 4-2）参照）

プリンタドライバのインストールは、本機との接続方法やご使用になるパソコンの OS、プリンタドライバの種類によって、手順が異なります。

✎...

ワンポイントアドバイス）
本機とパソコンを接続する場合は「接続に使用するインターフェース」（p. 1-10）をご覧ください。

既存のプリンタドライバをアップデートする場合は、先に既存のプリンタドライバを削除してください。詳しくは、「プリンタドライバをアンインストールする場合」（p. 2-28）、（p. 2-40）をご覧ください。

5 スクリーンフォントをインストールする。

- User Software CD-ROM には、欧文の TrueType フォントが「スクリーンフォント」として添付されています。
- インストールについては、「スクリーンフォントについて」（p. 12-7）をご覧ください。

2 プリンタドライバのインストール

2.1 プリンタドライバの種類と対応 OS

本プリンティングシステムを使用するためには、プリンタドライバのインストールが必要です。プリンタドライバとは、出力するデータの処理などを制御するプログラムで、使用する前に付属の CD からパソコンにインストールします。

付属の CD に含まれるプリンタドライバと、対応しているパソコンの OS は以下の通りです。必要なプリンタドライバをインストールしてください。

ページ記述言語	プリンタドライバ	対応 OS
PCL	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	Windows 98SE 、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003
PostScript3	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 Windows XP x64、Windows Server 2003 x64
	PostScript PPD ドライバ	Windows 98SE、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows XP x64、Windows Server 2003 x64
		Mac OS 9 Mac OS X

※ Windows XP x64/Server 2003 x64 用 KONICA MINOLTA 製 PS ドライバの入手方法については、サービス管理店へお問い合わせください。

2.2 Windows で使用する場合

Windows プリンタドライバのインストール方法は、接続方法や使用するプリンタドライバによって異なります。以下の参照ページをご覧ください。

プリンタドライバ	参照ページ
KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「インストーラによる自動インストール」（p. 2-3）
	「プリンタの追加ウィザードを使ったインストール」（p. 2-11） 「Windows 98SE/Me/NT4.0/2000 の場合」（p. 2-14） 「Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64」（p. 2-11）
	「USB ケーブルを使ったインストール」（p. 2-17） 「Windows 98SE/Me の場合」（p. 2-17） 「Windows 2000 の場合」（p. 2-23） 「Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合」（p. 2-26）
PostScript PPD ドライバ	「プリンタの追加ウィザードを使ったインストール」（p. 2-11） 「Windows 98SE/Me/NT4.0/2000 の場合」（p. 2-14） 「Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64」（p. 2-11）
	「USB ケーブルを使ったインストール」（p. 2-17） 「Windows 98SE/Me の場合」（p. 2-17） 「Windows 2000 の場合」（p. 2-23） 「Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合」（p. 2-26）

※ KONICA MINOLTA 製 PS は WindowsNT4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 のみ使用が可能です。

※ Windows XP x64/Server 2003 x64 用 KONICA MINOLTA 製 PS ドライバの入手方法については、サービス管理店へお問い合わせください。

✎...

ワンポイントアドバイス）

ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」（p. 3-1）で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、Administrator 権限のあるユーザー名でログオンしてプリンタドライバをインストールしてください。

✎...

ご注意）
パラレル接続およびUSB 接続を行うには、オプションのローカル接続キットが必要です。

インストーラによる自動インストール

インストーラを使って自動的にプリンタドライバをインストールする方法について説明します。

プリンタドライバ	参照ページ
KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「インストーラによる自動インストール（PCL）」（p. 2-4）
KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「インストーラによる自動インストール（PS）」（p. 2-8）

✎...

ワンポイントアドバイス）
ネットワーク接続の場合本機を自動的に検出するため、あらかじめ本機に IP アドレスを設定しておきます。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をご覧ください。

Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 にインストールするときは、管理者権限が必要です。

USB またはパラレル接続で、新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示された場合は、［キャンセル］をクリックしてください。

IPP 印刷を行う場合は、プリンタドライバのインストール時に IPP 印刷用の設定を行うため、ここでプリンタドライバをインストールする必要はありません。IPP 印刷については、「IPP 印刷（Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64）」（p. 3-14）をご覧ください。

インストーラによる自動インストール（PCL）

本インストーラを利用すると、TCP/IP ネットワーク上の本機や、USB で接続されている本機が自動的に検出され、必要なプリンタドライバがインストールされます。また、手動で指定してインストールすることも可能です。

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラが起動します。

2 ［プリンタのインストール］をクリックします。

3 ［KONICA MINOLTA PCL Driver］をクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。

4 使用許諾契約書の全ての条項に同意する場合は、［同意します］をクリックします。

- ❍ 同意していただけない場合は、インストールできません。
- ❍ 左下のボックスでインストーラの表示言語を変更することができます。

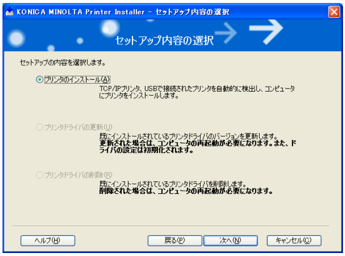


5 セットアップの内容を選択する画面が表示された場合は［プリンタのインストール］を選択します。

接続されているプリンタ・複合機が検出されます。

6 ［プリンタのインストール］を選択し、［次へ］をクリックします。

［インストールするプリンタ / 複合機の選択 / 指定］ウィンドウが表示されます。

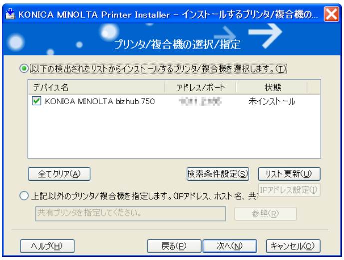


7 本機を選択し、インストールを行います。選択する方法として、2 通りあります。

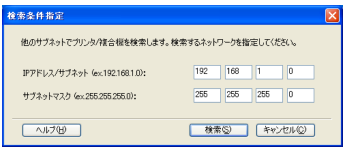
検出されたリストからインストールする方法

TCP/IP ネットワーク上等で本機が検出されると、下記画面のようにドライバ名（KONICA MINOLTA bizhub 750（または 600））が表示されますので、［以下の検出されたリストからインストールするプリンタ / 複合機を選択します］を選択し、ドライバ名左のチェックボックスを ON にし、［次へ］をクリックします。

［インストール内容の確認］ウィンドウが表示されます。

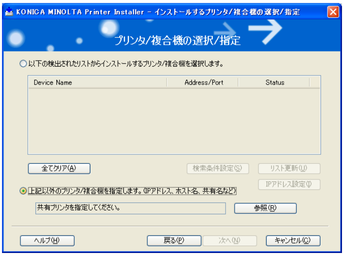


本機が検出されない場合は、［検索条件設定］をクリックし、IP アドレス、サブネットマスクを入力して［検索］をクリックしてください。

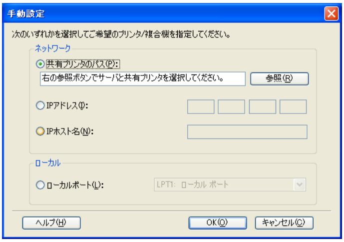


手動で指定しインストールする方法

手動で指定する場合は、[上記以外のプリンタ / 複合機を指定します]を選択し、[参照] をクリックしてください。



[手動設定] ウィンドウが表示されます。



[共有プリンタのパス]、[IP アドレス]、[IP ホスト名]、[ローカルポート] のいずれかを選択し、入力してください。入力が終わりましたら、[OK] をクリックしてください。

✎...

メモ)
パラレルケーブルを使用する場合は、通常 [ローカルポート] - [LPT1] になります。

[インストールするプリンタ / 複合機の選択 / 指定] ウィンドウが再度表示されますので、[次へ] をクリックしてください。

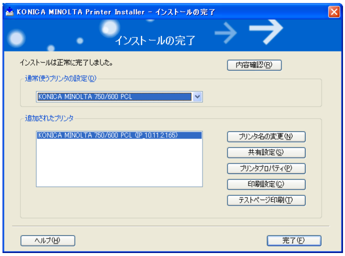
[インストール内容の確認] ウィンドウが表示されます。

8 インストール内容が表示されますので、確認し、[インストール]をクリックしてください。

プリンタドライバがインストールされ、[インストールの完了]ウィンドウが表示されます。



9 [完了]をクリックして、インストールは終了します。



...

ワンポイントアドバイス)

プリンタドライバの内容を再度確認したい場合は . . . . . [内容確認]

プリンタ名を変更したい場合は . . . . [プリンタ名の変更]

プリンタを共有したい場合は . . . . [共有設定]

プリンタのプロパティを見たい場合は . . . . . [プリンタプロパティ]

印刷設定を見たい場合は . . . . [印刷設定]

テストページを行いたい場合は . . . . [テストページ印刷]

をそれぞれクリックしてください。

インストーラによる自動インストール（PS）

KONICA MINOLTA 製 PS ドライバも、インストーラを使用してインストールできます。

インストールは、次の手順で行います。インストールは、必要な権限を持ったシステム管理者、または、プリンタ管理者が行ってください。

ご注意）
ここでは、Windows XP の画面を使って説明しています。

1 コンピュータの電源を入れ、Windows を起動します。

- ➜ Administrator（または Power User 等のインストールの権限があるユーザー）としてログオンします。
- ➜ 起動しているアプリケーションがあれば、すべて終了しておきます。

2 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

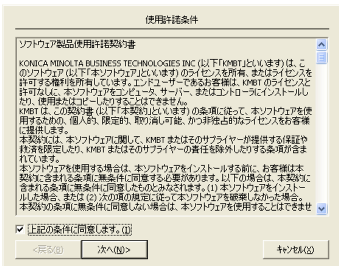
インストーラが起動します。

3 ［プリンタのインストール］をクリックします。

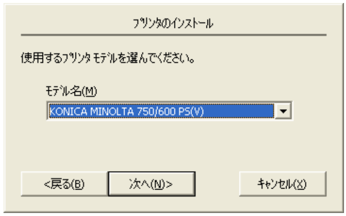
4 ［KONICA MINOLTA PS Driver］をクリックし、［Japanese］をクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動します。

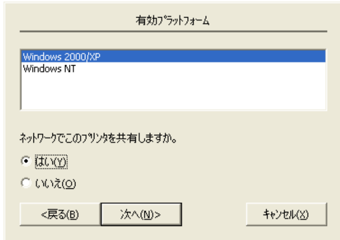
5 [上記の条件に同意します] チェックボックスを ON にして、[次へ] をクリックします。



6 モデル名を確認して [次へ] をクリックします。



7 お使いのプラットフォームが選択されていることを確認します。

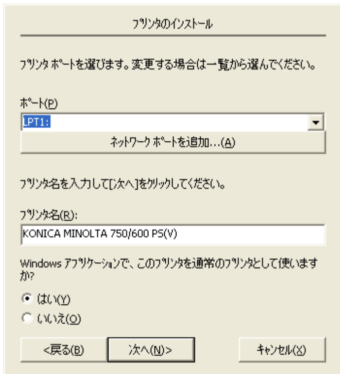


8 ネットワークでこのプリンタを共有するかどうかを選択します。

➜ 共有しない場合は、[いいえ] を選択します。

9 [次へ] をクリックします。

10 本プリンティングシステムが接続されているポートを選択します。



11 プリンタ名を確認します。

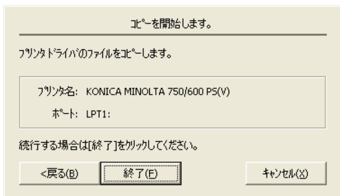
➜ プリンタ名を変更する場合は、[プリンタ名] テキストボックスに直接プリンタ名を入力します。

12 このプリンタを通常のプリンタとして使うかどうかを選択します。

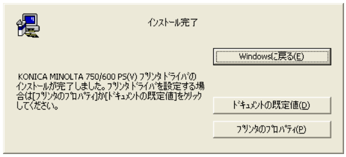
13 [次へ] をクリックします。

14 設定したポートとプリンタ名を確認して、[終了] をクリックします。

ドライバがインストールされます。



15 プリンタの設定を行なう場合は、[ドキュメントの既定値] または [プリンタのプロパティ] をクリックします。



✎...

ワンポイントアドバイス）
プリンタの設定の詳細については、「KONICA MINOLTA PS ドライバの設定」（p. 6-1）を参照してください。

16 [Windows に戻る] をクリックします。

デスクトップ画面に戻り、プリンタが使用可能になります。

プリンタドライバを使用するためにコンピュータを再起動する必要はありません。

✎...

ご注意）
プリンタドライバをアップデートする場合、または再インストールする場合は、まず既存のプリンタドライバを削除します。

プリンタドライバの削除方法については、「プリンタドライバをアンインストールする場合」（p. 2-28）を参照してください。

プリンタの追加ウィザードを使ったインストール

✎...

ワンポイントアドバイス）

IPP 印刷を行う場合は、プリンタドライバのインストール時に IPP 印刷用の設定を行うため、ここでプリンタドライバをインストールする必要はありません。

IPP 印刷については、「IPP 印刷（Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64）」（p. 3-14）をご覧ください。

Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64

✔ KONICA MINOLTA PCL ドライバは、WindowsXP x64/Server2003 x64 には対応しておりません。

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

3 Windows XP/XP x64 の場合は、「プリンタのタスク」メニューから［プリンタのインストール］をクリックします。
Windows Server 2003/Server 2003 x64 の場合は、［プリンタの追加］をダブルクリックします。



Windows XP の場合



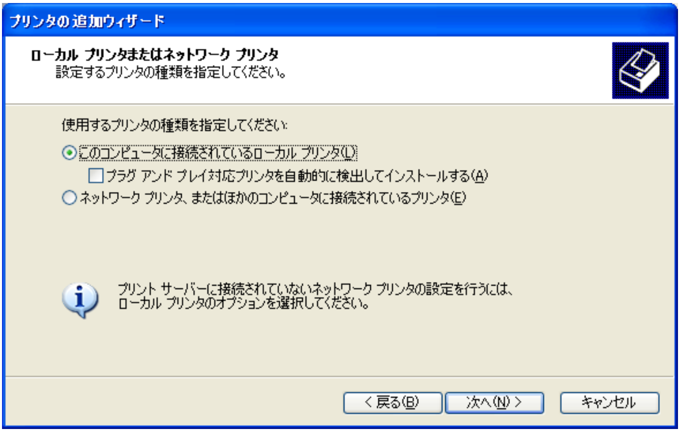
Windows Server 2003 の場合

❍ 「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4 ［次へ］をクリックします。

5 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❍ ［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外しておきます。



✎...

ワンポイントアドバイス）

ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」（p. 3-1）で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

6 「プリンタポートの選択」ダイアログが表示されます。ここでは、［LPT1］を選択して、［次へ］をクリックします。

✎...

メモ）

パラレルケーブルで接続する場合は、通常［LPT1］を使用します。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 ［参照］をクリックします。

9 各 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する言語、OS やプリンタドライバに応じて指定し、［開く］をクリックします。

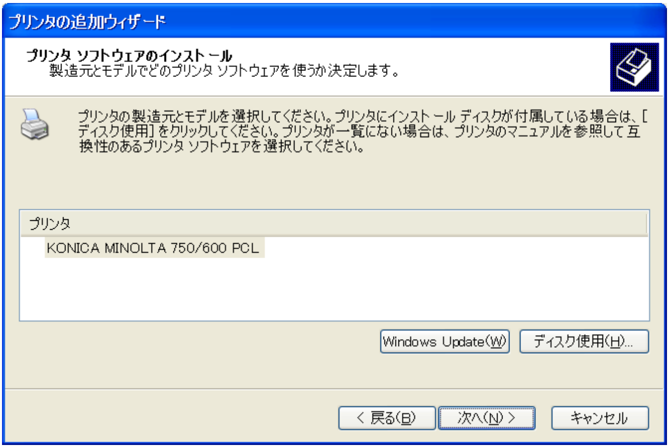
✎...

メモ）
プリンタドライバのあるフォルダは、「プリンタコントローラ用の CD 構成」（p. 1-1）を参照してください。

アプリケーション「Adobe PageMaker」をご利用の場合、［PPD_PageMaker］フォルダ内の PPD ファイルを適切なフォルダにコピーしてください。（詳細については、Adobe PageMaker のマニュアルをご参照ください）

10 ［OK］をクリックします。

❍ 「プリンタ」リストが表示されます。



11 ［次へ］をクリックします。

12 画面の指示にしたがって操作します。

✎...

ワンポイントアドバイス）
ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテストプリントを行ってください。

13 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタと FAX」ウィンドウに表示されていることを確認します。

14 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

以上で、プリンタドライバのインストールが完了です。

Windows 98SE/Me/NT4.0/2000 の場合

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

2 ［スタート］をクリックして、［設定］－［プリンタ］をクリックします。

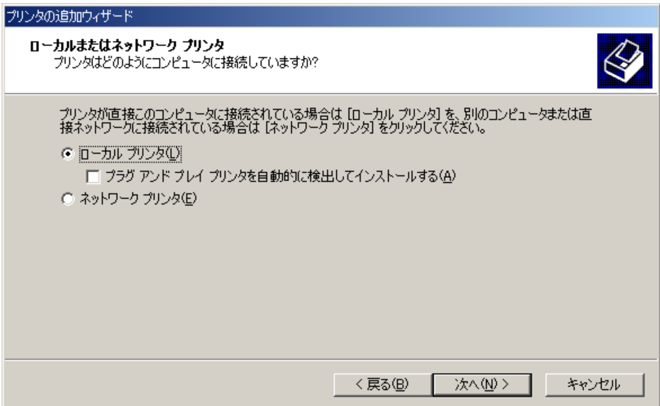
❍ 「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

3 「プリンタの追加」アイコンをダブルクリックします。

❍ 「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4 画面の指示にしたがって操作します。

5 接続方法を指定する画面で、［ローカルプリンタ］を選択します。



ご注意）
Windows 2000 の画面を使用しています。

ワンポイントアドバイス）
ネットワーク環境での設定方法については、「ネットワーク印刷の設定」（p. 3-1）で説明しています。あらかじめ他のネットワークの設定が必要ですので、ここではローカル接続の方法でインストールします。

6 ［次へ］をクリックします。

7 ［ディスク使用］をクリックします。

8 ［参照］をクリックします。

9 CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する言語、OS やプリンタドライバに応じて指定し、［OK］をクリックします。

...

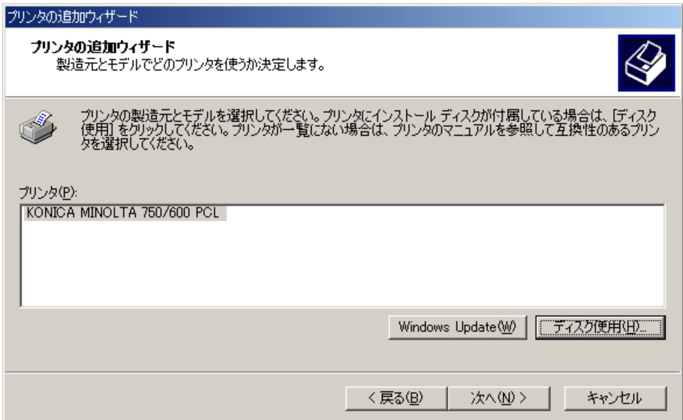
メモ）

プリンタドライバのあるフォルダは、「プリンタコントローラ用の CD 構成」（p. 1-1）を参照してください。

アプリケーション「Adobe PageMaker」をご利用の場合、［PPD_PageMaker］フォルダ内の PPD ファイルを適切なフォルダにコピーしてください。（詳細については、Adobe PageMaker のマニュアルをご参照ください）

10 ［OK］をクリックします。

❍ 「プリンタ」リストが表示されます。



11 ［次へ］をクリックします。

12 接続しているポートを指定します。ここでは、［LPT1］を選択します。

13 画面の指示にしたがって操作します。

✎...

ワンポイントアドバイス）
ネットワーク接続の場合は、ネットワーク設定完了後にテストプリントを行ってください。

14 インストール終了後、インストールしたプリンタアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されていることを確認します。

15 CD-ROM を CD-ROM ドライブから取り出します。

以上で、プリンタドライバのインストールが完了です。

USB ケーブルを使ったインストール

USB ケーブルを使ってパソコンとプリンティングシステムを直接つないで印刷することができます。

✎...

ご注意）
Windows NT4.0 では USB ケーブルで印刷することはできません。

ここでは、KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバを使用して説明しています。

Windows 98SE/Me の場合

USB ケーブルを初めて使用する場合、「USB Printing Support」をインストール後、プリンタドライバをインストールします。

1 本機の電源を入れます。

2 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

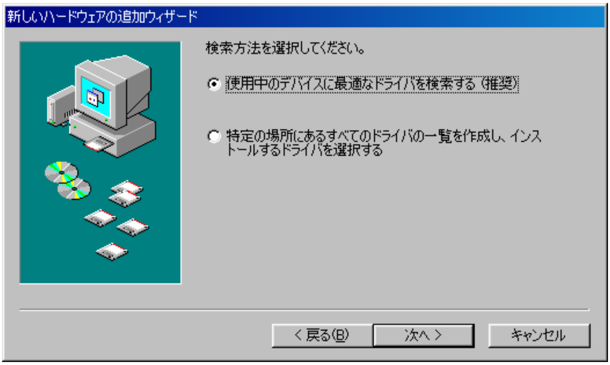
✎...

ご注意）
CD-ROM を入れた際、オートランで「インストーラ」が起動しますので、［終了］をクリックし、「インストーラ」を終了させてください。

3 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

4 「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが表示されますので、［次へ］をクリックします。

5 ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

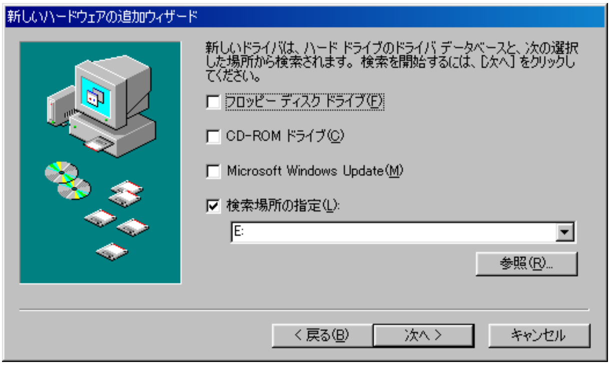


✎...

ご注意）

ここでは、Windows 98SE の画面を使用しています。

6 「検索場所の指定」を選択し、［参照］をクリックします。



7 「USB Printing Support」のドライバファイルがあるフォルダを選択し、[次へ] をクリックします。

✎...

メモ）

ドライバファイルがあるフォルダ（KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバの場合）
CD-ROM ドライブを開いた後、[Drivers] - [KonicaMinoltaPCL] - [bizhub750_600] -[JA] - [Win9X_Me] を開きます。「次のデバイス用のドライバファイルを検索します」が「USB Printing Support」になっているのを確認し、[次へ] をクリックします。



8 インストールが始まります。完了したら [完了] をクリックします。



以上で「USB Printing Support」のインストールは終わりです。続いてプリンタドライバをインストールします。

9 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されますので［次へ］をクリックします。

✎...

メモ）

検索名が、「KONICA MINOLTA750/600」と表示されます。



10［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

11「検索場所の指定」を選択し、［参照］をクリックします。

12 プリンタドライバファイルがあるフォルダを選択し、［次へ］をクリックします。フォルダは手順７と同じ場所にあります。

13 「更新されたドライバが見つかりました」というボックスが表示されますので、［更新されたドライバ（推奨）］が「KONICA MINOLTA 750/600 PCL」になっていることを確認し、選択した後［次へ］をクリックします。



14 ［次へ］をクリックします。

15 プリンタ名を変更したい場合は、プリンタ名を入力し、「通常使うプリンタ」に設定したい場合は［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

✎...

ご注意）

初めてプリンタをインストールする場合は、通常使うプリンタにするかどうかの選択画面は表示されません。自動的に「通常使うプリンタ」に設定されます。

16 「テストページ」を行いたい場合は、［はい（推奨）］を選択し、［完了］をクリックします。

17 プリンタドライバがインストールされ、手順 16 で［はい（推奨）］を選択した場合は、テストページが印刷されます。

テストページが正しく印刷されたら、［完了］をクリックします。



以上で、プリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000 の場合

1 本機の主電源を入れます。

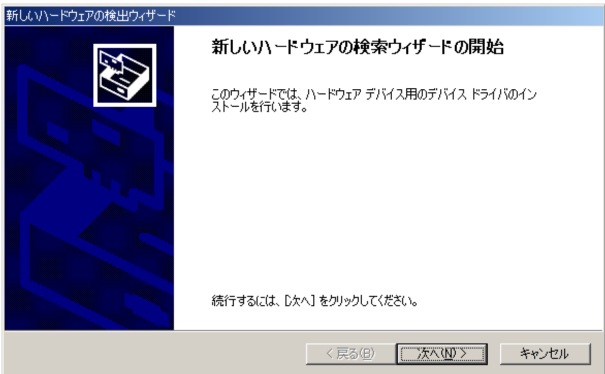
2 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

...

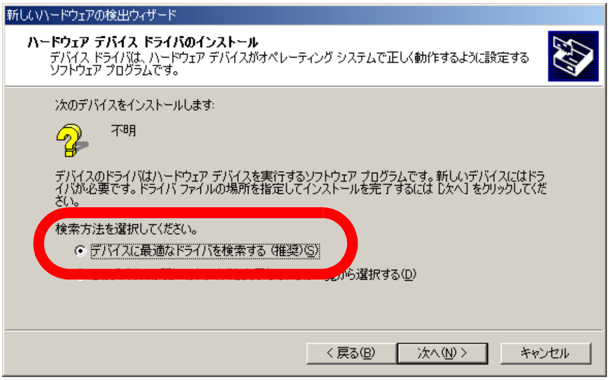
ご注意）
CD-ROM を入れた際、オートランで「インストーラ」が起動しますので、［終了］をクリックし、「インストーラ」を終了させてください。

3 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

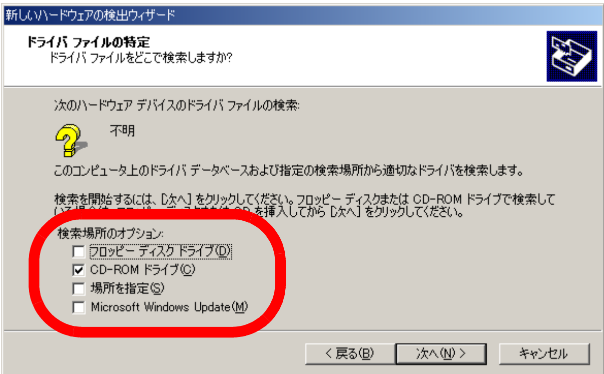
4 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されますので、［次へ］をクリックします。



5 ［デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し［次へ］をクリックします。



6 ［CD-ROM ドライブ］チェックボックスを ON にし、［次へ］をクリックします。



7 プリンタドライバが検索されますので、［次へ］をクリックします。

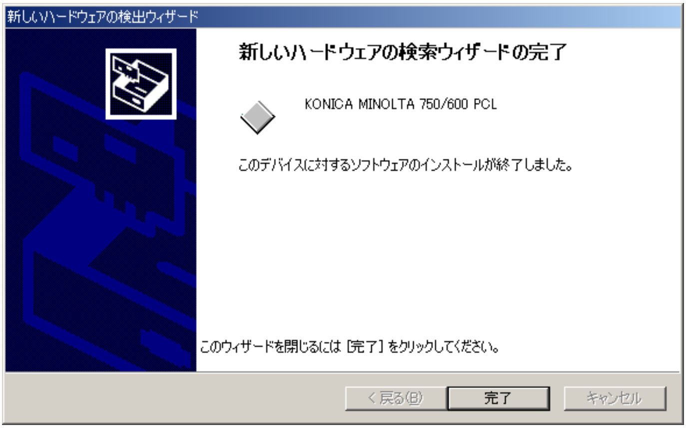
✎...

ご注意）

プリンタドライバが検索されない場合（KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバの場合）

手順 6 に戻り［場所を指定］チェックボックスも ON にし、CD-ROM ドライブを開き、［Drivers］-［KonicaMinoltaPCL］-［bizhub 750_600］-［JA］-［Win2000_XP］を選択し、［次へ］をクリックしてください。

8 プリンタドライバがインストールされ、[完了] をクリックします。
以上でインストールは完了です。



Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合

1 本機の主電源を入れます。

2 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

✎...

ご注意）

CD-ROM を入れた際、オートランで「インストーラ」が起動しますので、［終了］をクリックし、「インストーラ」を終了させてください。

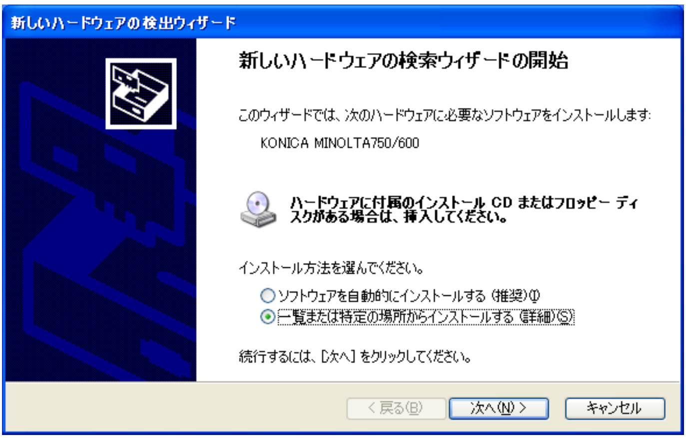
3 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

4 「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されますので、［一覧または特定の場所からインストールする (詳細)］を選択し、［次へ］をクリックします。

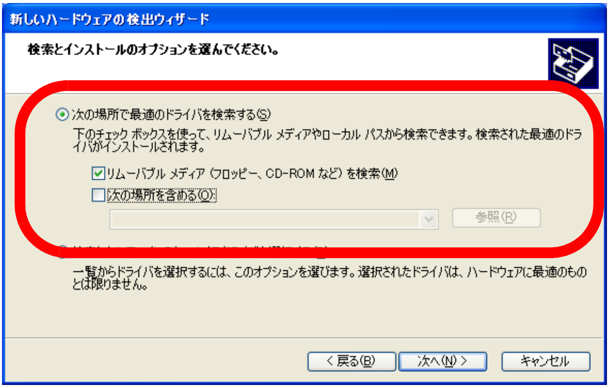
✎...

メモ）

検索名が、「KONICA MINOLTA750/600」と表示されます。

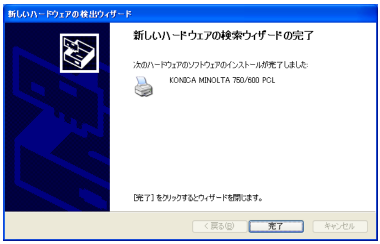


5 ［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア］チェックボックスを ON にし、［次へ］をクリックします。



6 プリンタドライバがインストールされ、［完了］をクリックします。
以上でインストールは完了です。





ご注意）

プリンタドライバがインストールされない場合（KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバの場合）
手順 5 に戻り［次の場所を含める］チェックボックスも ON にし、CD-ROM ドライブを開き、［Drivers］-［KonicaMinoltaPCL］-［bizhub 750_600］-［JA］-［Win2000_XP］を選択し、［次へ］をクリックしてください。

また、WindowsXP x64 / Server 2003 x64 は、KONICA MINOLTA PCL ドライバに対応しておりません。

プリンタドライバをアンインストールする場合

プリンタドライバを再インストールするときなど、プリンタドライバを削除する必要がある場合は、以下の方法でドライバを削除することができます。

プリンタドライバ	参照ページ	
	インストーラでアンインストールする場合	手動でアンインストールする場合
KONICA MINOLTA 製 PCL	p. 2-28	p. 2-32
KONICA MINOLTA 製 PS	p. 2-30	p. 2-32
PostScript PPD	-	p. 2-32

インストーラでアンインストールする場合（PCL）

インストーラからプリンタドライバを削除します。次の手順で行ってください。

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

インストーラが起動します。

2 ［プリンタのインストール］をクリックします。

3 ［KONICA MINOLTA PCL Driver］をクリックします。

プリンタドライバのインストーラが起動して、［ライセンス契約］ウィンドウが表示されます。

4 使用許諾契約書を確認し、［同意します］をクリックします。

［セットアップ内容の選択］ウィンドウが表示されます。

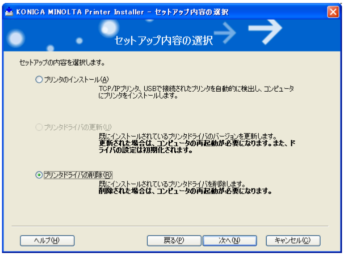


...

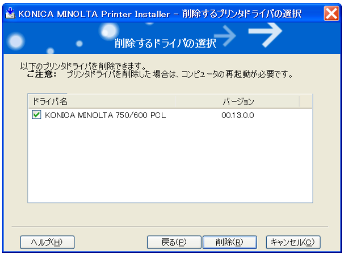
ご注意）

ここでは、Windows XP の画面を使用しています。

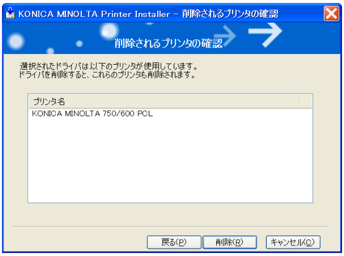
5　[プリンタドライバの削除] を選択し、[次へ] をクリックします。



6　削除するドライバ名 (KONICA MINOLTA 750/600 PCL) が表示されますので、ドライバ名左のチェックボックスを ON にし、[削除] をクリックします。



7　確認として再度プリンタドライバ名が表示されますので、[削除] をクリックします。



8　プリンタドライバの削除が完了すると、再起動を要求されますので [OK] をクリックし、再起動を行います。



以上で、インストーラによるプリンタドライバの削除は終了です。

インストーラでアンインストールする場合 (PS)

アンインストールは次の手順で行います。

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

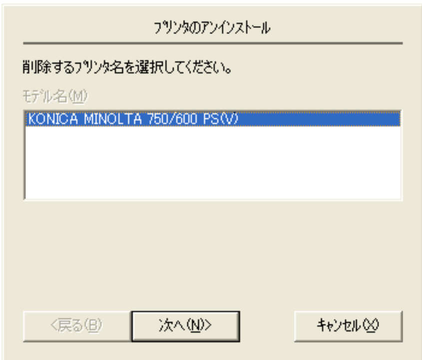
✎...

ご注意）
CD-ROM を入れた際、オートランで「インストーラ」が起動しますので、［終了］をクリックし、「インストーラ」を終了させてください。

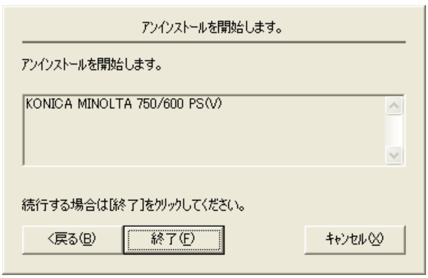
2 CD-ROM ドライブを開いた後、［Drivers］－［KonicaMinoltaPS］－［ja］－［Setup］を開きます。

3 「SSGAN1Z.EXE」をダブルクリックします。

4 「プリンタ名」を選択し（1 つしかなければ、選択不要）、［次へ］をクリックします。



5 「アンインストールを開始します」とボックスが表示されますので、［終了］をクリックしてアンインストールを開始します。

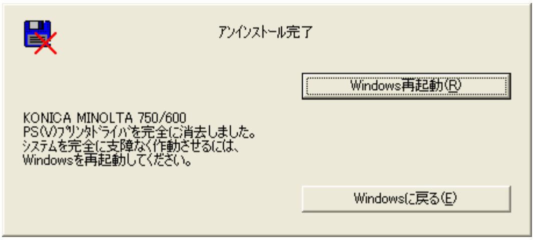


6 「アンインストール完了」とボックスが表示されますので、［Windows 再起動］もしくは［Windows に戻る］をクリックします。

✎...

ご注意）

［Windows 再起動］というボタンがある場合、必ず［Windows 再起動］をクリックして頂き、［Windows に戻る］をクリックした場合でも、その後パソコンを再起動させてください。



以上で、インストーラによるプリンタドライバの削除は終了です。

手動でアンインストールする場合

1 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、［設定］－［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、［スタート］をクリックして、［プリンタと FAX］をクリックします。

2 「プリンタ」（Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウで、削除したいプリンタのアイコンを選択します。

3 パソコンの［Delete］キーを押し、プリンタドライバを削除します。

4 パソコンを再起動します。

❍ 削除が終了すると「プリンタ」（Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウからアイコンが消えます。

これで Windows 98SE/Me のアンインストールは終了です。Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、続いて手順 5 〜 8 を行ってください。

5 ［ファイル］メニューから、［サーバーのプロパティ］を選択します。

6 ［ドライバ］タブをクリックし、手順 3 で削除したプリンタドライバを選択します。

7 パソコンの [Delete] キーもしくは [削除] を押し、プリンタドライバを削除します。

8 パソコンを再起動します。

❍ 削除が終了すると［ドライバ］タブからプリンタドライバ名が消えます。

これでアンインストールは終了です。

2.3 Macintosh で使用する場合

Macintosh プリンタドライバのインストール方法は、Mac OS のバージョンおよび使用するドライバによって異なります。お使いの Mac OS に合わせて、以下の参照ページをご覧ください。

Mac OS	プリンタドライバ	参照ページ
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「プリンタドライバのインストール」（p. 2-33）
Mac OS 9	PostScript PPD ドライバ	「プリンタの選択」（p. 2-35）

プリンタドライバのインストール

Mac OS X の場合

1 Macintosh を起動します。

2 User Software CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

✎...

ご注意）
アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

3 User Software CD の「Driver」－「OS10_2_x」または「OS10_3_x」フォルダをダブルクリックして開きます。

4 Mac OS のバージョンに合わせて、ドライバ用のファイルをデスクトップ上にコピーします。

OS X 10.2：KONICAMINOLTA_750_102.pkg
OS X 10.3/10.4：KONICAMINOLTA_750_103.pkg

5 デスクトップ上にコピーしたファイルをダブルクリックします。

✎...

ワンポイントアドバイス）
途中で、管理者の名前とパスワードを要求されますので入力してください。

管理者の名前とパスワードは、ネットワーク管理者にお問合わせください。

［キャンセル］を押すと、インストーラは終了します。

6 「インストール」画面が表示されるまで、画面の指示にしたがって［続ける］をクリックします。

7 「簡易インストール」画面で、［インストール］をクリックします。

❍ プリンタドライバがパソコンにインストールされます。インストールが終了すると、メッセージが表示されます。



✎...

ワンポイントアドバイス）

2 回目以降のインストールでは、［インストール］が［アップグレード］に変わることがあります。

8 ［閉じる］をクリックします。

これで、プリンタドライバのインストールが完了しました。

続いて、プリンタの選択をしてください。

プリンタの選択

Mac OS X の場合

本機接続後、[プリントセンター](または[プリンタ設定ユーティリティ])で使用するプリンタを選択すると、プリンタとして使用できます。

1 インストールされた[HDD]－[アプリケーション]－[ユーティリティ]内にある[プリントセンター](または[プリンタ設定ユーティリティ])をダブルクリックして開きます。

2 「プリンタの追加」画面が表示された場合は、[追加]をクリックします。プリンタリストが表示された場合は、[追加]をクリックします。

- OS X 10.4 は手順 3 に進みます。
- OS X 10.2 と 10.3 は手順 4 に進みます。

メモ

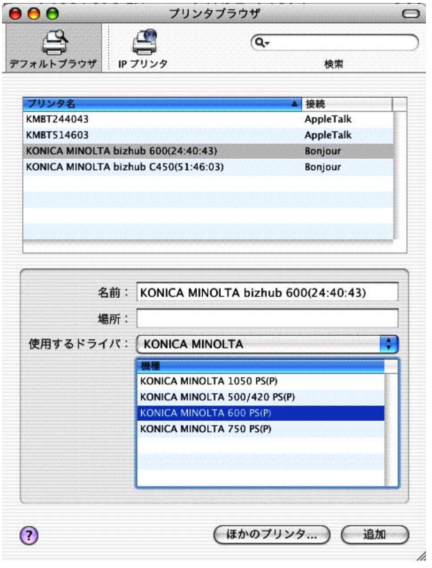
すでに使用可能なプリンタを設定している場合は、「プリンタの追加」画面は表示されません。

3 本機が Bonjour（ボンジュール）接続のプリンタとして出現した場合は、「使用するドライバ」で「KONICA MINOLTA」を選択し、機種一覧から「KONICA MINOLTA 750 PS(P)」もしくは「KONICA MINOLTA 600 PS(P)」を選択して［追加］をクリックします。

ご注意）

使用するドライバは、必ず本機と一致させてください。（例：本機が、「bizhub 600」であれば、ドライバは「KONICA MINOLTA 600」を使用）一致していない場合、「セキュリティ」（p. 9-11）内の一部機能（「機密プリント設定」、「認証設定」、「部門管理設定」）が使用できなくなります。

- ❍ 選択したプリンタが「プリンタリスト」に登録されると、設定は終了です。
- ❍ プリンタとして出現しない場合や AppleTalk で接続する場合は、［ほかのプリンタ］をクリックして手順 4 に進みます。



メモ

OS X 10.4 で Bonjour 接続をする場合は、本機の Bonjour 設定が必要です。Bonjour 設定については、「Macintosh による利用」（p. 3-29）をごらんください。

4 該当する接続方法を選択し、プリンタ名を選択します。

✎...

メモ

AppleTalk 接続で AppleTalk ゾーンを設定している場合は「ローカル AppleTalk ゾーン」を選択します。

AppleTalk 接続をする場合は、本機の AppleTalk 設定が必要です。AppleTalk 設定については、「Macintosh による利用」(p. 3-29) をごらんください。

Rendezvous (ランデブー)接続をする場合は、本機の Bonjour 設定が必要です。Bonjour 設定については、「Macintosh による利用」(p. 3-29) をごらんください。

IP プリントでプロトコルに「IPP」を指定する場合は、キュー名の入力欄が表示されます。OS 10.3 の場合はキュー名を空欄にしてください。OS 10.4 の場合は、キュー名に「ipp」と入力してください。

5 [プリンタの機種] をクリックし、「KONICA MINOLTA」を選択します。

6 「KONICA MINOLTA 750 PS(P)」もしくは「KONICA MINOLTA 600 PS(P)」を選択し、[追加] をクリックします。



❍ 選択したプリンタが「プリンタリスト」に登録されます。

Mac OS 9 の場合

本機に接続後、「セレクタ」で PostScript プリンタを選択し、「プリンタ記述ファイル（PPD ファイル）」を指定すると、プリンタとして使用できるようになります。

まず、「プリンタ記述ファイル（PPD ファイル）」をパソコンにコピーします。

1 Macintosh 用の CD をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

2 User Software CD の「Driver」－「OS 9_x」－「ja」フォルダをダブルクリックして開きます。

3 「KONICAMINOLTA750JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、パソコンの「HDD」－「システムフォルダ」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内にコピーします。

   続いて、プリンタを選択します。
   プリンタドライバは、Macintosh 標準の LaserWriter を使用します。

4 「アップルメニュー」の「セレクタ」を選択します。

5 「AppleTalk」が「使用」になっていることを確認して、［LaserWriter］アイコンをクリックします。

6 「PostScript プリンタの選択」一覧から、プリンティングシステムに該当するプリンタ名をクリックし、［作成］をクリックします。

   ❍ PostScript プリンタ記述ファイル（PPD）の選択画面が表示されます。

   ✎...

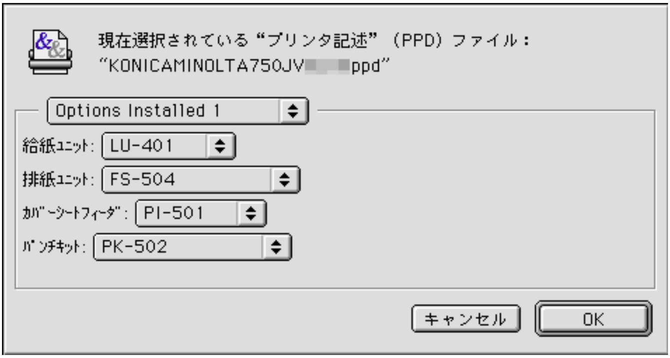
   ご注意）
   すでに別の PPD ファイルが選択されている場合は、手順 6 で［再設定］をクリックし、さらに表示される画面で［PPD の選択］をクリックします。

7　該当する PPD ファイルをクリックし、［開く］をクリックします。

❍　追加オプションの設定画面が表示されます。



8　本機に装着しているオプションを設定します。



9　［OK］をクリックします。

❍　「セレクタ」画面にもどります。

10「セレクタ」画面を閉じます。

プリンタドライバをアンインストールする場合

プリンタドライバを削除する必要がある場合は、以下の手順でドライバを削除してください。

✎...

ご注意）
アプリケーションソフトが起動しているときは、全て終了しておきます。

Mac OS X の場合

1 「HDD」－「アプリケーション」－「ユーティリティ」内にある［プリントセンター］（または［プリンタ設定ユーティリティ］）をダブルクリックして開きます。

2 削除するプリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

- ❍ 選択したプリンタが削除されます。

3 「プリンタリスト」を閉じます。

4 インストールした「HDD」の「ライブラリ」－「Printers」－「PPDs」－「Contents」－「Resources」内を検索し、以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ 「KONICAMINOLTA 750.gz」
- ❍ 「KONICAMINOLTA 600.gz」

5 「ライブラリ」－「Printers」内の不要なファイルを削除します。

OS 10.3/10.4 の場合

➜ 「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」－「Filter」内にある、以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ pstokm750

➜ 「ライブラリ」－「Receipts」内にある、以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ KONICAMINOLTA_750_103.pkg

➜ 「ライブラリ」－「Printers」－「KONICAMINOLTA」－「PDEs」内にある、以下のファイルを「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ KONICAMINOLTA750 Finishing.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 ImageLayout.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 Security.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 Setup.plugin

OS 10.2 の場合

➜ 「ライブラリ」－「Printers」－「PPD Plugins」内の以下の 4 つのフォルダを「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ KONICAMINOLTA750 Finishing.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 ImageLayout.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 Security.plugin
- ❍ KONICAMINOLTA750 Setup.plugin

6 パソコンを再起動します。

これでプリンタドライバの削除は完了です。

Mac OS 9 の場合

1 「HDD」－「システムフォルダ」－「機能拡張」－「プリンタ記述ファイル」内の「KONICAMINOLTA750JVxxx.ppd」の PPD ファイルを選択し、「ゴミ箱」へドラッグします。

- ❍ プリンタドライバ関連ファイルが削除されます。

2 デスクトッププリンタを［ゴミ箱］へドラッグします。

3 パソコンを再起動します。

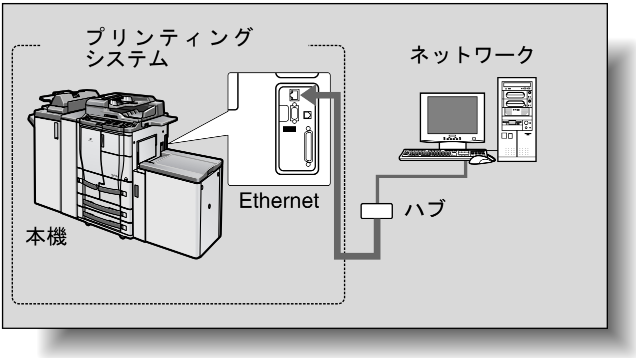
これでプリンタドライバの削除は完了です。

3 ネットワーク印刷の設定

3.1 ネットワーク機能の概要

ネットワーク機能とは

本機の Ethernet をネットワークに接続すると、本プリンティングシステムをネットワークプリンタとして使用できます。



※ パラレルインターフェースキット
（オプション）装着済み

本プリンティングシステムは、100Base-TX および 10Base-T 規格に対応しています。また、プロトコルは TCP/IP（LPD/LPR、Raw、IPP、SMB)、NetBEUI（SMB）、IPX/SPX（NetWare）、AppleTalk（EtherTalk）、Bonjour/Rendezvous などに対応しています。

✎...

ワンポイントアドバイス）

ネットワーク設定を行う場合、「管理者モード」に入る管理者パスワードが必要です。

管理者パスワードについては、本機の管理者におたずねください。

また、ネットワーク設定は本機操作パネルからも設定することができます。

ネットワーク機能の特徴

本プリンティングシステムは、さまざまなネットワーク環境に柔軟に対応できるよう、以下のネットワーク機能を備えています。

- 10Base-T / 100Base-TX（Fast Ethernet）の自動選択。
- マルチプロトコルに対応（TCP/IP、NetBEUI、IPX/SPX、AppleTalk（EtherTalk）、Bonjour/Rendezvous）
- SMB 印刷をサポート
  専用のプリントサーバを必要としない印刷方法です。
- Raw 印刷をサポート。（Windows NT を除く）
- Windows NT 4.0/2000/XP/XP x64/Server 2003 x64 で TCP/IP 上の LPD/LPR をサポート。
  LPD/LPR による印刷ができます。Windows 98SE/Me では利用できません。

✎...

ワンポイントアドバイス）
LPR（Line Printer Request）: Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 で利用できるプリント要求方式です。

- Novell NetWare の Pserver および Rprinter（Nprinter）の両方をサポート。
- Novell NetWare のプリントサーバ機能に対応し、バインダリモードと Novell DirectoryService（NDS）の両方をサポート。
- DHCP で自動 IP アドレス取得が可能。

NetWare による利用

Novell NetWare 4.x ～ 6 の、プリントサーバ機能に対応しています。

ネットワーク OS として Novell NetWare 4.x ～ 6 が使用されているネットワークに本プリンティングシステムを接続し、クライアントからプリントサーバ（ネットワークコントローラ）にプリント指示を送ることができます。対応モードは、以下の 3 種類です。

- Nprinter
- Pserver
- NDPS

✎...

ワンポイントアドバイス）
NetWare の機能の詳細は、NetWare の操作説明書をご覧ください。

Macintosh による利用

Macintosh から、AppleTalk 、Bonjour/Rendezvous による印刷ができます。

AppleTalk 、Bonjour/Rendezvous 環境のプリントサーバに本プリンティングシステムを接続し、Macintosh から本機にプリント指示を送ることができます。

各 Windows OS で選択可能なネットワーク接続方式

この章では、ネットワーク印刷に必要な設定について説明しています。

ネットワーク印刷方法（SMB 印刷、Raw 印刷、LPR 印刷、IPP 印刷）により、設定方法が異なります。ご使用の環境に最適なネットワーク印刷方法を選択してください。

Windows OS からのネットワーク印刷方法

	使用するプロトコル	98SE	Me	NT 4.0	2000	XP	Server 2003	XP x64	Server 2003 x64
SMB 印刷	TCP/IP 、NetBEUI	○	○	○	○	○	○	○	○
Raw 印刷	TCP/IP	*1	*1		○	○	○	○	○
LPR 印刷	TCP/IP			○	○	○	○	○	○
IPP 印刷	TCP/IP				○	○	○	○	○

*1 Windows 98SE/Me で Raw 印刷を行う場合、［Peer to Peer Tool］というアプリケーションが必要になる場合があります。
詳しくはサービス管理店にお問い合わせください。

ご注意）

ネットワーク印刷の設定を行う前に、プリンタドライバをインストールしておいてください。詳しくは、「プリンタドライバのインストール」（p. 2-1）をご覧ください。

ネットワーク印刷を行うには、インストールしたプリンタドライバのプリントのポートをネットワーク接続用に変更し、必要に応じて本機の設定を変更します。
ただし、IPP 接続の場合は、プリンタドライバのインストールから行う必要があります。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	NDS ／バインダリ	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

3.2 本機の IP アドレスの設定

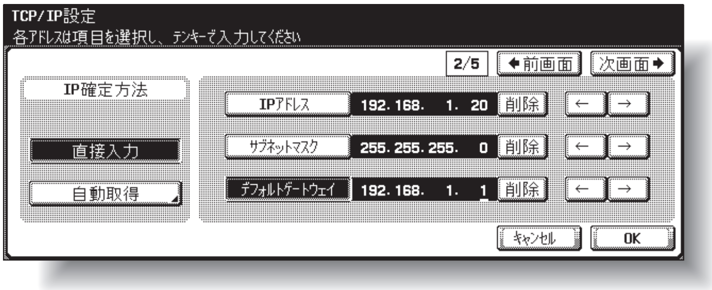
まず、本機操作パネルで、IP アドレスを割当てます。

ワンポイントアドバイス）
ネットワークに関する設定は、ネットワーク管理者の指示にしたがって行ってください。

1 操作パネルで【設定メニュー / カウンタ】を押し、［管理者設定］キーを押して、管理者パスワードを入力します。

ご注意）
「管理者モード」に入るにはパスワードが必要です。管理者パスワードについては、本機の管理者におたずねください。

2 ［ネットワーク設定］－［TCP/IP 設定］の画面を表示します。



3 以下の項目を設定します。

IP アドレス :	本機の IP アドレスを設定します。
サブネットマスク :	接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
デフォルトゲートウェイ :	接続するネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。

✎...

ワンポイントアドバイス）

ここでは DHCP サーバを使用せずに IP アドレスを入力していますが、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを割当てることも可能です。「自動取得」-「DHCP 設定」の項目を「使用する」に設定すると、ネットワーク上の DHCP サーバから自動的に、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが割当てられるため、それらを手動で割当てる必要がありません。ただし、「DHCP 設定」の項目を「使用する」に設定するにあたって、以下の点に注意してください。

ネットワーク管理者に、DHCP サーバが存在していることを確認してください。DHCP サーバが存在しない場合は、必ず「IP アドレス設定」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。

DHCP サーバを使用して IP アドレス等が割当てられた場合、IP アドレスなどが自動的に変更される可能性があります。IP アドレス等が変更されると、IP アドレスでネットワーク上のプリンタを指定してプリントする設定にしている場合、通信ができないためプリントができなくなる可能性があります。「DHCP 設定」の項目を「使用する」に設定した場合は、DHCP サーバ側の設定で、本機に割当てる IP アドレスを固定にすることを推奨します。

4 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると IP アドレスの設定が有効になります。

3.3 PageScope Web Connection へのアクセス方法

本機の IP アドレスを設定すると、PageScope Web Connection へアクセスできるようになります。

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザで直接アクセスします。

1 Web ブラウザを起動します。

2 URL フィールドに、以下のように本機の IP アドレスを入力して、［Enter］キーを押します。

   ❍ http:// ＜本機の IP アドレス＞ /
   例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
   http://192.168.1.20/

   PageScope Web Connection の画面が表示されます。

PageScope Web Connection については、「PageScope Web Connection の使い方」（p. 10-41）をご覧ください。

3.4 SMB 印刷による利用

SMB 印刷（Windows 印刷）を利用して Microsoft ネットワーク上でのダイレクト印刷を可能にします。

本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をご覧ください。

また、PageScope Web Connection で SMB 印刷の設定を行います。

...

ワンポイントアドバイス）

SMB 印刷の設定は、操作パネルからでも行えます。詳しくは「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ編）」をご覧ください。

1 PageScope Web Connection を起動します。

- ログイン画面が表示されていない場合は、［ログアウト］をクリックしてログアウトします。

2 ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。

4 「ネットワーク」タブから「SMB 設定」－「プリント設定」メニューを選択します。



5 以下の項目を設定します。

プリント設定：	SMB 印刷サービスを使用するかどうかを設定します。ここでは「使用する」を選択します。
NetBIOS 名：	NetBIOS 名を設定します（半角英数字 15 文字以内）。
プリントサービス名：	プリントサービス名を設定します（半角英数字 31 文字以内）。
ワークグループ：	ワークグループ名を設定します（半角英数字 15 文字以内）。

6 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が有効になります。

プリンタドライバ側の設定

Windows 98SE/Me の場合

1 ［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3 「詳細」タブの［ポートの追加］をクリックします。

4 「ネットワーク」を選択し、［参照］をクリックします。ネットワーク構成を表示し、目的のプリンタアイコンを選択します。

Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合

1 Windows NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブの［ポートの追加］をクリックし、「Local Port」をダブルクリック、または「Local Port」を選択後［新しいポート］をクリックして、¥¥NetBIOS 名 ¥ プリントサービス名を入力します。

✎...

ご注意）
NetBIOS 名と Print Service 名は、PageScope Web Connection で入力したものと同じ名前を入力してください。設定内容については、「本機の設定」（p. 3-8）をご覧ください。

4 ［閉じる］をクリックして終了します。

3.5 Raw/LPR 印刷による利用

本機は Raw 印刷サービスと LPR 印刷サービスをサポートしています。Raw 印刷サービスは、Windows 98SE/Me/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64、LPR 印刷サービスは、Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 で利用できます。ネットワークプロトコルは、TCP/IP を使用します。

✎...

ご注意
Windows 98SE/Me で Raw 印刷を行う場合、［Peer to Peer Tool］というアプリケーションが必要になる場合があります。詳しくはサービス管理店にお問い合わせください。

本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をご覧ください。

プリンタドライバ側の設定

Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合

1 Windows 2000 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブの［ポートの追加］をクリックします。

4 「利用可能なポートの種類」リスト内で「Standard TCP/IP Port」を選択し、［新しいポート］をクリックします。

5 標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードが起動したら、［次へ］をクリックします。

6 「プリンタ名または IP アドレス」ボックスに本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

7 「カスタム」をチェックし、［設定］をクリックします。

Raw 印刷を設定する場合

8 ［Raw］をチェックし、［Raw 設定］ボックスに設定しているポート番号を入力し、［OK］をクリックします。

✎...

メモ）
設定しているポート番号を確認する場合は、［Raw ポート番号］で番号を確認します。［Raw ポート番号］についての詳細は、bizhub 750/600 ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）をご覧ください。

9 ［次へ］、［完了］をクリックして終了します。

LPR 印刷を設定する場合

10「LPR」をチェックし、「キュー名」ボックスに「Print」と入力し、［OK］をクリックします。

11［次へ］、［完了］をクリックして終了します。

Windows NT 4.0 の場合（LPR 印刷を設定する場合）

1 ［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

3 「ポート」タブの［ポートの追加］をクリックします。

4 「利用可能なプリンタポート」リスト内で「LPR Port」を選択し、［新しいポート］をクリックします。

✎...

ワンポイントアドバイス）
「LPR Port」がリストにない場合は、［スタート］をクリックし、「コントロールパネル」－「ネットワーク」を選択します。
「サービス」タブの［追加］をクリックして Microsoft TCP/IP 印刷サービスをインストールしてください。

5 「LPR 互換プリンタの追加」ダイアログで、「lpd を提供しているサーバの名前またはアドレス」ボックスに、本機の IP アドレスを入力します。

6 「サーバのプリンタ名またはプリンタキュー名」ボックスに「Print」と入力します。

7 ［OK］をクリックして終了します。

3.6 IPP 印刷（Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64）

IPP（Internet Printing Protocol）印刷サービスは、Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 では標準でサポートされています。ネットワークプロトコルは、TCP/IP を使用します。

本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をご覧ください。

また、PageScope Web Connection で IPP 印刷の設定を行います（デフォルトの設定のままでも印刷可能です）。

✎...

ワンポイントアドバイス）
IPP 印刷の設定は、操作パネルからでも行えます。詳しくは「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ編）」をご覧ください。

1 PageScope Web Connection を起動します。

❍ ログイン画面が表示されていない場合は、［ログアウト］をクリックしてログアウトします。

2 ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。

4 「ネットワーク」タブから「IPP 設定」メニューを選択します。



5 以下の項目を設定します。

IPP：	IPP 印刷を行うかどうかを設定します。ここでは［使用する］を選択します。
プリンタ名：	プリンタ名を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
プリンタ設置場所：	プリンタ設置場所を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
プリンタ情報：	プリンタ製造情報を設定します（半角英数字 127 文字以内）。
プリンタ URI：	IPP を利用して印刷できるプリンタの URI が表示されます。
オペレーションサポート情報：	IPP でサポートする印刷操作を指定します。
IPP ジョブ許可：	IPP 受信機能を使用するかどうかを設定します。

IPP 認証設定	IPP 接続での認証方式とユーザ名、パスワードを設定します。

プリンタドライバのインストール

IPP 印刷の場合は、プリンタドライバをインストールしなおします。

1 「User Software CD-ROM」をパソコンの CD-ROM ドライブに入れます。

2 Windows 2000 の場合は、[スタート] をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、[スタート] をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

3 Windows 2000 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

4 [次へ] をクリックします。

5 「ローカルまたはネットワークプリンタ」画面で、「ネットワークプリンタ」を選択し、[次へ] をクリックします。

6 「プリンタの検索」画面で、「インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します」を選択します。

7 「URL」フィールドに、以下の形式で、本機の URL を入力し、[次へ] をクリックします。

❍ http:// ＜本機の IP アドレス＞ /ipp
例：本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
http://192.168.1.20/ipp

8 確認のダイアログが表示されたら、[OK] をクリックします。

9 [ディスク使用] をクリックします。

10 ［参照］をクリックし、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを指定し、［OK］をクリックします。

- KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ：User Software CD-ROM「Drivers¥KonicaMinoltaPCL¥bizhub750_600 」フォルダ
- PostScript PPD ドライバ：User Software CD-ROM「Drivers¥PPD」フォルダ

11「プリンタ」リストにプリンタ名が表示されることを確認して、［次へ］をクリックします。

12 Windows で通常使うプリンタに設定するかどうかを選択し、［次へ］をクリックします。

13 ［完了］をクリックして、プリンタの追加ウィザードを終了します。

設定が完了したプリンタは、通常のローカルプリンタと同様に使用できます。また、Windows 上でプリンタを共有設定することにより、ネットワーク内の他の Windows コンピュータからネットワークプリンタとして使用できます。

3.7 NetWare による利用

プリンタコントローラは、以下の環境をサポートしています。

NetWare 環境でのネットワーク印刷方法

NetWare バージョン	使用するプロトコル	エミュレーション	サービスモード
NetWare 4.x	IPX	NDS ／バインダリ	Pserver/Nprinter
NetWare 5.x/6	IPX	NDS	Pserver
	TCP/IP	NDPS(lpr)	

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのリモートプリンタモードの場合

✎...

ワンポイントアドバイス）
バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

✎...

ワンポイントアドバイス）
キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

7 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



...

ワンポイントアドバイス）

NetWare 設定は、操作パネルからでも行えます。詳しくは「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ編）」をご覧ください。

IPX 設定：	使用する
イーサネットフレームタイプ：	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
NetWare プリントモード：	Nprinter/Rprinter
プリントサーバ名：	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリンタ番号：	プリンタ番号 (0-255) を設定します。255 を設定すると［自動］になります。

8 本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

9 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、作成したプリンタが「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x バインダリエミュレーション動作モードでのプリントサーバモードの場合

✎...

ワンポイントアドバイス）
バインダリエミュレーションを使用する場合は、NetWare Server でバインダリエミュレーションが有効になっていることを確認してください。

1 クライアントよりSupervisor権限でPserverを登録するNetWareサーバにログインします。

2 Pconsole を起動します。

3 「利用可能な項目」から「クイックセットアップ」を選択し、［Enter］キーを押します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

5 ［Esc］キーを押し、Pconsole を終了します。

6 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



IPX 設定：	使用する
イーサネットフレームタイプ：	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
NetWare プリントモード：	Pserver
プリントサーバ名：	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリントサーバパスワード：	NetWare Server 側で設定している場合のみ設定してください。
ポーリング間隔：	1（必要に応じて変更してください）
Bindery/NDS 設定：	NDS/Bindery 設定
ファイルサーバ名：	Pserver を接続するファイルサーバ名

7 本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

8 NetWare Server のコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

9 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続されていることを確認してください。

NetWare 4.x リモートプリンタモード（NDS）の場合

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、保存します。

✎...

ワンポイントアドバイス）
キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5 PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



IPX 設定：	使用する
イーサネットフレームタイプ：	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
NetWare プリントモード：	Nprinter/Rprinter
プリントサーバ名：	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリンタ番号：	プリンタ番号 (0-255) を設定します。255 を設定すると［自動］になります。

6 本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

7 NetWare Server のコンソールで、PSERVER.NLM をロードしてください。

8 NetWare Server のコンソールで、プリントサーバ画面を表示し、接続しているプリンタ 0 に、「750/600」（作成したプリンタ）が「ジョブの待機中」になっていることを確認してください。

NetWare 4.x/5.x/6 プリントサーバモード（NDS）の場合

✎...

ワンポイントアドバイス）
プリントサーバモードを使用する場合は、NetWare サーバに IPX プロトコルがロードされている必要があります。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWadmin を起動します。

3 プリントサービスを行う組織、または、部門コンテナを選択し、ツールメニューから「プリントサービスクイックセットアップ（非 NDPS）」を選択します。

4 「プリントサーバ名」、「プリンタ名」、「プリントキュー名」、「ボリューム名」を入力し、プリンタの「タイプ」名を「その他／不明」に設定して、[作成] をクリックします。

✎...

ワンポイントアドバイス）
キューを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、複数のキューの割当て、パスワードは、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

5　PageScope Web Connection の管理者モードで「ネットワーク」タブから「NetWare 設定」メニューを選択し、各項目を設定します。



IPX 設定：	使用する
イーサネットフレームタイプ：	自動検出（ネットワーク環境によって、フレームタイプを選択してください）
NetWare プリントモード：	Pserver
プリントサーバ名：	手順 4 で作成したプリントサーバ名
プリントサーバパスワード：	NetWare サーバ側で設定している場合のみ設定してください。
ポーリング間隔：	1（必要に応じて変更してください）
Bindery/NDS 設定：	NDS
NDS コンテキスト名：	Pserver を接続するコンテキスト名
NDS ツリー名：	Pserver がログインするツリー名

6 本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

7 NetWare サーバのコンソールで、MONITOR.NLM をロードしてください。

8 接続情報を選択し、アクティブな接続欄で、作成した Pserver が接続していることを確認してください。

NetWare 5.x/6 Novell Distributed Print Service（NDPS）の場合

✎...

ワンポイントアドバイス）
NDPS に関する設定を行う前に、NDPS ブローカと NDPS マネージャが作成、ロードされていることを確認してください。

NetWare サーバで TCP/IP プロトコルが設定されていることを確認し、本機に IP アドレスが設定され、本機が起動していることを確認して、作業を行ってください。

「Novell プリンタゲートウェイ」以外に KONICA MINOLTA 用として、「PageScope NDPS Gateway」というツールも「PageScope Utilities CD」内にあります。詳細については、「NDPS」のユーザーズガイドを参照してください。

1 クライアントより NetWare に Admin 権限でログインします。

2 NWAdmin を起動します。

3 プリンタエージェントを作成する「組織」、「部門」コンテナを右クリックし、作成より、「NDPS プリンタ」を選択します。

4 「NDPS プリンタ名」欄に、「プリンタ名」を入力します。

5 「プリンタエージェントのソース」欄で「新規プリンタエージェントを作成する」を選択し、「作成」をクリックします。

6 プリンタエージェント名を確認し、「NDPS マネージャ名」欄で、NDPS マネージャをブラウズし、登録します。

7 「ゲートウェイタイプ」で、「Novell プリンタゲートウェイ」を選択し、登録します。

8 「Novell NDPS の設定」ウィンドウで、プリンタ「（なし）」、ポートハンドラ「Novell ポートハンドラ」を選択し、登録します。

9 「接続タイプ」で、「リモート（IP 上で LPR）」を選択し、登録します。

10 本機に設定した IP アドレスをホストアドレスに、プリンタ名に「Print」と入力して「完了」を押して登録します。

11 プリンタドライバの登録画面が現れますが、各 OS とも「なし」を選択して登録を終了してください。

✎...

ワンポイントアドバイス）
プリンタを使用するユーザー権限、プリンタ通知オプション、キューの割当ては、NetWare のドキュメントを参照して、必要に応じて設定してください。

NetWare サーバを使用するときのクライアント（Windows）の設定

1 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、「設定」－「プリンタ」をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックして、「プリンタと FAX」をクリックします。

2 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、「プリンタの追加」をダブルクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、「プリンタのタスク」メニューから「プリンタのインストール」をクリックします。

「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

3 印刷先ポートの設定で、ネットワークを参照し、作成したキュー名（または NDPS プリンタ名）を指定します。

4 プリンタのモデル一覧で、CD-ROM 内のプリンタドライバのあるフォルダを使用する言語、OS やプリンタドライバに応じて指定します。

OS	プリンタドライバ	フォルダ
Windows 98SE/Me	KONICA MINOLTA 製 PCL	User Software CD-ROM「Drivers¥KonicaMinoltaPCL¥bizhub750_600」フォルダ
	PostScript PPD ドライバ	User Software CD-ROM「Drivers¥PPD」フォルダ
Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/	KONICA MINOLTA 製 PCL	User Software CD-ROM「Drivers¥KonicaMinoltaPCL¥bizhub750_600」フォルダ
	KONICA MINOLTA 製 PS	User Software CD-ROM「Drivers¥KonicaMinoltaPS」フォルダ
	PostScript PPD ドライバ	User Software CD-ROM「Drivers¥PPD」フォルダ

5 画面の指示にしたがってインストールを完了します。

3.8 Macintosh による利用

本機の設定

本機に IP アドレスを設定します。設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をご覧ください。

また、PageScope Web Connection で以下のように AppleTalk または Bonjour の設定を行います。

✎...

ご注意）
ここでは、Windows にて設定しております。Macintosh にて設定する場合は、「動作環境」（p. 1-8）の対応 Web ブラウザをご覧の上、設定してください。

AppleTalk の設定

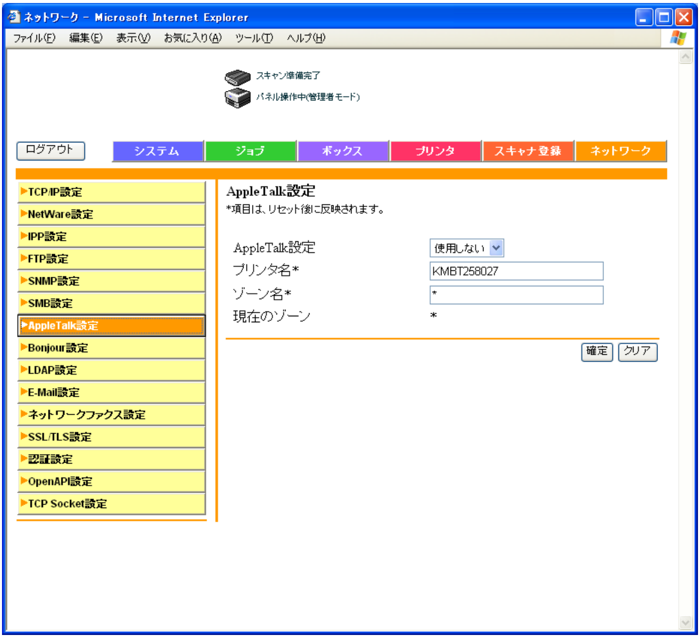
1 PageScope Web Connection を起動します。

❍ ログイン画面が表示されていない場合は、［ログアウト］をクリックしてログアウトします。

2 ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。

4 「ネットワーク」タブから「AppleTalk 設定」メニューを選択します。



5 以下の項目を設定します。

AppleTalk ： AppleTalk を使用するかどうかを設定します。ここでは［使用する］を選択します。

プリンタ名 ： プリンタ名を設定します（半角英数字 31 文字以内）。

ゾーン名 ： 接続する「ゾーン名」を設定します（半角英数字 31 文字以内）。

6 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

Bonjour の設定

本機を Macintosh と Bonjour/Rendezvous 接続するときは、Bonjour の設定が必要です。

...

メモ）
Bonjour 接続は OS X 10.4 の機能で、10.3 以前の Rendezvous 接続と同等の機能です。

1 PageScope Web Connection を起動します。

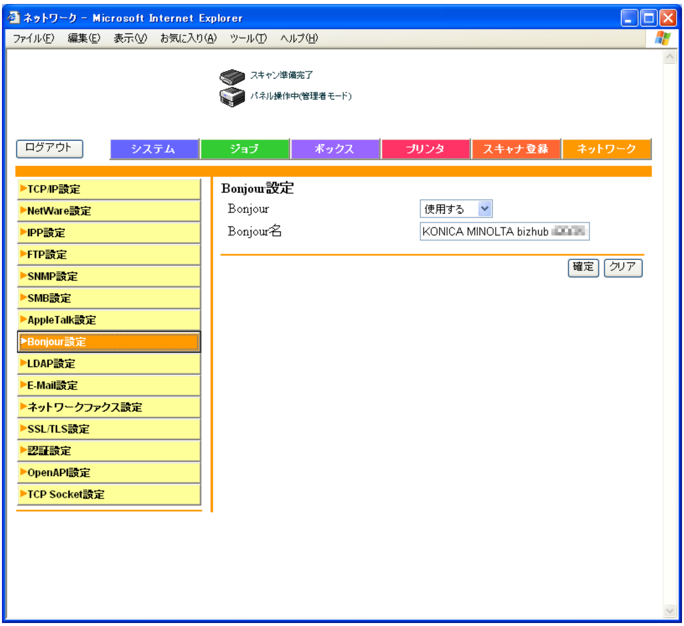
- ログイン画面が表示されていない場合は、［ログアウト］をクリックしてログアウトします。

2 ログイン画面で［管理者］を選択し、［ログイン］をクリックします。

3 管理者パスワードを入力し、管理者モードにログインします。

4 「ネットワーク」タブから「Bonjour 設定」メニューを選択します。

5 以下の項目を設定します。



Bonjour 設定： Bonjour/Rendezvous 接続を使用するかどうかを設定します。ここでは「使用する」を選択します。

Bonjour 名： 接続機器名として表示させる Bonjour 名を設定します（半角英数字記号 63 文字以内）。

6 設定を有効にするため、本機の主電源の再投入（OFF/ON）を行います。

OFF した後、10 秒以上待って電源を ON にすると設定が変更されます。

Macintosh の設定

接続している Macintosh で、TCP/IP と AppleTalk を設定します。

✎...

ワンポイントアドバイス)

ネットワーク設定の詳細は、ネットワーク管理者に確認してください。

プリンタドライバのインストール方法は、「プリンタドライバのインストール」(p. 2-1)をご覧ください。

Bonjour(OS X 10.4 の機能)は常に有効であるため、設定を変更する必要はありません。

Bonjour/Rendezvous は、OS X の機能です。OS 9 は、[AppleTalk] で接続してください。

Mac OS X の場合

1 「アップル」メニューの「システム環境設定」を選択します。

2 「ネットワーク」アイコンをクリックします。

3 「表示」で「内蔵 Ethernet」を選択します。

4 「TCP/IP」タブをクリックします。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定」項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 AppleTalk 接続を利用する場合は、「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk」チェックボックスが ON になっているか確認します。

7 画面左上のクローズボタンをクリックします。

「設定の変更を適用しますか?」というメッセージが表示されます。

8 [適用] をクリックします。

AppleTalk と Ethernet の設定が保存されます。

Mac OS 9 の場合

1 「アップル」メニューの「コントロールパネル」－「AppleTalk」を選択します。

2 「経由先」で「Ethernet」を選択します。

3 「アップル」メニューの「コントロールパネル」－「TCP/IP」を選択します。

4 「経由先」で「Ethernet」を選択します。

5 Macintosh を接続するネットワークの設定に応じて、該当する「設定方法」の項目を選択し、IP アドレスやサブネットマスクなどを設定します。

6 画面左上のクローズボタンをクリックします。

「変更内容を現在の設定に保存しますか？」というメッセージが表示されます。

7 ［保存］をクリックします。

4 色々な印刷方法

4.1 印刷操作

Windows の場合

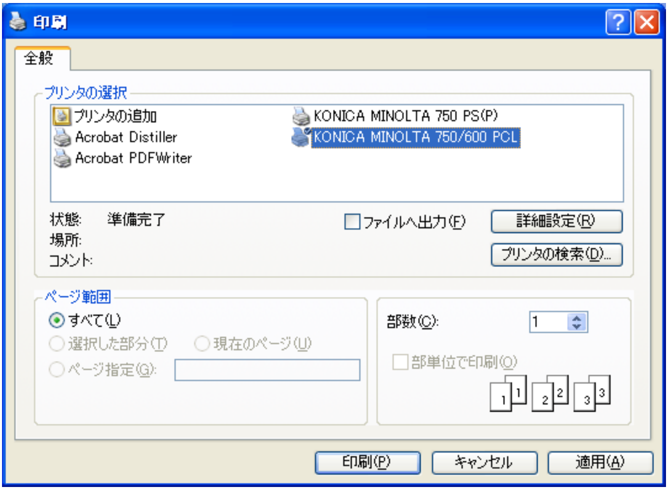
アプリケーションソフトウェアからプリントする

通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

1 アプリケーションソフトウェアでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［印刷］（または［プリント］）をクリックします。

2 ［プリンタ名］（または［プリンタの選択］）でプリントしたいプリンタ名が選択されているか確認します。

目的のプリンタが選択されていないときは、クリックして選択します。



...

ワンポイントアドバイス）
「印刷」画面は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

3 プリントするページ範囲や部数を設定します。

4 必要に応じて［プロパティ］（または［詳細設定］）をクリックし、プリンタドライバの設定を変更します。

✎...

ご注意）
「印刷」画面で［プロパティ］や［詳細設定］をクリックすると、プリンタドライバの設定画面が表示され、各種機能を設定できます。詳しくは、「PCL ドライバの設定」（p. 5-1）または「KONICA MINOLTA PS ドライバの設定」（p. 6-1）、「PPD ドライバの設定（Windows）」（p. 7-1）をご覧ください。

「印刷」画面から変更したプリンタドライバの設定は保存されず、アプリケーションソフトウェアを終了すると元にもどります。

5 ［印刷］をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

テスト印刷

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。正しく接続されているかどうか確認するときは、Windows 標準のテストページが利用できます。

テストページは、プリンタドライバのプロパティから行います。

1 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、［設定］－［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

2 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［全般］タブを選択し、［テストページの印刷］（または［印字テスト］）をクリックします。

テストページがプリントされ、確認画面が表示されます。

4 確認したら、［OK］（または［はい］）をクリックします。

✎...

ご注意）
正しくプリントされない場合は、正しいプリンタドライバがインストールされていること、ネットワーク設定が完了していることを確認してください。

Macintosh の場合

プリンタドライバのインストールやネットワーク設定が完了すると、プリントできるようになります。通常、プリントはアプリケーションソフトウェアから指定します。

Mac OS X の場合

1 アプリケーションでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［プリント］（または［印刷］）をクリックします。

2 「プリンタ」でプリントしたいプリンタが選択されているか確認します。



3 部数と印刷範囲を設定して、［プリント］をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

✎...

ワンポイントアドバイス）

プリンタが表示されないときは、［プリントセンター］（または［プリンタ設定ユーティリティ］）でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」（p. 2-35）をご覧ください。

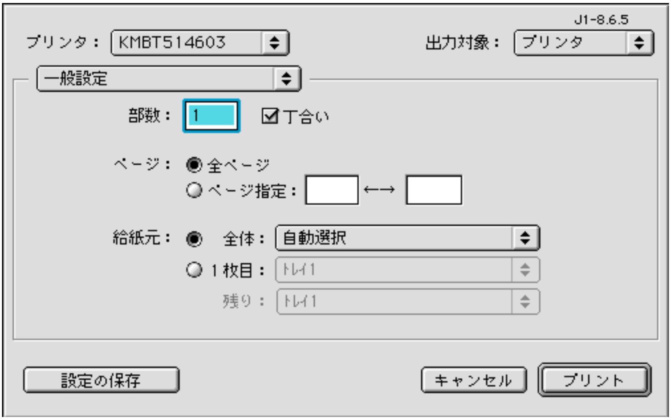
「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

Mac OS 9 の場合

1 アプリケーションでデータを開き、［ファイル］をクリックしてメニューから［プリント］（または［印刷］）をクリックします。

2 「プリンタ」でプリントしたいプリンタが選択されているか確認します。

3 ［一般設定］を選択します。



✎...

ワンポイントアドバイス）

プリンタが表示されないときは、「セレクタ」でプリンタを選択します。詳しくは、「プリンタの選択」（p. 2-35）をご覧ください。

「プリント」画面はアプリケーションによって異なります。

［設定の保存］をクリックすると、設定内容が保存されます。

4 部数と印刷範囲を設定して、［プリント］をクリックします。

本機のデータランプが点滅します。

4.2 プリンタ機能を設定するには

パソコンからプリントするときでも、ソートや製本など、本機の機能を指定できます。本機の機能の設定方法は、接続しているパソコンの OS によって異なります。

機能一覧

印刷に関する主な設定項目とプリンタドライバの対応をまとめています。

...

ワンポイントアドバイス）

機能の名称は、Windows XP の PCL プリンタドライバで表示されるものを基本に記載しています。また、記載されている項目や設定値はオプションの有無や設定によって表示が異なる場合があります。

機能	概要	プリンタドライバ		
		PCL	PS	PPD
用紙方向	用紙の方向を選択します。	○	○	○
原稿サイズ	原稿の用紙サイズを設定します。	○	○	
出力サイズ	プリントする用紙のサイズを設定します。	○	○	○
ズーム	拡大・縮小してプリントします。	○	○	○
給紙トレイ	プリントする給紙トレイを選択します。	○	○	○
用紙種類設定	給紙トレイの用紙種類を設定します。	○	○	○
とじ位置	とじ位置を選択します。	○	○	○
印刷種類	印刷種類（片面、両面、小冊子）を選択します。	○	○	○
ページ割付	複数ページを 1 枚の用紙に割付けてプリントします。	○	○	○
とじしろ	パンチ穴をあけたり、ステープル止めするための余白をつけます。	○		
ステープル	ステープル止めをします。[*1]	○	○	○
パンチ穴	パンチ穴を開けます。[*1]	○	○	○
中とじ	中とじの設定をします。[*1]	○	○	○
折り	出力用紙の折りを設定します。[*1]	○	○	○
出力方法（ジョブ管理）	通常のプリントのほか、機密プリントやボックス保存など特殊な出力形態を選択します。	○	○	△（Mac OS X のみ）
部数	プリントする部数を指定します。	○	○	○
排紙トレイ	用紙を排出するトレイを選択します。	○	○	○

機能	概要	プリンタドライバ		
		PCL	PS	PPD
ソート	複数ページのデータを 1 部ずつまとめてプリントします。	○	○	○
仕分け	複数部数をプリントするときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。	○	○	○
白紙抑制	データに白ページがある場合、プリントしません。	○		
PI カバーシート	印刷文書にカバーシートをつけます。	○	○	○
認証・部門管理	認証・部門管理を行います。 登録したユーザ ID とパスワードを入力してからプリントを行います。	○	○	△ （Mac OS X のみ）
ページ単位設定	印刷文書中に用紙を挿入したり、途中から給紙トレイを変更させることが出来ます。	○	○	
オモテ表紙	表紙を付けてプリントします。	○	○	○
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。	○	○	○
章分け	両面印刷や小冊子印刷のとき、必ずオモテ面にしたいページを設定します。	○	○	
フォーム	別途作成したフォームデータと原稿を重ねてプリントします。	○	○	
一枚集約	用紙に 2 ページ分の文書を印刷します。	○	○	○
イメージシフト	印刷するイメージを移動させる場合に設定します。	○	○	○
ウォーターマーク	文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。	○	○	
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。	○	○	
パターン	白黒のドット（点）の密度を変化させて画像を表現します。	○		
印刷濃度	印刷濃度を設定します。	○	○	○
黒で印刷	細い線や色付き文字、図形などが薄く印刷されないようにします。	○		
スムージング	文字や画像などの曲線を滑らかにして印刷します。	○	○	○
プリンタフォントを使用する	TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。	○	○	○
モード選択（FAX）	文書をファクスする場合に設定します。*1	○		

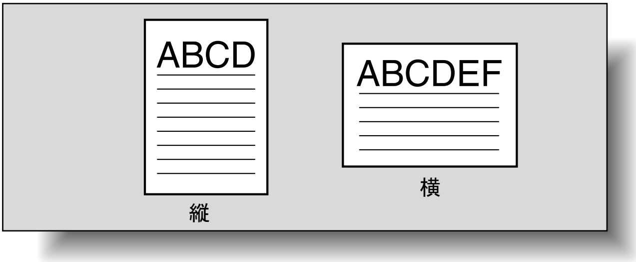
*1　オプション設定時対応可

機能概要

各機能の概要をまとめています。

用紙方向

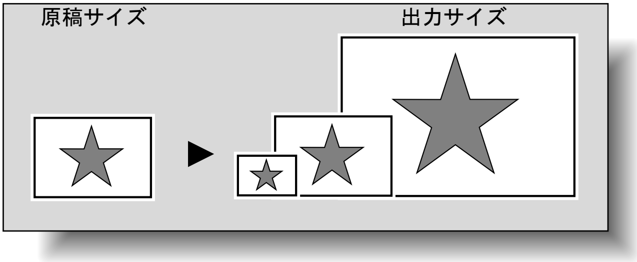
用紙に対する印刷方向を「縦」または「横」に設定します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」(p. 6-6)
	PostScript PPD ドライバ	「レイアウトタブの設定」(p. 7-4)
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「ページ属性(基本設定)」(p. 9-5)
Mac OS 9		「ページ属性(基本設定)」(p. 8-6)

原稿サイズ／出力サイズ

原稿の用紙サイズとプリントする用紙のサイズを設定します。それぞれの項目を設定することで、拡大・縮小を指定できます。



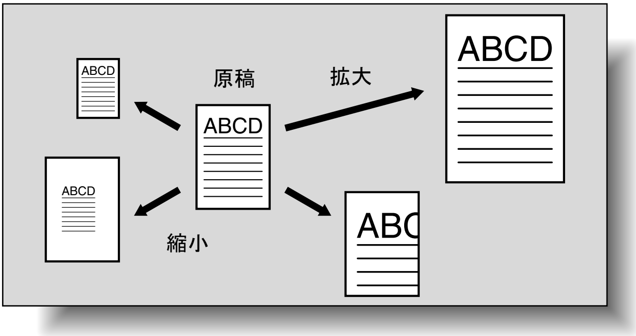
OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「ページ属性（基本設定）」（p. 9-5）
Mac OS 9		「ページ属性（基本設定）」（p. 8-6）

✎...

ワンポイントアドバイス）
Windows/Macintosh 用 PostScript PPD ドライバは、プリントする用紙サイズのみ指定できます。

ズーム（拡大縮小）

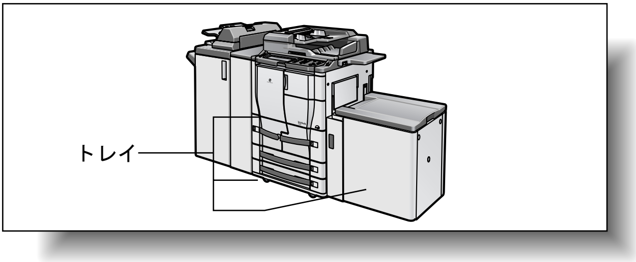
拡大・縮小倍率を数値で指定します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「ページ属性（基本設定）」（p. 9-5）
Mac OS 9		「ページ属性（基本設定）」（p. 8-6）

給紙トレイ（給紙方法）

給紙トレイでは、プリントする給紙トレイを選択します。用紙種類を変更する場合など、給紙トレイを選択することで使い分けられます。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「用紙 / 品質タブの設定」（p. 7-5）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「給紙」（p. 9-10）
Mac OS 9		「一般設定（基本設定）」（p. 8-9）

用紙種類（メディア）

プリントする用紙種類を指定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「用紙 / 品質タブの設定」（p. 7-5）

✎...

ワンポイントアドバイス）

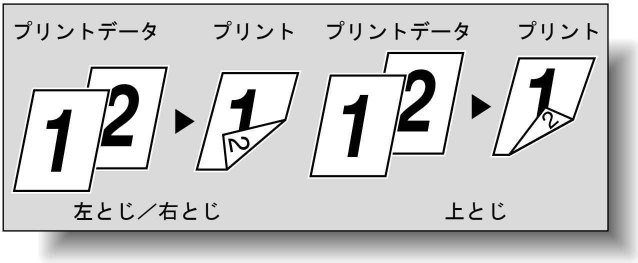
KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバは、用紙種類設定であらかじめ、給紙トレイの用紙種類を設定しておきます。

印刷種類（両面印刷／小冊子印刷）

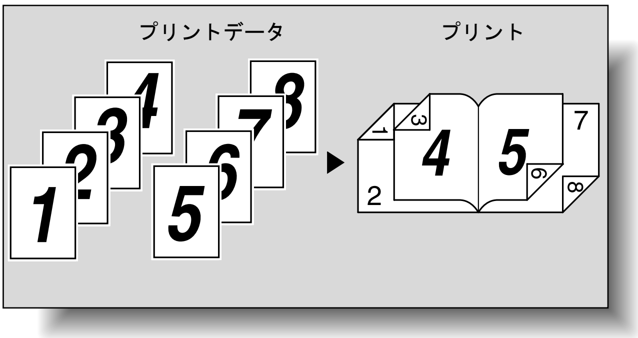
文書を、用紙の両面、または小冊子形式（見開き、中とじ）にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

とじ位置を指定することで、とじる辺を指定できます。

両面印刷



小冊子印刷



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「出力設定」（p. 9-13）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

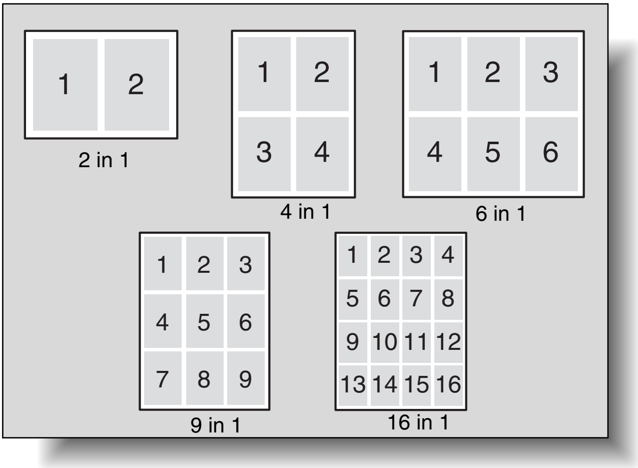
✎...

ご注意）

小冊子形式で使用可能な「中とじ」は、フィニッシャー FS-602 が装着されている場合のみ、使用可能になります。

ページ割付

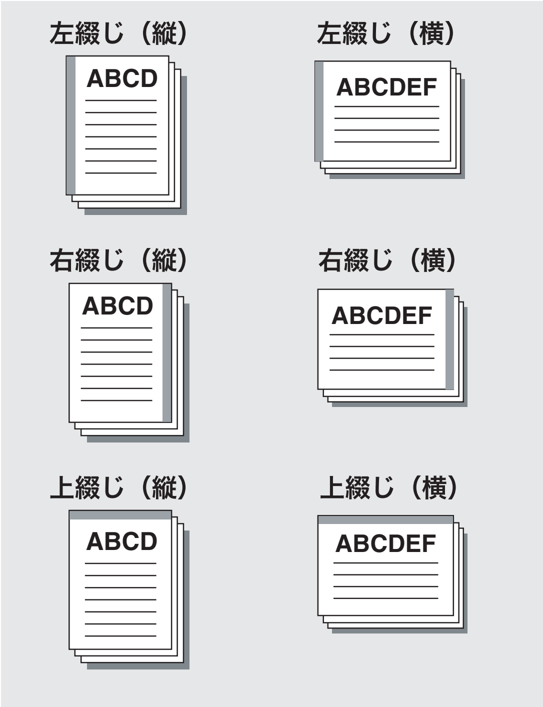
複数ページの文書を 1 枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「レイアウトタブの設定」（p. 7-4）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「レイアウト（ページ割付）」（p. 9-9）
Mac OS 9		「レイアウト（ページ割付）」（p. 8-10）

とじしろ

画面の印刷位置をずらして余白をあけます。

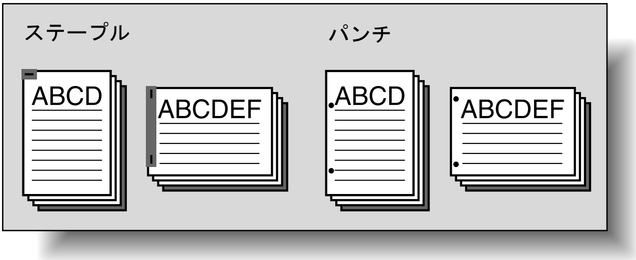


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」(p. 5-5)

ステープル／パンチ

文書をステープルでとじたり、パンチ穴を開けます。

とじしろを指定すると、ステープルまたはパンチ穴用の余白を設定できます。



✎...

ご注意）

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー （SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。さらにパンチキットもしくはパンチ /Z 折りユニットが装着されている必要があります。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「出力設定」（p. 9-13）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

出力方法（ジョブ管理）

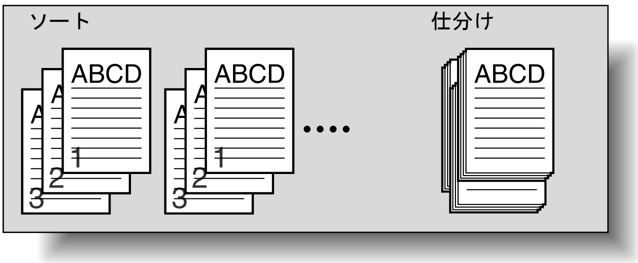
プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セキュリティ」（p. 9-11）

ソート（部単位）／仕分け（オフセット）

1、2、3...、1、2、3...、と部数ごとに印刷することができます。

仕分けを指定すると、部数単位で排紙位置を手前と奥にずらして排出できます。（シフト可能な Finisher 付きの場合）Finisher がない場合は、交互給紙されます。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「一般設定（基本設定）」（p. 9-8）、「出力設定」（p. 9-13）
Mac OS 9		「一般設定（基本設定）」（p. 8-9）、「Finishing Option」（p. 8-11）

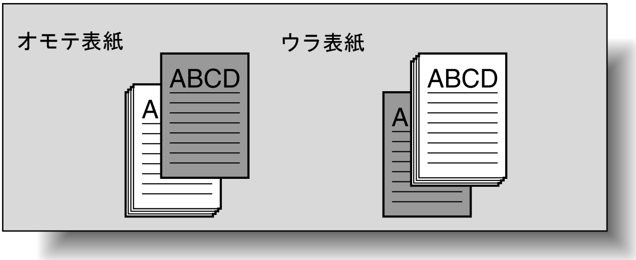
白紙抑制（白紙節約）

データに白ページがある場合、プリントしません。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）

オモテ表紙／ウラ表紙／ページ単位設定

表紙やウラ表紙を付けてプリントしたり、ページの間に用紙を挿入します。（ページ単位設定は PCL および KONICA MINOLTA PS プリンタドライバのみです。）



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 5-20）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 6-25）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セットアップ」（p. 9-15）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

PI カバーシート

印刷文書にカバーシートをつけます。厚紙などをカバーシートとして、印刷文書に付けることができます。

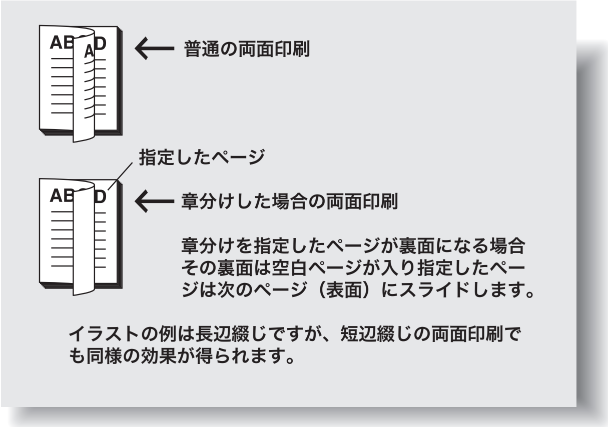
OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 5-20）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 6-25）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セットアップ」（p. 9-15）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

…

ご注意）
オプションのカバーシートフィーダ（PI-501）を装着されている場合のみ使用可能となります。

章分け

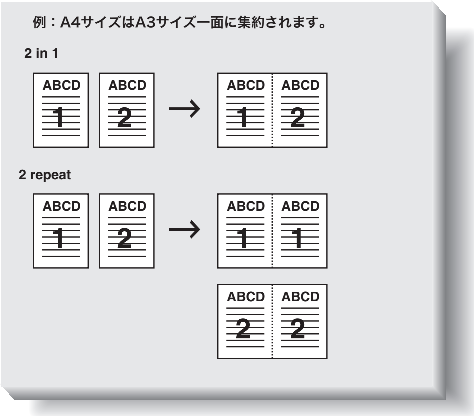
両面印刷 / 小冊子印刷の際、指定したページを必ず表面に設定することができます。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 5-20）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「ページ単位設定タブの設定」（p. 6-25）

1 枚集約

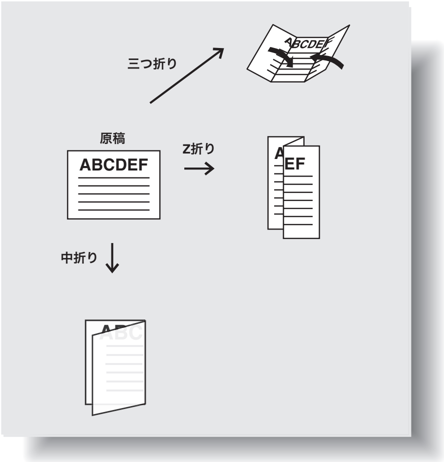
用紙文書 2 ページを用紙 1 枚にまとめたり（2 in 1）、用紙文書 1 ページとそのコピーを用紙 1 枚にまとめることができます（2 repeat）。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 5-29）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 6-34）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セットアップ」（p. 9-15）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

折り

用紙を折り、加工して出力します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 5-29）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 6-34）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セットアップ」（p. 9-15）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

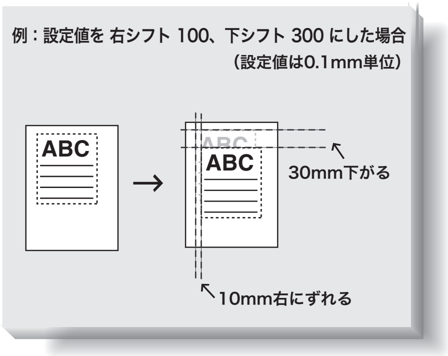
✎...

ご注意）

オプションのフィニッシャー FS-602（三つ折り、中折り）またはパンチ /Z 折りユニット（Z 折り）が装着されている場合のみ使用可能になります。

イメージシフト

印刷位置を調節して出力します。

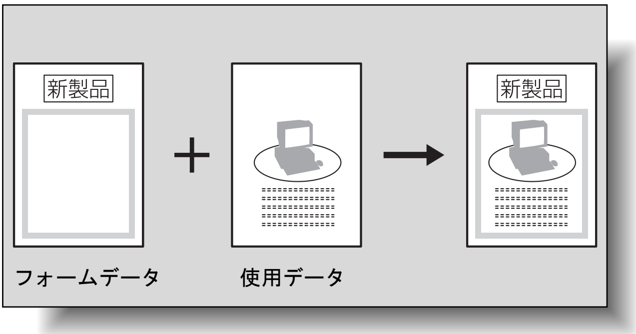


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 5-29）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「特殊機能タブの設定」（p. 6-34）

フォーム

別途作成したフォームデータを重ね合わせてプリントします。

フォーム

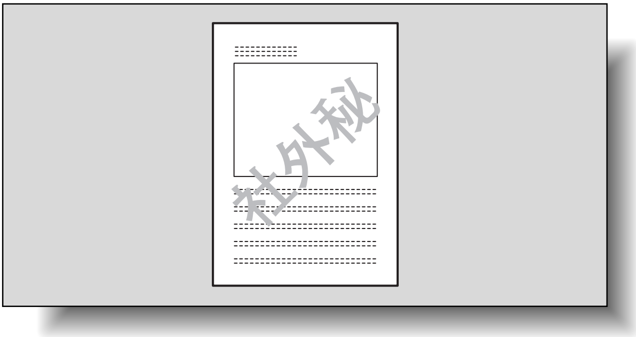


OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「フォームタブの設定」（p. 5-32）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「フォームタブの設定」（p. 6-41）

ウォーターマーク

ウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。

ウォーターマーク



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「ウォーターマークタブの設定」（p. 5-36）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「ウォーターマークタブの設定」（p. 6-49）

画質調整

画質を調整します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「画像品質タブの設定」（p. 5-39）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「画像品質タブの設定」（p. 6-45）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「画像 / レイアウト」（p. 9-14）
Mac OS 9		「Finishing Option」（p. 8-11）

プリンタフォントを使用する（代用フォント）

TrueType フォントをプリンタフォントに置換える設定を行います。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「フォントタブの設定」（p. 5-42）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「フォントタブの設定」（p. 6-52）
	PostScript PPD ドライバ	「詳細設定」（p. 7-6）
Mac OS 9	PostScript PPD ドライバ	「PostScript オプション」（p. 8-8）

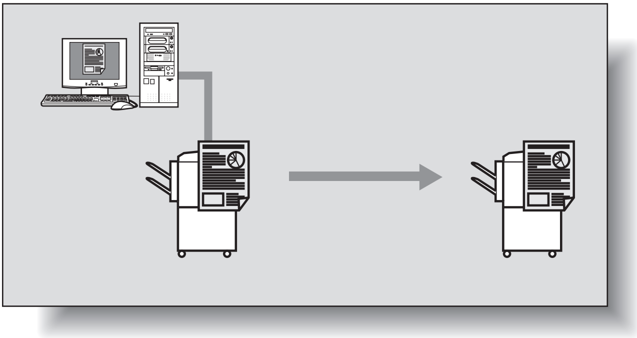
認証 / 部門管理

本機で認証もしくは部門管理を行っている場合に設定します。

OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 5-5）
	KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ	「セットアップタブの設定」（p. 6-6）
Mac OS X	PostScript PPD ドライバ	「セキュリティ」（p. 9-11）

ファクス送信する

文書をファクス送信します。



OS	プリンタドライバ	参照先
Windows	KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ	「FAX タブ」（p. 5-4）

✎...

ご注意）
ファクス機能を利用するには、本機にオプションの Fax キットを装着する必要があります。

Windows の場合

プリント時に利用できる本機の機能は、Windows の「プリンタ」（Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は「プリンタと FAX」）ウィンドウで、プリンタドライバの設定ダイアログを表示して設定します。

この方法で表示した設定ダイアログで行った設定は、全てのアプリケーションソフトウェアでプリンタを使用するときに適用されます。

1 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、[スタート] をクリックし、[設定] ー [プリンタ] をクリックします。
Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、[スタート] をクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

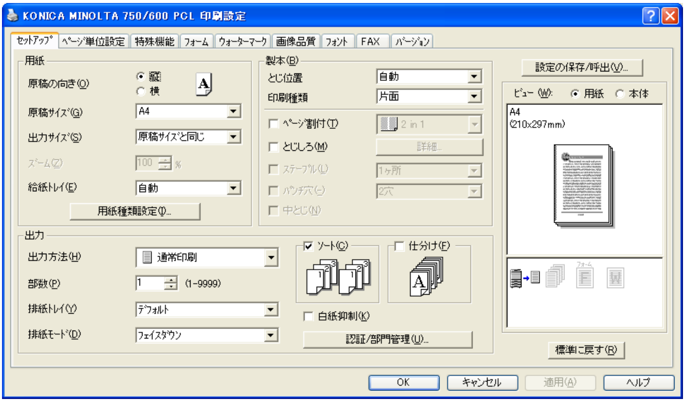
2 Windows 98SE/Me の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして [プロパティ] をクリックします。
Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして [印刷設定] をクリックします。
Windows NT 4.0 の場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして [ドキュメントの既定値] をクリックします。

以下のようなプリンタドライバの設定ダイアログが表示されます。

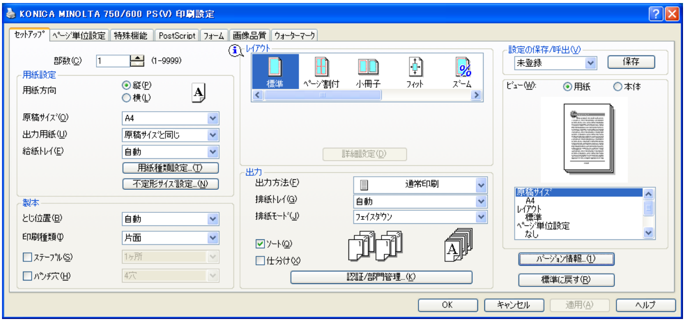
各プリンタドライバで設定できる項目については以下のページをご覧ください。

- KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ :「PCL ドライバの設定」（p. 5-1）
- KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ:「KONICA MINOLTA PS ドライバの設定」（p. 6-1）
- PostScript 用 PPD ドライバ :「PPD ドライバの設定（Windows）」（p. 7-1）

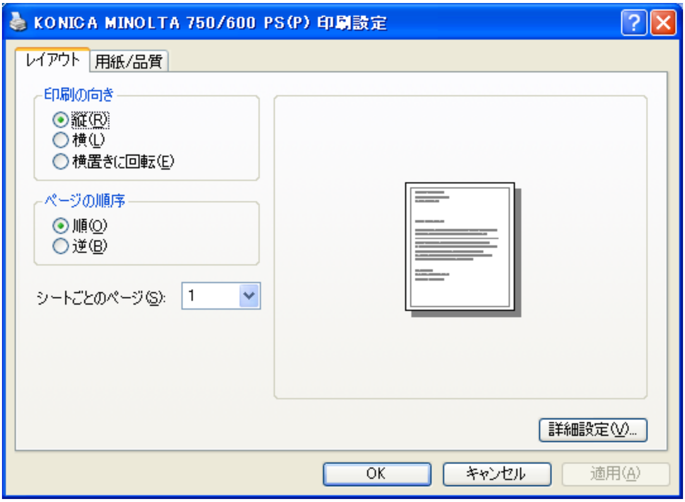
KONICA MINOLTA 製 PCL ドライバ



KONICA MINOLTA 製 PS ドライバ



PostScript 用 PPD ドライバ



...

ご注意)

このダイアログの各タブを使用して、プリンタドライバの設定を行います。

プリントするファイルごとに設定する場合は、アプリケーションソフトウェアで「印刷」を指定したときに表示される「印刷」画面で[プロパティ]をクリックしてください。「印刷」画面から設定した内容は、一時的な設定となります。

Windows NT 4.0/2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 で装着オプションの設定をする場合は、インストールしたプリンタのアイコンを右クリックして「プロパティ」をクリックします。

Macintosh の場合

プリント時に利用できる本機の機能は、「プリント」画面や「ページ設定」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は元にもどります。

「プリント」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから [プリント](または [印刷])を選択します。



「ページ設定」画面の表示

アプリケーションソフトウェアでデータを開き、[ファイル] メニューから [ページ設定](または [用紙設定])を選択します。



各プリンタドライバで設定できる項目については以下のページをご覧ください。

- Mac OS X :「PPD ドライバの設定(Mac OS X)」(p. 9-1)
- Mac OS 9 :「PPD ドライバの設定(Mac OS 9)」(p. 8-1)

✎...

ワンポイントアドバイス)

「プリント」画面や「ページ設定」画面の内容はアプリケーションソフトウェアによって異なります。

「ページ設定」画面の表示は、アプリケーションソフトウェアによっては、[ファイル] メニューから [用紙設定] − [オプション] と選択する場合もあります。

ジョブを確認する

本機操作パネルから、プリント実行中のリスト・履歴等を確認することができます。

- プリントリストを表示する

1 操作パネルの［ジョブ確認］を押します。

［実行中リスト］画面が表示され、現在プリント中であればリストが表示されます。



2 [履歴リスト] を押します。

プリント画面の履歴リストが全ジョブモードで表示されます。



✎...

メモ）

［履歴リスト］を押して最初に表示される画面は［全ジョブ］です。

- 受信 / 保存を確認する

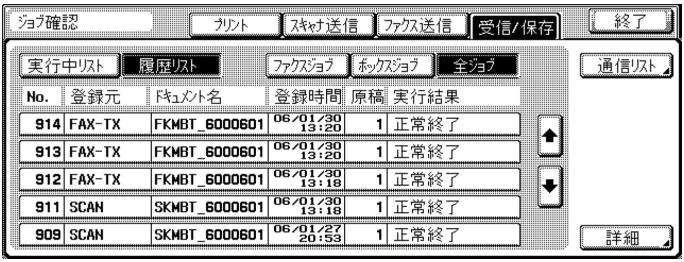
プリンタドライバから BOX 保存を行った際、履歴が表示されます。

1 操作パネルの［ジョブ確認］を押し、［受信 / 保存］を押します。

［実行中リスト］が表示されます。



2 ［履歴リスト］を押すと、今まで BOX 保存、FAX 受信を行ったリストが表示されます。

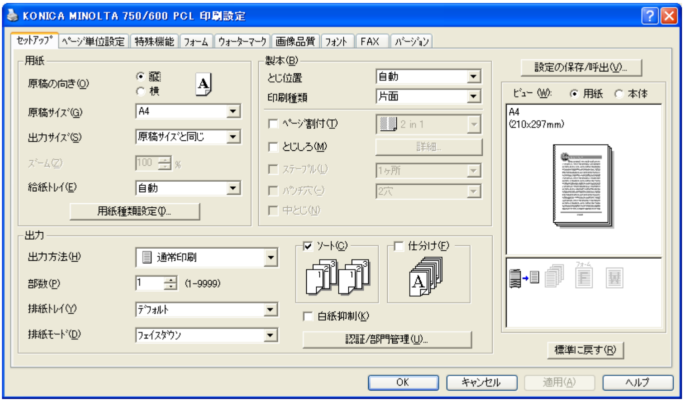


5 PCL ドライバの設定

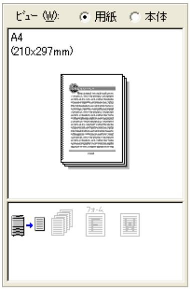
5.1 設定項目

共通項目

ここでは、各タブの全画面で共通の設定やボタンについて説明します。



ボタン名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
適用	このボタンをクリックすると、設定画面を閉じずに、変更した設定を有効にします。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
設定の保存 / 呼出	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。

ボタン名	機能
ビュー	［用紙］を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、プリント結果のイメージを確認できます。 ［本体］（本機）を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンタ構成の図が表示されます。  用紙  本体

✎...

ご注意）

装着されているオプションを有効にするには、［オプション］の設定が必要です。詳しくは、「オプションの設定」（p. 5-57）をご覧ください。

セットアップタブ

項目名	機能
用紙	用紙方向、用紙サイズ、給紙トレイ、用紙種類を設定します。
製本	とじ位置、両面印刷、小冊子印刷、中とじ、ページ割付、とじしろ、ステープル、パンチの製本形態を設定します。
出力	出力方法、部数、排紙トレイ、ソート、仕分けなどの出力形態を設定します。

ページ単位設定タブ

項目名	機能
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
PI カバーシート	表紙を厚紙などでプリントする場合に設定します。
章分け	両面印刷 / 小冊子印刷をする際に特定のページが必ず表になるようにプリントする場合に設定します。
ページ単位設定	文書中に用紙を挿入するだけでなく、白紙を挿入したり、ページ毎に給紙元を変えることができます。

特殊機能タブ

項目名	機能
1 枚集約	［出力サイズ］で設定されているサイズの倍の大きさの用紙に、出力サイズ 2 枚分の内容をひとまとめに印刷する場合に設定します。
折り	用紙を折り、加工して出力します。
イメージシフト	出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整する場合に設定します。

フォームタブ

項目名	機能
フォーム	フォーム印刷を設定します。

ウォーターマークタブ

項目名	機能
ウォーターマーク	印刷文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせてプリントします。
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。

画像品質タブ

項目名	機能
パターン	白黒のドット（点）の密度を変化させて画像を表現します。
印刷濃度	印刷濃度を設定します。
黒で印刷	色付きの細い線や文字、図形などが薄く印刷されないようにします。
スムージング	文字や画像などの曲線を滑らかにして印刷します。

フォントタブ

項目名	機能
プリンタフォントを使用する	プリント時に、TrueType フォントを使うか、プリンタフォントを使うかを設定します。
ダウンロードフォント	プリンタにダウンロードするフォントをビットマップかアウトラインかで選択します。

FAX タブ

項目名	機能
モード選択	プリントするかファクスするかを選択します。
FAX モード	ファクスの解像度や送信条件を設定します。
FAX カバーシート	ファクスのカバーシートを設定します。
送付先設定	送付先を入力します。
電話帳入力	送付先を電話帳に登録します。
送付先一覧	送付先または電話帳に登録された相手を表示します。

バージョンタブ

項目名	機能
バージョン	プリンタドライバのバージョンを表示します。

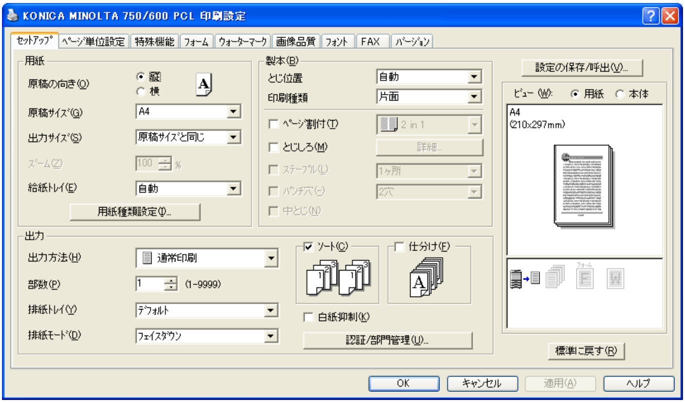
オプションタブ

項目名	機能
オプション	本機に装着されているオプションを設定します。
オプション情報	プリンタドライバのオプション設定を自動的に行います。

✎...

メモ）
オプションタブを表示させる場合は、［スタート］－［設定］－［プリンタ］（もしくは、［スタート］－［プリンタと FAX］）内にある、IC-202（KONICA MINOLTA 750/600 PCL）のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5.2 セットアップタブの設定



用紙サイズに合わせてプリントする

作成した文書を、プリント時に出力用紙に合わせて拡大／縮小できます。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［原稿サイズ］と［出力サイズ］を選択します。

❍ ズームボックスで拡大・縮小率を指定することもできます。

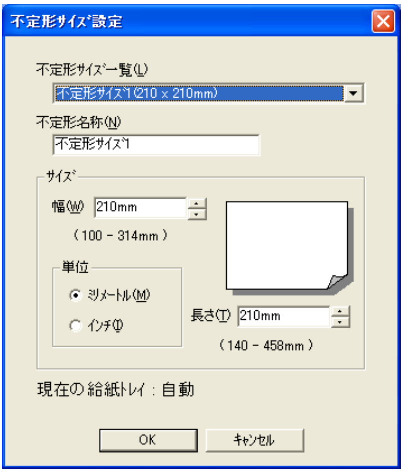
不定形サイズ設定

不定形サイズを選択するときは、あらかじめ、以下の操作で不定形サイズを登録します。

1 ［出力サイズ］から［不定形サイズ設定］を選択します。
「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 以下の項目を設定します。

不定形サイズ一覧：	設定する不定形サイズの名称を選択します。
不定形名称：	不定形サイズを登録したい名称を入力します。
サイズ：	不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定します。



3 ［OK］をクリックします。

印刷位置設定

［印刷位置設定］を選択すると、ワイド紙または不定形用紙の印刷位置を設定することができます。

1 ［原稿サイズ］もしくは［出力サイズ］から［印刷位置設定］をクリックします。

「印刷位置設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 ［先端］、［中央］または［後端］をラジオボタンから選択します。



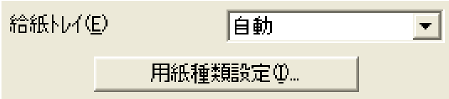
3 ［OK］をクリックします。

給紙トレイを選択する

給紙トレイを変更したり、用紙種類を設定したりすることができます。

1 「セットアップ」タブをクリックします。

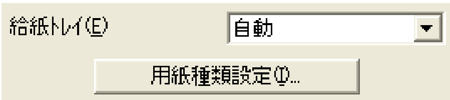
2 「給紙トレイ」で使用したい給紙トレイを選択します。



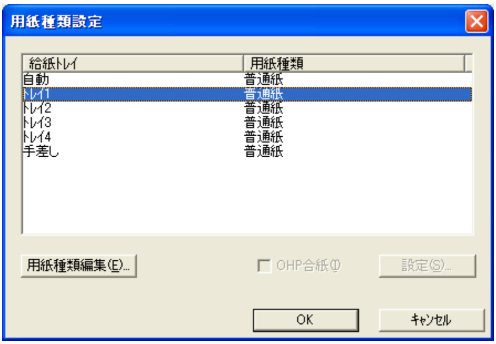
給紙トレイの用紙種類を設定する場合は、以下の操作を行います。

✔ OHP 合紙を使用する場合は、5-9 ページを参照してください。

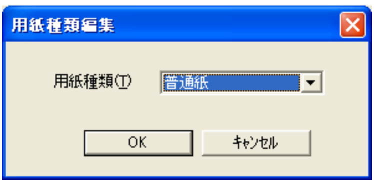
3 ［用紙種類設定］をクリックします。



4 変更する「給紙トレイ」を選択し、［用紙種類編集］をクリックします。



5 「用紙種類」を選択し、［OK］を 2 回クリックし、「用紙種類設定」ボックスを閉じます。

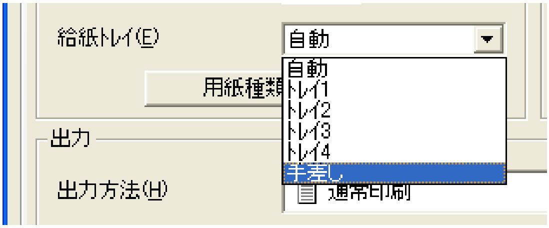


OHP 合紙を使用する

OHP 用紙を印刷する際に、印刷するごとに白紙を挿入させるかを設定することができます。

1 「セットアップ」タブをクリックします。

2 「給紙トレイ」を「手差し」に設定します。



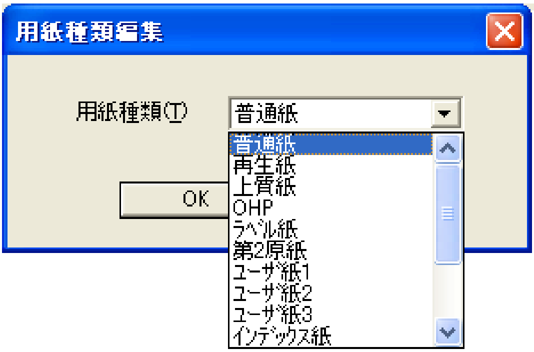
...

メモ）

「給紙トレイ」を「自動」に設定しても、「OHP 合紙」は設定できません。必ず「手差し」に設定してください。

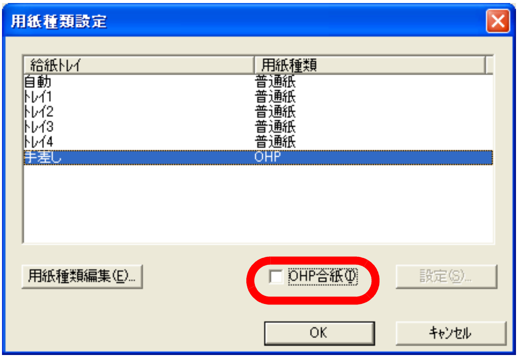
3 ［用紙種類設定］をクリックし、「手差し」を選択します。

4 ［用紙種類編集］をクリックして、「OHP」を選択します。



5 ［OK］をクリックすると、「用紙種類設定」ボックスに戻りますので、「OHP 合紙」チェックボックスを ON にし、［設定］をクリック

します。



6 挿入する用紙が入っているトレイを選択します。



7 ［OK］を 2 回クリックし、「用紙種類設定」ボックスを閉じます。

両面／小冊子印刷を行う

文書を、用紙の両面、または小冊子形式（見開き）にプリントできます。複数ページの文書をとじる場合に便利です。

✔ ［小冊子］で原稿サイズを A4 に設定した場合
A3 の用紙を使用して、仕上がりが A4 サイズになる小冊子を作成します。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「印刷種類」のドロップダウンリストで、［両面］や［小冊子］を選択します。

✎...

メモ）

「とじ位置」のドロップダウンリストで、とじ方向を指定できます。

オプションのフィニッシャー FS-602 が装着されている場合に「小冊子」を指定すると、ページ中央をとじる「中とじ」が指定できます。

ページ割付（N in 1）印刷を行う

複数ページの文書を 1 枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を節約したい場合などに便利です。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［ページ割付］のチェックボックスを ON にします。

3 ［ページ割付］のドロップダウンリストで、1 枚の用紙にプリントするページ数を選択します。

［境界線］や［ページの印刷順序］を変更するときは、ドロップダウンリストから［詳細］を選択し、表示されるダイアログボックスで設定します。



✎...

ご注意）

1 つのプリントジョブ内にサイズや方向が異なるページが含まれる文書をプリントすると、画像が欠損したり、画像が重なったりする場合があります。

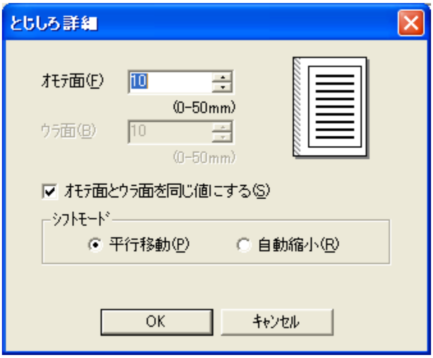
とじしろを設定する

文書に、とじしろを付けてプリントします。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［とじしろ］のチェックボックスを ON にします。

3 ［とじしろ］の幅を設定する場合は［詳細］をクリックして、表示される「とじしろ詳細」ダイアログボックスで値を設定します。



オモテ面／ウラ面：	とじしろの値を設定します。［オモテ面とウラ面を同じ値にする］のチェックボックスを OFF にすると、オモテ／ウラそれぞれの値が設定できます。
シフトモード：	本文のプリント処理を選択します。

ステープルを行う

複数ページの文書を、ステープルでとじます。

✎...

ご注意）
ステープル機能は、オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［ステープル］のチェックボックスを ON にします。

3 ドロップダウンリストでステープルの数と位置を指定します。

✎...

メモ）
「とじ位置」の設定により、選択できるステープルの位置が異なります。

ステープル可能枚数は、普通紙 A4 ▭ 以下で、FS-505 では 100 枚、FS-504/602 では 50 枚です。

パンチを行う

プリントした文書にパンチ穴を開けます。

✎...

ご注意）
パンチ機能は、オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。さらにパンチキット、もしくはパンチ /Z 折りユニットが装着されている必要があります。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［パンチ穴］のチェックボックスを ON にします。

3 ドロップダウンリストでパンチの数を指定します。

中とじを行う

プリントした文書を中とじに加工します。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［中とじ］のチェックボックスを ON にします。

✎...

ご注意）
中とじ機能は、オプションのフィニッシャー FS-602 が装着されている必要があります。

出力方法を選択する

直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

ご注意）
「機密プリント」と「ボックス保存（＆印刷）」は、オプションタブ（p. 5-57）でハードディスクを設定し、「機密プリント」は「機種」が本機と一致しているか確認しておく必要があります。

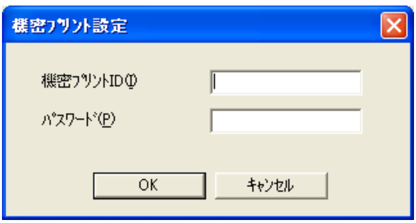
1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［出力方法］のドロップダウンリストで、出力方法を選択します。

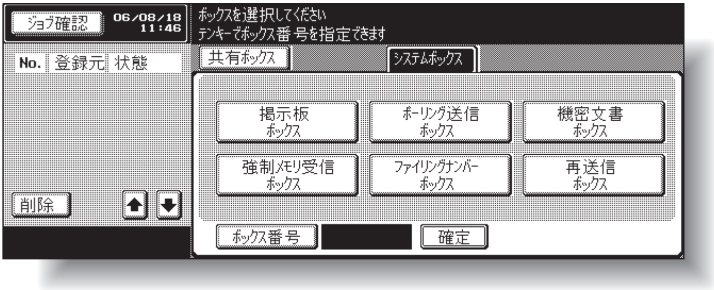
通常印刷：	すぐにプリントされます。
機密プリント：	プリント文書を本機の「機密文書ボックス」に保存します。プリントするときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書をプリントする場合に選択します。（最大 100 文書）
ボックス保存：	プリント文書を本機のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存＆印刷：	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント：	文書が 1 部出力された後、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

機密プリントの場合

「機密プリント」を選択すると、ID とパスワードを入力する画面が表示されるので、機密プリント ID とパスワードを入力します。



プリントする場合は、本機の操作パネルで「ボックス」機能の「システムボックス」－「機密文書ボックス」を使用します。「機密文書ボックス」を選択し、ユーザ ID とパスワードを入力すると文書が表示され、プリントを指定できます。

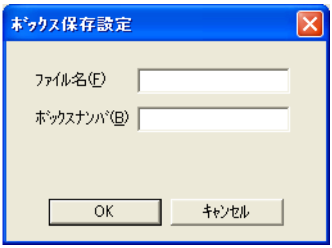


...

メモ)
本機のボックス機能については、ボックス機能編をご覧ください。

ボックス保存の場合

「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選択すると、ファイル名とボックスナンバを入力する画面が表示されるので、保存するファイル名とボックスナンバを設定します。



...

メモ)
本機のボックス機能については、ボックス機能編をご覧ください。

確認プリントの場合

プリントを実行すると、文書が 1 部出力された後、本機が一時停止します。残りのプリント分は本機のジョブとして蓄積されます。複数部数を指定したときなど、結果を確認してから残部のプリントを実行できます。

プリントする場合は、本機の操作パネルから「ジョブ確認」で「蓄積ジョブ」を表示させ、「蓄積解除」を指定します。



ユーザ認証を設定する

本機で認証モードが設定されている場合にユーザ名を登録します。

ご注意）
オプションタブ（p. 5-57）で［機種］が本機と一致していないと、設定後出力することができなくなります。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［認証 / 部門管理］をクリックします。

3 ［認証］のチェックボックスを ON にし、［登録ユーザ］を選択してから、ユーザ名とパスワードを入力します。



4 ［OK］をクリックします。

メモ）
本機でパブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。

ユーザ認証については、本機の管理者にお問合わせください。

部門管理を設定する

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、プリント時にパスワードを入力する必要があります。

✎...

ご注意）
本機側の「部門管理機能」で有効ではないパスワードを入力してプリントした、または「部門管理」にチェックしないでプリントした場合はエラーが起きます。本機操作パネルの操作で「プリント履歴」を確認してください。

オプションタブ（p. 5-57）で［機種］が本機と一致していないと、設定後出力することができなくなります。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［認証 / 部門管理］をクリックします。

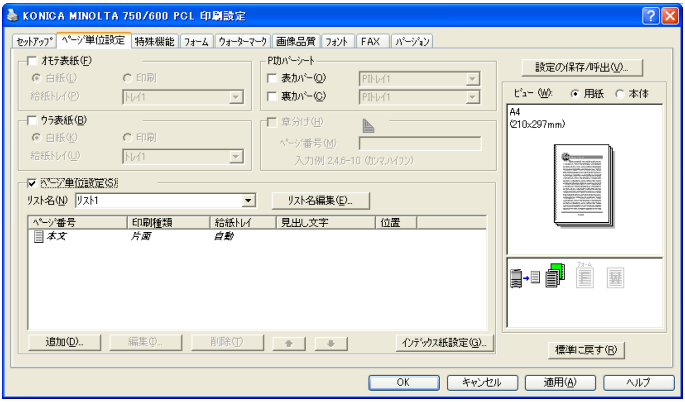
3 ［部門管理］のチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを入力します。

❍ パスワードはジョブごとではなく、デフォルト値を設定しても使用できます。



4 ［OK］をクリックします。

5.3 ページ単位設定タブの設定



オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［オモテ表紙］や［ウラ表紙］のチェックボックスを ON にします。

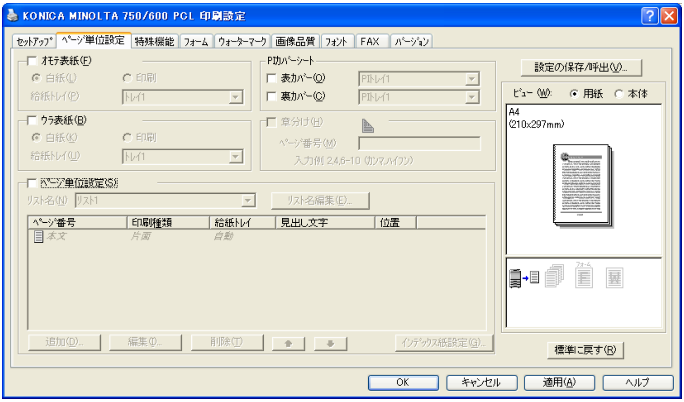
3 ［オモテ表紙］や［ウラ表紙］にもプリントする場合は［印刷］を、用紙のみ付ける場合は［白紙］を選択します。

4 ［オモテ表紙］や［ウラ表紙］として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

PI カバーシートを付けてプリントする

印刷文書にカバーシートを付けます。厚紙などをカバーシートフィーダにセットしておくと、カバーシートとして印刷文書を付けることができます。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。



2 PI カバーシート内の［表カバー］、［裏カバー］チェックボックスを ON にします。

3 ［表カバー］、［裏カバー］として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

...

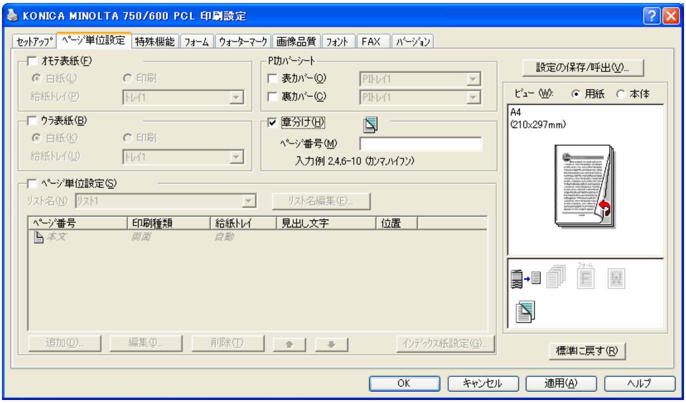
ご注意）

PI カバーシートを付ける場合は、オプションのカバーシートフィーダ（PI-501）を装着されている場合のみ使用可能となります。

章分けをしてプリントする

両面印刷 / 小冊子印刷をする際に特定のページが必ず表になるように印刷することができます。指定したページが両面印刷の裏面であった場合、そのページを次の用紙の表面に移動して印刷します。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。



2 ［章分け］チェックボックスを ON にします。

3 表面にしたいページを、［ページ番号］テキストボックスに入力します。

複数のページをプリントするとき

複数ページのプリントで、途中で給紙トレイを変えたい場合などは、「ページ単位設定」機能が便利です。

ページ単位設定

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

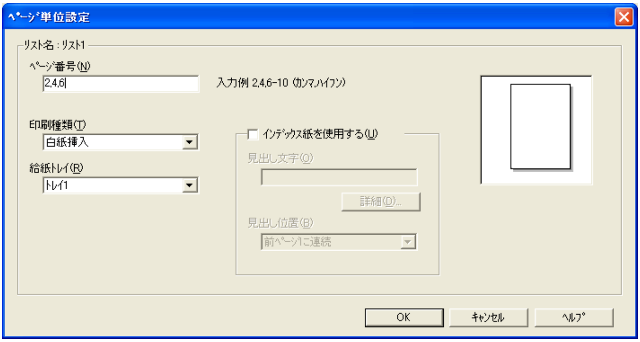
2 ［ページ単位設定］のチェックボックスを ON にします。

3 ［リスト名］を選択します。

…

メモ）
リスト名を変更する場合は、リスト名を選択してから［リスト名編集］をクリックし、表示されるダイアログボックスで設定します。

4 ［追加］をクリックし、表示されるダイアログボックスでページ番号や印刷種類、給紙トレイを設定します。



5 必要に応じて［インデックス紙を使用する］チェックボックスをONにして、挿入紙にインデックス紙を使用する場合の設定を行います。

…

メモ）
インデックス紙の設定についての詳細は、「インデックス紙を使

用する場合」（p. 5-24）をご覧ください。

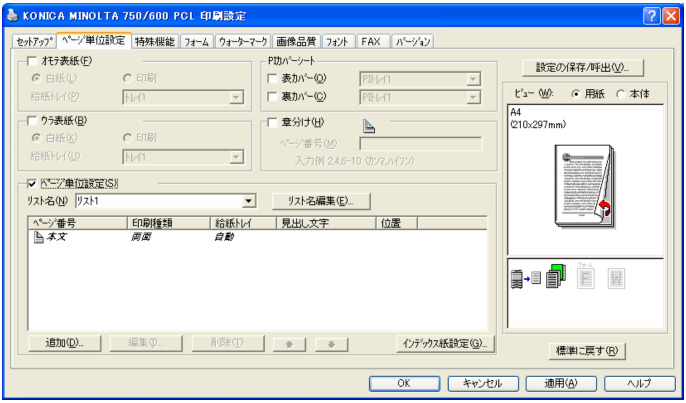
既存の条件は、設定行を選択した状態で［編集］をクリックすると変更でき、［削除］をクリックすると削除できます。

［↑］［↓］をクリックし、ページ番号を変更することができます。

インデックス紙を使用する場合

ページ単位設定で、市販のインデックス紙を使用することができます。

1 ［ページ単位設定］タブを表示します。



2 ［ページ単位設定］チェックボックスを ON にします。

3 ［リスト名］ボックス横の［▼］をクリックして表示されるリストから、使用するリスト名を選択します。

リストボックスに、選択したリストの設定内容が表示されます。

...

メモ）

［リスト 1］から［リスト 10］までの 10 種類のリスト名が、あらかじめ登録されています。

登録できるリストは 10 種類で固定です。

4 ［インデックス紙設定］をクリックします。

「インデックス紙」ダイアログが表示されます。

5 [用紙]-[サイズ]ボックス横の[▼]をクリックして表示されるリストから、使用するサイズを選択します。



...

メモ）

初期設定は [A4 インデックス] です。

6 [用紙]-[見出し数]ボックス横の[▼]をクリックして表示されるリストから使用する見出し数を選択します。

[見出し数] ボックスに直接入力することもできます。

...

メモ）

初期設定は [５] です。

[２] から [１５] の数値を設定できます。

7 必要に応じて [位置調整]-[上部空隙]、[下部空隙]、[間隔]、[文字位置] を設定します。

...

メモ）

設定できる数値の範囲は、[見出し数] の数値によって異なります。

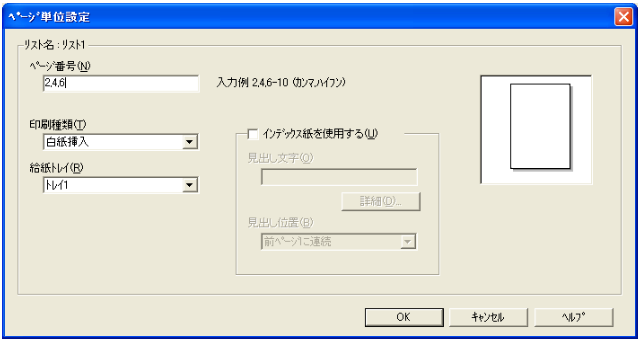
8 [OK] をクリックして、[インデックス紙の設定] ダイアログを閉じます。

[プロパティ] 画面の [ページ単位設定] タブの表示に戻ります。

9 [追加] をクリックします。

[ページ単位設定] ダイアログが表示されます。

10 必要に応じて [ページ番号]、[印刷種類]、[給紙トレイ] を選択します。



11 [インデックス紙を使用する] チェックボックスを ON にします。

12 [見出し文字] ボックスに任意の文字を入力します。

入力可能な文字数は 64 文字です。

13 [詳細] をクリックします。

[見出し文字の詳細] ダイアログが表示されます。

...

メモ）
[見出し文字] に入力がない場合は、[見出し文字の詳細] は使用できません。

14 必要に応じて、[見出し文字]-[方向]、[位置] および [フォント設定]-[フォント名]、[スタイル]、[サイズ] を設定します。



メ モ）

[見出し文字] が半角の場合、[縦] を選択しても無効になり、[横] として印刷されます。

15 [OK] をクリックして、[見出し文字の詳細] ダイアログを閉じます。

[ページ単位設定] ダイアログに戻ります。

16 [見出し文字] を入れる見出しを指定したい場合は、[見出し位置] の [▼] をクリックして、指定したい見出しを選択します。

メ モ）

初期設定は [前ページに連続] です。

17 [OK] をクリックして、[ページ単位設定] ダイアログを閉じます。

[プロパティ] 画面の [ページ設定] タブの表示に戻ります。リストボックスに設定内容が表示されます。

18 さらにインデックス紙を使用する場合は、手順 9 から 16 の操作を行います。

メ モ）

インデックス紙以外で設定する場合は、[ページ単位設定] を参照してください。

19 リストの内容を確認します。

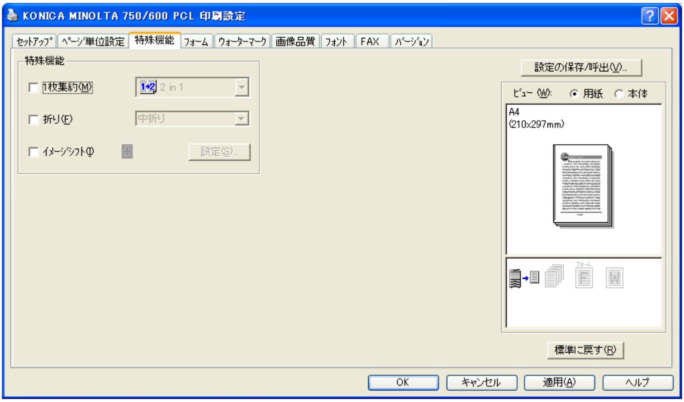
20 [OK] をクリックして、[プロパティ] 画面を閉じます。

✎...

メモ）

ひとつのリストに最大 30 個の設定を追加することが出来ます。

5.4 特殊機能タブの設定



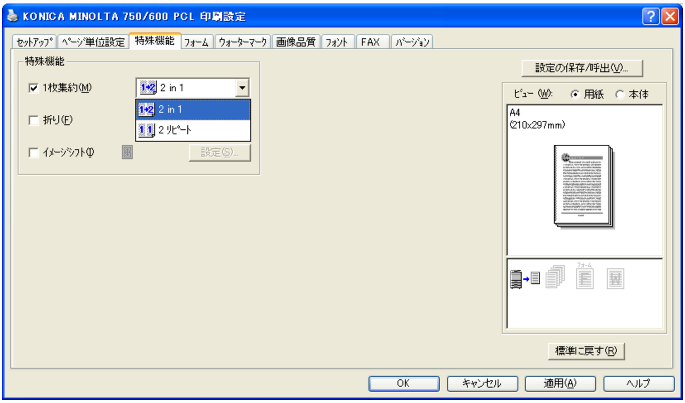
2ページ分を倍の大きさの用紙1枚に印刷する（1枚集約）

[出力サイズ] で設定されているサイズの倍の大きさの用紙に、出力サイズ２枚分の内容をひとまとめに印刷することができます。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［１枚集約］チェックボックスを ON にします。

3 ［１枚集約］チェック横の［▼］をクリックして表示されるリストから [2 in 1]、または [2 リピート] を選択します。



[2 in 1] では、連続した２ページを１枚の用紙に集約して印刷します。

[2 リピート] では、同一のページを１枚の用紙に２枚分集約して印刷します。

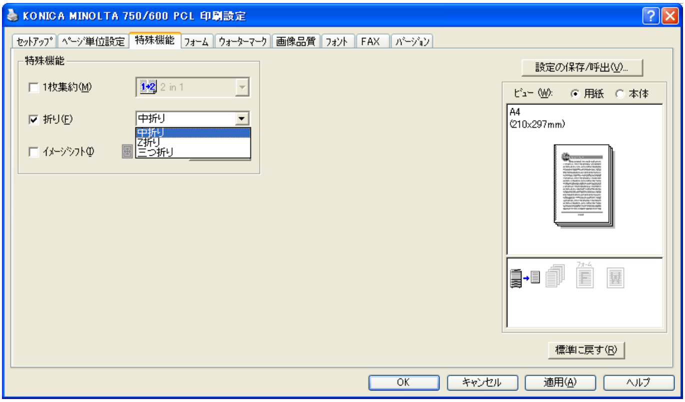
折りを設定する

用紙を折り、加工して出力します。中折り、Z 折り、三つ折りのいずれかを指定できます。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［折り］チェックボックスを ON にします。

3 ［折り］チェック横の［▼］をクリックして表示されるリストから［中折り］、［Z 折り］、［三つ折り］を選択します。



...

メモ）
装着しているフィニッシャーによっては、表示されない項目もあります。

印刷位置を調整する（イメージシフト）

出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整することができます。

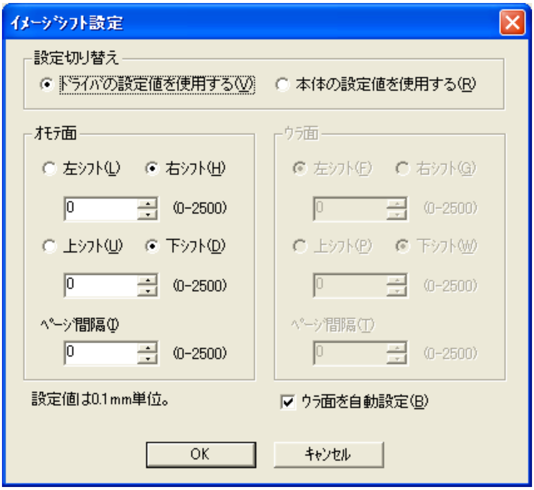
また本機で調節した印刷位置を使用する事ができます。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［イメージシフト］チェックボックスを ON にします。

3 ［設定］をクリックします。

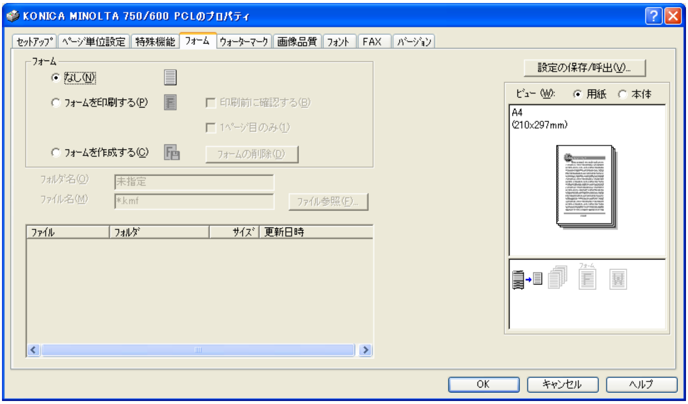
4 設定切り替えを選択し、オモテ面 / ウラ面の上下左右のシフトや、ページ間隔のシフトを 0.1mm 単位で設定します。



※［ページ間隔］は常にオモテ面とウラ面が同じ設定になります。オモテ面側で設定してください。

［ウラ面を自動設定］チェックボックスを ON にすると、オモテ面と同じ設定になります。

5.5 フォームタブの設定



別の原稿を重ねてプリントする（フォーム）

別途作成したフォームデータと原稿を重ねてプリントします。ファクス送信状や定型文書などに便利です。

✎...

メモ）

プリントするフォームはあらかじめ登録しておく必要があります。詳しくは、「フォームの編集」（p. 5-34）をご覧ください。

1 目的のアプリケーションソフトウェアでプリントしたいデータを作成します。

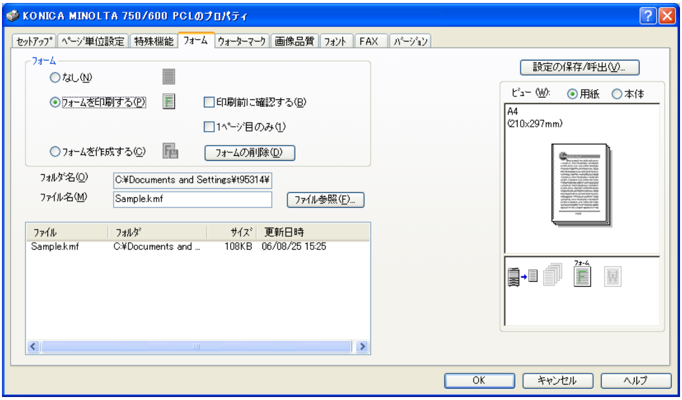
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PCL」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［フォーム］タブをクリックします。

5 ［フォームを印刷する］をクリックします。

6　一覧からプリントしたいフォームを選択します。



❍　1 ページのみフォームを印刷する場合は、[1 ページ目のみ] チェックボックスを ON にします。

7　ファイル名を確認し、[OK] をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスにもどります。

8　[OK] をクリックします。

フォーム印刷が実行されます。

フォームの編集

フォームを作成する

フォームを利用するには、あらかじめフォーム用のデータを登録する必要があります。フォームの登録は、登録したい文書を「フォーム作成」の設定でプリントすることで登録できます。

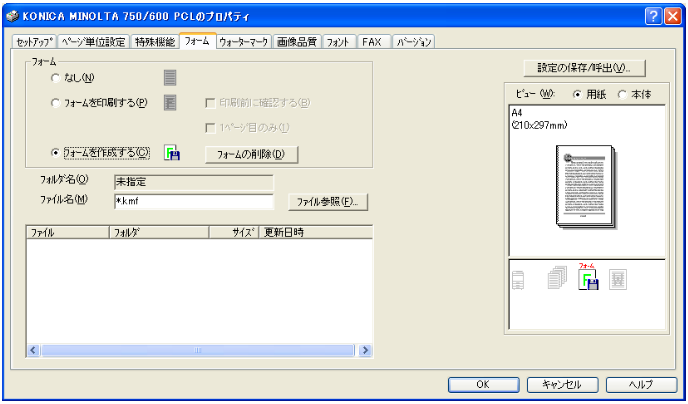
1 目的のアプリケーションソフトウェアでフォームのデータを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PCL」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

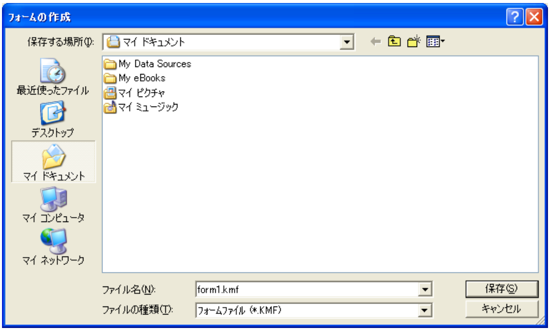
4 ［フォーム］タブをクリックします。

5 ［フォームを作成する］をクリックします。



6 ［ファイル参照］をクリックします。

7 フォームデータを保存する場所を指定して［ファイル名］にフォームのファイル名を入力します。



8 ［保存］をクリックします。

9 ファイル名を確認し、［OK］をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスにもどります。

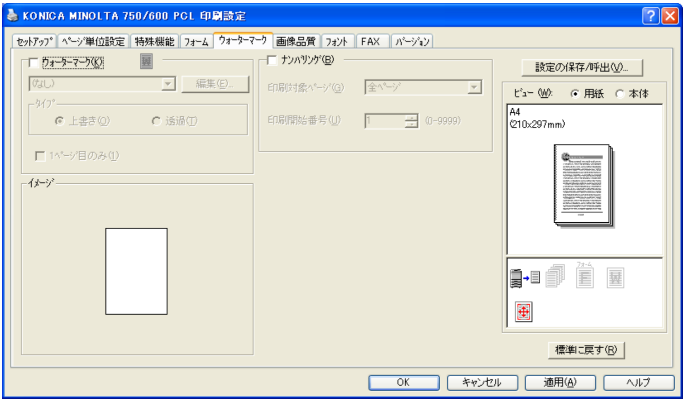
10 ［OK］をクリックします。

プリントが実行される代わりに、フォームが登録されます。拡張子は「.kmf」になります。

…

メモ）
［フォーム］タブで［フォームの削除］をクリックすると、選択しているフォームが削除されます。

5.6 ウォーターマークタブの設定



ウォーターマークをプリントする

特定の文字をウォーターマークとして、文書の背景にプリントします。

1 ［ウォーターマーク］タブをクリックします。

2 ［ウォーターマーク］のチェックボックスを ON にします。

3 ドロップダウンリストでプリントしたいウォーターマークを選択します。

4 ［タイプ］を設定します。

上書き：	文字の網パターンの背景を白でプリントする
透過：	文字の網パターンの背景を透過でプリントする

5 1 ページ目のみ、ウォーターマークを印刷する場合は、［1 ページ目のみ］チェックボックスを ON にします。

ウォーターマークの編集

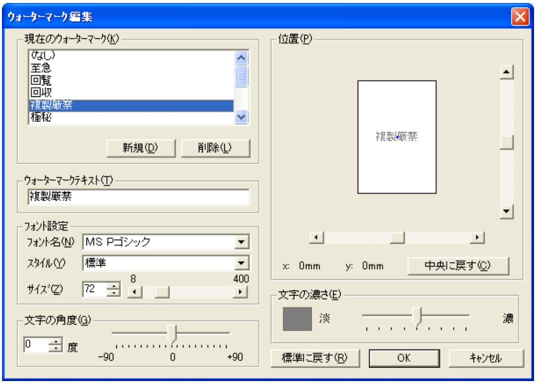
ウォーターマークの書体や位置を変更したり、新規にウォーターマークを登録できます。

1 ［ウォーターマーク］タブをクリックします。

2 ［ウォーターマーク］のチェックボックスを ON にします。

3 ［編集］をクリックします。

4 各項目を設定します。



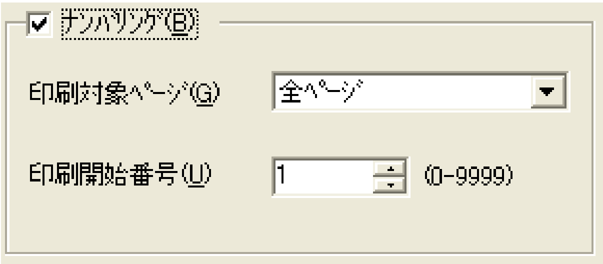
［新規］:	クリックすると、ウォーターマークテキストボックスに新規ウォーターマークが入力できます。
［削除］:	選択しているウォーターマークを削除します。
フォント設定 :	フォントやサイズを設定します。
文字の角度 :	ウォーターマークのプリント角度を設定します。
位置 :	右側と下側のスクロールバーでウォーターマークの位置を設定します。
文字の濃さ :	スライドバーで文字の濃度を設定します。

文書ナンバーをプリントする

複数部数をプリントするときに、文書ごとにナンバーをプリントします。

1 ［ウォーターマーク］タブをクリックします。

2 ［ナンバリング］のチェックボックスを ON にします。



3 各項目を設定します。

印刷対象ページ：	ナンバーの印刷対象ページを指定します。
印刷開始番号：	ナンバーの開始数字を指定します。

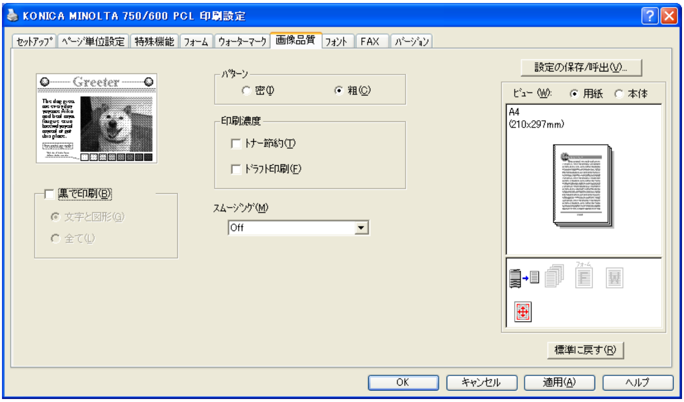
メモ）

［ナンバリング］チェックボックスは、［セットアップ］タブで［ソート］が設定されていないと指定できません。

［ナンバリング］は、オプションタブでハードディスクを設定しておく必要があります。

文字の位置や大きさは、本機の操作パネルで設定します。

5.7 画像品質タブの設定



パターン

白黒のドット（点）の密度を変化させて画像を表現します。［密］を選択すると、よりドットの密度を細かくして表現します。初期設定は［粗］です。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 ［パターン］にある［密］をクリックします。

印刷濃度

トナー節約、ドラフト印刷チェックボックスを ON にすると、それぞれトナーの消費量を抑え節約したり、薄く印刷したりします。

メモ）

［印刷濃度］内にあるトナー節約、ドラフト印刷は、同時に使用することはできません。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 トナーの消費量を抑えたい場合は、［トナー節約］チェックボックスを ON にします。

3 薄く印刷し、下書き印刷を行いたい場合は、［ドラフト印刷］チェックボックスを ON にします。

黒で印刷

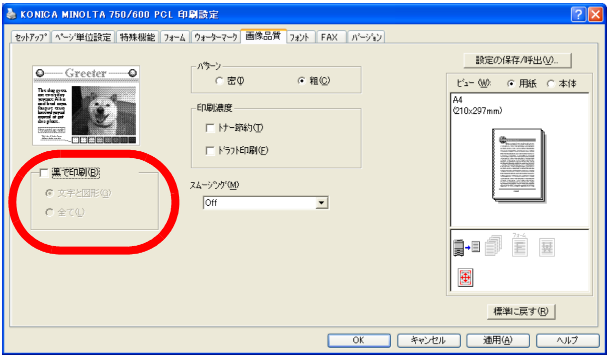
色付きの細い線や文字、図形などが薄く印刷されないようにします。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 [黒で印刷]チェックボックスをONにし、[文字と図形]、[全て]のどちらかを選択します。

文字と図形： 色つき文字や図形などは黒で印刷されます。

全て： 写真画像のようなイメージデータを含む全ての対象について、白以外の部分は黒で印刷されます。



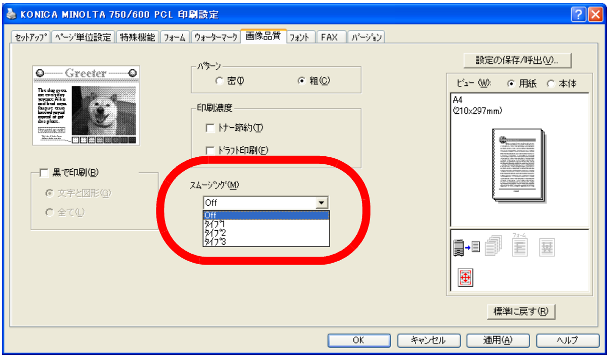
スムージング

文字や画像などの曲線を滑らかにして印刷します。

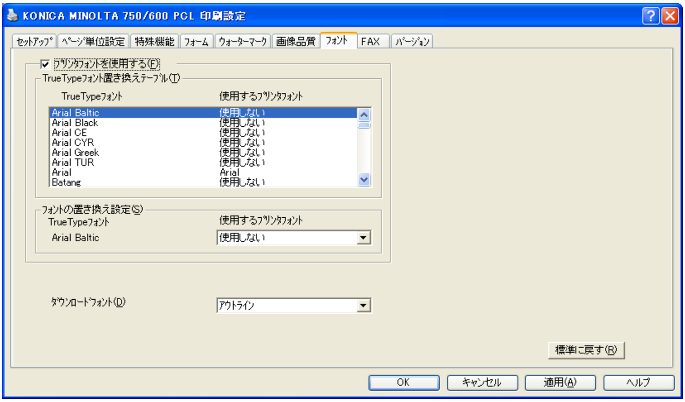
1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 [スムージング] 横の [▼] を押し、表示されるリストから選択します。

タイプ１：一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
タイプ２：一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
タイプ３：飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。



5.8 フォントタブの設定



Windows で使われている TrueType フォントを本機に搭載されているプリンタフォントに置換える設定を行います。

...

メモ）
プリンタフォントを使うとプリント時間は少なくてすみますが、画面の表示とプリント結果に差が出ることがあります。

1 ［フォント］タブをクリックします。

2 ［プリンタフォントを使用する］のチェックボックスを ON にします。

3 置換えたい TrueType フォントを選択します。

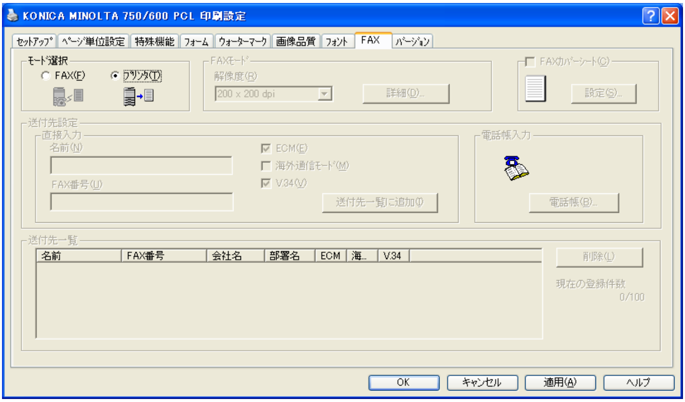
4 「使用するプリンタフォント」で置換えるプリンタフォントを選択します。

5 ［OK］をクリックします。

...

メモ）
「ダウンロードフォント」は、TrueType フォントを使用する場合に、プリンタにダウンロードするフォントのタイプを選択します。

5.9 FAX タブの設定



ファクス送信

作成したデータをファクスで送信できます。

1 目的のアプリケーションソフトウェアで送信したいデータを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PCL」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［FAX］タブをクリックします。

5 「モード選択」で［FAX］を選択します。

...

ご注意）

［セットアップ］タブの「出力用紙」で「不定形サイズ」を選択している場合は、FAX に設定できません。

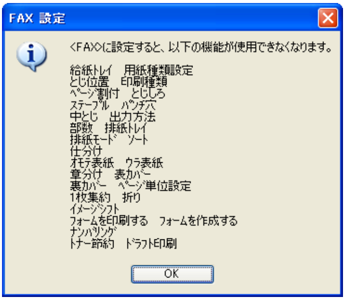
ファクス機能を利用するには、本機にオプションの Fax キットを装着する必要があります。また、装着後は「オプション設定」でファクスキットを有効にする必要があります。詳しくは、「オプションの設定」（p. 5-57）をご覧ください。

...

メモ）

ファクス機能についての詳細は、「ファクシミリ機能編」をご覧ください。

6 内容を確認し、[OK] をクリックします。

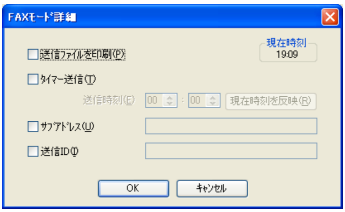


7 [解像度] を設定します。

8 [詳細] をクリックします。

[詳細] 画面が表示されます。

9 ファクス送信したあとにファイルを印刷する場合は、[送信ファイルを印刷] のチェックボックスを ON にします。



10 送信する時刻を設定する場合は、[タイマー送信] のチェックボックスを ON にし、「送信時刻」を設定します。

✎...

メモ）

［現在時刻を反映］をクリックすると、パソコンに設定されている現在時刻が「送信時刻」に表示されます。

タイマー送信を行うときは、パソコンに設定されている時刻と本機に設定されている時刻が一致していることを確認してください。本機の現在時刻よりも送信時刻が前の場合は、翌日になってから送信されます。

11 親展通信を行う場合は［サブアドレス］と［送信 ID］のチェックボックスを ON にし、サブアドレスと送信 ID を入力します。

✎...

メモ）

F コードを使用して他機種のファクスに親展通信をすることができます。

「サブアドレス」は 0 ～ 9 までの半角数字が 20 文字まで入力できます。

「送信 ID」は 0 ～ 9 までの半角数字と、#、 で、20 文字まで入力できます。*

サブアドレスと送信 ID の詳細は、「ファクシミリ機能編」をご覧ください。

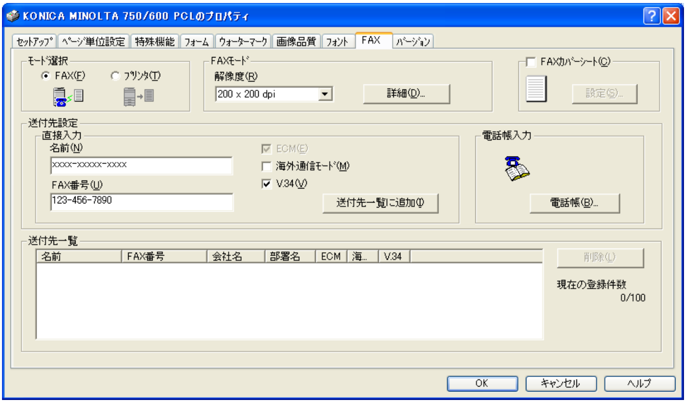
12 ［OK］をクリックします。

［プロパティ］画面にもどります。

13 ファクスの送付先を指定します。

送付先は、直接入力することも、電話帳から選択することもできます。

❍ 送付先を入力する場合
「直接入力」で、「名前」と「FAX 番号」を入力し、［送付先一覧に追加］をクリックします。



メモ）

「名前」は最小 0 文字〜最大 40 文字まで入力できます。ただし、Windows 98SE/Me は、全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

「FAX 番号」は、0 〜 9 までの数字と、ハイフン（ - ）、#、、P、T が半角 38 文字まで入力できます。*

「送付先一覧」には、100 件まで登録できます。

❍ 電話帳から選択する場合
あらかじめ電話帳に登録した送り先を選択します。

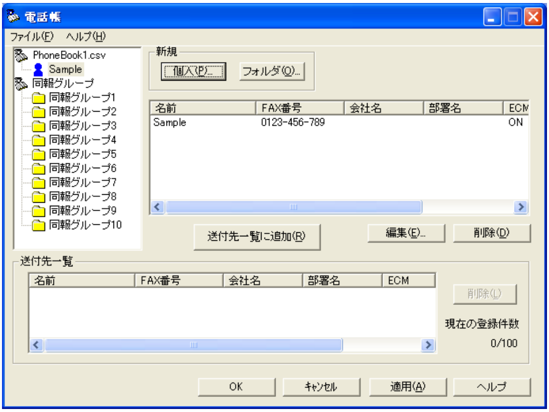
1) ［電話帳］をクリックします。
［電話帳］画面が表示されます。

...

メモ）
電話帳の登録のしかたは、「電話帳に登録する」（p. 5-53）をご覧ください。

2) ファクス送信する個人情報または同報グループを選択します。

3) ［送付先一覧に追加］をクリックします。
「送付先一覧」に選択した個人情報が表示されます。



4) 送付先を確認し、［OK］をクリックします。
［プロパティ］画面にもどります。

...

メモ）
同報グループを選択した場合は、「送付先一覧」にグループ内の個人情報が全て表示されます。

14「送付先一覧」にファイル送信する相手先が表示されていることを確認します。

...

メモ）
送付先を削除する場合は、「送付先一覧」の中から削除する送付先の名前を選択して［削除］をクリックします。

「ECM」「海外通信」「V.34」は、通常は変更する必要はありません。詳細は「ファクシミリ機能編」をご覧ください。

15 送付状を付ける場合は、［FAX カバーシート］のチェックボックスを ON にします。

...

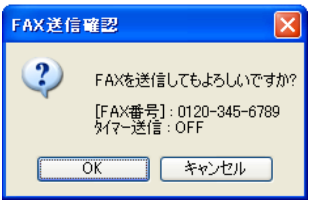
メモ）
送付状の設定は、「送付状の作成」（p. 5-49）をご覧ください。

16［OK］をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスにもどります。

17［OK］をクリックします。

ファクス送信の確認画面が表示されます。



18［OK］をクリックします。

ファクス送信が実行されます。

...

メモ）
ファクス送信でエラーが発生した場合、「送信結果レポート」が自動的に印刷されます。送信結果レポートを自動で印刷しないようにするには、本機の操作パネルで［レポート出力設定］の「送信結果レポート」を［OFF］にします。

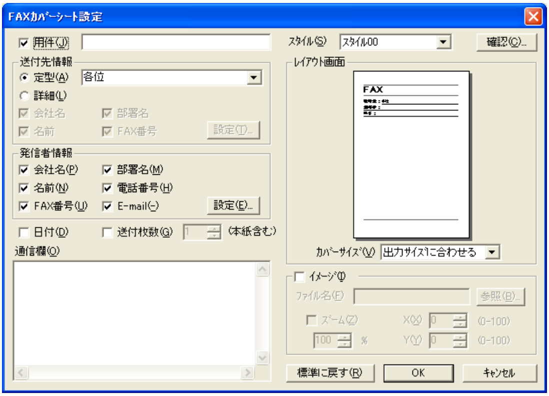
送付状の作成

ファクス文書の先頭に付ける送付状（カバーシート）を作成します。

1 ［プロパティ］画面で［FAX］タブの［FAX カバーシート］のチェックボックスを ON にします。

2 ［設定］をクリックします。

［FAX カバーシート設定］画面が表示されます。



3 ［スタイル］からカバーシートのフォーマットを選択します。

00 ～ 03 のスタイル（03 は英文用スタイル）があります。

4 ［用件］のチェックボックスを ON にし、送信する文書の件名を入力します。

メモ）

［用件］は 64 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 32 文字（半角 64 文字）まで入力できます。

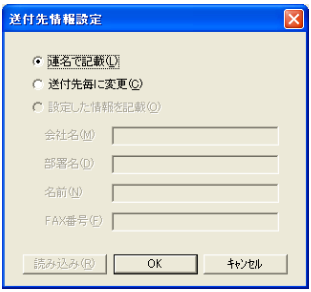
5 ［送付先情報］で送付状に記載する相手の名前などの送付先情報を設定します。

［FAX］タブの「送付先一覧」に表示された内容が送付先の情報として記載されます。

［定型］：	送付先の表示を定型文から選択します。「定型」を選択し、ドロップダウンリストで送付先欄に記載する文字を選択します。目的の文字を入力することもできます。
［詳細］：	送付先の名前などをそれぞれ個別に設定します。［詳細］を選択し、［会社名］［部署名］［名前］［FAX 番号］の中から、送付先欄に記載する項目のチェックボックスを ON にします。

メモ）

［設定］をクリックすると、［送付先情報設定］画面で［連名で記載］するか［送付先毎に変更］するか、［設定した情報を記載］するかが選択できます。



「レイアウト画面」には、1 件目の送付先の送付状が見本として表示されます。

［送付先毎に変更］では送付状を個別に作成できるのは、10 件までです。11 件以上送付する場合に［連名で記載］、［送付先毎に変更］を選択すると、［定型］の内容が送付先欄に表示されます。

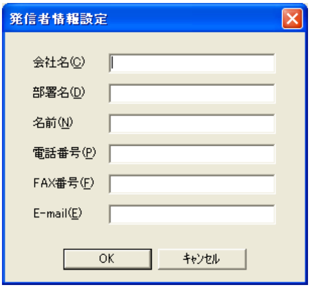
［送付先］が設定されていない場合は、［設定した情報を記載］は選択できません。

✎...

ご注意）

入力した文字の種類や［スタイル］の設定によっては、入力した文字が送付状に全て記載されない場合があります。入力後に、「レイアウト画面」で正しく表示されているか確認してください。

6 ［発信者情報］の［会社名］［部署名］［名前］［電話番号］［FAX 番号］［E-mail］の中から、発信者欄に記載する項目のチェックボックスを ON にし、［設定］をクリックして送付状に記載するファクスの送り主の情報を入力します。



「レイアウト画面」には、入力した発信者情報が表示されます。

✎...

ご注意）

入力した文字の種類や［スタイル］の設定によっては、入力した文字が送付状に全て記載されない場合があります。入力後に、「レイアウト画面」で正しく表示されているか確認してください。

✎...

メモ）

各情報は 40 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

7 現在の日付を送付状に記載する場合は、[日付]のチェックボックスを ON にします。

8 送付枚数を送付状に記載する場合は、[送付枚数]のチェックボックスを ON にし、送付枚数を指定します。

9 メッセージなどを送付状に記載する場合は、[通信欄]に文字を入力します。

ご注意)
一行の文字数は全角 25 文字を超えると、送付状に正しく表示されない場合があります。「レイアウト画面」で確認しながら、改行を行ったりして、一行の文字数を調節します。

メモ)
[通信欄]には 640 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 320 文字(半角 640 文字)まで入力できます。改行は半角 2 文字に相当します。

10 会社のロゴマークや地図などの画像を送付状に配置する場合は、[イメージ]のチェックボックスを ON にし、[参照]をクリックしてファイルを指定します。

「X」「Y」軸の数値で画像の位置を、[ズーム]で画像の大きさを 50 ～ 800% の範囲で調整できます。

11 [確認]をクリックして、現在の設定を確認します。

[確認]画面が表示され、送付状が拡大表示されます。

送付状の内容を確認し、必要に応じてイメージの配置変更などを行います。

12 [OK]をクリックします。

[FAX カバーシート設定]画面にもどります。

13 [カバーサイズ]で送付状のサイズを選択します。

14 [OK]をクリックします。

[プロパティ]画面にもどります。

✎...

メモ）

設定した内容を全て取り消す場合は、［FAX カバーシート設定］画面で［標準に戻す］をクリックします。

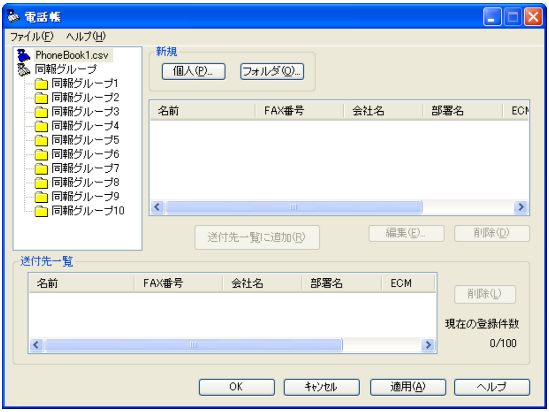
電話帳に登録する

ファクス文書を送信する相手を電話帳に登録します。

個人情報の登録

1 ［プロパティ］画面で［FAX］タブの［電話帳］をクリックします。

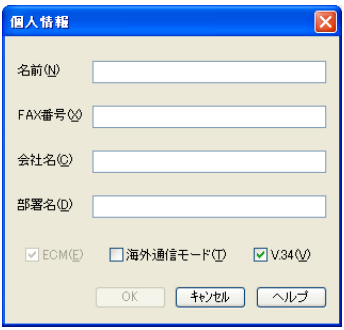
［電話帳］画面が表示されます。



2 ［個人］をクリックします。

［個人情報］画面が表示されます。

3 ［名前］［FAX 番号］［会社名］［部署名］を入力します。



✎...

メモ）
［名前］は、敬称を付けて入力してください。

「ECM」「海外通信」「V.34」のチェックボックスは、通常は変更する必要はありません。詳細は「ファクシミリ機能編」をご覧ください。

［名前］［会社名］［部署名］は、全角 20 文字、半角 40 文字まで入力できます。

［FAX 番号］は、0 ～ 9 の数字とハイフン（-）、#、、P、T が半角 38 文字まで入力できます。*

4 ［OK］をクリックします。

個人情報が登録され、個人情報欄に表示されます。

✎...

メモ）
手順 2 で［フォルダ］をクリックすると、フォルダが作成でき、個人情報を整理できます。個人情報をフォルダに移動する場合は、左側の階層欄の個人情報を右クリックして［コピー］または［切り取り］をし、目的のフォルダ内で［貼り付け］をしてください。

フォルダ名は全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

フォルダは 3 階層まで作成できます。

個人情報やフォルダを修正する場合は、目的のデータを選択して［編集］をクリックします。

個人情報やフォルダを削除する場合は、目的のデータを選択して［削除］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

✎...

メモ）

電話帳ファイルの内容を変更した場合は、上書きされます。

電話帳ファイルを分けて作成したい場合は、［ファイル］-［新規］、または［ファイル］-［名前を付けて保存］を選択し、別ファイルとして保存します。

別ファイルの電話帳を開くには、［ファイル］-［開く］を選択して、電話帳ファイルを選択すると、別の電話帳ファイルを開くことができます。

電話帳ファイルの拡張子は「.csv」となります。

同報グループへの登録

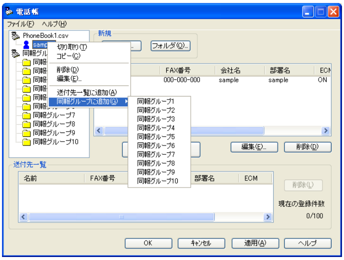
同一の内容を送りたい相手先を、あらかじめ登録しておくことができます。これを「同報グループ」といいます。

1 ［電話帳］画面で個人情報欄から同報グループに登録する個人情報を選択します。

   選択した個人情報が反転表示されます。

2 右クリックして［同報グループに追加］の同報グループ一覧から、登録する同報グループを選択します。

   選択した同報グループに個人情報がコピーされます。



...

ご注意）

同報グループはあらかじめ 10 個設定されています。同報グループを追加したり削除することはできません。

10 個の同報グループに登録できる個人情報は、合計 100 人分までです。

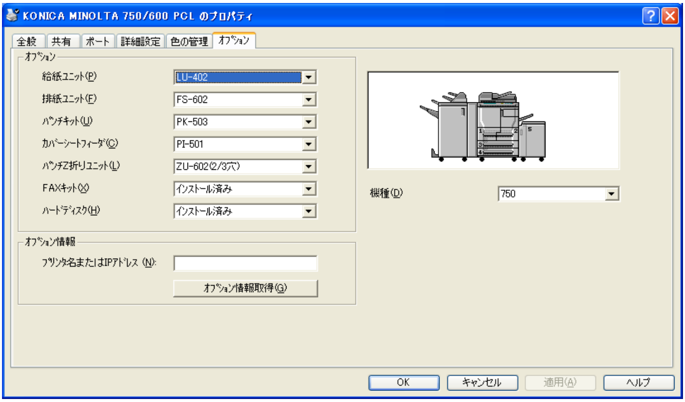
...

メモ）

同報グループの名前を変更するときは、左側の階層欄で目的の同報グループを右クリックして［編集］をクリックします。

同報グループに登録した個人情報を削除するときは、左側の階層欄で目的の同報グループをクリックし、右側の一覧に表示される個人情報を右クリックして［同報グループから削除］をクリックします。

5.10 オプションの設定



本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。

...

ご注意）
本機に装着されているオプションが［オプション］タブで設定されていないと、プリンタドライバでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

また［機種］と本機が一致していないと、「機密プリント」、「ユーザ認証」、「部門管理」の機能が使用できなくなりますので、必ず確認してください。

1 Windows 98SE/Me/NT 4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、［設定］－［プリンタ］をクリックします。
Windows XP/Server 2003 の場合は、［スタート］をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

2 インストールしたプリンタ「KONICA MINOLTA 750/600 PCL」のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［オプション］タブをクリックします。

4 ドロップダウンリストで装着しているオプションを選択します。

...

メモ）
ネットワークに接続している場合、［オプション情報］の［プリ

ンタ名またはIP アドレス］ボックスに本機のプリンタ名または IP アドレスを入力して［オプション情報取得］をクリックすると、装着オプションが自動的に設定されます。

5.11 ドライバ設定を保存する

PCL ドライバでは、変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

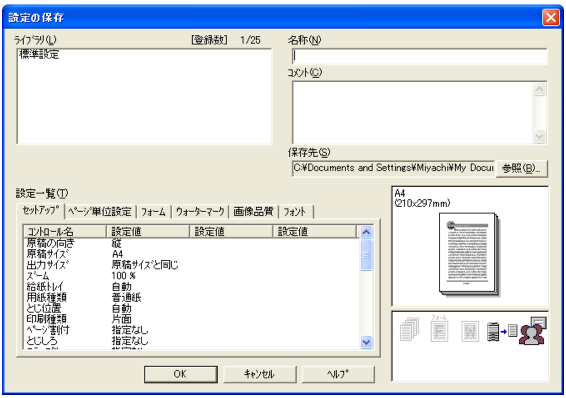
ドライバの設定を保存する

1 ［セットアップ］タブや［ページ単位設定］タブなどでドライバの設定値を変更します。

2 ［設定の保存 / 呼出］をクリックし、［現在の設定の保存］を選択します。



3 ［名称］（ファイル名）を入力します。



4 必要に応じて［コメント］に説明などを入力します。

5 ［保存先］を確認し、［OK］をクリックします。

設定内容がライブラリに登録されます。

...

メモ）

拡張子は「.ksf」になります。

ライブラリには 25 件まで登録できます。

［名称］は 40 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 20 文字（半角 40 文字）まで入力できます。

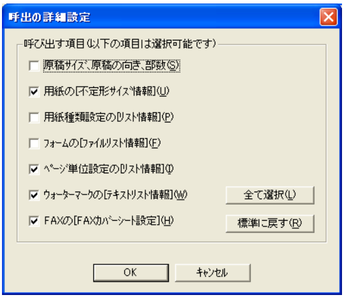
［コメント］は 512 文字まで入力できます。Windows 98SE/Me では全角 256 文字（半角 512 文字）まで入力できます。

設定を呼び出すには

1 プリンタドライバの画面で［設定の保存 / 呼出］をクリックし、［呼出の詳細設定］を選択します。

「呼出の詳細設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 呼び出したい項目のチェックボックスを ON にします。



3 ［OK］をクリックします。

4 ［保存した設定の呼出］を選択します。

5 ［ライブラリ］で呼び出す設定を選択します。

6 ［OK］をクリックします。

設定値が呼び出され、プリンタドライバの画面にもどります。

設定を削除するには

1 プリンタドライバの画面で［設定の保存 / 呼出］をクリックし、［ライブラリの整理］を選択します。

2 ［ライブラリ］から、削除したい設定ファイルを選択します。

3 ［削除］をクリックします。

✎...

メモ）
設定ファイルは［ライブラリ］から削除しても、パソコンのハードディスクには残っています。［設定ファイルをライブラリに登録する］でファイル名を指定すると、［ライブラリ］に登録できます。

6 KONICA MINOLTA PS ドライバの設定

6.1 設定項目

共通項目

ここでは、各タブの全画面で共通の設定やボタンについて説明します。

...

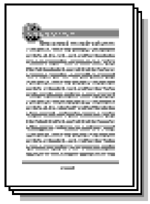
ご注意）

KONICA MINOLTA PS ドライバは Windows NT4.0 / 2000 / XP / Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 のみ使用可能です。

Windows 98SE / Me、Mac OS では使用できません。



ボタン名	機能
OK	このボタンをクリックすると、変更した設定を有効にして、設定画面を閉じます。
キャンセル	このボタンをクリックすると、変更した設定を無効（キャンセル）にして、設定画面を閉じます。
適用	このボタンをクリックすると、設定画面を閉じずに、変更した設定を有効にします。
ヘルプ	このボタンをクリックすると、表示されている画面の各項目についてのヘルプが表示されます。
設定の保存 / 呼出	現在の設定を登録し、あとでその設定を呼出すことができます。
標準に戻す	このボタンをクリックすると、インストール直後の設定内容にもどします。

ボタン名	機能
ビュー	［用紙］を選択すると、現在の設定でのページレイアウトのサンプルが表示され、プリント結果のイメージを確認できます。 ［本体］（本機）を選択すると、現在本機に装着されている給紙トレイなどのオプションを含むプリンタ構成の図が表示されます。  用紙  本体

ご注意）
装着されているオプションを有効にするには、［オプション］の設定が必要です。詳しくは、「デバイスオプションタブの設定」（p. 6-54）をご覧ください。

セットアップタブ

項目名	機能
部数	プリントする部数を設定します。
<用紙設定>	
用紙方向	プリントする用紙の方向を指定します。
原稿サイズ	原紙の用紙サイズを設定します。
出力用紙	プリントする用紙サイズを設定します。原稿サイズと異なる場合は、自動的に拡大・縮小されます。原稿サイズと異なる用紙を設定すると、自動的に<レイアウト>が［フィット］に選択され、拡大 / 縮小率（拡縮率）が表示されます。
給紙トレイ	プリントに使用する給紙トレイを選択します。
用紙種類設定	プリントする用紙種類を選択します。
<製本>	
とじ位置	プリントする用紙のとじ位置を設定します。とじしろ、ステープル、パンチなどの位置を設定することができます。
印刷種類	用紙の片面、もしくは両面にプリントするか設定します。
ステープル	ステープルを設定します。
パンチ穴	パンチの穴数を設定します。

項目名	機能
＜レイアウト＞	
標準	
ページ割付	複数ページの文書を 1 枚の用紙にプリントします。
小冊子	２つに折るとそのまま小冊子になるようにプリントされます。
フィット	原稿サイズと出力用紙が異なる場合に選択され、拡縮率が表示されます。
ズーム	25 ～ 400%の範囲で拡大 / 縮小を設定します。
ポスター	複数枚の用紙に拡大して、プリントします。
用紙変更	原稿サイズと出力用紙が異なっても、拡大縮小されずにプリントします。
＜出力＞	
出力方法	「機密プリント」や「ボックス保存」などの出力を選択できます。
排紙トレイ	排出するトレイを選択します。
排紙モード	プリントする用紙を上向きに出力するか、もしくは下向きに出力するか設定します。
ソート	複数部数を、部数ごとにプリントするかどうか設定します。
仕分け	複数部数をプリントするときに、1 部ずつ位置をずらして排出します。
認証 / 部門管理	本機で認証もしくは部門管理を行っている場合に設定します。

ページ単位設定タブ

項目名	機能
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
PI カバーシート	印刷文書にカバーシートを付けます。
章分け	両面印刷 / 小冊子印刷をする際に、指定したページが必ず表になるようにプリントします。
ページ単位設定	印刷種類、給紙トレイを変更したいページを指定できます。

特殊機能タブ

項目名	機能
ナンバリング	部数番号を付けてプリントします。
一枚集約	用紙文書 2 ページを 1 枚にまとめたり（2 in 1）、用紙文書 1 ページとそのコピーを用紙 1 枚にまとめることができます。（2repeat）
折り	用紙を折り、加工して出力します。（中折り、三つ折り、Z 折り、中とじ）
イメージシフト	印刷位置を調整して印刷します。

PostScript タブ

項目名	機能
ジョブ出力	プリンタとして出力、もしくは EPS ファイルとして出力するか選択できます。
原稿サイズに出力（ウォーターマーク）	ON にすると、原稿に対してウォーターマークを描画するか設定します。
＜設定＞	
ジョブ圧縮	プリントジョブの圧縮方法として、「LZW」、「Flate」を選択できます。
ビットマップ圧縮	ビットマップの圧縮方法として、「RLE」、「JPEG」、「LZW」を選択できます。
Tokenised PS	ON にすると、Tokenised PS を可能にします。
送信データ形式	出力フォーマットを「バイナリ」、「ASCII」から指定できます。
ガンマ	プリンタのガンマ値の補正を設定します。
＜詳細設定＞	
PostScript エラー情報を印刷する	プリントエラーが起きた場合に、エラー情報がプリントされます。
Pass-through 有効	Pass-through を有効にします。
ページごとにメモリをクリア	ページごとにプリンタメモリをクリアするか設定します。
PostScript 出力形式	PostScript 出力形式を選択します。
スムージング	ビットマップのドットを滑らかにします。

フォームタブ

項目名	機能
フォーム	フォーム印刷を作成します。

画像品質タブ

項目名	機能
回転	印刷データを左回り 90° 単位で設定できます。
効果	ON にすると、印刷データが鏡像もしくは白黒反転してプリントします。
調整	グラフィックの明度・コントラストを調整します。
スムージング	文字やグラフィックの曲線を滑らかにしてプリントします。
モノクロ変換	グラフィックをモノクロ変換する場合、ドライバ上もしくはプリンタ上で変換するか設定します。
トナー印刷	印刷濃度を抑えてトナーの使用量を節約します。
ドラフト印刷	文字以外のものを粗くプリントします。

ウォーターマークタブ

項目名	機能
ウォーターマーク	印刷文書にウォーターマーク（文字スタンプ）を重ね合わせて印刷します。

デバイスオプションタブ

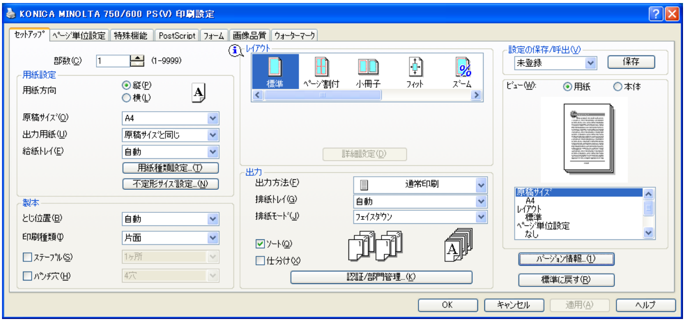
項目名	機能
装着オプション	オプションの装着有無を設定することができます。
オプション情報	プリンタ名もしくは IP アドレスを入力することで、オプションの情報を取得することができます。
アプリケーション連動ズーム	アプリケーションで設定した拡大 / 縮小率をプリンタドライバ上で同じように連動させます。

✎...

メモ）

デバイスオプションタブを表示させる場合は、［スタート］-［設定］-［プリンタ］(もしくは［スタート］-［プリンタと FAX］) 内にある、IC-202（KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)）のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

6.2 セットアップタブの設定



用紙サイズに合わせてプリントする

作成した文書を、プリント時に出力用紙に合わせて拡大／縮小できます。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［原稿サイズ］と［出力用紙］を選択します。

...

メモ）

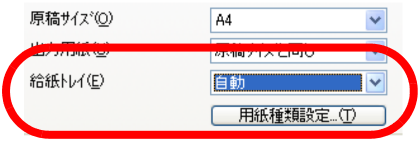
「原稿サイズ」と「出力用紙」が異なった場合、「レイアウト」内が自動的に［フィット］になり、拡縮率（拡大・縮小率）が表示されます。

給紙トレイを選択する

給紙トレイを変更したり、用紙種類を設定したりすることができます。

1 「セットアップ」タブをクリックします。

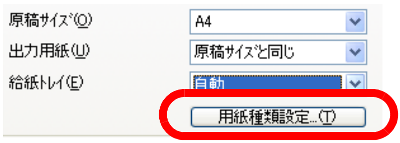
2 「給紙トレイ」で使用したい給紙トレイを選択します。



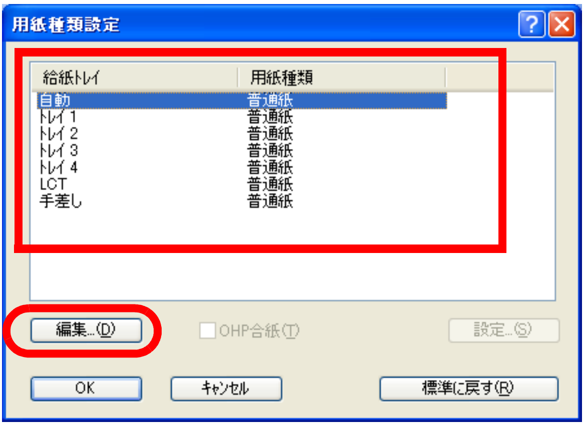
給紙トレイの用紙種類を設定する場合は、以下の操作を行います。

✔ OHP 合紙を使用する場合は、6-9 ページを参照してください。

3 ［用紙種類設定］をクリックします。



4 変更する「給紙トレイ」を選択し、［編集］をクリックします。



5 「用紙種類」を選択し、[OK] を 2 回クリックし、「用紙種類設定」ボックスを閉じます。

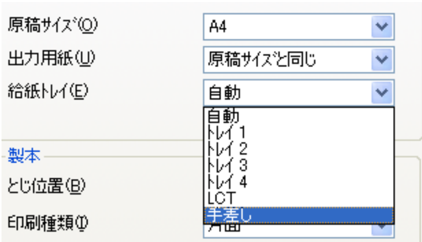


OHP を使用する

OHP 用紙を印刷する際に、印刷するごとに白紙を挿入させるかを設定することができます。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［給紙トレイ］を［手差し］に設定します。

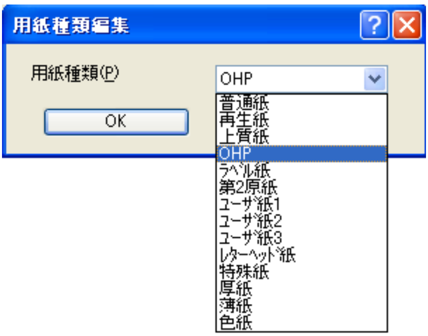


メモ）
［給紙トレイ］を［自動］に設定しても、［OHP 合紙］は設定できません。必ず［手差し］に設定してください。

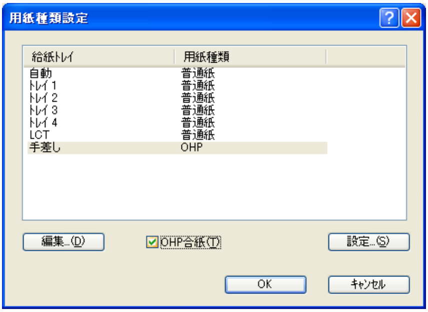
3 ［用紙種類設定］をクリックし、［手差し］を選択します。

4 ［編集］をクリックします。

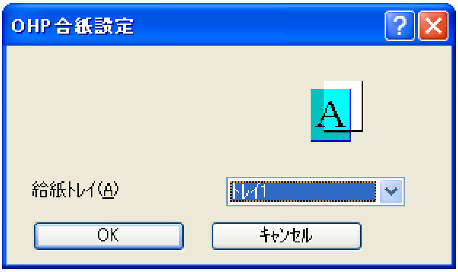
5 ［OHP］を選択します。



6 ［OK］をクリックすると、「用紙種類設定」ボックスに戻りますので、［OHP 合紙］チェックボックスを ON にし、［設定］をクリックします。



7 挿入する用紙が入っているトレイを選択します。



8 ［OK］をクリックし、「用紙種類設定」ボックスを閉じます。

不定形サイズ設定

不定形サイズを選択するときは、あらかじめ、以下の操作で不定形サイズを登録します。

1 ［不定形サイズ設定］を選択します。

「不定形サイズ設定」ダイアログボックスが表示されます。

2 以下の項目を設定します。

- 名称： 保存する名称を入力し、［保存］をクリックすると設定した不定形サイズが保存されます。
- サイズ：不定形サイズの幅、長さを単位に合わせて設定します。



3 ［OK］をクリックします。

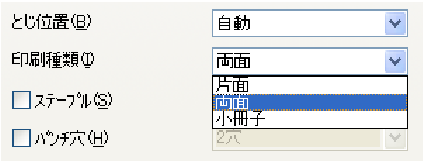
両面 / 小冊子印刷を行う

文書を両面、もしくは小冊子（見開き）にプリントできます。複数ページの文書を閉じる場合に便利です。

✔ ［小冊子］で原稿サイズを A4 に設定した場合
A3 の用紙を使用して、仕上がりが A4 サイズになる小冊子を作成します。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［印刷種類］で［両面］もしくは［小冊子］を選択します。



✎...

メモ）

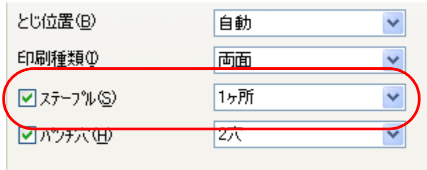
［とじ位置］から［左とじ］、［上とじ (両面のみ)］、［右とじ］を選択することができます。

ステープルを行う

複数ページの文書をステープル止めします。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［ステープル］チェックボックスを ON にします。



✎...

メモ）

［とじ位置］から［左とじ］、［上とじ (2ヶ所のみ)］、［右とじ］を選択することができます。

［ステープル］はフィニッシャー(SF-601 除く) が装着されている場合のみ、使用することができます。

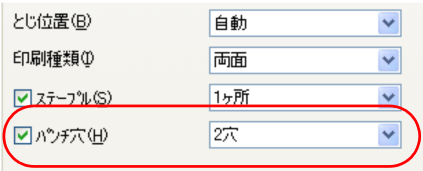
またステープルできる使用枚数は普通紙 A4 以下で、FS-505 では 100 枚、FS-504/602 では 50 枚です。

パンチを行う

プリントした文書にパンチ穴を開けます。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［パンチ穴］チェックボックスを ON にします。



メモ）

［とじ位置］から［左とじ］、［上とじ］、［右とじ］を選択することができます。

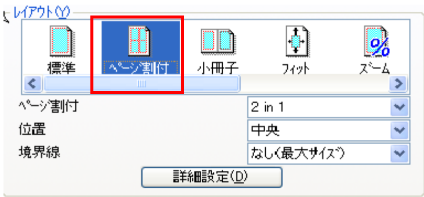
［パンチ穴］はフィニッシャー (SF-601 除く) が装着されており、さらにパンチキット、もしくはパンチ /Z 折りユニットがそれぞれ装着されている必要があります。

ページ割付 (N in 1) 印刷を行う

複数ページの文書を 1 枚の用紙にプリントします。プリントする用紙の枚数を、節約したい場合などに便利です。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「レイアウト」内にある［ページ割付］をクリックします。



3 ［ページ割付］のドロップダウンリストで、1 枚の用紙のプリントするページ数を選択します。

❍ ［位置］、［境界線］を変更および追加したい場合は、それぞれのドロップダウンリストから選択してください。

4 ［詳細設定］をクリックすると、「詳細設定」ボックスが表示され、以下の項目を設定することができます。

❍ 並び方

➜ ページの並びを指定します。

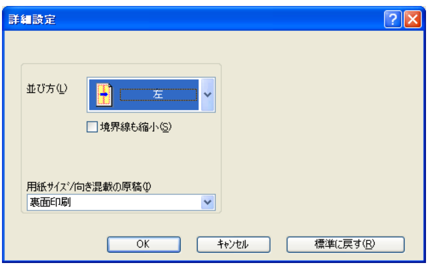
❍ 境界線も縮小 (チェックボックス)

➜ 境界線も縮小したい場合、ON にします。

❍ 用紙サイズ / 向き混載の原稿

➜ 用紙サイズや印刷方向が異なるページが混在する場合の出力方法を指定します。

5 設定が終わったら［OK］をクリックします。



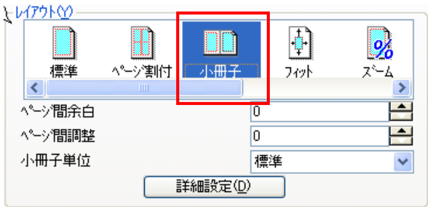
小冊子印刷を行う

２つに折ると、そのまま小冊子になるようにプリントされます。

✔ ［小冊子］で原稿サイズを A4 に設定した場合
A4 の用紙を使用して、仕上がりが A5 サイズになる小冊子を作成します。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「レイアウト」内にある［小冊子］をクリックします。



❍ ［ページ間余白］は、用紙を折り曲げた際の見開き２ページについて、「ドット」単位で均一に余白を設定することができます。設定範囲は 0 ～ 150 です。
❍ ［ページ間調整］は、用紙を折り曲げた際に、用紙中央のページ間隔について、内側の用紙に対して「ドット」単位で広げるか設定することができます。設定範囲は 0 ～ 20 です。
❍ ［小冊子単位］は、小冊子にする単位をページ数で選択します。ページ数が多い場合に便利です。

3 ［詳細設定］をクリックすると、「詳細設定」ボックスが表示され、以下の項目を設定することができます。

❍ 残ページ処理

➜ ［小冊子単位］で［標準］または［４］以外を指定した場合、端数ページがあると出力するページ数によっては、白紙ページが大量に出力される場合があります。［残ページ処理］チェックボックスを OFF にしておくことで、端数ページに対してのみ［小冊子単位］を［４］として出力し、無駄な白紙ページを抑止します。

❍ 用紙サイズ / 向き混載の原稿

➜ 用紙サイズや印刷方向が異なるページが混在する場合の出力方法を指定します。

4 設定が終わったら［OK］をクリックします。

ズーム印刷を行う

用紙サイズを変更せずに、変倍印刷を行います。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「レイアウト」内にある［ズーム］をクリックします。



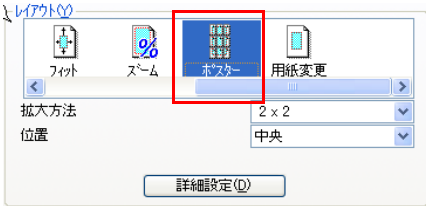
3 ［ズーム］を「%」単位で設定します。範囲は 25 ～ 400 です。

ポスター印刷を行う

複数枚の用紙に拡大してプリントします。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「レイアウト」内にある［ポスター］をクリックします。



3 ［拡大方法］のドロップダウンリストで選択します。

❍ ［位置］を変更したい場合は、［位置］のドロップダウンリストから選択してください。

4 ［拡大方法］で［カスタム］を選択した場合、［ズーム］から「%」で設定を行います。範囲は 101 ～ 400 です。

5 ［詳細設定］をクリックすると、「詳細設定」ボックスが表示され、以下の項目を設定することができます。

❍ オーバーラップ

➜ 分割されたページの境界をどれだけオーバーラップさせるか設定します。範囲は 0 ～ 150 です。

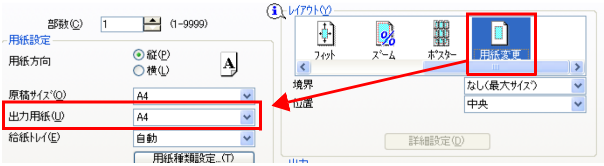
6 設定が終わったら［OK］をクリックします。

用紙変更を行う

出力用紙が異なっても、拡大 / 縮小されずにプリントします。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 「レイアウト」内にある［用紙変更］をクリックします。



3 出力したいサイズを、「出力用紙」から選択します。

➜ ［境界］、［位置］を変更および追加したい場合は、それぞれのドロップダウンリストから選択してください。

出力方法を選択する

直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」などが選択できます。

ご注意）
「機密プリント」と「ボックス保存（&印刷）」は、デバイスオプションタブ（p. 6-54）でハードディスクを設定し、「機密プリント」は「機種」が本機と一致しているか確認しておく必要があります。

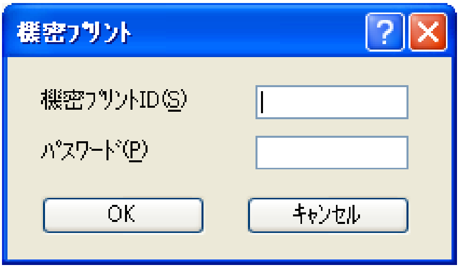
1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［出力方法］のドロップダウンリストで、出力方式を選択します。

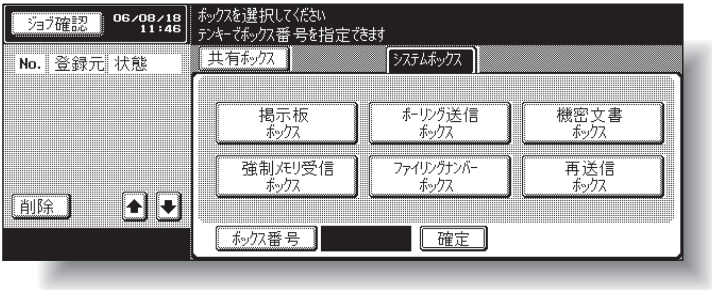
通常印刷：	すぐにプリントされます。
機密プリント：	プリント文書を本機の「機密文書ボックス」に保存します。プリントするときに本機の操作パネルで ID とパスワード入力が必要になります。機密性の高い文書をプリントする場合に選択します。（最大 100 文書）
ボックス保存：	プリント文書を本機のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存&印刷：	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント：	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

❍ 機密プリントの場合

➜ ［機密プリント］を選択すると、ID とパスワードを入力する画面が表示されるので、機密プリント ID とパスワードを入力します。



➜ プリントする場合は、本機の操作パネルで「ボックス」機能の「システムボックス」－「機密文書ボックス」を利用します。「機密文書ボックス」を選択し、ユーザ ID とパスワードを入力すると文書が表示され、プリントを指定できます。



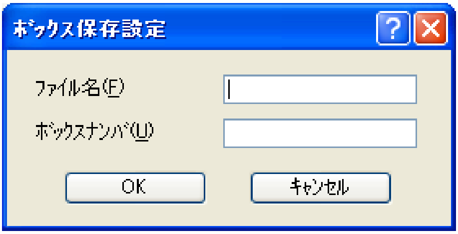
✎...

メモ）

本機のボックス機能については、ボックス機能編をご覧ください。

❍ ボックス保存の場合

➜ ［ボックス保存］または［ボックス保存＆印刷］を選択すると、ファイル名とボックスナンバを入力する画面が表示されるので、保存するファイル名とボックスナンバを設定します。



✎...

メモ）

本機のボックス機能については、ボックス機能編をご覧ください。

❍ 確認プリントの場合

➜ プリントを実行すると、文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。残りのプリント分は本機のジョブとして蓄積されます。複数部数を指定したときなど、結果を確認してから残部のプリントを実行できます。

➜ プリントする場合は、本機の操作パネルから「ジョブ確認」で「蓄積ジョブ」を表示させ、「蓄積解除」を指定します。



ユーザ認証を設定する

本機で認証モードが設定されている場合にユーザ名を登録します。

...

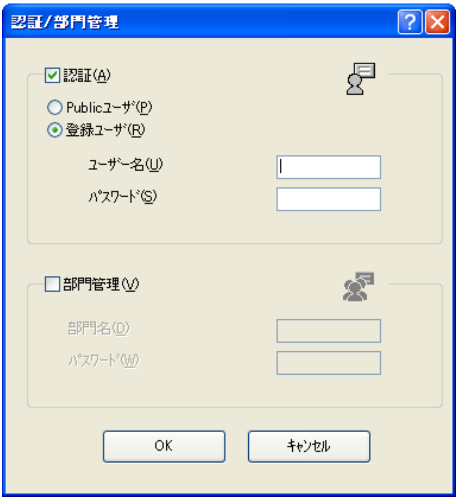
ご注意）
オプションタブ（p. 6-54）で［機種］が本機と一致していないと、設定後出力することができなくなります。

1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［認証 / 部門管理］をクリックします。

3 ［認証］チェックボックスを ON にし、［登録ユーザ］ラジオボタンを ON にします。

4 ユーザ名とパスワード欄がアクティブになるので、ユーザ名とパスワードを入力します。



...

メモ）
本機でパブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。

ユーザ認証については、本機の管理者にお問合わせください。

部門管理を設定する

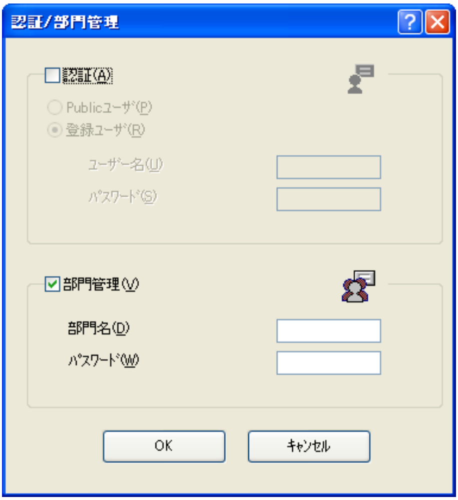
本機で部門管理が有効になっている場合に部門名を登録します。

ご注意）
オプションタブ（p. 6-54）で［機種］が本機と一致していないと、設定後出力することができなくなります。

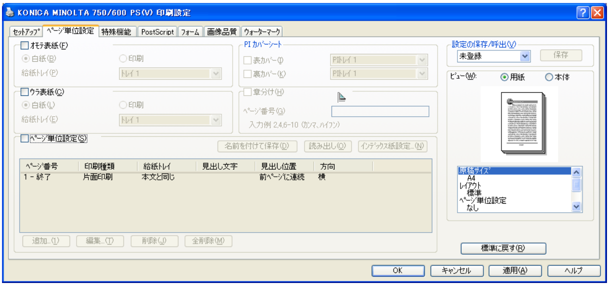
1 ［セットアップ］タブをクリックします。

2 ［認証 / 部門管理］をクリックします。

3 ［部門管理］チェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを入力します。



6.3 ページ単位設定タブの設定



オモテ表紙／ウラ表紙を付けてプリントする

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［オモテ表紙］、［ウラ表紙］チェックボックスを ON にします。

→ ［オモテ表紙］や［ウラ表紙］にプリントする場合は［印刷］を、用紙のみ付ける場合は［白紙］を選択します。

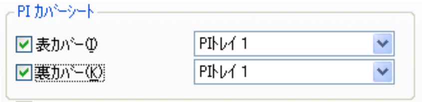
3 ［オモテ表紙］や［ウラ表紙］として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

PI カバーシートを付けてプリントする

印刷文書にカバーシートを付けます。厚紙などをカバーシートフィーダにセットしておくと、カバーシートとして印刷文書に付けることができます。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 PI カバーシート内の［表カバー］、［裏カバー］チェックボックスを ON にします。



3 ［表カバー］、［裏カバー］として使用する用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

...

ご注意）

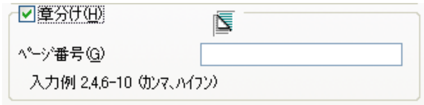
PI カバーシートを付ける場合は、オプションのカバーシートフィーダ（PI-501）が装着されている場合のみ使用可能となります。

章分けをしてプリントする

両面印刷 / 小冊子印刷をする際に特定のページが必ず表になるように印刷することができます。指定したページが両面印刷の裏面であった場合、そのページを次の用紙の表面に移動して印刷します。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［章分け］チェックボックスを ON にします。



3 表面にしたいページを、［ページ番号］テキストボックスに入力します。

複数のページをプリントするとき

複数ページのプリントで、途中で給紙トレイを変えたい場合などは、「ページ単位設定」機能が便利です。

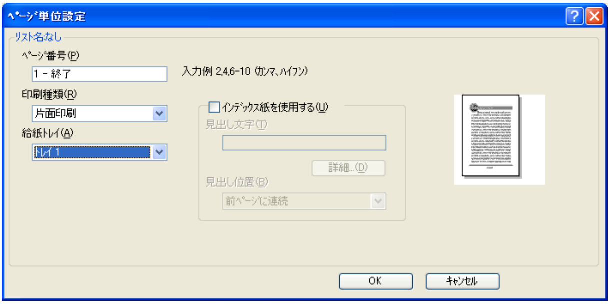
ページ単位設定

各ページの印刷種類や給紙トレイを指定できます。

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［ページ単位設定］のチェックボックスを ON にします。

3 ［追加］をクリックし、表示されるダイアログボックスでページ番号や印刷種類、給紙トレイを設定します。



4 必要に応じて[インデックス紙を使用する]チェックボックスをONにして、挿入紙にインデックス紙を使用する場合の設定を行います。

...

メモ）

インデックス紙の設定についての詳細は、「インデックス紙を使用する場合」(p. 6-30）をご覧ください。

既存の条件は、設定行を選択した状態で［編集］をクリックすると変更でき、［削除］をクリックすると削除できます。

設定を保存する / 読み出す

設定をドキュメント定義ファイル (xml) として保存したり、定義ファイルを読み出したりすることができます。

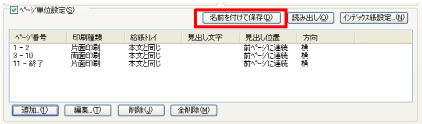
設定を保存する

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［ページ単位設定］チェックボックスを ON にします。

3 ページ単位設定を行います。

4 ［名前を付けて保存］をクリックします。



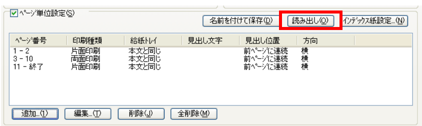
5 ファイル名を入力して保存します。

設定を読み出す

1 ［ページ単位設定］タブをクリックします。

2 ［ページ単位設定］チェックボックスを ON にします。

3 ［読み出し］をクリックします。



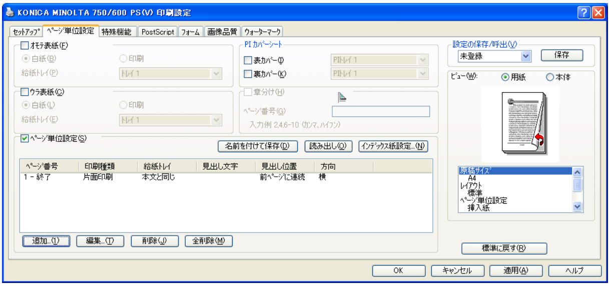
4 定義ファイルを読み出します。

インデックス紙を使用する場合

ページ単位設定で、市販のインデックス紙を使用することができます。

1 [ページ単位設定] タブをクリックします。

2 [ページ単位設定] チェックボックスを ON にします。



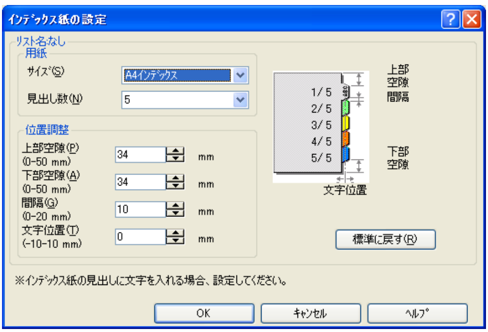
3 ページ単位を設定するか、定義ファイルを読み出します。

メモ）
定義ファイルを読み出す方法については、「設定を読み出す」（p. 6-29）を参照してください。

4 [インデックス紙設定] をクリックします。

[インデックス紙] ダイアログが表示されます。

5 [用紙]-[サイズ]ボックス横の[▼]をクリックして表示されるリストから、使用するサイズを選択します。



メモ）
初期設定は [A4 インデックス] です。

6 [用紙]-[見出し数]ボックス横の[▼]をクリックして表示されるリストから使用する見出し数を選択します。

[見出し数] ボックスに直接入力することもできます。

メモ）
初期設定は [５] です。

[２] から [１５] の数値を設定できます。

7 必要に応じて [位置調整]-[上部空隙]、[下部空隙]、[間隔]、[文字位置] を設定します。

メモ）
設定できる数値の範囲は、[見出し数] の数値によって異なります。

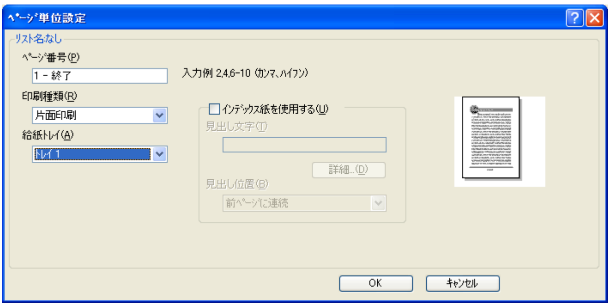
8 [OK] をクリックして、[インデックス紙の設定] ダイアログを閉じます。

[ページ単位設定] タブの表示に戻ります。

9 [追加] をクリックします。

[ページ単位設定] ダイアログが表示されます。

10 必要に応じて [ページ番号]、[印刷種類]、[給紙トレイ] を選択します。



11 [インデックス紙を使用する] チェックボックスを ON にします。

見出し文字を印刷しない場合は、ON にする必要はありません。手順 17 に進みます。

12 [見出し文字] ボックスに任意の文字を入力します。

入力可能な文字数は 64 文字です。

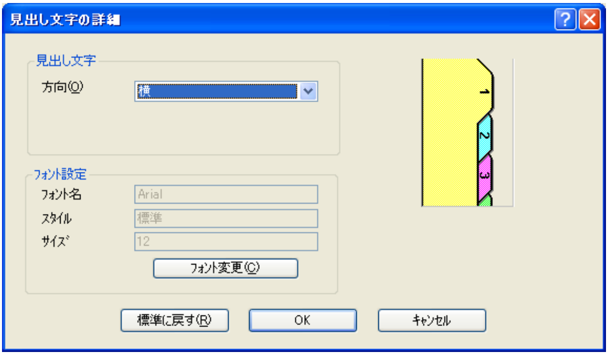
13 [見出し文字の詳細] をクリックします。

[見出し文字の詳細] ダイアログが表示されます。

...

メモ）
[見出し文字] に入力がない場合は、[見出し文字の詳細] は使用できません。

14 必要に応じて、[見出し文字]-[方向] および [フォント設定]-[フォント名]、[スタイル]、[サイズ] を設定します。



15 [OK] をクリックして、[見出し文字の詳細] ダイアログを閉じます。

[ページ単位設定] ダイアログに戻ります。

16 [見出し文字] を入れる見出しを指定したい場合は、[見出し位置] の [▼] をクリックして、指定したい見出しを選択します。

...

メモ）
初期設定は [前ページに連続] です。

17 [OK] をクリックして、[ページ単位設定] ダイアログを閉じます。

[プロパティ] 画面の [ページ単位設定] タブの表示に戻ります。リストボックスに設定内容が表示されます。

18 さらにインデックス紙を使用する場合は、手順 9 から 16 の操作を行います。

✎...

メモ）
インデックス紙以外で設定する場合は、[ページ単位設定] を参照してください。

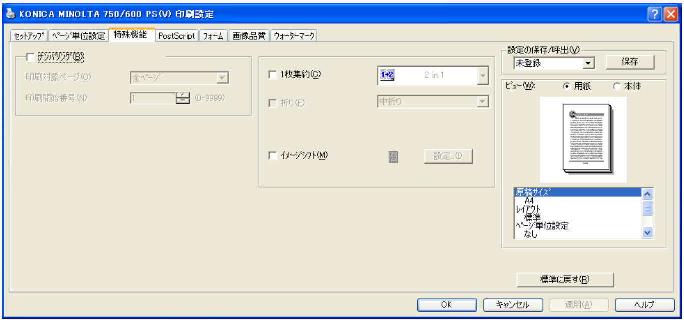
19 リストの内容を確認します。

20 [OK] をクリックして、[プロパティ] 画面を閉じます。

✎...

メモ）
ひとつのリストに最大 30 個の設定を追加することが出来ます。

6.4 特殊機能タブの設定



文書ナンバーをプリントする

文書ごとにナンバーをつけてプリントします。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［ナンバリング］チェックボックスを ON にします。

3 各項目を設定します。

- ❍ 印刷対象ページ
- ➜ ナンバーの印刷対象ページを［全ページ］か［1 ページ目のみ］から選択します。
- ❍ 印刷開始番号
- ➜ ナンバーの開始数字を設定します。

✎...

メモ）

［ナンバリング］は、［セットアップ］タブ内にある［ソート］が設定されていないと、使用できません。

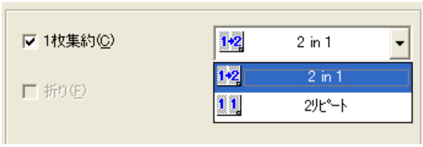
［ナンバリング］は、デバイスオプションタブでハードディスクを設定しておく必要があります。

2 ページ分を倍の大きさの用紙にプリントする

印刷文書 2 ページ分を、1 ページにまとめてプリントします。その際、出力用紙のサイズが倍になり、例えば「出力用紙」が A4 に設定されている場合、出力される用紙サイズは A3 になります。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［1 枚集約］チェックボックスを ON にします。



3 各項目を選択します。

❍ 2 in 1

➜ 印刷文書 2 ページを用紙 1 枚にまとめます。

❍ 2 リピート

➜ 印刷文書 1 ページとそのコピーを、用紙 1 枚にまとめます。

折りを設定する

用紙を折り、加工して出力します。

1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［折り］チェックボックスを ON にします。



3 各項目を選択します。

印刷位置を調整する (イメージシフト)

出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整することができます。

また本機で調節した印刷位置を使用する事が出来ます。

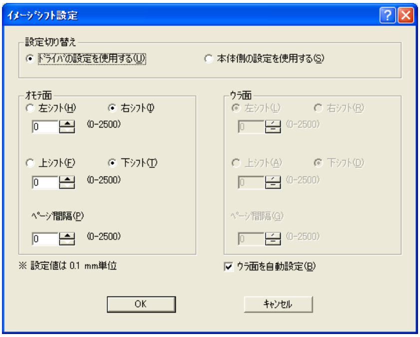
1 ［特殊機能］タブをクリックします。

2 ［イメージシフト］チェックボックスを ON にします。



3 ［設定］をクリックします。

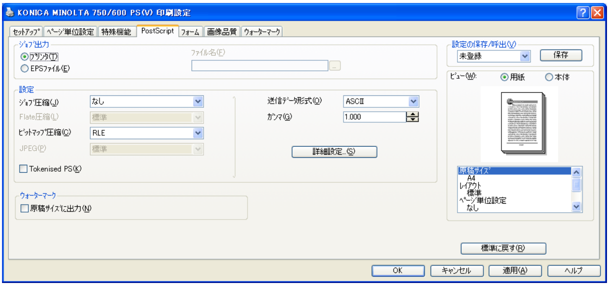
4 設定切り替えを選択し、オモテ面 / ウラ面の上下左右のシフトや、ページ間隔のシフトを「0.1mm」単位で設定します。



※ ［ページ間隔］は常にオモテ面とウラ面が同じ設定になります。オモテ面側で設定してください。

❍ ［ウラ面を自動設定］チェックボックスを ON にすると、オモテ面と同じ設定になります。

6.5 PostScript タブの設定



ジョブを出力する

ジョブの出力先をプリンタにするか、EPS 形式ファイルにするか設定します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 ジョブ出力から、［プリント］もしくは［EPS ファイル］を選択します。

...

メモ）

［EPS ファイル］を選択すると、ファイル名を設定する必要があります。[...] をクリックし、ファイル名を設定します。もしファイル名を設定していなければ、印刷するたびにファイル名を要求されます。

ジョブ圧縮を行う

ジョブ圧縮を行うか設定します。印刷データが小さくなるため、印刷速度が若干向上します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 設定内にある［ジョブ圧縮］プルダウンリストから［LZW］または［Flate］を選択します。

- ［Flate］を選択した場合、さらに［Flate 圧縮］プルダウンリストから、Flate 圧縮のタイプを選択することができます。

ビットマップ圧縮を行う

ビットマップ圧縮を行うか設定します。画像データが多い場合に使用すると、印刷速度が向上することがあります。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 設定内にある［ビットマップ圧縮］プルダウンリストから［RLE］、［LZW］または［JPEG］を選択します。

❍ ［JPEG］を選択した場合、さらに［JPEG 圧縮］プルダウンリストから、JPEG 圧縮のタイプを選択することができます。

Tokenised PS を使用する

Tokenised PS を使用するか設定します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 Tokenised PS を使用する場合は、設定内にある［Tokenised PS］チェックボックスを ON にします。

送信データ形式を設定する

送信データ形式を設定します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 設定内にある［送信データ形式］プルダウンリストから、［バイナリ］または［ASCII］を選択します。

ガンマを設定する

ガンマ値の補正を設定します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 設定内にある［ガンマ］プルダウンリストから、ガンマ値の補正を設定します。

❍ 範囲は、0.000 ～ 2.000 です。

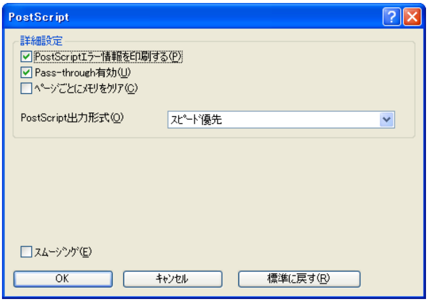
詳細設定を行う

PostScript の詳細を設定します。

1 ［PostScript］タブをクリックします。

2 ［詳細設定］をクリックします。

3 各項目を設定します。



❍ PostScript エラー情報を印刷する

➜ チェックボックスを ON にすると、プリントエラーが起きた場合にエラー情報がプリントされます。

❍ Pass-through 有効

➜ チェックボックスを ON にすると、PostScript 対応アプリケーション (Adobe 系アプリケーション、Quark XPress など) では、アプリケーション自体が描画データを作成するため、本来の描画品質を得ることができます。ただし、画像を加工する機能 (ページ割付（6-15 ページ）、小冊子（6-16 ページ）など) を使用することはできません。

➜ チェックボックスを OFF にすると、プリンタドライバ側が描画データを作成します。ただし、PostScript 対応アプリケーションでプリントした場合、描画品質が劣化することがあります。

✎...

メモ）

フォーム、ウォーターマークの詳細については、以下のページをご覧ください。

フォーム：　　　　　「フォームタブの設定」（p. 6-41）

ウォーターマーク：　「ウォーターマークタブの設定」（p. 6-49）

❍ ページごとにメモリをクリア

➜ チェックボックスを ON にすると、ページごとにプリンタメモリをクリアします。

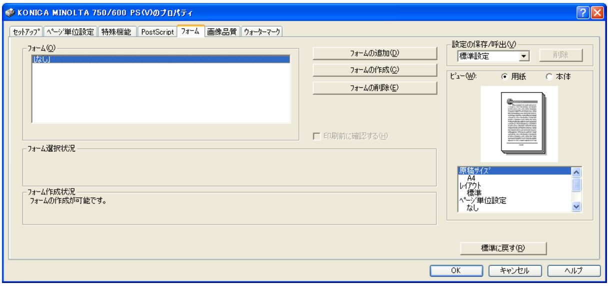
❍ PostScript 出力形式

➜ ［スピードを優先する］など、プルダウンリストから PostScript の出力形式を選択します。

❍ スムージング

➜ チェックボックスを ON にすると、ビットマップのドットが滑らかになります。

6.6 フォームタブの設定



フォームの作成

フォームを利用するには、あらかじめフォーム用のデータを登録する必要があります。フォームの登録は、登録したい文書を「フォームの作成」でフォームを作成します。

1 目的のアプリケーションソフトウェアでフォームのデータを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

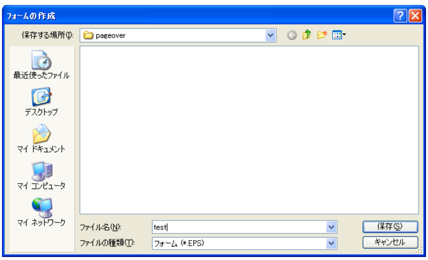
3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［フォーム］タブをクリックします。

5 ［フォームの作成］をクリックします。

「フォームの作成」ボックスが表示されます。

6 フォーム名を入力します。



7 ［保存］をクリックします。

✎...

メモ）
［保存］をクリックした後、フォーム作成待機中となり、［フォームの作成］が［フォーム作成中止］に変わります。フォームの作成を中止したい場合は、このボタンを押すと中止します。

8 ファイル名を確認し、［OK］をクリックします。

「印刷」ダイアログボックスに戻ります。

9 ［OK］を押します。

プリントが実行される代わりに、フォームが登録されます。拡張子は「EPS」になります。

フォームの追加

すでに作成したフォーム用ファイルを一覧に追加することができます。

1 目的のアプリケーションソフトウェアでフォームのデータを作成します。

2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

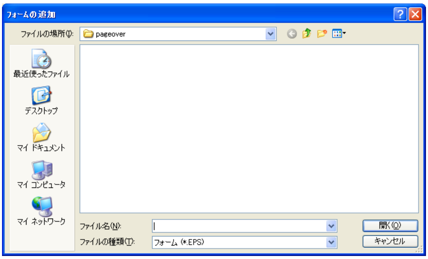
3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［フォーム］タブをクリックします。

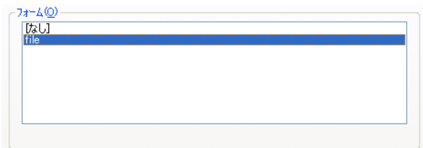
5 ［フォームの追加］をクリックします。

「フォームの追加」ボックスが表示されます。

6 該当するファイルを選択し、［開く］をクリックします。



フォーム内の一覧に選択したファイル名が表示されます。



フォームの削除

フォーム内の一覧に表示されたファイルを削除します。

...

注意)
削除すると、一覧から消えるだけでなく、ファイル自体も削除されますのでご注意ください。

1 目的のアプリケーションソフトウェアでフォームのデータを作成します。

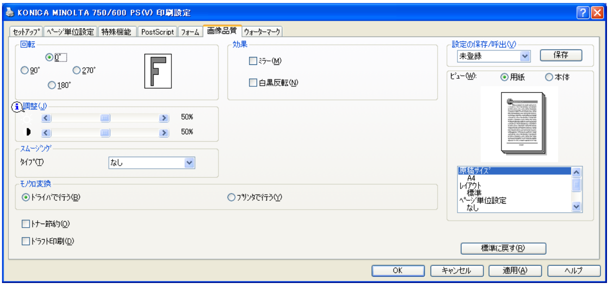
2 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

3 「プリンタ名」で「KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)」を選択し、［プロパティ］をクリックします。

4 ［フォーム］タブをクリックします。

5 削除するファイル名を選択し、［フォームの削除］をクリックします。

6.7 画像品質タブの設定

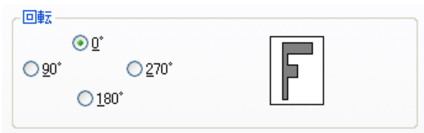


印刷データを回転させる

印刷データを回転させます。0°、90°、180°または 270°（反時計回り）を選択することができます。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 ［回転］内にあるラジオボタンから角度を選択します。



印刷データをミラー、白黒反転印刷する

印刷データを、鏡で見るような表示にさせたり、白黒反転させたりします。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 「効果」内にある［ミラー］または［白黒反転］チェックボックスを選択します。



❍ ミラー

➜ 鏡像印刷されます。

❍ 白黒反転

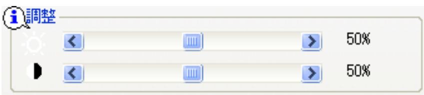
➜ 白黒反転されて印刷されます。

グラフィックの明度・コントラストを調整する

グラフィックの明度・コントラストを調整することができます。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 「調整」内にあるスライドバーは、上側が［明度］で下側が［コントラスト］になります。



❍ 明度

➜ 「100%」に近づけば明るくなり、「0%」に近づけば暗くなります。

❍ コントラスト

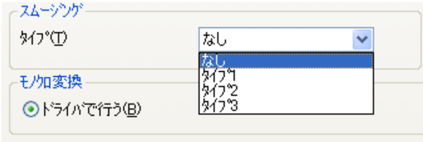
➜ 「100%」に近づけば明暗が強調され、「0%」に近づけば明暗の差がなくなります。

スムージングを行う

文字やグラフィックの曲線を滑らかにしてプリントします。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 ［タイプ］横のプルダウンボックスから、タイプを選択します。



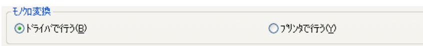
- ❍ タイプ 1
- ➜ 一般的な文字や図形の斜め線に適した処理を行います。
- ❍ タイプ 2
- ➜ 一般的な文字の曲線部に適した処理を行います。
- ❍ タイプ 3
- ➜ 飾り文字や細かい文字の曲線部に適した処理を行います。
- ❍ なし
- ➜ スムージング処理を行いません。

モノクロ変換

カラーイメージをモノクロ変換する場合に、ドライバ上で変換するか、プリンタ上で変換するか設定します。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 「モノクロ変換」内から、［ドライバで行う］、［プリンタで行う］のどちらかを選択します。



トナー節約、ドラフト印刷

トナー消費量を抑えたい、もしくは薄く印刷したい場合に設定します。

1 ［画像品質］タブをクリックします。

2 目的に応じた設定を行います。

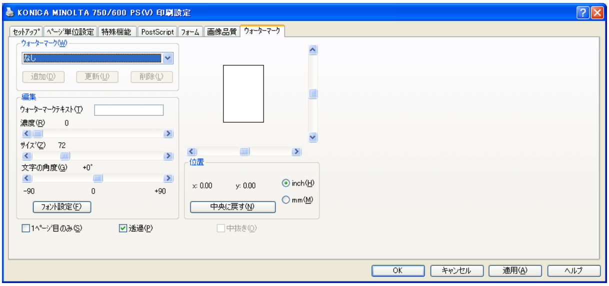
❍ トナーの消費量を抑えたい場合

➜ ［トナー節約］チェックボックスを ON にします。

❍ 薄く印刷し、下書き印刷を行いたい場合

➜ ［ドラフト印刷］チェックボックスを ON にします。

6.8 ウォーターマークタブの設定



ウォーターマークをプリントする

特定の文字をウォーターマークとして、文書の背景にプリントします。

1 ［ウォーターマーク］タブをクリックします。

2 ［ウォーターマーク］内にあるプルダウンリストから、プリントしたいマークを選択します。

...

メモ）

ウォーターマークを新規で登録することができます。詳しくは「ウォーターマークを編集する」（p. 6-50）を参照してください。

3 条件を設定します。

❍ １ページのみ

➜ チェックボックスを ON にすると、最初のページのみプリントします。

❍ 透過

➜ チェックボックスを ON にすると、印刷文書の上にウォーターマークを透かしてプリントします。

❍ 中抜き

➜ チェックボックスを ON にすると、中抜き文字で印刷します。

...

メモ）

小冊子が設定されている場合は、ウォーターマークはプリントされません。

ウォーターマークを編集する

ウォーターマークの書体や位置を変更したり、新規にウォーターマークを登録したりすることができます。

1 ［ウォーターマーク］タブをクリックします。

2 ウォーターマークを新規作成または編集します。

❍ 新規で作成する場合

➜ ［ウォーターマーク］内にあるプルダウンリストを［なし］にし、［編集］内にある［ウォーターマークテキスト］のボックスにプリントしたい文字を入力します。

❍ 編集する場合

➜ ［ウォーターマーク］内にあるプルダウンリストから、編集したい文字を選択します。

3 各項目を設定します。

❍ ウォーターマークテキスト

➜ ウォーターマークの文字が表示されます。

❍ 濃度

➜ 文字の濃さをスクロールバーで設定します。

❍ サイズ

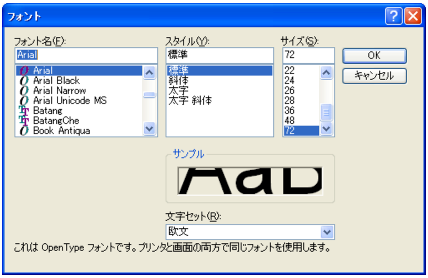
➜ 文字のフォントサイズをスクロールバーで設定します。

❍ 文字の角度

➜ 文字の回転角をスクロールバーで設定します。

❍ フォント設定

➜ ［フォント設定］をクリックし、フォント名、スタイル、サイズ等を設定します。



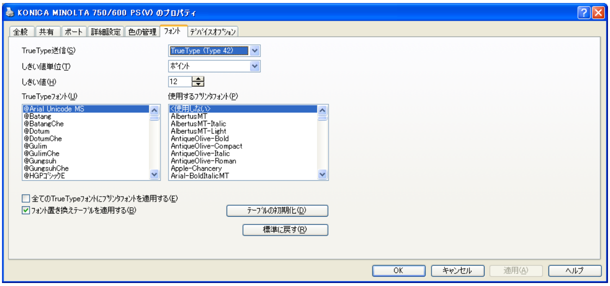
❍ 位置

➜ 文字の印刷位置をプレビュー画面から直接ドラッグするか、スクロールバーから設定します。

❍ 中央に戻す

➜ 文字を用紙の中央に配置します。

6.9 フォントタブの設定



Windows で使われている TrueType フォントを本機に搭載されているプリンタフォントに置き換える設定を行います。

...

メモ）

プリンタフォントを使うとプリンタ時間は少なくてすみますが、画面の表示とプリント結果が異なることがあります。

1 ［スタート］-［プリンタと FAX］(もしくは［スタート］-［設定］-［プリンタ］) をクリックします。

2 プリンタ「KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［フォント］タブをクリックします。

4 ［TrueType 送信］を、TrueType(Type 42)、Bitmap(Type 3)、Adobe(Type 1) から選択します。

5 ［しきい値単位］を、ポイント、1/100inch、ピクセルから選択します。

6 ［しきい値］を設定します。

7 置き換えたい TrueType フォントを［TrueType フォント］から選択します。

8 ［使用するプリンタフォント］で置き換えるプリンタフォントを選択します。

✎...

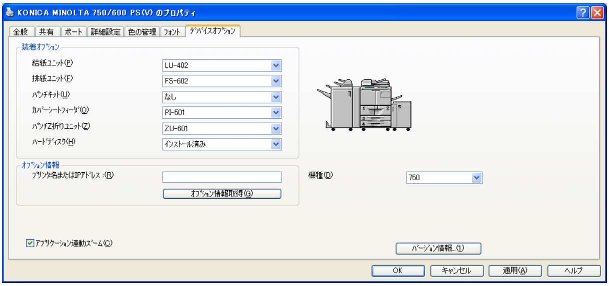
メモ）

［全ての TrueType フォントにプリンタフォントを適用する］チェックボックスを ON にすると、TrueType フォントが自動的に最適なプリンタフォントに置き換わり、プリント時間も少なくなります。ただし、画面の表示とプリント結果が異なることがあります。

［フォント置き換えテーブルを適用する］チェックボックスを ON にすると、フォント置き換えテーブルを使用します。初期の状態に戻す場合は［テーブルの初期化］をクリックします。

9 ［OK］をクリックします。

6.10 デバイスオプションタブの設定



装着オプションを設定する

本機に装着されているオプションを設定します。

✎...

ご注意）

本機に装着されているオプションが［オプション］タブで設定されていないと、プリンタドライバでオプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

また［機種］と本機が一致していないと、「機密プリント」、「ユーザ認証」、「部門管理」の機能が使用できなくなりますので、必ず確認してください。

1 ［スタート］-［プリンタと FAX］（もしくは［スタート］-［設定］-［プリンタ］）をクリックします。

2 プリンタ「KONICA MINOLTA 750/600 PS(V)」のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスオプション］タブをクリックします。

4 ［装着オプション］から、本機に装着されているオプションを設定します。

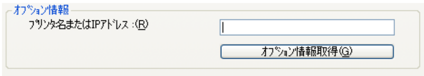
❍ ［アプリケーション連動ズーム］チェックボックスを ON にすると、Microsoft Excel などの印刷メニューにある［ズーム］の設定値とドライバの［ズーム］の設定値が連動します。
❍ ［バージョン情報］をクリックすると、プリンタドライバのバージョンが表示されます。

オプション情報を自動取得する

既に本機がネットワーク接続されている状態で使用すると、オプション情報が自動的に検出されます。

1 ［デバイスオプション］タブをクリックします。

2 ［オプション情報］内にある［プリンタ名または IP アドレス］テキストボックスに、プリンタ名もしくは IP アドレスを入力します。



3 ［オプション情報取得］をクリックすると、オプション情報が自動的に検出されます。

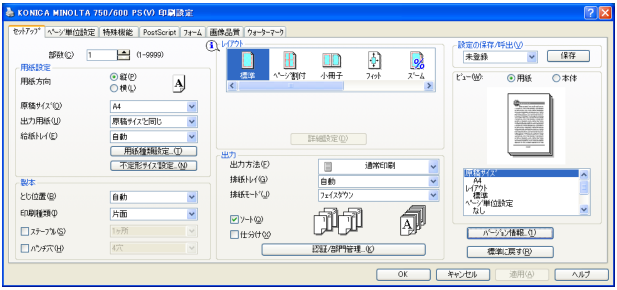
6.11 ドライバ設定を保存する

変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

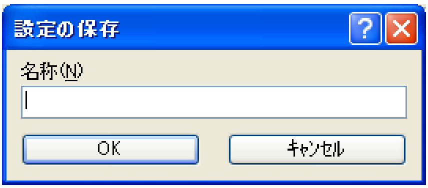
ドライバの設定を保存する

1 ［セットアップ］タブなどでドライバの設定値を変更します。

2 ［保存］をクリックします。



3 ［名称］（ファイル名）を入力します。



4 ［OK］をクリックします。

設定内容がライブラリに登録されます。

設定を呼び出すには

➜ プリンタドライバ画面の［設定の保存 / 呼出］ドロップダウンリストをクリックし、設定を保存した際に作成した設定ファイル名を選択します。

設定内容が呼び出され、プリンタドライバの設定が変更されます。

設定を変更するには

1 プリンタドライバの画面で［設定の保存 / 呼出］をクリックします。

2 リストから、変更したい設定ファイルを選択し、項目を設定します。

❍ 削除する場合は、ここで［削除］をクリックします。

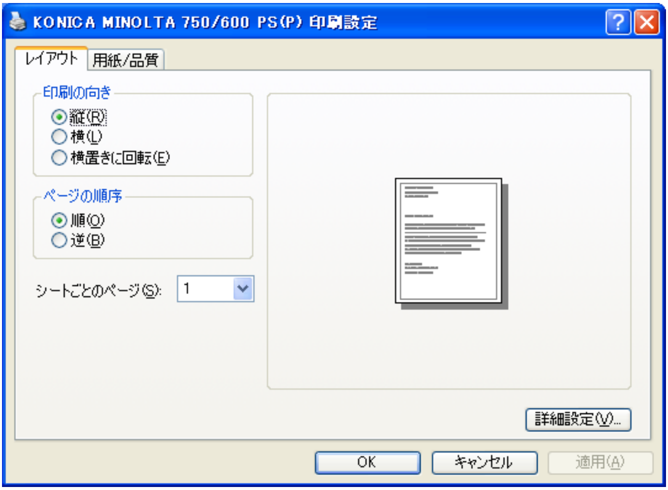
［設定の削除］ボックスが表示されます。

3 ［保存］をクリックし、［名称］テキストボックスに設定を変更したい設定ファイル名と同じ名前を入力します。

4 ［OK］をクリックします。

7 PPD ドライバの設定（Windows）

7.1 設定項目



レイアウトタブ

項目名	機能
印刷の向き	用紙方向を設定します。
ページの順序	プリントするページの順番を設定します。
シートごとのページ	ページ割付を設定します。

用紙 / 品質タブ

項目名	機能
給紙方法	給紙トレイを選択します。
メディア	用紙の種類を選択します。

詳細設定

項目名	機能
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
部数	プリントする部数を設定します

項目名	機能
拡大縮小	25 ～ 400% の範囲で拡大・縮小をして印刷するか設定します。
TrueType フォント	TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えます。
詳細な印刷機能	詳細な印刷機能の有無を設定します。
PostScript 出力オプション	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
TrueType フォントダウンロードオプション	TrueType フォントをプリントする場合に、プリンタにダウンロードするフォントのタイプを選択します。
PostScript 言語レベル	PostScript のレベルを設定します。
PostScript エラーハンドラを送信	PostScript エラーが発生した場合、レポートをプリントするか、しないかを設定します。
左右反転印刷	左右反転してプリントします。
白黒反転印刷	白黒反転してプリントします。
仕分け	ページごとに仕分けをして印刷するか設定します。
印刷位置	印刷する位置を設定します。
排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
排紙モード	排紙モードを選択します。
とじ位置	とじ位置を設定します。
両面	両面印刷を設定します。
特殊モード	小冊子印刷、2 in 1、2 リピート機能を設定します。
ステープル	ステープル止めを行うか設定します。
パンチ	パンチを行うか設定します。
折り	Z 折り、中とじ、中折り、三つ折りを行うか設定します。
イメージシフト	印刷位置を調整して印刷します。設定は本機で行います。
オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
表カバー	オモテ表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
裏カバー	ウラ表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
OHP 合紙	OHP に合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
一時停止	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる［確認プリント］を指定します。
スムージング	スムージング処理を設定します。
印刷濃度	印刷濃度を調整したい場合に設定します。

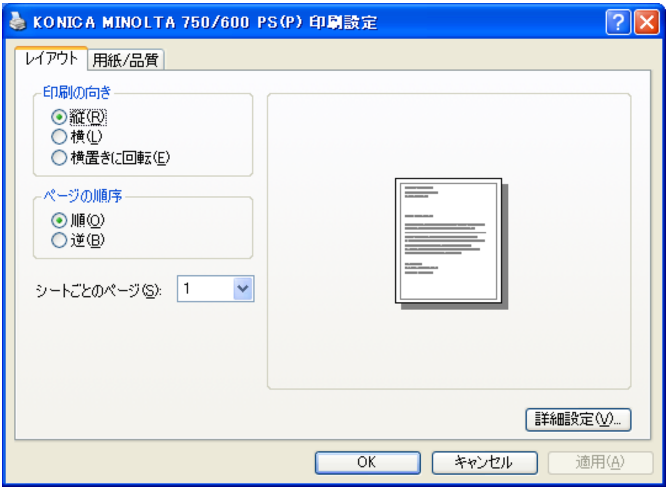
デバイス設定のタブ

項目名	機能
給紙方法と用紙の割り当て	各給紙トレイの用紙サイズを設定します。
フォント代替表	TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える対応を設定します。
利用可能な PostScript メモリ	利用可能な PostScript メモリサイズを設定します。
出力プロトコル	プリンタに送信するプロトコルを設定します。
ジョブの前に CTRL-D を送信	プリント前にプリンタをリセットするかどうかを設定します。
ジョブの後に CTRL-D を送信	プリント後にプリンタをリセットするかどうかを設定します。
グレーテキストを PostScript グレーに変換する	ドキュメント内にグレーテキストがあった場合に、PostScript グレーに変換するか、しないかを設定します。
グレーグラフィックスを PostScript グレーに変換する	ドキュメント内にグレーの画像があった場合に、PostScript グレーに変換するか、しないかを設定します。
欧州通貨記号を PostScript フォントに追加する	ドキュメント内に欧州通貨記号があった場合に、PostScript フォントに追加するか、しないかを設定します。
ジョブタイムアウト	送信したジョブのプリントが設定した時間内に完了しない場合、プリンタはプリントを中止します。
印刷待ちタイムアウト	ジョブの送信を開始してから、設定した時間内にプリンタがデータを受信できない場合、プリンタはプリントを中止します。
アウトラインとしてダウンロードする下限フォントサイズ	TrueType フォントをアウトラインフォントとしてダウンロードする場合の、最小のフォントサイズを指定します（ピクセル単位）。最小の設定より小さいフォントは、ビットマップフォントとしてダウンロードされます。
ビットマップとしてダウンロードする上限フォントサイズ	TrueType フォントをビットマップフォントとしてダウンロードする場合の、最大のフォントサイズを指定します（ピクセル単位）。最大の設定より大きいフォントは、アウトラインフォントとしてダウンロードされます。
インストール可能なオプション	本機に装着されているオプション（排紙ユニット、Z 折りパンチユニットなど）を設定します。

7.2 レイアウトタブの設定

レイアウトタブでは、プリント時の向きや割付などのレイアウトを設定できます。

1 ［レイアウト］タブをクリックします。



2 各項目を設定します。

印刷の向き：	用紙方向を設定します。
ページの順序：	プリントするページの順番を設定します。
シートごとのページ：	ページ割付（N in 1 印刷）を設定します。

...

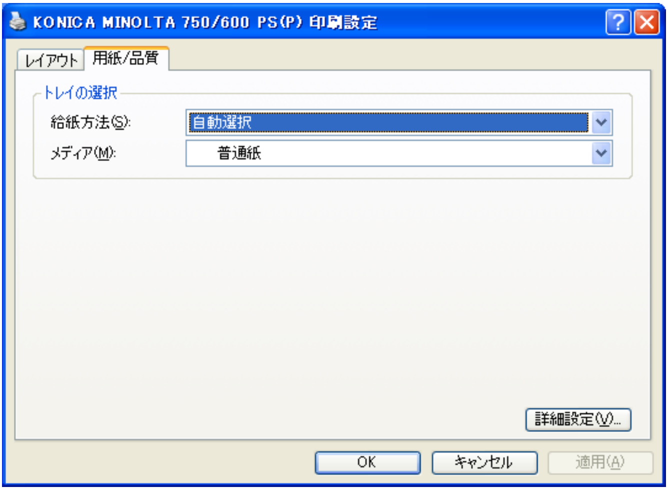
メモ）

Windows 98SE/Me で［レイアウト］タブ内の項目を表示させる場合は、［用紙］タブ、もしくは［グラフィックス］タブをご覧ください。

7.3 用紙 / 品質タブの設定

用紙 / 品質タブでは、用紙種類や給紙トレイを設定できます。

1 ［用紙 / 品質］タブをクリックします。



2 各項目を設定します。

給紙方法：	給紙トレイを選択します。
メディア：	用紙種類を選択します。

...

メモ）

Windows 98SE/Me で［用紙 / 品質］タブ内の項目を表示させる場合は、［用紙］タブをご覧ください。

7.4 詳細設定

「詳細設定」画面では、フィニッシャーの機能や印刷濃度の調整など高度な機能を設定できます。

...

ご注意）

本機に装着されているオプションが「デバイスの設定」（p. 7-8）タブで設定されていないと、機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

機能を選択する際、黄色いエクスクラメーションマーク（ ）が表示されます。

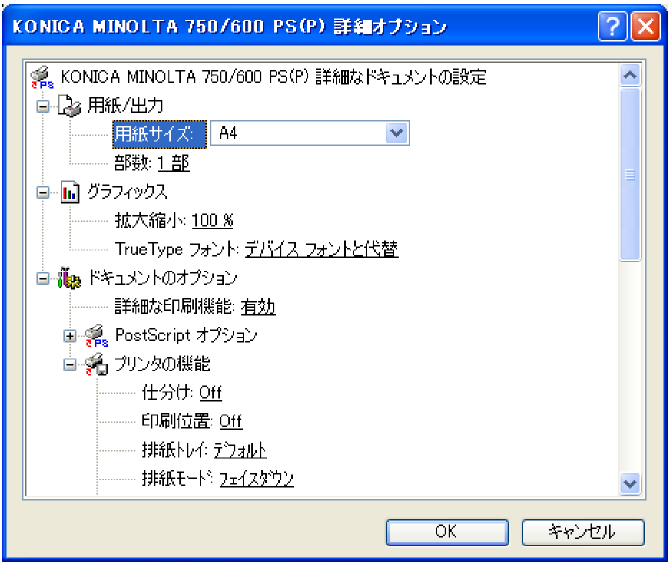
原因として

- 必要なオプションが設定されていない
- 重複できない機能が既に設定されている

などがあげられます。

1 ［レイアウト］タブまたは［用紙 / 品質］タブで［詳細設定］をクリックします。

2 各項目の右側にあるドロップダウンリストで、機能を選択します。



✎...

メモ）

設定できる項目および機能については、「設定項目」（P7-1）をご覧ください。

Windows 98SE/Me で「詳細設定」画面内の項目を表示させる場合、［用紙］タブ、［デバイスオプション］タブ、［PostScript］タブ、［グラフィックス］タブ、［フォント］タブをご覧ください。

✎...

ご注意）

折り機能は、オプションのフィニッシャー FS-602（三つ折り、中折り）またはパンチ /Z 折りユニット（Z 折り）が装着されている場合のみ使用可能になります。

ステープル機能は、オプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能になります。ステープル可能枚数は普通紙 A4 以下で、FS-505 では 100 枚、FS-504/602 では 50 枚です。

パンチ機能はオプションのフィニッシャーが装着されている場合のみ使用可能になります。さらにパンチキット、及びパンチ /Z 折りユニットが装着されている必要があります。

シフトトレイ SF-601 装着の場合、折り、ステープル、パンチ機能は使用できません。

7.5 デバイスの設定

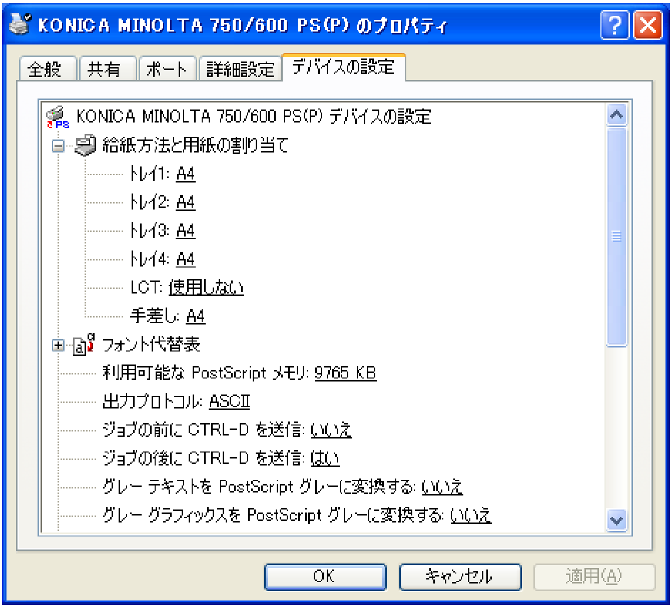
本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。

1 Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 の場合は、[スタート] をクリックし、［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 98SE/Me/NT4.0/2000 の場合は、［スタート］をクリックし、[設定]-[プリンタ] をクリックします。

2 インストールしたプリンタ [KONICA MINOLTA 750/600 PS(P)] のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［デバイスの設定］タブをクリックします。



4 各項目の右側のドロップダウンリストで、機能を選択します。オプションの装着状態は［インストール可能なオプション］で設定します。

✎...

メモ）

Windows 98SE/Me で［デバイスの設定］タブ内の項目を表示させる場合は、［デバイスオプション］タブ、［PostScript］タブ、［グラフィックス］タブ、［フォント］タブを、オプションの装着状態は［デバイスオプション］タブをご覧ください。

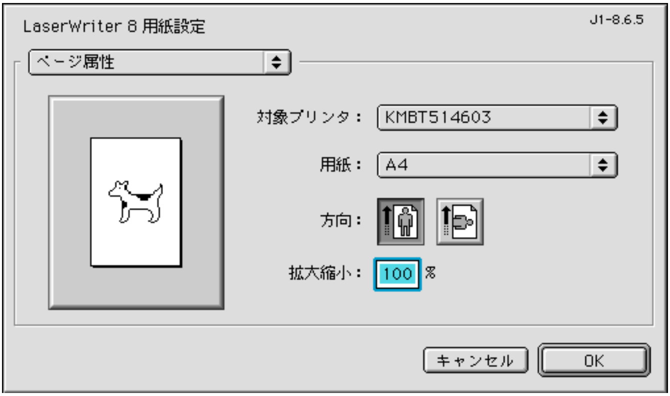
8 PPD ドライバの設定（Mac OS 9）

8.1 設定項目

本機の機能は、アプリケーションソフトウェアから呼び出す「用紙設定」および「プリント」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションソフトウェアを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容は消えます。

「用紙設定」画面



用紙設定の設定項目

メニュー	項目名	機能
ページ属性	用紙	用紙のサイズを設定します。
	方向	用紙方向を設定します。
	拡大縮小	拡大・縮小率を設定します。

メニュー	項目名	機能
PostScript オプション	横反転	左右を反転してプリントします。
	縦反転	上下を反転してプリントします。
	パターン反転	ネガ反転してプリントします。
	フォント代用	一部のフォントをプリンタフォントに置換えます。
	滑らかな文字	テキストデータにスムージング処理をします。
	滑らかなグラフィック	グラフィックデータにスムージング処理をします。
	精密ビットマップアライメント	グラフィックイメージの歪みを補正します。
	ダウンロード可能フォントの制限なし	ダウンロードするスクリーンフォントの制限をなしにします。
カスタム用紙サイズ	単位	設定単位を選択します。
	用紙サイズ	目的の用紙サイズを設定します。
	余白	用紙の余白を設定します。
	カスタム用紙サイズの名前	設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、［追加］をクリックします。

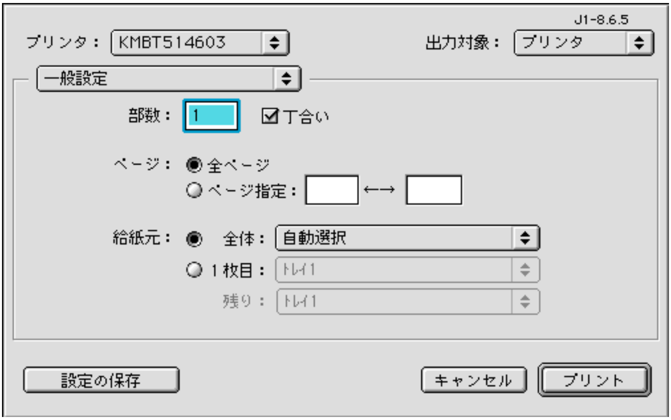
✎...

メモ）

アプリケーションソフトウェアによっては、［用紙設定］が［ページ設定］と表示される場合もあります。また、［ファイル］メニューから［用紙設定］－［オプション］と選択する場合もあります。

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

「プリント」画面



プリントの設定項目

メニュー	項目名	機能
一般設定	部数	プリントする部数を設定します。
	丁合い	部数が複数の場合、1 部ずつプリントします。
	ページ	プリントするページ範囲を設定します。
	給紙元	給紙するトレイを選択します。
カラーマッチング（この項目は使用しません）	カラー指定	プリントする色を設定します。
	マッチングスタイル	カラーマッチングの方法を選択します。
	プリンタ用プロファイル	出力機器の色調整プロファイルを設定します。
バックグラウンドプリント	処理方法	バックグラウンド印刷を設定します。
	プリント時刻	プリントの緊急度や時間指定をします。
ファイルとして保存	フォーマット	PostScript ファイルの出力形式を設定します。
	PostScript レベル	PostScript のレベルを設定します。
	データフォーマット	書類の保存形式を設定します。
	フォントの保持	フォントデータをファイルに含めるかどうか設定します。
フォント設定	フォント設定	フォントキーに情報を付加します。
	フォントダウンロード	フォントをダウンロードする条件を設定します。

メニュー	項目名	機能
レイアウト	ページ割り付け	1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。
	レイアウト方向	ページの割付け順を設定します。
	枠線	ページ間に境界線を設定します。
作業記録処理	PostScript エラーが起きた場合	PostScript エラーレポートの条件を設定します。
	作業記録	保存する作業記録の条件を設定します。
	作業記録フォルダ	作業記録を保存するフォルダを設定します。
表紙	表紙のプリント	表紙を付けてプリントします。
	表紙の給紙元	表紙を給紙するトレイを選択します。
Finishing Option1	仕分け	仕分けを設定します。
	印刷位置	印刷の位置を設定します。
	排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
	排紙モード	印刷する用紙を上向きにするか、下向きにするか設定します。
	とじ位置	とじ位置を設定します。
	両面	両面印刷を行います。
	特殊モード	小冊子印刷を設定します。
Finishing Option2	ステープル	ステープルを行います。
	パンチ	パンチを行います。
	折り	折りを行います。
	イメージシフト	印刷位置を調整して印刷します。設定は本機で行います。
	オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
	オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
	ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
	ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
Finishing Option3	表カバー	表表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
	裏カバー	裏表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
	OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
	OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
	一時停止	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認プリントを指定します。
	解像度	プリント解像度を設定します。
	スムージング	スムージング処理を設定します。

メニュー	項目名	機能
Finishing Option4	印刷濃度	印刷濃度を調整したい場合に設定します。

メモ）

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

8.2 用紙設定

ページ属性（基本設定）

1 ［ファイル］メニューの［用紙設定］（または［ページ設定］）を選択します。

2 ［ページ属性］を選択します。



3 各項目を設定します。

用紙：	用紙のサイズを設定します。
方向：	用紙方向を設定します。
拡大縮小：	拡大・縮小率を設定します。



✎...

メモ）
製本の機能は「プリント」画面の［レイアウト］で設定できます。

カスタムページ設定

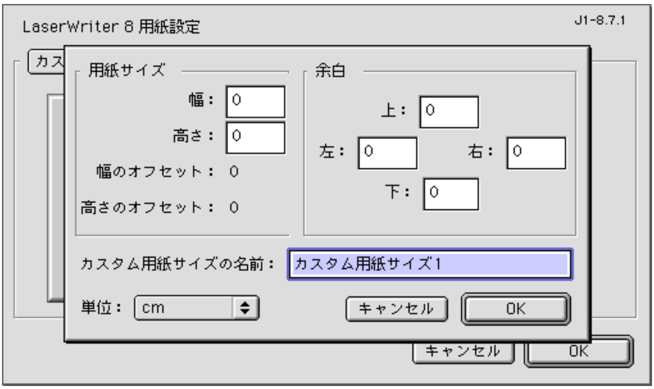
1 ［ファイル］メニューの［用紙設定］（または［ページ設定］）を選択します。

2 ［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［新規］または［編集］をクリックします。

4 各項目を設定します。

用紙サイズ：	希望する用紙サイズを設定します。
余白：	用紙の余白を設定します。
カスタム用紙サイズの名前：	設定した用紙サイズや余白の登録名を入力し、［追加］をクリックします。
単位：	設定単位を選択します。



5 ［OK］をクリックします。

カスタムページ設定が登録され、［ページ属性］の用紙で選択できるようになります。

PostScript オプション

1 ［ファイル］メニューの［用紙設定］（または［ページ設定］）を選択します。

2 ［PostScript オプション］を選択します。

3 各項目を設定します。

視覚効果：	［横反転］、［縦反転］、［パターン反転（ネガ反転）］を選択します。
フォント代用：	一部のフォントをプリンタフォントに置換えます。
滑らかな文字：	テキストデータにスムージング処理をします。
滑らかなグラフィックス：	グラフィックデータにスムージング処理をします。
精密ビットマップアライメント：	グラフィックイメージの歪みを補正します。
ダウンロード可能フォントの制限なし：	ダウンロードするスクリーンフォントの制限をなしにします。

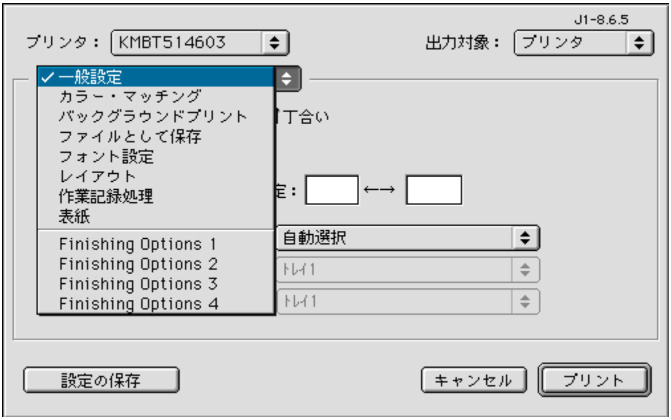


8.3 プリント

一般設定（基本設定）

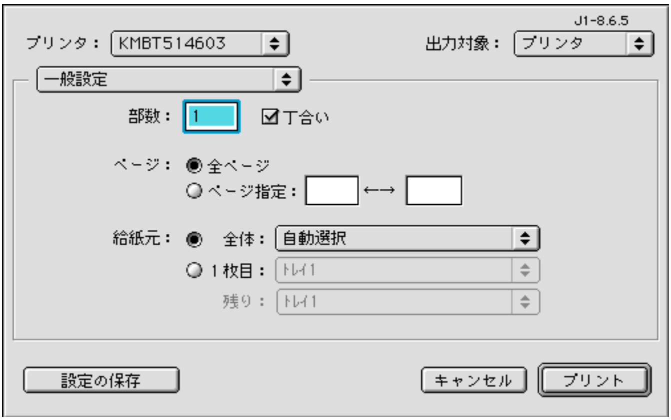
1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［一般設定］を選択します。



3 各項目を設定します。

部数：	プリントする部数を設定します。
丁合い：	部数が複数の場合、1 部ずつプリントします。
ページ：	プリントするページ範囲を設定します。
給紙元：	給紙するトレイを選択します。



レイアウト（ページ割付）

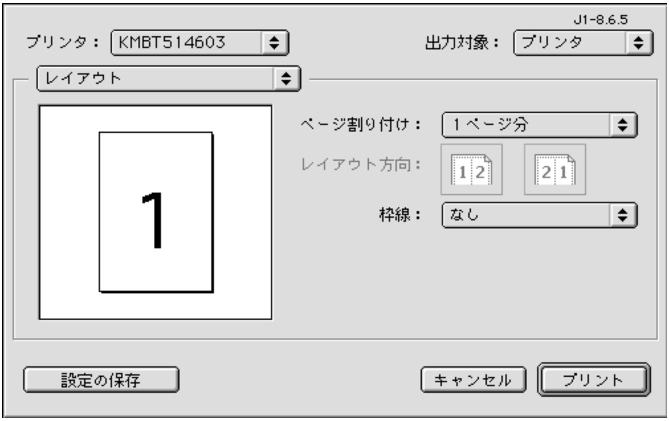
複数ページを 1 枚の用紙に割付けたり、両面印刷をするときに設定します。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［レイアウト］を選択します。

3 各項目を設定します。

ページ割り付け：	1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。
レイアウト方向：	ページの割付け順を設定します。
枠線：	ページ間に境界線を設定します。



Finishing Option

プリンタ固有の機能を設定します。ステープルやパンチなど本機の機能を利用するときに設定します。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［Finishing Option 1 ～ 4］を選択します。

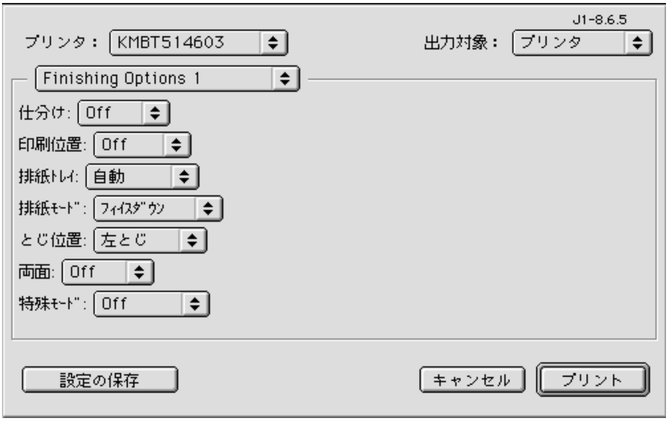
3 各項目を設定します。

仕分け：	仕分けを設定します。
印刷位置：	印刷の位置を設定します。
排紙トレイ：	排紙トレイを選択します。
排紙モード：	印刷する用紙を上向きにするか、下向きにするか設定します。
とじ位置：	とじ位置を設定します。
両面：	両面印刷を行います。
特殊モード：	小冊子印刷を設定します。
ステープル：	ステープルを行います。
パンチ：	パンチを行います。
折り：	折りを行います。
イメージシフト：	印刷位置を調整して印刷します。設定は本機で行います。
オモテ表紙：	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ：	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙：	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ：	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
表カバー：	表表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
裏カバー：	裏表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
OHP 合紙：	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ：	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。
一時停止：	文書が 1 部出力された後、一時停止して確認できる確認プリントを指定します。

解像度：　解像度を設定します。

スムージング：　スムージング処理を設定します。

印刷濃度：　印刷濃度を調整したい場合に設定します。



8.4 オプションの設定

本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。

ご注意）
本機に装着されているオプションが［追加オプションの設定］で設定されていないと、オプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

1 ［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

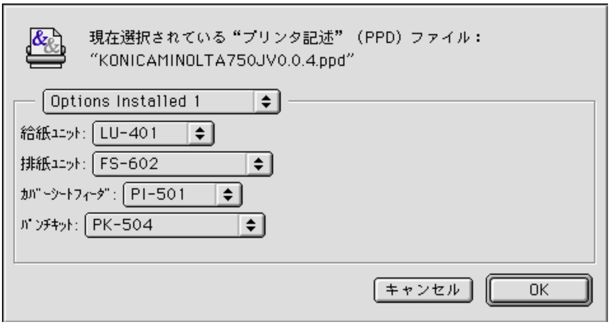
2 プリンタ名を選択します。

3 ［再設定］をクリックします。

4 ［オプション設定］をクリックします。

追加オプションの設定画面が表示されます。

5 本機に装着しているオプションを設定します。



6 ［OK］をクリックします。

「セレクタ」画面にもどります。

7 「セレクタ」画面を閉じます。

メモ）
オプションの設定は、最初にプリンタドライバを選択したときには、自動的に表示します。詳しくは、「プリンタの選択」(p.2-38) をご覧ください。

9 PPD ドライバの設定（Mac OS X）

9.1 設定項目

本機の機能は、アプリケーションソフトウェアから呼び出す「ページ設定」および「プリント」画面で設定します。

設定内容は、そのアプリケーションソフトウェアを使用している間だけ適用されます。アプリケーションソフトウェアを終了すると、設定内容はクリアされます。

「ページ設定」画面



ページ設定の設定項目

設定メニュー	項目名	機能
ページ属性	用紙サイズ	用紙のサイズを設定します。
	方向	用紙方向を設定します。
	拡大縮小	拡大・縮小率を設定します。
カスタム用紙サイズ	用紙サイズ	目的の用紙サイズを設定します。
	余白	用紙の余白を設定します。

✎...

メモ）

アプリケーションソフトウェアによっては、［ページ設定］が［用紙設定］と表示される場合もあります。また、［ファイル］メニューから［用紙設定］－［オプション］と選択する場合もあります。

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

「プリント」画面



プリントの設定項目

メニュー	項目名	機能
印刷部数と印刷ページ	部数	プリントする部数を設定します。
	丁合い	部数が複数の場合、1 部ずつプリントします。
	ページ	プリントするページ範囲を設定します。
レイアウト	ページ数／枚	1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。
	レイアウト方向	ページの割付け順を設定します。
	枠線	ページ間に境界線を設定します。
出力オプション	出力フォーマット	ファイルに出力する場合のフォーマットを設定します。
スケジューラ *1	書類をプリント	プリントの時間指定をします。
	優先順位	プリントの緊急度を設定します。
用紙処理 *1	ページの順序を逆にする	ページの順序を逆にプリントします。
	プリント	プリントするページを選択します。
	出力用紙サイズ *2	使用する出力用紙サイズを設定します。
ColorSync*1（この項目は使用しません）	カラー変換	色変換の方法を設定します。
	Quartz フィルタ	プリントする色を設定します。
表紙 *1	表紙のプリント	表紙を付けるかどうか設定します。
	表紙のタイプ	表紙にプリントする［社外秘］などのコメントを選択します。
エラー処理	PostScript エラー	PostScript エラーが発生した場合、レポートをプリントするか、しないかを設定します。

メニュー	項目名	機能
給紙	全体	給紙するトレイを選択します。
	先頭ページのみ	給紙するトレイを選択します。
	残りのページ	給紙するトレイを選択します。
出力設定	ソート	複数部数をプリントするときに、1 部ずつプリントします。
	仕分け	仕分けを設定します。
	両面	両面印刷を行います。
	ステープル	ステープルを行います。
	パンチ穴	パンチを行います。
	とじ位置	とじ位置を設定します。
	折り	折りを行います。
	排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
	排紙モード	印刷する用紙を上向きにするか、下向きにするか設定します。
画像 / レイアウト	特殊モード	小冊子、2 in 1、2 リピート印刷を設定します。
	イメージシフト	印刷位置を調整して印刷します。設定は本機で行います。
	印刷位置	印刷の位置を設定します。
	解像度	（設定することはできません）
	スムージング	原稿内のスムージング処理を設定します。
	印刷濃度	印刷濃度を調整したい場合に設定します。
セットアップ	用紙種類	用紙種類を選択します。
	オモテ表紙	オモテ表紙を付けてプリントします。
	オモテ表紙用トレイ	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
	ウラ表紙	ウラ表紙を付けてプリントします。
	ウラ表紙用トレイ	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
	表カバー	表表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
	裏カバー	裏表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
	OHP 合紙	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
	OHP 合紙用トレイ	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。

メニュー	項目名	機能
セキュリティ	出力方法	「機密プリント」や「ボックス保存」など出力方法を設定します。
	機密プリント設定	「機密プリント」の場合のユーザ ID やパスワードを設定します。
	ボックス保存設定	「ボックス保存」の場合のファイル名やボックス名を設定します。
	認証設定	ユーザ認証を行う場合にチェックし、ユーザ ID やパスワードを設定します。
	部門管理設定	部門管理を行う場合にチェックし、管理部門名とパスワードを設定します。

✎...

メモ）

画面の内容は、アプリケーションソフトウェアによって異なります。

**1 の項目は、Mac OS 10.3/10.4 のみ表示されます。*

**2 の項目は、Mac OS 10.4 のみ表示されます。*

9.2 ページ設定

ページ属性（基本設定）

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

2 ［ページ属性］を選択します。



3 各項目を設定します。

用紙サイズ：	用紙のサイズを設定します。
方向：	用紙方向を設定します。
拡大縮小：	拡大・縮小率を設定します。



カスタム用紙サイズの場合（Mac OS 10.2x/10.3x の場合）

1 ［ファイル］メニューの［ページ設定］（または［用紙設定］）を選択します。

2 ［カスタム用紙サイズ］を選択します。

3 ［新規］をクリックします。

4 用紙サイズの名称を入力します。

5 各項目を設定します。

用紙サイズ：	目的の用紙サイズを設定します。
余白：	用紙の余白を設定します。



6 ［保存］をクリックします。

7 ［OK］をクリックします。

カスタム用紙サイズが登録され、［ページ属性］の用紙サイズで選択できるようになります。

カスタム用紙サイズの場合（Mac OS 10.4x の場合）

ページ設定画面から［用紙サイズ］をポップアップメニューで、［カスタムサイズを管理］を選択して表示します。



+ :　カスタムページサイズを新規で登録することが出来ます。

− :　カスタムページサイズの設定を削除いたします。

ページサイズ

用紙の幅と高さを設定します。

プリンタの余白

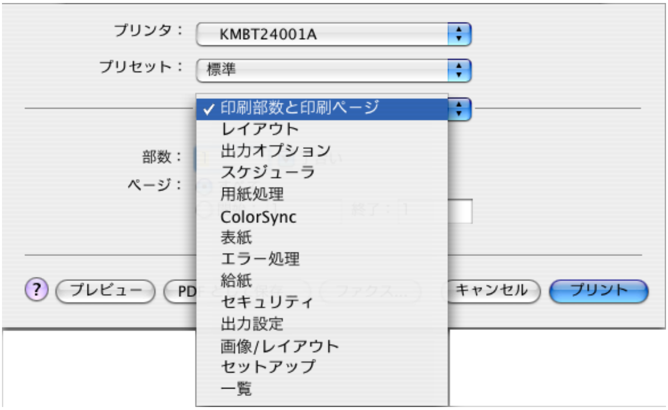
用紙の余白を設定します。

9.3 プリント

一般設定（基本設定）

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［印刷部数と印刷ページ］を選択します。



3 各項目を設定します。

部数：	プリントする部数を設定します。
丁合い：	部数が複数の場合、1 部ずつプリントします。
ページ：	プリントするページ範囲を設定します。



レイアウト（ページ割付）

複数ページを 1 枚の用紙に割付けます。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［レイアウト］を選択します。

3 各項目を設定します。

ページ数／枚：	1 枚の用紙にプリントするページ数を設定します。
レイアウト方向：	ページの割付け順を設定します。
枠線：	ページ間に境界線を設定します。



給紙

プリントする給紙トレイを指定します。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［給紙］を選択します。

3 各項目を設定します。

全体：	全ページをプリントする給紙トレイを選択します。
先頭ページのみ：	先頭ページをプリントする給紙トレイを選択します。
残りのページ：	2 ページ目以降をプリントする給紙トレイを選択します。



セキュリティ

直接プリントするだけでなく、プリント時にパスワードを必要とする「機密プリント」や、ドキュメントフォルダに保存する「ボックス保存」、複数部プリント時に 1 部目で一時停止する「確認プリント」、ユーザ認証の必要な「認証設定」、プリント枚数を管理する「部門管理設定」などが選択できます。

✔ 「機密プリント」と「ボックス保存（＆印刷）」はハードディスクの設定が必要になります。詳しくは「オプションの設定」（p. 9-16）をご覧ください。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［セキュリティ］を選択します。

3 各項目を設定します。

出力方法：	「機密プリント」「ボックス保存」などの条件を選択します。
機密プリント設定：	「出力方法」で「機密プリント」を選んだ場合に ID とパスワードを入力します。ID とパスワードは、プリントするときに本機の操作パネルで入力します。（最大 100 文書）
ボックス保存設定：	「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選んだ場合にファイル名とボックス番号を入力します。
認証設定：	本機で認証モードが設定されている場合にチェックボックスを ON にし、ユーザ名とパスワードを登録します。パブリックユーザが許可されている場合は、パブリックユーザで利用できます。
部門管理設定：	本機で部門管理が有効になっている場合にチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを登録します。


プリンタ：
KMBT24001A
プリセット：
標準
セキュリティ
出力方法:
通常印刷
機密プリント設定
機密プリントID:
パスワード：
認証設定
Publicユーザ
登録ユーザ
ユーザ名:
パスワード：
ボックス保存設定
ファイル名:
ボックス番号:
部門管理設定
部門名:
パスワード：
セキュリティ強化モード
?
プレビュー
PDF として保存...
ファクス...
キャンセル
プリント

出力設定

ステープルやパンチなど本機のフィニッシャー機能を利用するときに設定します。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［出力設定］を選択します。

3 各項目を設定します。

ソート：	複数部数をプリントするときに、1 部ずつプリントします。
仕分け：	仕分けを設定します。
両面：	両面印刷を行います。
ステープル：	ステープルを行います。
パンチ穴：	パンチを行います。
とじ位置：	とじ位置を設定します。
折り：	折りを行います。
排紙トレイ：	排紙トレイを選択します。
排紙モード：	印刷する用紙を上向きにするか、下向きにするか設定します。



画像 / レイアウト

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［画像 / レイアウト］を選択します。

3 各項目を設定します。

特殊モード：	小冊子機能、2 in 1、2 リピート機能を設定できます。
イメージシフト	印刷位置を調整して印刷します。設定は本機で行います。
印刷位置	印刷の位置を設定します。
解像度	（設定することはできません）
スムージング：	スムージング処理を設定します。
印刷濃度：	印刷濃度を調整したい場合に設定します。



セットアップ

表紙の条件を設定します。

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［セットアップ］を選択します。

3 各項目を設定します。

用紙種類：	用紙種類を選択します。
オモテ表紙：	オモテ表紙を付けてプリントします。
オモテ表紙用トレイ：	オモテ表紙を給紙するトレイを選択します。
ウラ表紙：	ウラ表紙を付けてプリントします。
ウラ表紙用トレイ：	ウラ表紙を給紙するトレイを選択します。
表カバー	表表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
裏カバー	裏表紙が出力用紙と異なる厚紙などの場合に設定します。
OHP 合紙：	OHP フィルムに合紙を付けてプリントします。
OHP 合紙用トレイ：	OHP 合紙を給紙するトレイを選択します。



9.4 オプションの設定

本機に装着されているオプションをプリンタドライバから使用可能にします。

ご注意）
本機に装着されているオプションが［追加オプションの設定］で設定されていないと、オプションの機能を使用できません。オプションを装着している場合は、必ず設定を行ってください。

1 ［HDD］－［アプリケーション］－［ユーティリティ］内の［プリントセンター］（または［プリンタ設定ユーティリティ］）を開き、プリンタの機種を選択します。

2 ［プリンタ］メニューの［情報を見る］を選択します。

「プリンタ情報」画面が表示されます。

3 ［インストール可能なオプション］を選択します。

4 本機に装着しているオプションを設定します。



5 ［変更を適用］をクリックし、［×］をクリックして［プリンタ情報］画面を終了します。

9.5 ドライバ設定を保存する

OS X ドライバでは、変更したドライバの設定値を保存し、必要に応じて呼び出せます。

ドライバの設定を保存する

1 ［印刷部数と印刷ページ］や［レイアウト］などでドライバの設定値を変更します。

2 ［プリセット］から［別名で保存］をクリックします。



3 ［保存するプリセットの名前］を入力します。



4 ［OK］をクリックします。

設定内容がプリセットに登録されます。

設定を呼び出すには

1 ［プリント］画面で［プリセット］から呼び出す設定を選択します。

設定値が呼び出され、プリンタドライバの画面にもどります。

設定を変更するには

1 ［プリント］画面で［プリセット］から変更する設定を選択します。

2 ［印刷部数と印刷ページ］や［レイアウト］などでドライバの設定値を変更します。

3 ［プリセット］から［保存］をクリックします。

削除する場合は、ここで［削除］を、名前を変えるときは［名称変更］をクリックします。

プリセットが変更されます。

10 各種設定

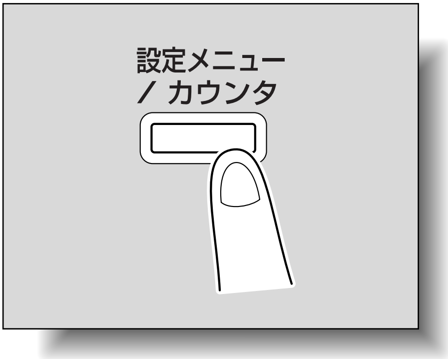
10.1 設定メニューのプリンタ設定

本機の操作パネルで各種プリンタ設定を変更できます。

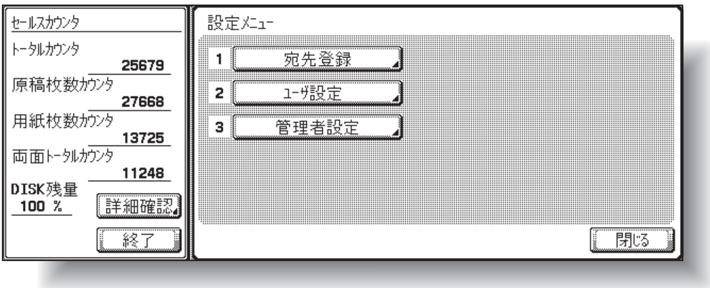
デフォルト設定

ユーザ設定画面を表示させるには

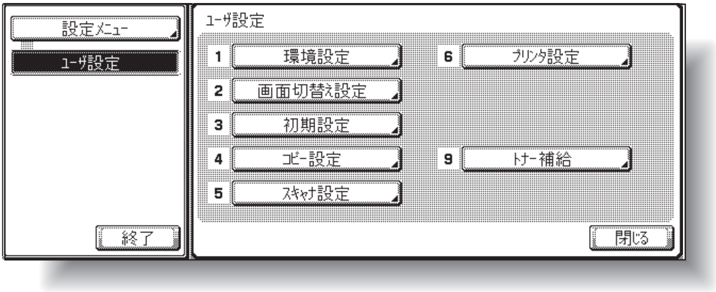
1 【設定メニュー／カウンタ】を押します。



2 ［2 ユーザ設定］を押します。



ユーザ設定画面が表示されます。



メモ）

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。

［2 ユーザ設定］の場合は、テンキーの【2】と入力します。

設定メニューを終了するときは、サブエリアの［終了］または【設定メニュー／カウンタ】を押します。コピー、ファクス、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

PDL 設定

Page Description Language の設定ができます。（初期値：自動）

- 自動：PCL と PS を自動で切換えます。
- PCL：PCL を固定で使用します。
- PS：PS を固定で使用します。

✎...

メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

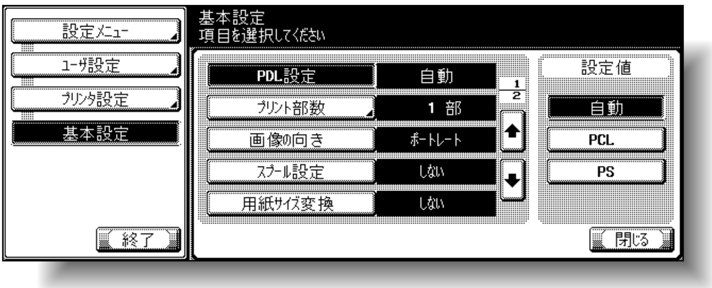
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［1 基本設定］を押します。

3 ［PDL 設定］を押します。



4 希望するキーを押します。



プリント部数の設定

プリンタドライバから指定がない場合のプリント部数を設定できます。
（初期値：1 部）

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

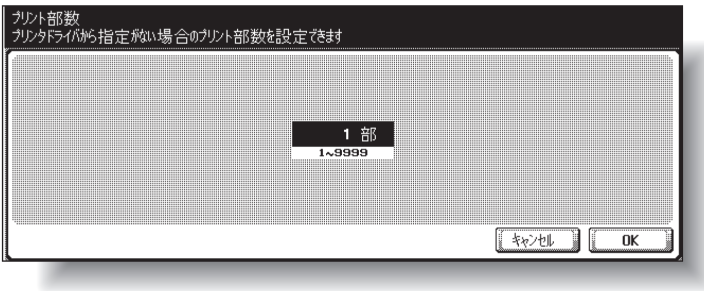
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［1 基本設定］を押します。

3 ［プリント部数］を押します。



4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーで部数を入力します。（1 部～ 9999 部）



✎...

メモ）

設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

プリント部数が設定されます。

画像の向き

画像の向きの初期値が設定できます。（初期値：ポートレート）

- ポートレート：用紙を縦置きにして印刷する画像
- ランドスケープ：用紙を横置きにして印刷する画像

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［1 基本設定］を押します。

3 ［画像の向き］を押します。



4 希望するキーを押します。



スプール設定

スプールの設定ができます。（初期値：する）

- する：ジョブの処理中に次のジョブを受信した場合、HDD にジョブを格納します。
- しない：HDD にプリントデータを格納しません。

✎...

重要）
通常は“しない”の設定変更はしないでください。印刷が正常にできない場合があります。

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［1 基本設定］を押します。

3 ［スプール設定］を押します。



4 希望するキーを押します。



用紙サイズ変換

プリンタドライバから指定の用紙が無い場合、A4 ⇔ Letter、A3 ⇔ Tabloid (11" x 17") の用紙変換をします。（初期値：しない）

✎...

ご注意）
強制的に印刷をするため、画像が欠損する場合があります。

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

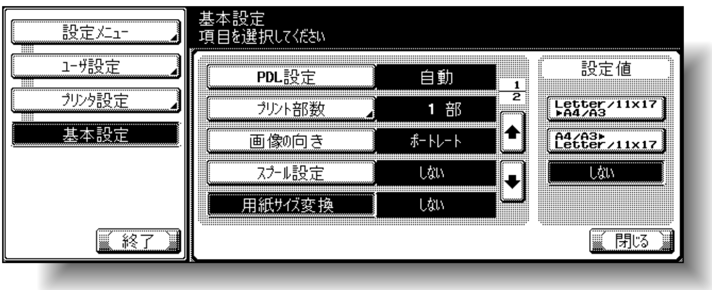
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［1 基本設定］を押します。

3 ［用紙サイズ変換］を押します。



4 希望するキーを押します。



バナー設定

バナーページを印刷するかどうか、設定することができます。(初期値 : しない)

✎...

メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

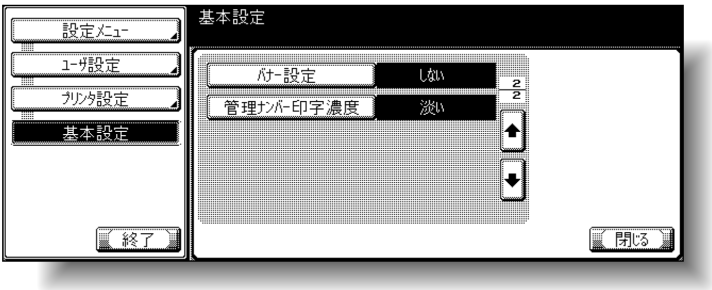
1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

2 [1 基本設定] を押します。

3 [] を押します。



4 [バナー設定] を押します。



5 希望するキーを押します。



管理ナンバー印字濃度

「ナンバリング」を使用して印刷する際、その印字濃度を設定します。
（初期値：淡い）

1 ユーザ設定画面で、[6 プリンタ設定] を押します。

2 [1 基本設定] を押します。

3 [] を押します。



4 [管理ナンバー印字濃度] を押します。



5 希望するキーを押します。



給紙トレイの設定

プリンタドライバから指定がない場合に使用する給紙トレイを設定できます。（初期値：自動）

✎...

メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

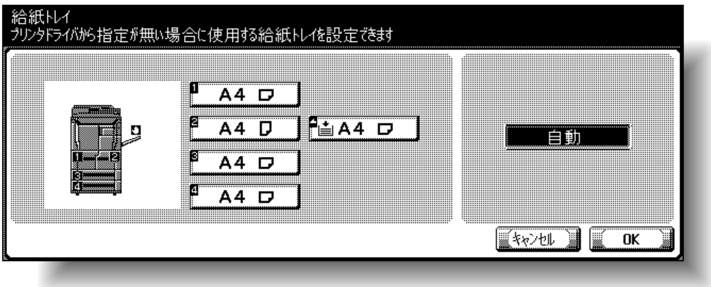
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［給紙トレイ］を押します。



4 希望するトレイのキーを押します。



✎...

メモ）

給紙トレイを自動で選択させる場合は［自動］を押します。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

用紙サイズの設定

プリンタドライバから指定がない場合に使用する用紙サイズを設定できます。（初期値：A4）

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

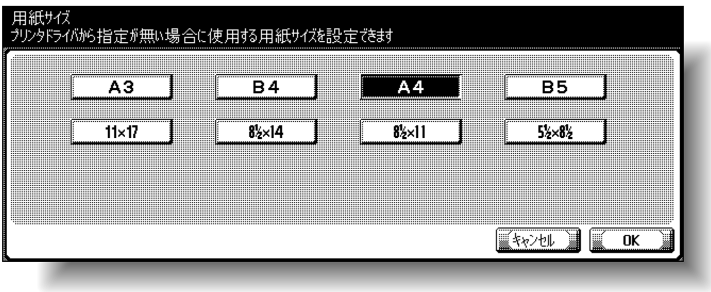
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［用紙サイズ］を押します。



4 希望するキーを押します。



メモ）
設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

両面プリントの設定

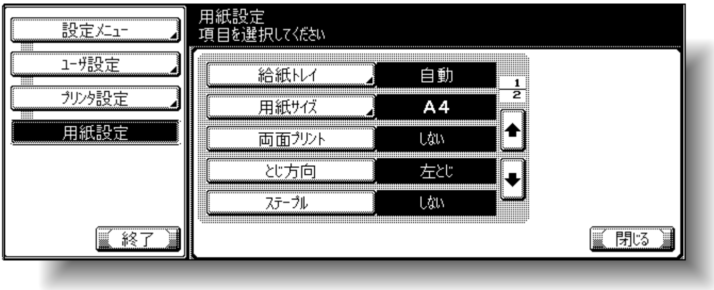
両面プリントの初期値が設定できます。（初期値：しない）

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

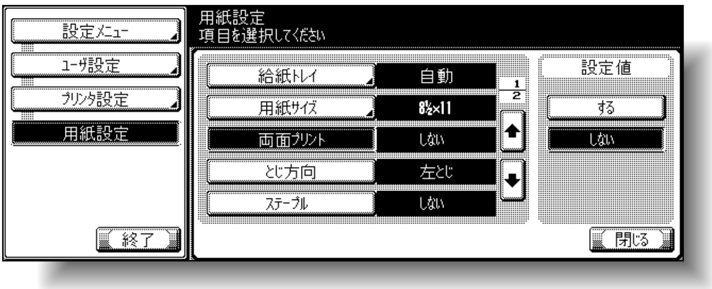
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［両面プリント］を押します。



4 希望するキーを押します。



とじ方向の設定

両面プリント時のとじ方向の初期値を設定できます。（初期値：左とじ）

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

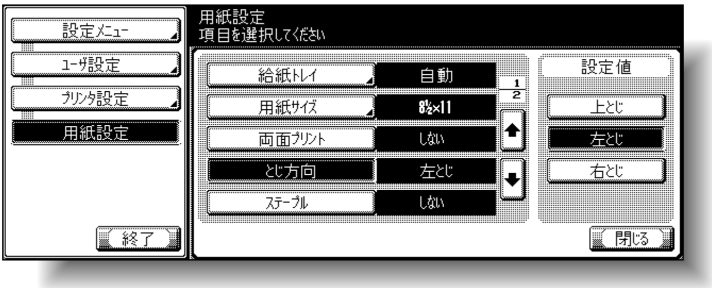
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［とじ方向］を押します。



4 希望するキーを押します。



ステープルの設定

ステープルの設定ができます。（初期値：しない）

✎...

メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

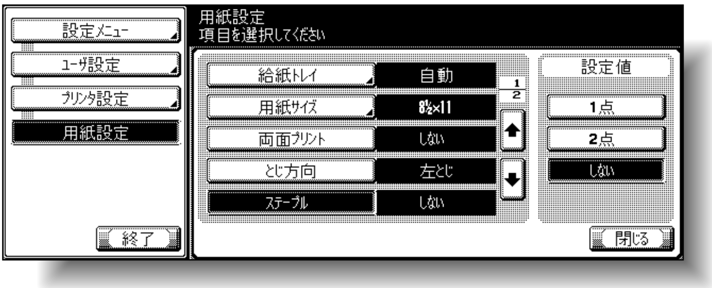
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［ステープル］を押します。



4 希望するキーを押します。



パンチの設定

パンチの設定ができます。（初期値：しない）

...

メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［↑］または［↓］を押し、［パンチ］を押します。



4 希望するキーを押します。



バナー給紙トレイ

バナー給紙トレイの設定ができます。（初期値：自動）

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

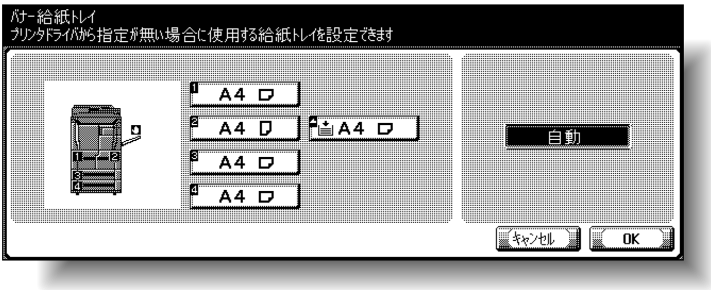
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［2 用紙設定］を押します。

3 ［↑］または［↓］を押し、［バナー給紙トレイ］を押します。



4 希望するキーを押します。



フォントの設定

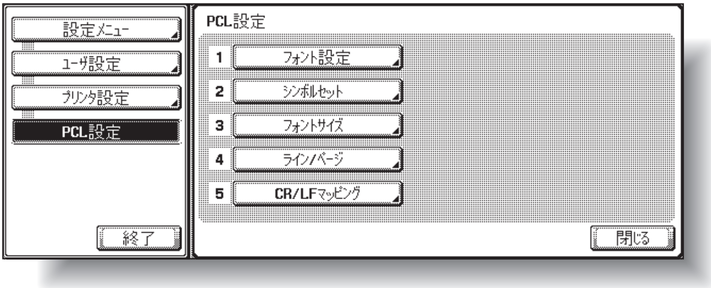
プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントを設定できます。（初期値：Courier）

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

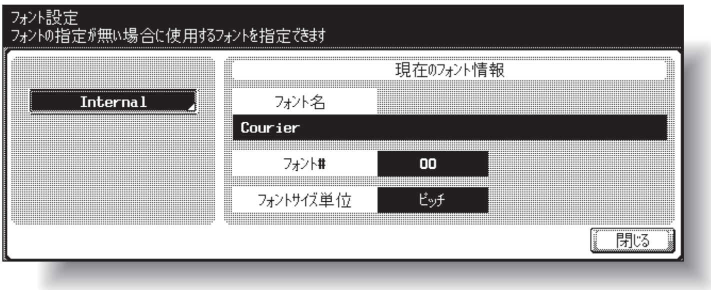
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［3 PCL 設定］を押します。

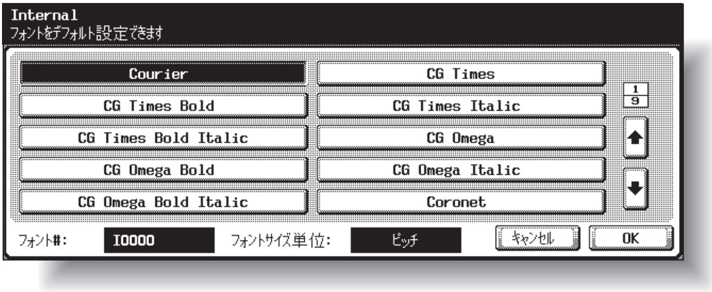
3 ［1 フォント設定］を押します。



4 ［Internal］を押します。



5 希望するキーを押します。



メモ）

［↑］または［↓］を押して、希望するキーを押します。

選択したフォントのフォント番号とフォントサイズ単位を確認できます。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

6 ［OK］を押します。

シンボルセットの設定

プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントシンボルセットを設定できます。（初期値：PC-8、Code Page 437）

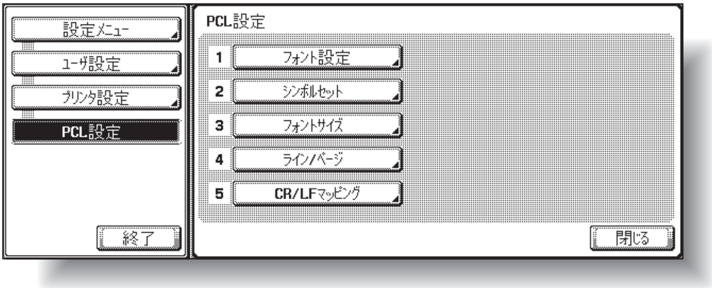
メモ）

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

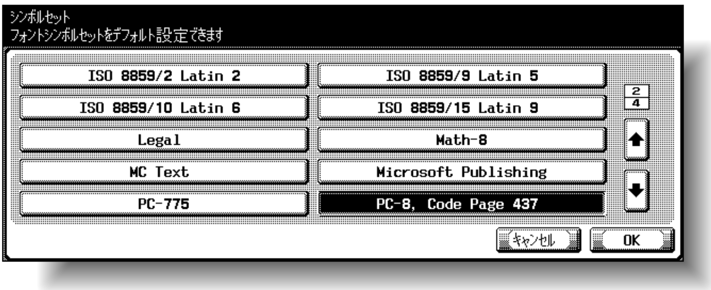
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［3 PCL 設定］を押します。

3 ［2 シンボルセット］を押します。



4 希望するキーを押します。



メモ）

［ ］または［ ］を押して、希望するキーを選択します。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

フォントサイズ

プリンタドライバから指定がない場合に使用するフォントサイズを設定します。（初期値：プロポーショナルフォント - 12.00 ポイント／固定幅フォント - 10.00 ピッチ）

- プロポーショナルフォント：フォントサイズ（単位：ポイント）を設定します。
- 固定幅フォント：固定幅フォントの幅をピッチで設定します。

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

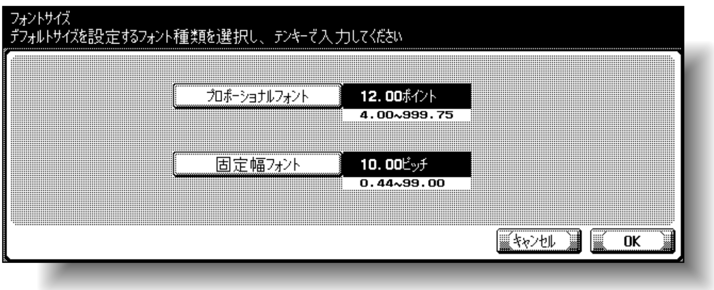
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［3 PCL 設定］を押します。

3 ［3 フォントサイズ］を押します。



4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーでサイズを入力します。（プロポーショナルフォント：4.00 ポイント～ 999.75 ポイント、固定幅フォント：0.44 ピッチ～ 99.00 ピッチ）



✎...

メモ）
設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

フォントサイズが設定されます。

ライン / ページの設定

テキスト印字時の 1 ページのライン数を設定できます。（初期値：64 ライン）

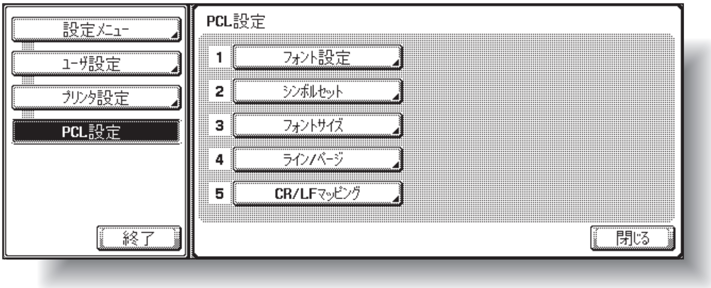
✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

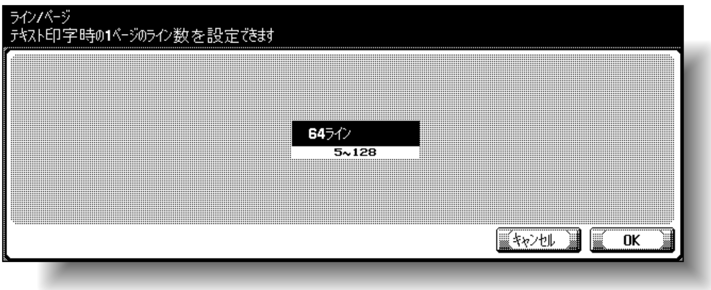
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［3 PCL 設定］を押します。

3 ［4 ライン / ページ］を押します。



4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーでライン数を入力します。（5 ライン～ 128 ライン）



✎...

メモ）
設定範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

ライン / ページが設定されます。

CR (Carriage Return) / LF (Line Feed) マッピング

テキストデータをプリントする場合の置換え方法を設定できます。(初期値：しない)

- ［モード 1］：CR で送られてきたデータを CR-LF に置換えます。
- ［モード 2］：LF で送られてきたデータを CR-LF に置換えます。
- ［モード 3］：送られてきたデータを全て CR-LF に置換えます。
- ［しない］：置換えは行いません。

✎...

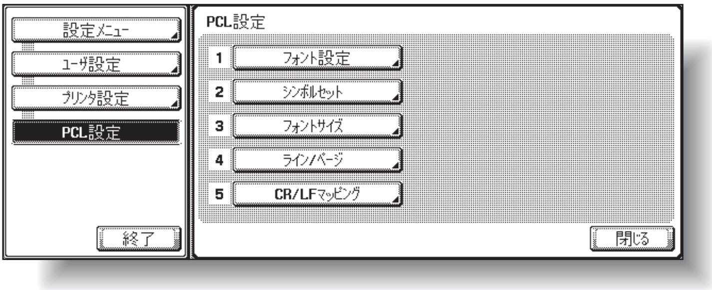
メモ)

ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」(p. 10-1) をご覧ください。

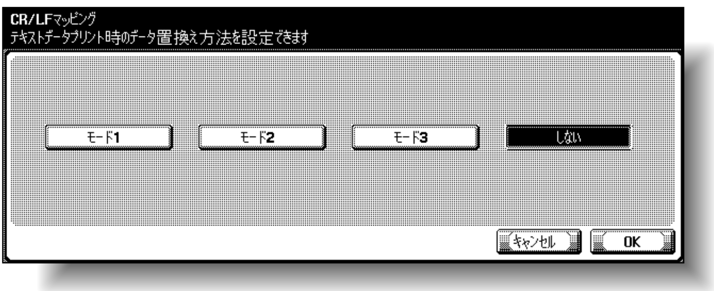
1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［3 PCL 設定］を押します。

3 ［5 CR/LF マッピング］を押します。



4 希望するキーを押します。



✎...

メモ）

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

5 ［OK］を押します。

PS エラー時の設定

PS のラスタライズ中にエラーが発生した場合、エラー情報を印字するかしないかの設定ができます。（初期値：しない）

✎...

メモ）
ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［4 PS 設定］を押します。

3 ［PS エラープリント］を押します。



4 希望するキーを押します。



レポート出力

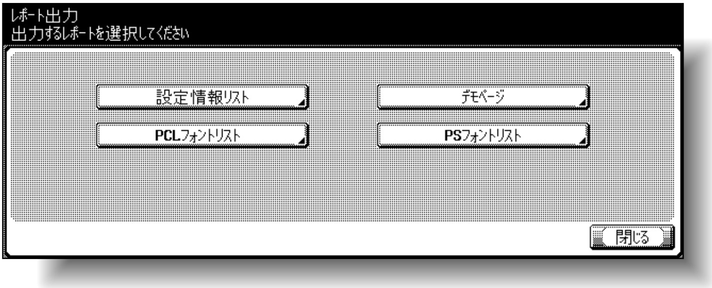
レポートの出力を行います。以下の 4 種類のレポートを出力することができます。

- 設定情報リスト：本機の設定内容の一覧が出力されます。
- デモページ：テストページが出力されます。
- PCL フォントリスト：PCL フォントリストを出力します。
- PS フォントリスト：PS フォントリストを出力します。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［5 レポート出力］を押します。

3 希望するキーを押します。



4 希望するトレイのキーを押します。



5 【スタート】を押し、レポートを出力します。

イメージシフト設定

出力用紙に対する印刷内容の印刷位置を調整する事ができます。（初期値：シフトしない）

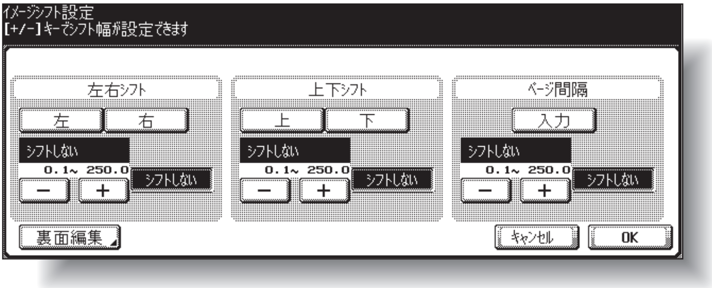
✔ ユーザ設定画面の表示のしかたは、「ユーザ設定画面を表示させるには」（p. 10-1）をご覧ください。
（p. 10-1）

✔ 「イメージシフト設定」機能は、ドライバからプリント要求時に特殊機能タブでのイメージシフトが有効にされた場合のみ使用可能となります。

1 ユーザ設定画面で、［6 プリンタ設定］を押します。

2 ［6 イメージシフト設定］を押します。

3 設定したいシフトを押し、設定します。



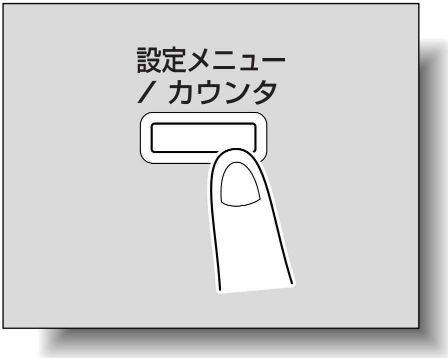
- ［+］または［-］を押して設定します。
- 設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

4 ［OK］を押します。

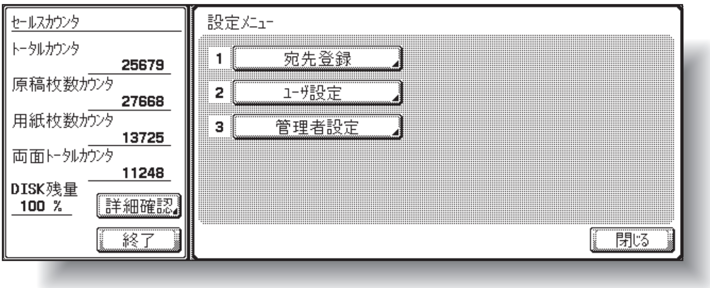
10.2 管理者モードのプリンタ設定

管理者設定画面を表示させるには

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2 ［3 管理者設定］を押します。



3 パスワードを入力し、［OK］を押します。



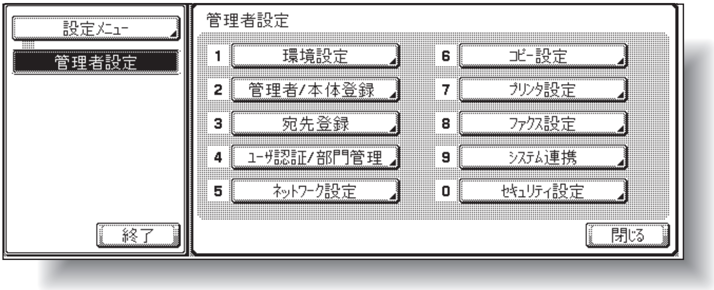
✎...

メモ）

設定メニューでは、キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。[3 管理者設定] の場合は、テンキーの【3】を入力します。

パスワードの設定や変更については、「コピー機能編」をご覧ください。

管理者設定画面が表示されます。



✎...

メモ）

設定メニューを終了するときは、サブエリアの [終了] または【設定メニュー / カウンタ】を押します。コピー、ファクス、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで [閉じる] を押しても終了できます。

受信プリント出力設定

データを受信したときに、受信完了後、一括でプリントするか、受信と同時にプリントするかのプリントのタイミングを設定できます。

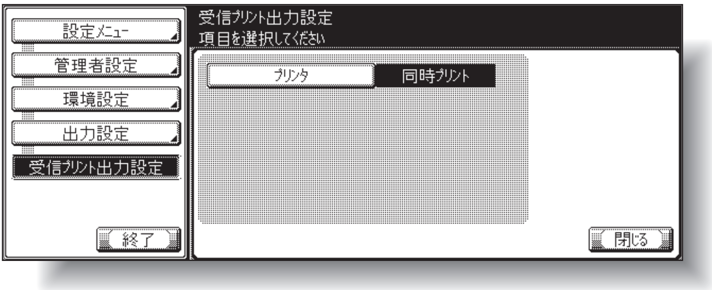
メモ）
管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」（p. 10-34）をご覧ください。

1 管理者設定画面で、［1 環境設定］を押します。

2 環境設定画面で、［2 出力設定］を押します。

3 出力設定画面で、［1 受信プリント出力設定］を押します。

受信プリント出力設定画面が表示されます。

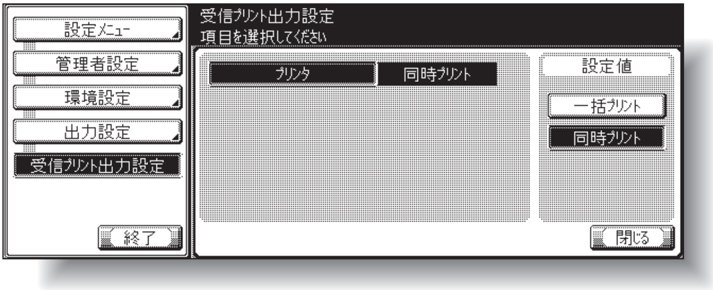


メモ）
ユーザ開放レベルがレベル 2 の場合、ユーザ設定でも設定できます。［ユーザ設定］－［環境設定］－［出力設定］－［受信プリント出力設定］を押して受信プリント出力設定画面を表示させます。

ユーザ開放レベルについては、「コピー機能編」をご覧ください。

4 ［プリンタ］を押します。

設定値選択キーが表示されます。



5 希望する設定値選択キーを押します。

プリントのタイミングが設定されます。

✎...

メモ）

一括プリントを選択した場合は、全てのデータを受け取ってから一括してプリントが開始されます。同時プリントを選択した場合は、1 ページ目のデータを受け取ったときにジョブとして登録されプリントが開始されます。

I/F タイムアウトの設定

通信タイムアウトまでの時間を、パラレル、USB、ネットワークそれぞれに設定できます。（初期値：60 秒）

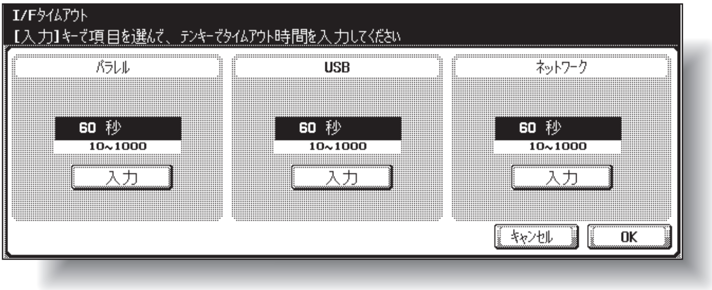
✎...

メモ）
管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」（p. 10-34）をご覧ください。

1 管理者設定画面で、［7 プリンタ設定］を押します。

2 プリンタ設定画面で、［1 I/F タイムアウト］を押します。

I/F タイムアウト画面が表示されます。



3 設定する項目の［入力］を押します。

✎...

メモ）
設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力し直してください。

設定を取り消すには、［キャンセル］を押します。

4 【クリア】を押し数値をクリアしてから、テンキーで時間を入力します。（10 秒～ 1000 秒）

5 ［OK］を押します。

通信タイムアウトまでの時間が設定されます。

プリントデータキャプチャ

プリントジョブのデータキャプチャを許可するか禁止するかを設定できます。（初期値：許可）

メモ）

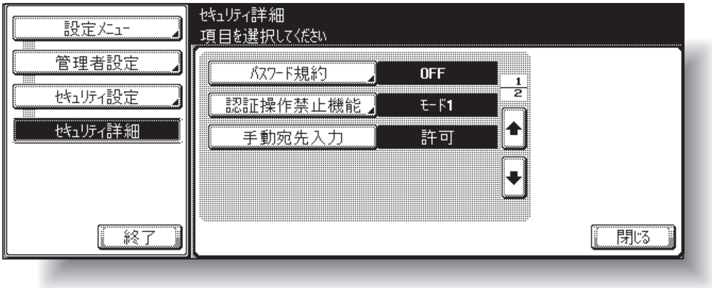
管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させるには」（p. 10-34）をご覧ください。

プリントジョブのデータキャプチャについて詳しくはサービス技術者にお問合わせください。

1 管理者設定画面で、［0 セキュリティ設定］を押します。

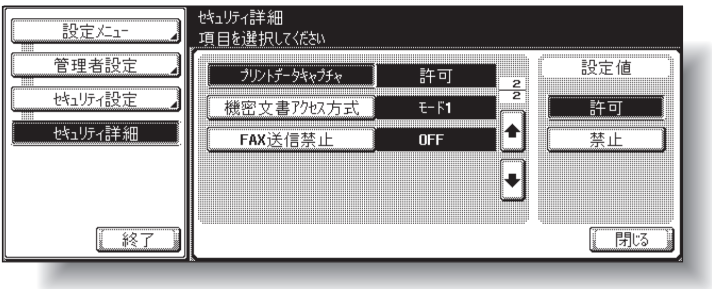
2 セキュリティ設定画面で、［4 セキュリティ詳細］を押します。

3 ［ ↓ ］を押します。



4 セキュリティ詳細設定画面で、［プリントデータキャプチャ］を押します。

設定値選択キーが表示されます。



5 希望する設定値選択キーを押します。

プリントジョブのデータキャプチャを許可するか禁止するかが設定されます。

✎...

メモ)
詳しくはサービス技術者にお問合わせください。

10.3 PageScope Web Connection の使い方

PageScope Web Connection は、プリンタコントローラに内蔵されている HTTP サーバが提供する、デバイス管理用ユーティリティです。

ネットワーク上のコンピュータで Web ブラウザを起動し、PageScope Web Connection へアクセスして、本機の設定を変更できます。

✎...

メモ）
PageScope Web Connection の表示形式には Flash と HTML があります。詳しくは、「ログインとログアウト」（p. 10-46）をごらんください。

動作環境

ネットワーク	Ethernet（TCP/IP）
コンピュータ側のアプリケーション	対応 Web ブラウザ： Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨（JavaScript 有効・Cookie 有効） Internet Explorer Ver.5.X の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須 Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効） Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）

✎...

ご注意）
Windows NT 4.0、Mac OS 8/9 は、Flash Player 8 以降をサポートしていません。これらの OS をお使いの場合は、Adobe サイトより Flash Player 7 をダウンロードしてご使用いただくか、または PageScope Web Connection の表示形式で HTML を選択してください。

アクセス方法

PageScope Web Connection へは、Web ブラウザを使用して直接アクセスできます。

1 Web ブラウザを起動します。

2 URL フィールドに、本機の IP アドレスを入力して［Enter］キーを押します。

- http:// ＜本機の IP アドレス＞ /
  （例）本機の IP アドレスが 192.168.1.20 の場合
  http://192.168.1.20/

✎...

メモ）

ユーザ認証機能が有効の場合は、ユーザ名とパスワードを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザモードへのログイン（登録ユーザ）」（p. 10-50）をごらんください。

本機の IP アドレスの設定方法については、「本機の IP アドレスの設定」（p. 3-5）をごらんください。

画面の構成

PageScope Web Connection へのアクセス直後に表示される画面は「ユーザーモード」と呼ばれる画面で、パブリックユーザとしてログインした状態で表示されます。

...

メモ）
［ログアウト］をクリックすると別のユーザや管理者としてログインし直せます。詳しくは、「ログインとログアウト」（p. 10-46）をごらんください。

PageScope Web Connection の画面は、以下のように構成されています。



No.		
1	KONICA MINOLTA ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、以下のサイト（KONICA MINOLTA のサイト）へジャンプします。 http://konicaminolta.com

No.		
2	PageScope Web Connection ロゴマーク	ロゴマークをクリックすると、PageScope Web Connection のバージョンが表示されます。
3	ログインモード	現在ログインしているモード（パブリック、登録ユーザ、部門名、管理者、ボックス管理者）が表示されます。
4	［ログアウト］	現在のモードからログアウトするときにクリックします。
5	ステータス表示	本機プリンタ部分と本機スキャナ部分の状態が、アイコンで表示されます。
6	メッセージ表示	本機にエラーが発生している場合に、トラブル／エラーの状態とエラーの内容が表示されます。
7	タブ	表示する項目のカテゴリを選択します。ユーザーモードでは、以下のタブが表示されます。 • システム • ジョブ • ボックス • プリンタ • スキャナ登録
8	ヘルプ	オンラインマニュアルホームページに設定してあるページが表示されます。設定方法は、「システムタブ − オンラインサポート」（p. 10-81）をごらんください。
9	更新	クリックすると画面の表示を更新します。
10	メニュー	選択されたタブにおける情報および設定が表示されます。タブの選択により、ここに表示されるメニューが異なります。
11	情報、設定の表示	メニューで選択されている項目の内容が表示されます。

Web ブラウザのキャッシュ機能について

Web ブラウザにキャッシュ機能があるため、PageScope Web Connection で画面を表示しても最新の情報が表示されない場合があります。また、キャッシュ機能を使用したときに問題が起こる場合があります。

PageScope Web Connection 使用時は、Web ブラウザでキャッシュ機能を無効にしてください。

✎...

ご注意）
Web ブラウザのバージョンによっては、メニューや項目名が異なる場合があります。詳しくは、Web ブラウザのヘルプをごらんください。

キャッシュ機能を有効にしたまま使用すると、管理者モードでタイムアウトになったあと、再度アクセスしてもタイムアウト表示になることがあります。この場合でも、本機の操作パネルがロックされ操作できなくなるため、主電源の再投入が必要になります。このような問題を避けるために、キャッシュ機能を無効にしてください。

Internet Explorer の場合

1 ［ツール］メニューから［インターネットオプション］を選択します。

2 ［全般］タブで［インターネット一時ファイル］の［設定］をクリックします。

3 ［ページを表示するごとに確認する］を選択し、［OK］をクリックします。

Netscape Navigator の場合

1 ［編集］メニューから［設定］を選択します。

2 左側の［カテゴリ］で［詳細］－［キャッシュ］を選択します。

3 ［キャッシュにあるページとネットワーク上のページの比較：］で［ページにアクセスするたび］を選択します。

ログインとログアウト

PageScope Web Connection にアクセスすると、本機でユーザ認証や部門管理を行っているときはログイン画面が表示され、ユーザ認証や部門管理を行っていないときはパブリックユーザとしてログインした画面が表示されます。別のユーザとしてログインするときや、管理者としてログインするためにはいったんログアウトし、ログインしなおす必要があります。

ログアウトの方法

...

メモ）

ログインした状態で操作が一定時間行われないと、自動的にタイムアウトとなり操作ができなくなります。

ユーザモードおよび管理者モードのタイムアウトの時間は管理者モードの［認証設定］－［自動ログアウト］で設定できます。

➜ 画面左上の［ログアウト］をクリックします。



［OK］をクリックすると、ログイン画面が表示されます。



ユーザモードへのログイン（パブリックユーザ）

本機でユーザ認証を行っていない場合はパブリックユーザとしてログインします。

1 ログイン画面で［パブリックユーザ］を選択します。

❍ 必要に応じて言語や表示形式を選択します。



メモ）

表示形式で［Flash］を選択すると、以下の項目がFlash 機能を利用して表示されます。

・ステータスのアイコンやメッセージ
・「システムタブ － 装置情報 － 給紙トレイ」の状態
・「ジョブタブ」の状態

「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。

読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。

2 ［ログイン］をクリックします。
ユーザモードの画面に切り替わります。

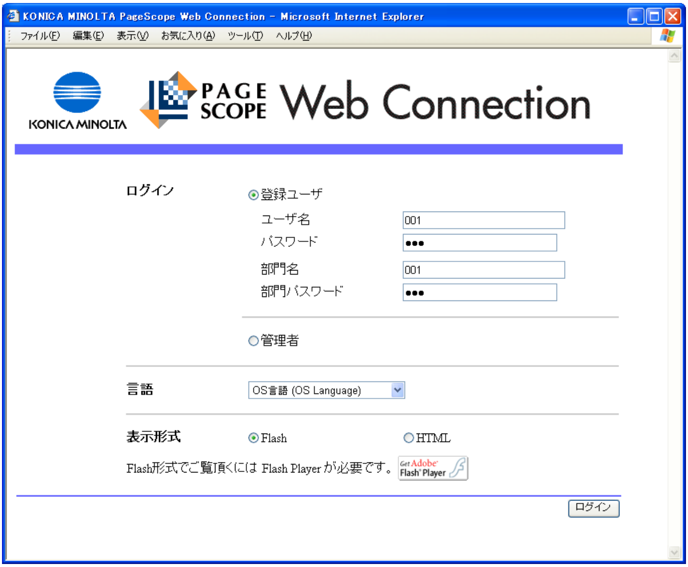


ユーザモードへのログイン（登録ユーザ）

本機でユーザ認証を行なっている場合は、本機もしくは外部認証サーバに登録されているユーザ名とパスワードを利用してログインする必要があります。ユーザ認証を行っていて特定のユーザ名でログインする手順を説明します。

1 ログイン画面でユーザ名とパスワードを入力します。

- ❍ 部門管理を行っている場合は、部門名とパスワードも入力します。
- ❍ 必要に応じて言語や表示形式を選択します。



...

ご注意）

本機のユーザ認証または、部門認証が設定され、認証操作禁止機能がモード２の場合、認証情報が正しく入力されていない場合は、該当するユーザもしくは部門がロックされアクセスができなくなる場合があります。

メモ）

［ユーザ名］の右側のアイコンをクリックすると、一覧からユーザ名を選択できます。

本機の設定で、複数のドメインを外部サーバ認証に設定してある場合、ユーザ名の後ろに「@」を追加し、ドメイン名を入力してください。（例：ユーザ名が user01、ドメイン名が domain の場合 user01@domain）

表示形式で［Flash］を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
・ステータスのアイコンやメッセージ
・「システムタブ － 装置情報 － 給紙トレイ」の状態
・「ジョブタブ」の状態
「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。

読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。

2 ［ログイン］をクリックします。
ユーザモードの画面に切り替わります。



管理者モードへのログイン

システムやネットワークなどの設定を行うには、管理者モードにログインします。

✎...

メモ）
管理者モードにログインしているときは、本機の操作パネルがロックされ、操作できなくなります。

本機の状態によっては、管理者モードにログインできない場合があります。

1 ログイン画面で［管理者］を選択します。

❍ 必要に応じて言語や表示形式を選択します。

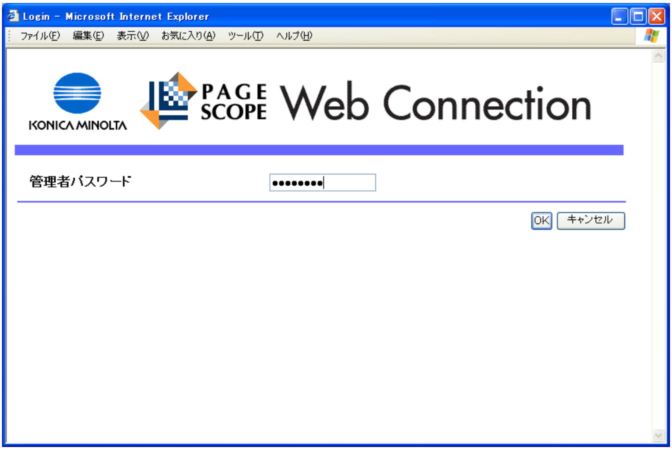


✎...

メモ）
表示形式で［Flash］を選択すると、以下の項目が Flash 機能を利用して表示されます。
・ステータスのアイコンやメッセージ
・「システムタブ－装置情報－給紙トレイ」の状態
・「ジョブタブ」の状態
「Flash」機能を使用する場合は、Flash Player が必要です。

読み上げソフトを使用する場合は、HTML を選択することを推奨します。

2 本機の管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



管理者モードの画面に切り替わります。



ユーザーモード

ユーザーレベルで確認、操作できる機能です。5 つのタブ（システム、ジョブ、ボックス、プリンタ、スキャナ登録）が選択できます。

✎...

メモ）
本書では、プリンタに関連する機能について説明しています。ボックスおよびスキャナに関する機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」や「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

システムタブ

システムタブでは、本機のシステム構成に関する情報や設定が表示されます。

システムタブ － 装置情報 － 消耗品情報

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［消耗品情報］メニューを選択します。また、Web ブラウザで http:// ＜本機の IP アドレス＞ / にアクセスしたときに、最初に表示されます。

本機の消耗品情報が表示されます。



トナー（ブラック） パンチ屑ボックス ステープル	各情報が表示されます。

メモ）

表示される項目は、オプションの装着状態によって異なります。

システムタブ － 装置情報 － 給紙トレイ

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［給紙トレイ］メニューを選択します。

本機の給紙トレイの状況を確認できます。



トレイ	各情報が表示されます。
用紙サイズ	
用紙種類	
用紙残量	
容量	

メモ）

ログイン時に表示形式で［HTML］を選択している場合は、各トレイを選択して［詳細］をクリックすると詳細を確認できます。

システムタブ － 装置情報 － 排紙トレイ

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［排紙トレイ］メニューを選択します。

本機の排紙トレイの状況を確認できます。



排紙トレイ	装着している各トレイ名と状態が表示されます。
オプション	オプションを装着しているかどうかが表示されます。

システムタブ － 装置情報 － 構成要素

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［構成要素］メニューを選択します。

本機のシステム構成と状態が表示されます。



構成要素	本機に取り付けられているオプションの構成が表示されます。

システムタブ － 装置情報 － HDD

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［HDD］メニューを選択します。

本機のハードディスクの状況を確認できます。



名称	ハードディスクの名称が表示されます。
トータルサイズ	装着しているハードディスクの合計容量が表示されます。
使用サイズ	システムで使用している容量が表示されます。
残りサイズ	未使用の容量が表示されます。

システムタブ － 装置情報 － インタフェース情報

［システム］タブをクリックし、［装置情報］－［インタフェース情報］メニューを選択します。

本機のインタフェース情報を確認できます。

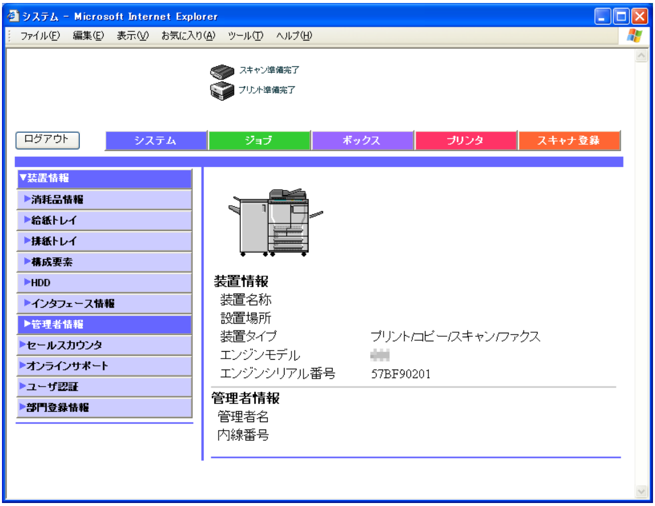


プロトコル情報	各プロトコルの使用可能状況が表示されます。
ネットワーク情報	ネットワークの情報が表示されます。

システムタブ ー 装置情報 ー 管理者情報

［システム］タブをクリックし、［装置情報］ー［管理者情報］メニューを選択します。

本機の管理者の情報が表示されます。



管理者情報	管理者の情報が表示されます。

システムタブ － セールスカウンタ

［システム］タブをクリックし、［セールスカウンタ］メニューを選択します。

本機で管理されているカウンタを確認できます。



トータルカウンタ	出力カウンタ（コピー、プリント、スキャン、ファクス）の総計が表示されます。
コピーカウンタ	それぞれのカウンタが表示されます。
プリントカウンタ	
スキャンカウンタ （オプションの FAX キット装着時は、スキャン / ファクスカウンタと表示されます）	

システムタブ − オンラインサポート

［システム］タブをクリックし、［オンラインサポート］メニューを選択します。

製品に関するサポート情報を確認できます。

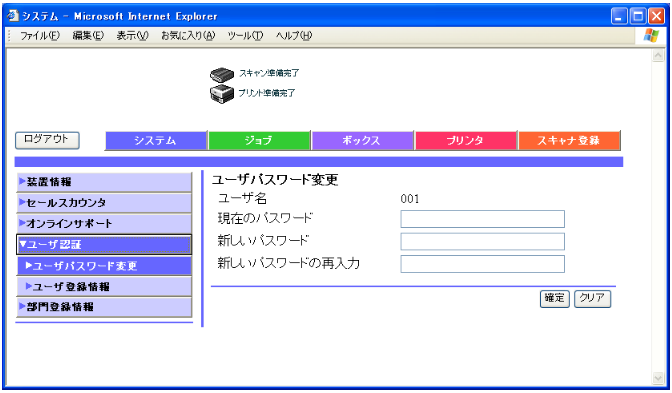


問い合わせ先	管理者モードのシステムタブ−オンラインサポート画面で設定した各情報が表示されます。
問い合わせ先情報	
製品情報ホームページ	
製造元ホームページ	
消耗品連絡先	
オンラインマニュアルURL	

システムタブ － ユーザ認証 － ユーザパスワード変更

［システム］タブをクリックし、［ユーザ認証］－［ユーザパスワード変更］メニューを選択します。

ログインしているユーザのパスワードを変更できます。



現在のパスワード	現在のパスワードを入力します。
新しいパスワード	新しいパスワードを入力します（" ＋ を除く半角 64 文字以内）。
新しいパスワードの再入力	確認のため、新しいパスワードを再入力します。

...

メモ）

パスワードは、ユーザとしてログインしていないと変更できません。

システムタブ ー ユーザ認証 ー ユーザ登録情報

［システム］タブをクリックし、［ユーザ認証］ー［ユーザ登録情報］メニューを選択します。

ログインしているユーザの情報が表示されます。



ユーザ登録情報	ユーザ名を表示します。
機能制限	本機の各機能を利用できるかどうかを表示します。
カウンタ情報	上限値や今までのカウンタを表示します。

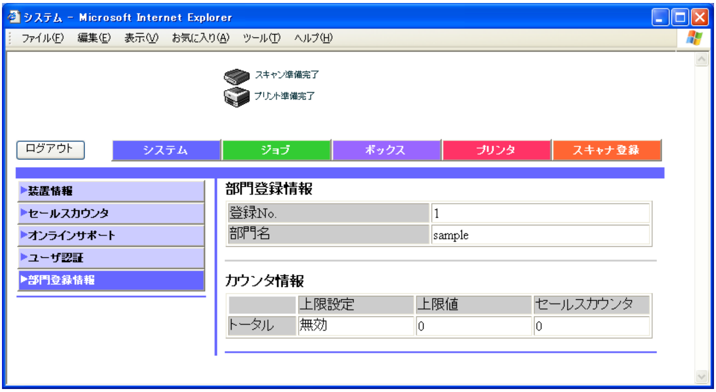
...

メモ）
ユーザ登録情報は、ユーザとしてログインしていないと表示されません。

システムタブ ー 部門登録情報

［システム］タブをクリックし、［部門登録情報］メニューを選択します。

ログインしているユーザの部門情報が表示されます。



部門登録情報	部門名を表示します。
カウンタ情報	上限値や今までのカウンタを表示します。

メモ）

部門登録情報は、本機で部門管理をしていないと表示されません。

ジョブタブ

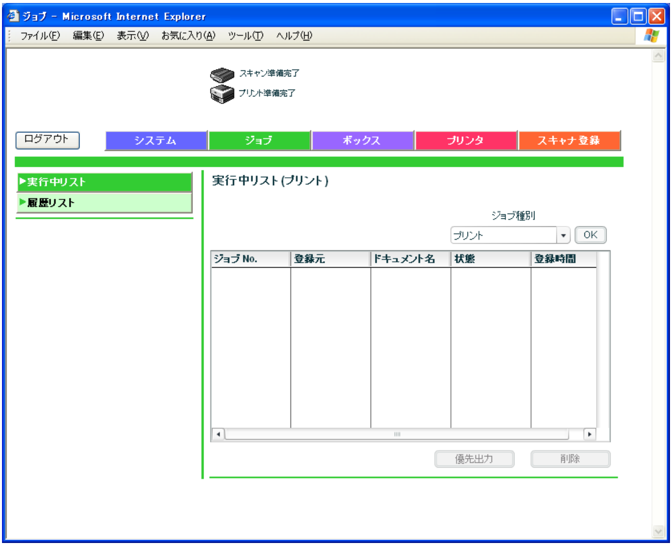
ジョブタブでは、本機で管理しているジョブを確認できます。

ジョブタブ － 実行中リスト

［ジョブ］タブをクリックし、［実行中リスト］メニューを選択します。ジョブ種別で各機能（プリントやスキャナ送信）を選択します。

実行中、実行待ちのジョブを確認できます。

プリント画面の例



プリント	プリントジョブの一覧と詳細が表示されます。
スキャナ送信	スキャンジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス送信	ファクス送信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス受信	ファクス受信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
HDD/ メモリ	ボックス保存ジョブの一覧と詳細が表示されます。

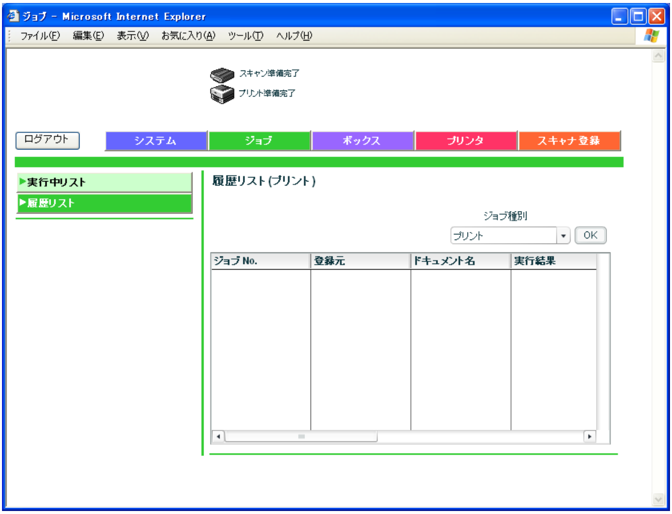
- ジョブ番号は、ジョブが本機に登録されたときに割振られるジョブ番号が表示されます。
- ジョブを選択して［優先出力］をクリックすると、優先的に出力できます（プリントジョブの場合）。
- ジョブを選択して［同報宛先表示］をクリックすると、宛先を確認できます（送信ジョブの場合）。
- ジョブを選択して［削除］をクリックするとジョブを削除できます。

ジョブタブ － 履歴リスト

［ジョブ］タブをクリックし、［履歴リスト］メニューを選択します。
ジョブ種別で各機能（プリントやスキャナ送信）を選択します。

実行済みのジョブを確認できます。

プリント画面の例



プリント	プリントジョブの一覧と詳細が表示されます。
スキャナ送信	スキャンジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス送信	ファクス送信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
ファクス受信	ファクス受信ジョブの一覧と詳細が表示されます。
HDD/ メモリ	ボックス保存ジョブの一覧と詳細が表示されます。

- ジョブ番号は、ジョブが本機に登録されたときに割振られるジョブ番号が表示されます。

...

メモ）

ログイン時に表示形式で［HTML］を選択している場合は、各トレイを選択して［詳細］をクリックすると詳細を確認できます。

プリンタタブ

プリンタに関する初期設定の確認や各種レポート印刷を行うことができます。

プリンタタブ ー 初期設定

［プリンタ］タブをクリックし、［初期設定］メニューを選択し、さらに各設定分類（一般や PCL）を選択します。

各種設定が行われていないプリントジョブが送られた場合は、この設定でプリントされます。

一般設定画面の例

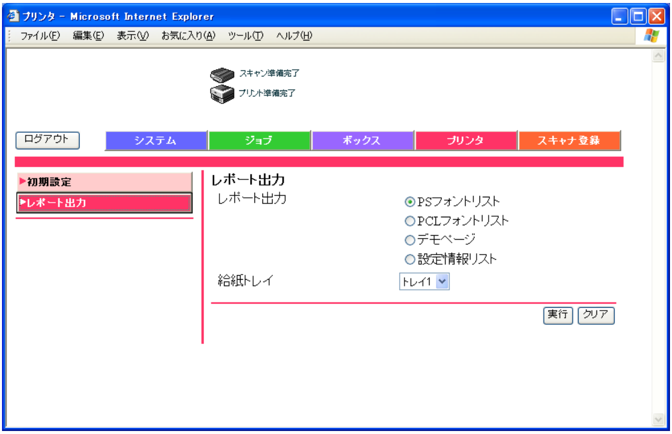


一般設定	各情報が表示されます。
PCL 設定	
PS 設定	

プリンタタブ − レポート出力

［プリンタ］タブをクリックし、［レポート出力］メニューを選択します。

各種設定情報、デモページ、PCL フォント情報をプリントできます。
プリントしたいレポートを選択し、［給紙トレイ］を選択してから［実行］をクリックします。



…

ご注意）
本機がジョブ処理を行っているときなど、レポートを出力できない場合があります。

PS フォントリスト	PostScript で利用できるフォントリストがプリントされます。
PCL フォントリスト	PCL で利用できるフォントリストがプリントされます。
デモページ	デモページがプリントされます。
設定情報リスト	本機の各種設定情報ページがプリントされます。
給紙トレイ	レポートをプリントする用紙の給紙トレイを選択します。

管理者モード

管理者モードでは、本機のシステム設定を行うことができます。6 つのタブ（システム、ジョブ、ボックス、プリンタ、スキャナ登録、ネットワーク）が選択できます。

管理者モードへのログイン方法については、「管理者モードへのログイン」（p. 10-52）をごらんください。

✎...

メモ）
本書では、プリンタに関連する機能について説明しています。ボックスおよびスキャナ、ネットワークに関する機能については、「ユーザーズガイド ボックス機能編」や「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

基本操作

1 それぞれのタブをクリックし、左側のメニュー一覧から機能を選択できます。

2 表示される項目を設定します。直接入力またはドロップダウンリストから選択します。

3 ［確定］をクリックして設定を有効にします。

システムタブ

システムタブでは、本機のシステム構成に関する情報や設定が表示されます。

システムタブ − インポート / エクスポート

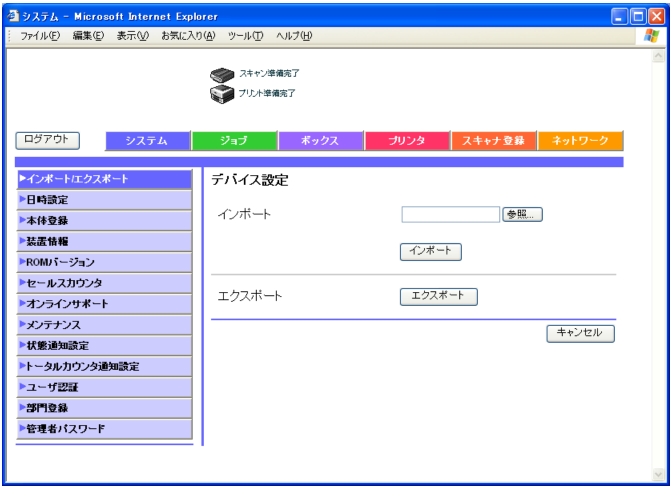
本機の設定情報をファイルとして保存（エクスポート）またはファイルから本機に書込み（インポート）できます。

インポート / エクスポートする情報を指定して［次へ］をクリックします。



デバイス設定	本機のユーザ / 管理者設定の設定値を指定します。
送信ログ	本機の送信ログを指定します。
ユーザ登録情報	ユーザ登録情報を指定します。

インポート / エクスポートを指定します。



インポート	インポートするファイル名を指定して［インポート］をクリックします。
エクスポート	［エクスポート］をクリックして、ファイルをダウンロードします。

ご注意）

エクスポートしたファイルは、データ編集はできません。

メモ）

送信ログはエクスポート機能のみです。

システムタブ － 日時設定 － 手動設定

本機の日時を入力して設定します。



年	年を入力します。
月	月を入力します。
日	日を入力します。
時	時を入力します。
分	分を入力します。
タイムゾーン	世界標準時からの時差を設定します。
サマータイム設定	夏時間を設定します（入力範囲 ：1-150、単位：分）。

システムタブ － 日時設定 － 時刻補正設定

本機の日時を NTP サーバから自動取得して補正する設定にします。

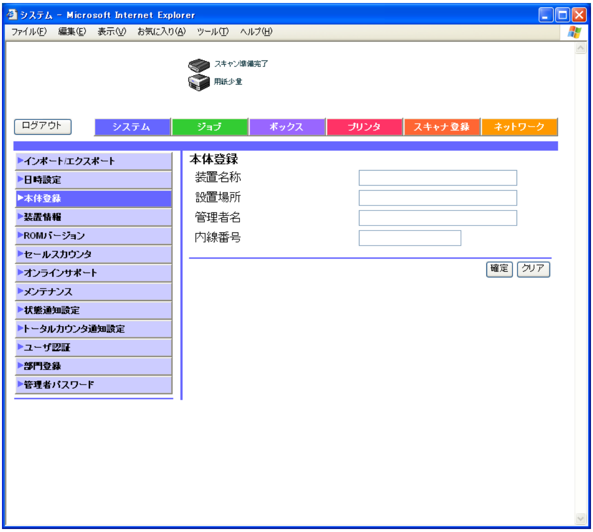


時刻補正設定	NTP による時刻自動取得の使用する／使用しないを指定します。
NTP サーバアドレス	NTP サーバアドレスを入力します（半角 255 文字以内、書式：「***.***.***.***」または FQDN）。記号は、“-” と “.” のみ使用可能です。
ポート番号	NTP サーバポートを入力します（入力範囲：1-65535）。

［調整］をクリックすると、設定した条件で NTP サーバに接続し、時刻を調整します。

システムタブ － 本体登録

装置の登録情報を変更します。



装置名称	デバイス名を設定します（半角英数字記号 255 文字以内）。
設置場所	デバイスの設置場所を設定します（半角英数字記号 255 文字以内）。
管理者名	管理者名を設定します（半角英数字記号 255 文字以内）。
内線番号	内線番号を設定します。（半角英数字記号 8 文字以内）

システムタブ − 装置情報

［システム］タブをクリックし、［装置情報］メニューを選択し、さらに各設定（消耗品情報や給紙トレイなど）を選択します。

本機の構成と状態が表示されます。



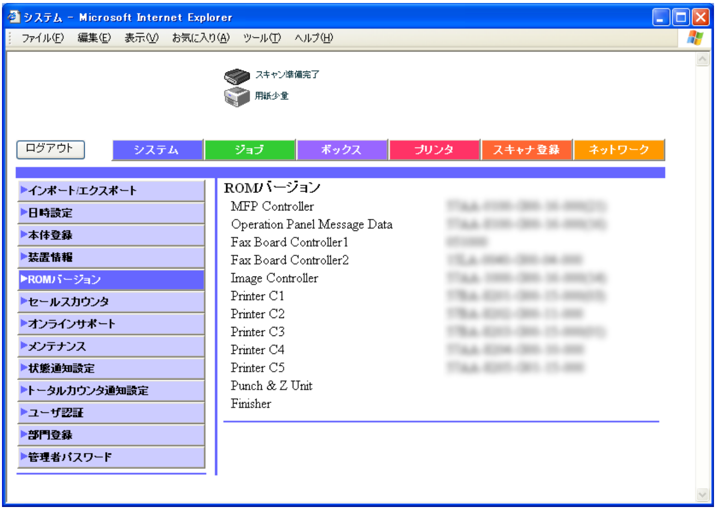
✎...

メモ）

表示される項目は、ユーザモードの［システム］タブ −［装置情報］と同じです。

システムタブ − ROM バージョン

ROM バージョンを表示します。



システムタブ ― セールスカウンタ

［システム］タブをクリックし、［セールスカウンタ］メニューを選択します。

本機で管理されているカウンタを確認できます。

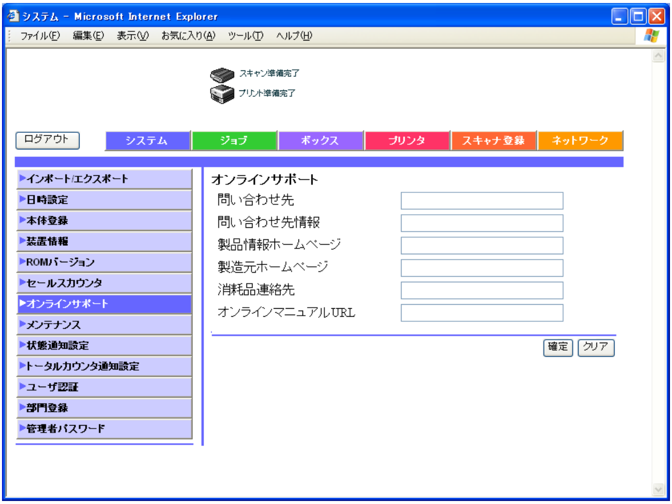


トータルカウンタ	出力カウンタ（コピー、プリント、スキャン、ファクス）の総計が表示されます。

コピーカウンタ	それぞれのカウンタが表示されます。
プリントカウンタ	
スキャンカウンタ（オプションの FAX キット装着時は、スキャン / ファクスカウンタと表示されます）	
用紙サイズ種類カウンタ	用紙サイズや用紙種類のカウンタが表示されます。

システムタブ － オンラインサポート

オンラインサポート情報を変更します。この内容は、ユーザーモードの［システム］タブ －［オンラインサポート］で表示されます。



問い合わせ先	問い合わせ先を設定します（半角 63 文字以内）。
問い合わせ先情報	問い合わせ先情報を設定します（半角 127 文字以内）。
製品情報ホームページ	製品情報のホームページ URL を設定します（<> を除く半角 127 文字以内）。
製造元ホームページ	製造元のホームページ URL を設定します（<> を除く半角 127 文字以内）。
消耗品連絡先	消耗品連絡先を設定します（半角 127 文字以内）。
オンラインマニュアル URL	オンラインマニュアルホームページには、以下の URL を設定してください（< > を除く半角文字）。 http://www.pagescope.com/download/webconnection/onlinehelp/750/v3/help.html

システムタブ − メンテナンス − ネットワーク設定クリア

本機のネットワーク設定を工場出荷時の状態にもどします。

［クリア］をクリックすると、実行します。



...

ご注意）

設定済みの状態でクリアしてしまうと、再度、設定するまではPageScope Web Connection でアクセスできません。

...

メモ）

セキュリティ強化モードがON の場合、このメニューは表示されません。

システムタブ － メンテナンス － リセット

コントローラをリセットします。

［リセット］をクリックすると、実行します。



システムタブー メンテナンスー 宛先一括消去

宛先を一括で消去します。

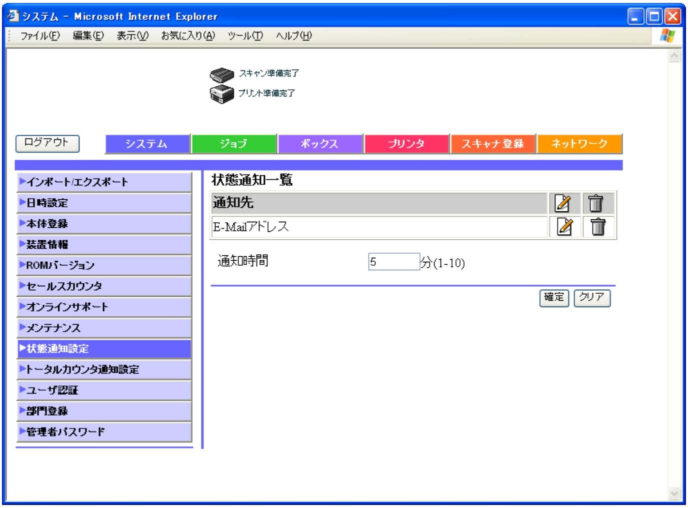
［フォーマット］をクリックし、［OK］をクリックすると実行します。



システムタブ － 状態通知設定

本機にエラーが発生したときに、登録者に通知します。

通知時間を入力して［確定］をクリックします。



通知先の右側にある［編集］アイコン（ ）をクリックすると、通知先のアドレスや通知条件が設定できます。



通知先アドレス	通知先 Email アドレスを入力します（半角 320 文字以内）。
トレイ紙補給	用紙がないことを通知します。
ジャム発生	紙づまりを通知します。
PM コール	定期点検を通知します。
ステープル針補給	ステープルの針がないことを通知します。
トナー補給	トナーがないことを通知します。
フィニッシャ積載オーバ	フィニッシャー積載オーバーを通知します。
サービスコール	サービスコールのときに通知します。
ジョブ終了	ジョブ終了（正常終了）を通知します。
パンチくず除去	パンチくずを取り除く必要のあることを通知します。

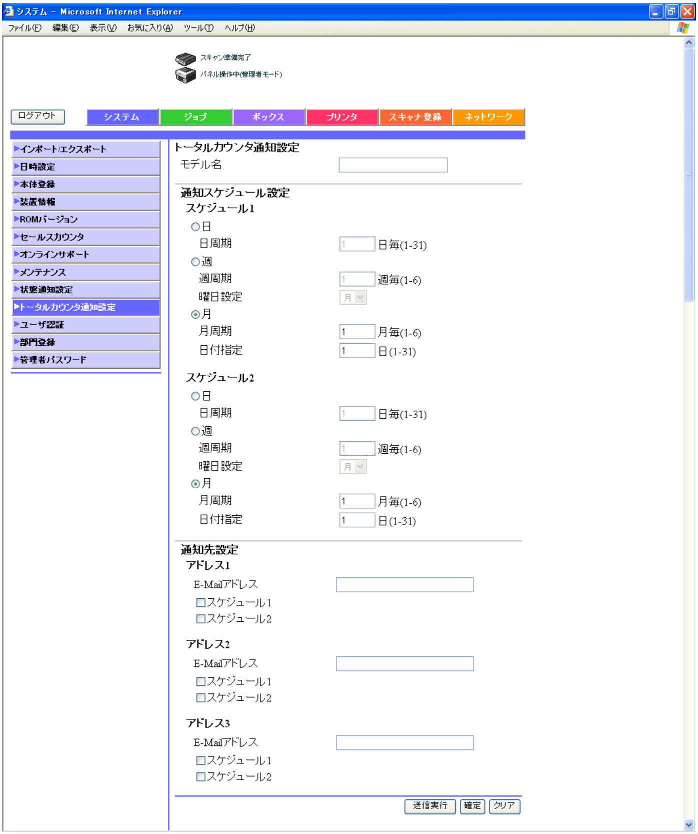
メモ）

状態通知の機能により発信されるメール本文の［設置場所］として記載される情報は、ネットワークタブ − IPP 設定の［プリンタ設置場所］の入力内容になります。［プリンタ設置場所］については、「IPP 印刷（Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64）」（p. 3-14）をごらんください。

システムタブ － トータルカウンタ通知設定

トータルカウンタを E-mail で通知する設定と通知先のメールアドレスを登録します。

各項目を入力して［確定］をクリックすると設定できます。設定後［送信実行］をクリックすると E-mail 通知を実行します。

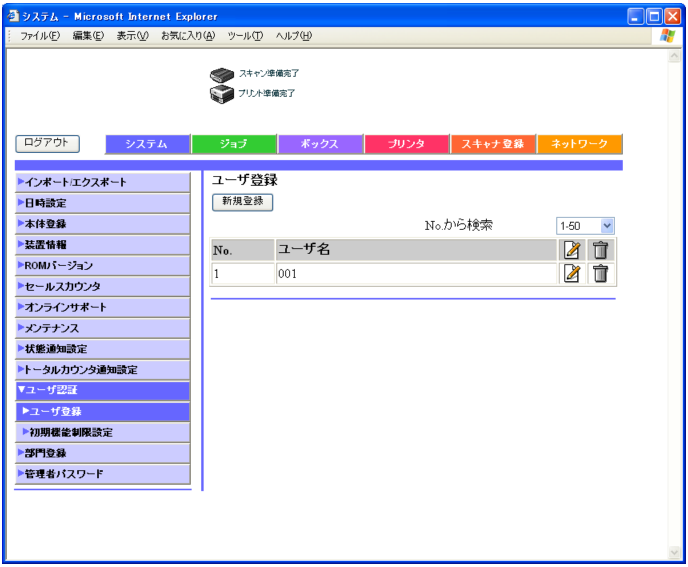


トータルカウンタ通知設定（モデル名）	リストに表示する機種名を入力します（半角英数字記号 20 文字以内）
通知スケジュール設定	通知するスケジュールの条件を設定します。スケジュール 1 ～ 2 で異なる設定を登録できます。
通知先設定	通知先 Email アドレスを入力します（半角 320 文字以内）。入力したアドレスに対し、通知するスケジュールを選択できます。

システムタブ － ユーザ認証 － ユーザ登録

本機でユーザ認証を行う場合、ログインできるユーザを登録します。

［新規登録］でユーザを登録できます。ユーザ名の右側にある［編集］アイコン（ ）をクリックすると登録されているユーザの条件を編集できます。



各項目を入力して［確定］をクリックすると、ユーザの条件を設定できます。



ユーザ登録	ユーザ名やパスワードを入力します。 登録 No.：0- ユーザカウンタの割り当て数（1000 以内） ユーザ名：半角 1-64 文字、全角 1-32 文字 E-Mail アドレス：半角 320 文字以内 ユーザパスワード：" ＋ を除く半角 64 文字以内
機能制限	本機の各機能を利用できるかどうかを設定します。
上限設定	利用できる上限値を設定します。

システムタブ － ユーザ認証 － 初期機能制限設定

ユーザ登録画面での機能制限の初期値を設定します。



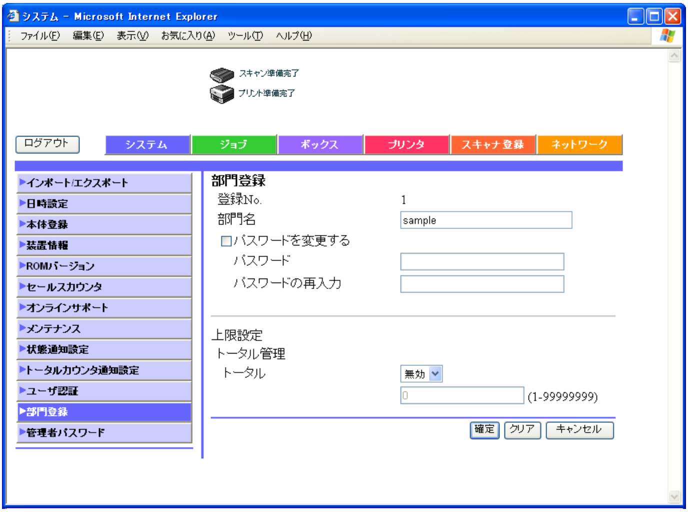
システムタブ ー 部門登録

本機で部門管理を行う場合、管理する部門を登録します。

［新規登録］で部門を登録できます。部門名の右側にある［編集］アイコン（）をクリックすると登録されている部門の条件を編集できます。



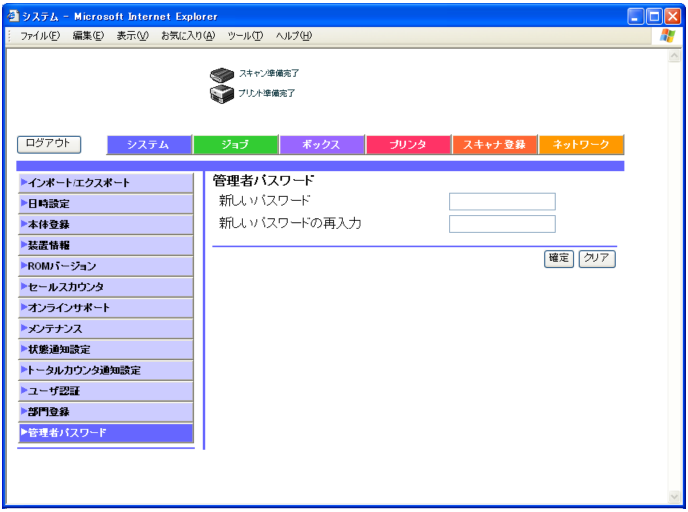
各項目を入力して［確定］をクリックすると、部門の条件を設定できます。



部門登録	部門名やパスワードを入力します。 登録 No.：0- ユーザカウンタの割り当て数（1000 以内） 部門名：" ＋ を除く半角 1-8 文字 パスワード：" ＋ を除く半角 1-8 文字
上限設定	利用できる上限値を設定します。

システムタブ ー 管理者パスワード

新しい管理者パスワードに変更できます。



✎...

ご注意）

「セキュリティ強化モード」中はパスワードの変更ができません。

ジョブタブ ー 履歴リスト

［ジョブ］タブをクリックし、［履歴リスト］メニューを選択します。

ジョブ種別で各機能（プリントやスキャナ送信）を選択します。

実行済みのジョブを確認できます。

プリント画面の例



✎...

メモ）

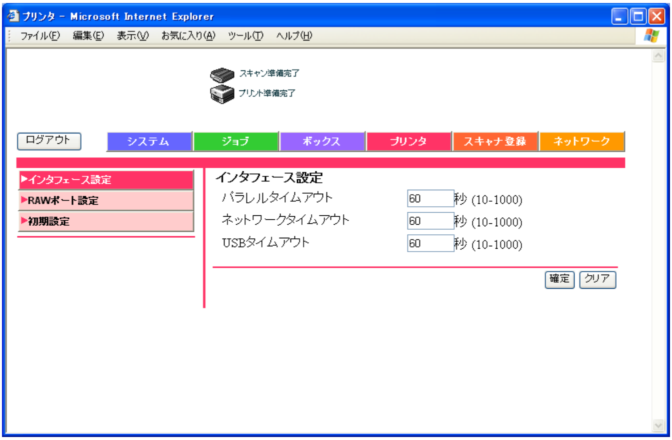
表示される項目は、ユーザモードの［ジョブ］タブ ー ［履歴リスト］と同じです。

プリンタタブ

プリンタタブでは、接続するインタフェースやプリントの初期設定に関する情報や設定が表示されます。

プリンタタブ － インタフェース設定

インタフェースのタイムアウト設定を変更できます。



パラレルタイムアウト	パラレルポートの受信タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。
ネットワークタイムアウト	ネットワークの受信タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。
USB タイムアウト	USB タイムアウトを入力します（入力範囲：10-1000）。

...

メモ）
表示される項目は、オプションの装着状態によって異なります。

プリンタタブ － RAW ポート設定

RAW ポートが有効か無効か確認できます。



プリンタタブ ー 初期設定 ー 一般設定

プリンタの初期設定値を設定できます。



PDL 設定	プリンタ記述言語を選択します。
給紙トレイ	給紙トレイを選択します。
排紙トレイ	排紙トレイを選択します。
両面プリント	両面印刷のする／しないを選択します。
とじ方向	とじしろ位置を選択します。
ステープル	ステープル機能を選択します。
パンチ	パンチ機能を選択します。
プリント部数	印刷部数を選択します。
用紙サイズ	用紙サイズを選択します。
原稿の向き	用紙の向きを選択します。
スプール設定	スプール機能を選択します。
バナー設定	バナーページをプリントするかどうかを設定できます。
バナー給紙トレイ	バナーページのプリントで使用する給紙トレイを設定できます。

指定給紙トレイ不一致	指定された給紙トレイに適合する用紙がない場合の対処を選択します。 指定給紙トレイ優先：別の給紙トレイから給紙します。 指定給紙トレイ固定：プリントせずに警告メッセージを表示します。
用紙サイズ変換	A4（Letter）/A3（Ledger）原稿のプリントで、Letter（A4）/Ledger（A3）の給紙口が選択された場合、プリントするかどうかの対処を選択します。

✎...

ご注意）

ステープル機能は、オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。

パンチ機能は、オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が装着されている場合のみ使用可能となります。さらにパンチキット、もしくはパンチ/Z 折りユニットが装着されている必要があります。

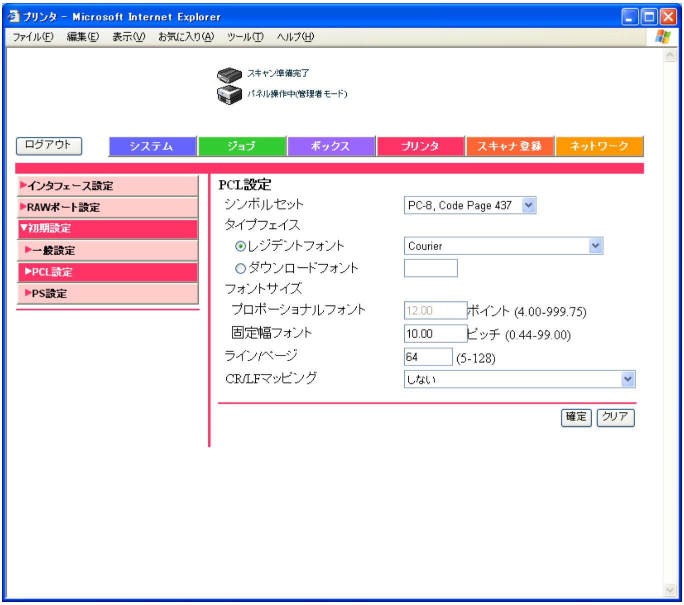
✎...

メモ）

表示される項目は、オプションの装着状態によって異なります。

プリンタタブ － 初期設定 － PCL 設定

PCL モードの初期設定値を設定できます。



シンボルセット	シンボルセットを選択します。
タイプフェイス	フォントを選択します。
フォントサイズ	選択したフォントによって、フォントピッチ（入力範囲：0.44-99.00）またはフォントポイントサイズ（入力範囲：4.00-999.75）を設定します。
ライン / ページ	1 ページあたりの行数を入力します（入力範囲：5-128）。
CR/LF マッピング	CR/LF の動作を選択します。

プリンタタブ － 初期設定 － PS 設定

PS モードの初期設定値を設定できます。



PS エラープリント	エラープリントのする／しないを指定します。

スキャナ登録タブ

スキャナ登録タブでは、送信時の設定や、アドレス帳の制限に関する情報や設定が表示されます。



ネットワークタブ

ネットワークタブでは、ネットワーク接続に関する情報や設定が表示されます。

ネットワークタブ － TCP/IP 設定 － TCP/IP 設定

TCP/IP の設定をします。



ネットワークタブの詳細については、「ユーザーズガイド（ネットワーク / スキャナ機能編）」をごらんください。

10.4 プリントジョブ管理

ジョブ動作の指定

プリンタドライバの設定により、本機におけるジョブの動作を指定できます。

✎...

ご注意）
本機能が設定できるプリンタドライバは、以下の 3 種類です。
KONICA MINOLTA 製 PCL プリンタドライバ
Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 用 KONICA MINOLTA 製 PS プリンタドライバ
Mac OS X 用プリンタドライバ

「機密プリント」と「ボックス保存（＆印刷）」は、ハードディスクを設定し、「機密プリント」は「機種」が本機と一致しているか確認しておく必要があります。

設定方法（Windows の場合）

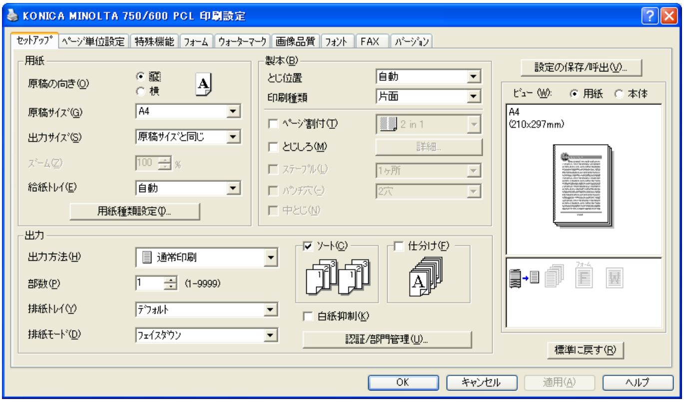
1 「印刷」ダイアログボックスで［プロパティ］をクリックして、プリンタドライバの設定ダイアログを表示します。

2 ［セットアップ］タブ（PCL ドライバ）または［セットアップ］タブ（PostScript ドライバ）をクリックします。

3 ［出力方法］のドロップダウンリストで、出力方法を選択します。

通常印刷：	すぐにプリントされます。
機密プリント：	本機の操作パネルで ID とパスワードを入力してプリントします。（最大 100 文書）
ボックス保存：	プリント文書を本機のドキュメントフォルダに保存します。
ボックス保存＆印刷：	ドキュメントフォルダに保存すると同時にプリントもします。
確認プリント：	文書が 1 部出力されたあと、本機が一時停止します。大量部数印刷のミスプリントを防ぎたい場合に選択します。

詳しくは、「出力方法を選択する」（p. 5-15）、（p. 6-20）をご覧ください。



設定方法（Mac OS X の場合）

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［セキュリティ］を選択します。

3 各項目を設定します。

出力方法：	「機密プリント」「ボックス保存」などの条件を選択します。
機密プリント設定：	「出力方法」で「機密プリント」を選んだ場合に ID とパスワードを入力します。ID とパスワードは、プリントするときに本機の操作パネルで入力します。（最大 100 文書）
ボックス保存設定：	「出力方法」で「ボックス保存」または「ボックス保存＆印刷」を選んだ場合にファイル名とボックス番号を入力します。



ジョブの保存

プリンタドライバの「出力方法」の設定により、プリント文書は本機にジョブとして保存されます。

保存されたジョブをプリントする場合は、本機操作パネル側でジョブを呼出す必要があります。

ジョブの呼出し

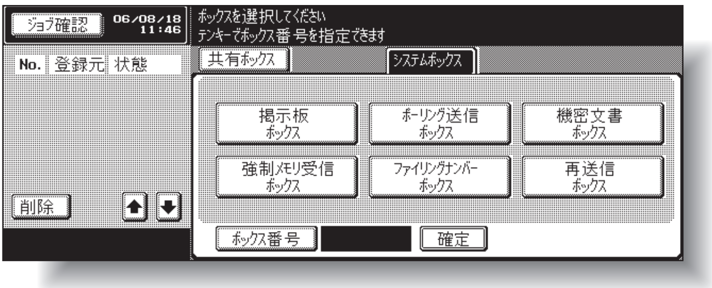
[機密プリント] もしくは [ボックス保存] で本機に保存されたジョブを呼び出します。

機密プリントの場合

1 操作パネルの[ボックス]キーを押します。



2 [システムボックス] を押し、[機密文書ボックス] を押します。



3 プリント時に設定した、ID とパスワードを入力します。

4 プリントしたいジョブを選択し、[プリント] を押します。

5 [スタート] キーを押すとプリントされます。

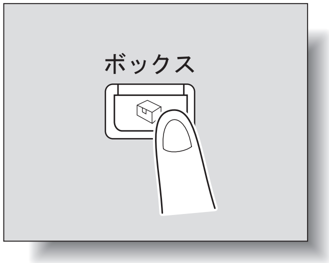
✎...

メモ）
[設定変更] を押すと、[ステープル]、[紙折り] 等の設定を変更することが出来ます。

(1 部変更できない設定もあります)

ボックス保存の場合

1 操作パネルの[ボックス]キーを押します。



2 [共有ボックス] を押し、プリント時に設定した [ボックスナンバ] を押します。

3 プリントしたいジョブを選択し、[プリント] を押します。

4 [スタート]キーを押すとプリントされます。

✎...

メモ）
[設定変更] を押すと、[ステープル]、[紙折り] 等の設定を変更することが出来ます。

(1 部変更できない設定もあります)

部門管理機能を使用してプリントする

本機側で「部門管理機能」を使用している場合、プリント時に部門管理コード（暗証番号）を入力する必要があります。

✎...

ご注意）
本機側の「部門管理機能」で有効ではない暗証番号を入力してプリントした、または［部門管理］にチェックしないでプリントした場合はエラーが起きます。本機操作パネルの操作で「プリント履歴」を確認してください。

本機能が設定できるプリンタドライバは、以下の 3 種類です。
KONICA MINOLTA 製 PCL プリンタドライバ
Windows 2000/XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64 用 KONICA MINOLTA 製 PS プリンタドライバ
Mac OS X 用プリンタドライバ

設定方法（Windows の場合）

1 「印刷」ダイアログボックスで［プロパティ］をクリックして、プリンタドライバの設定ダイアログを表示します。

2 ［セットアップ］タブ（PCL ドライバ）または［セットアップ］タブ（PostScript ドライバ）をクリックします。

3 ［認証 / 部門管理］をクリックします。

4 ［部門管理］のチェックボックスを ON にし、部門名、パスワードを入力します。

❍ 暗証番号はジョブごとではなく、デフォルト値を設定しても使用できます。



5 ［OK］をクリックして設定後、プリントします。

入力した暗証番号が本機側で有効になっている暗証番号である場合、ジョブはプリントされ、指定した部門番号にカウントされます。

設定方法（Mac OS X の場合）

1 ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

2 ［セキュリティ］を選択します。

3 部門管理設定のチェックボックスを ON にし、部門名とパスワードを登録します。



PageScope Web Connection でのジョブ操作

PageScope Web Connection でも、本機で処理中のジョブ状態を確認できます。

詳しくは、以下のページをご覧ください。

「ジョブタブ ― 実行中リスト」（p. 10-67）

「ジョブタブ ― 履歴リスト」（p. 10-68）

11 トラブルシューティング

11.1 プリントできない

本章では、想定するトラブルおよび困った場合の解決方法について説明します。

プリントを実行したにもかかわらず、プリントできない場合に、上から順に確認してください。

状況	考えられる原因	対処方法
パソコン上の画面に「プリンタが接続されていない」または「印刷エラー」という内容のメッセージが表示される。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	ネットワークケーブル、パラレルケーブルまたは USB ケーブルが外れている可能性があります。	ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	メモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
パソコン上の画面にポストスクリプトエラーが表示される。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。
	アプリケーションソフトウェアの設定によるエラーが考えられます。	アプリケーションソフトウェアの取扱説明書などを参考に、設定を再確認してください。
	ファイルの印刷設定が間違っている可能性があります。	設定を変えて再度プリントを試してみてください。

状況	考えられる原因	対処方法
パソコン側のプリント処理は終了したがプリントが開始されない。	プリント時に指定しているプリンタドライバがプリンタコントローラ対応になっていない可能性があります。	指定しているプリンタ名を確認してください。
	本機側でエラーが発生している可能性があります。	本機の操作パネルを確認してください。
	未処理のジョブが本機に残っていて、処理待ち状態になっている可能性があります。	本機の操作パネルのジョブ確認でジョブの順番を確認してください。
	プリント実行時に［ボックス保存］を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで［ボックス］に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	プリント実行時に［機密プリント］を指定している可能性があります。	本機の操作パネルで［機密ボックス］に目的のジョブが保留されていないか確認してください。
	部門管理している場合、登録以外の部門管理コード（暗証番号）を入力している可能性があります。	部門管理コード（暗証番号）を正しく入力してください。
	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	テスト印刷でプリントできるか確認してください。

以上のことを確認しても解決しない場合は、「ユーザーズガイド　コピー機能編」をお読みください。

11.2 設定できない／設定した通りにプリントできない

プリンタドライバで設定ができない場合や、設定してもその通りにプリントされない場合に確認してください。

…

メモ）
プリンタドライバの項目を設定する場合、項目によっては同時に選択できないものがあります。

状況	考えられる原因	対処方法
プリンタドライバ上で項目が選択できない。	機能によっては組み合わせできない場合があります。	グレー表示の部分は設定できません。
パソコン画面上に「設定できない」「機能が解除される」内容の「競合」メッセージが表示される。	組み合わせできない機能を設定しています。	内容をよく確認し、機能を指定しなおしてください。
設定した通りにプリントできない。	正しく設定されていない可能性があります。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	プリンタドライバ上では組み合わせて設定できますが、本機としては組み合わせができません。	
	アプリケーションで設定した用紙サイズや用紙の向きなどがプリンタドライバでの設定より優先されてプリントされることがあります。	アプリケーション側の設定を正しく設定してください。
ウォーターマークがプリントできない。	ウォーターマークを正しく設定していない可能性があります。	ウォーターマークの設定を確認してください。
	ウォーターマークの濃度が薄い可能性があります。	濃淡設定を確認してください。
	グラフィックス系などのアプリケーションソフトウェアでは、ウォーターマークがプリントされないことがあります。	この場合、ウォーターマークはプリントできません。
ステープルが指定できない。	用紙種類が厚紙、OHP フィルムの場合は、ステープルできません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が必要です。	必要なオプションを装着し、プリンタドライバでオプションを使用可能にしてください。

状況	考えられる原因	対処方法
ステープルができない。	ステープル可能枚数は、普通紙 A4 ◪ 以下で、FS-505 では 100 枚、FS-504/602 では 50 枚です。	プリント枚数を変更してください。
	FS-602 装着時の中とじ可能枚数は普通紙 20 枚までです。	
	異なった用紙サイズが混在している場合は、ステープルできません。	書類を確認してください。
ステープルの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタドライバの設定でステープルの位置を確認してからプリントしてください。
パンチが指定できない。	小冊子、OHP フィルムを指定した場合は、パンチを指定できません。	プリンタドライバの各設定項目を確認してください。
	オプションのフィニッシャー（SF-601 を除く）が必要で、さらに、パンチキットもしくはパンチ /Z 折りユニットも必要になります。	必要なオプションを装着し、プリンタドライバでオプションを使用可能にしてください。
パンチされない。	給紙口にセットしてある用紙の向きが適切でない場合は、パンチせずにプリントされることがあります。	用紙の向きを確認してください。
パンチの位置が思いどおりにならない。	方向の設定が合っていません。	プリンタドライバの設定ダイアログの［ページレイアウト］でパンチの位置を確認してからプリントしてください。
フォームがうまくプリントされない。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	フォームを簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
画像がうまくプリントされない。	パソコンのメモリが不足している可能性があります。	画像を簡単なものにしてデータ量を減らしてください。
指定した給紙口から給紙されない。	指定した給紙口に必要なサイズ／方向の用紙が入っていない場合は、指定した給紙口から給紙されない可能性があります。	給紙口に適切なサイズ／方向の用紙を入れてください。

12 付録

12.1 製品仕様

項目		仕様
型式		内蔵型コントローラ
電源		本機と共通
CPU		本機と共通
プログラム ROM		本機と共通
RAM		本機と共通
I/F		本機に準じる
フレームタイプ		Ethernet 802.2 Ethernet 802.3 Ethernet II Ethernet SNAP
対応プロトコル		TCP/IP IPX/SPX NetBEUI AppleTalk（EtherTalk） Bonjour
プリント速度		bizhub 750：75 枚 / 分 bizhub 600：60 枚 / 分 （A4 600 x 600 dpi 片面）
ファーストプリントタイム		本機ファーストコピータイムに準ずる
ページ記述言語		PCL5e PCL6 PostScript 3
動作環境条件		本機に準じる
解像度	データ解像度	600 × 600 dpi
	出力解像度	600 × 2400 dpi 相当（最大）
対応用紙サイズ		本機に準じる
フォント（内蔵フォント）		＜ PCL ＞ 欧文 80 書体 日本語 HG 明朝 L HGP 明朝 L HG ゴシック B HGP ゴシック B ＜ Postscript 3 Emulation ＞ 欧文 137 書体 日本語 HG 明朝 L HG ゴシック B
対応パソコン		IBM PC およびその互換機 Macintosh

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="2">サポート OS</td><td>サーバ</td><td>Windows NT4.0 / 2000 / Server 2003 / Server 2003 x64</td></tr>
<tr><td>クライアント</td><td>Windows 98SE / Me
Windows 2000 / XP
Windows NT4.0
Windows XP x64
Mac OS 9.x / OS X 10.2/10.3/10.4</td></tr>
<tr><td colspan="2">プリンタドライバ</td><td>PCL6
• Windows 98SE / Me プリンタドライバ
• Windows 2000 / XP / Server 2003 プリンタドライバ
• Windows NT4.0 プリンタドライバ
KONICA MINOLTA PS
• Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 プリンタドライバ
• Windows XP x64/Server 2003 x64 プリンタドライバ
PostScript PPD
• Windows 98SE / Me PPD ファイル
• Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003 PPD ファイル
• Windows XP x64/ Server 2003 x64 PPD ファイル
• MacOS 9.x PPD ファイル
• MacOS X 10.2 / 10.3 / 10.4 プリンタドライバ</td></tr>
<tr><td colspan="2">MetaFrame 動作環境</td><td>本ドライバは以下の環境でのみ動作確認を実施しております。
ServerOS: Windows 2000 Advanced Server/Windows 2003 Enterprise Server
MetaFrame: Citrix® MetaFrame XP® Presentation Server、Feature Release 3 Citrix® MetaFrame® Presentation Server 3.0、Citrix Presentation Server4.0 対応予定
Client OS: Windows 2000/Windows XP
ICAClient: ICA32bit
＊ 上記以外の構成での動作に関しては販売会社にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーティリティ</td><td>PageScope Web Connection
対応 Web ブラウザ：
Microsoft Internet Explorer Ver.6 以降推奨
Internet Explorer Ver.5.X の使用の場合、Microsoft XML parser MSXML3.X のインストールが必須
Netscape Navigator Ver.7.02 以降（JavaScript 有効・Cookie 有効）
Adobe® Flash® Player（表示形式で Flash を選択する場合、Ver.7.0 以降のプラグイン必須）</td></tr>
</table>

12.2 コンフィグレーションページ

KONICA MINOLTA 750

Configuration Page

Print Operation Menu Map

Basic Setting

Default Paper Size	=	A4
Paper Tray	=	Auto
Output Tray	=	Elevate Tray
Binding Position	=	Left Binding
Double-Sided	=	Off
Staple	=	Off
Hole-Punch	=	Off
Orientation	=	Portrait
# of Sets	=	1
No Matching Paper in Tray Setting	=	Stop Printing (Tray Fixed)
Spool Setting	=	Off
Convert	=	Off
PDL Setting	=	Auto

PCL Setting

Font Source	=	I
Font Number	=	0
Font Pitch	=	12.00
Font Point	=	10.00
Symbol Set	=	PC-8, Code Page 437
Line/Page	=	64 [Line / Page]
CR/LF Mapping	=	Off

PS Setting

Print Reports	=	Enable

I/F Setting

IEEE 1284 Timeout	=	60 [sec.]
Network Rx Timeout	=	60 [sec.]
USB Timeout	=	60 [sec.]
Parallel I/F	=	ECP

RAW Port No.

RAW Port 0	=	9100
RAW Port 1	=	9112
RAW Port 2	=	9113
RAW Port 3	=	9114
RAW Port 4	=	9115
RAW Port 5	=	9116

Test Print

Configuration
PCL Font List
PS Font List
Demo Page

Installed

Printer HDD	=	Installed
Printer Memory	=	512 [MByte]

Printer Information

Installed Tray

Tray 1	=	A4
Tray 2	=	A4
Tray 3	=	A3
Tray 4	=	A3
LCT	=	A3

Option

Duplex Unit	=	Installed
Finisher	=	Available
Punch Unit	=	Available
Fold Unit	=	Available
Fax Unit	=	Not Available

Firmware Version

Printer Controller	=	57AA-3000-F00-12-000(00)

Network

MAC Address

MAC Address	=	00:50:AA:24:00:1A

TCP/IP

TCP/IP	=	Enable
IP Address	=	192.168.1.20
Subnet Mask	=	255.255.255.0
Default Gateway	=	192.168.1.1

Netware

Netware	=	Disable

Appletalk

Appletalk	=	Enable

SMB

SMB	=	Enable

12.3 フォントリスト

PCL フォントリスト

KONICA MINOLTA 750

PCL Font List P.1

Internal Fonts

Font	Pitch/Point	Escape Sequence	Font #	Font ID
Courier	Scalable	<esc>(01X<esc>(s0p10h0s0b4099T	00000	
CG Times	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4101T	00001	
CG Times Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4101T	00002	
CG Times Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4101T	00003	
CG Times Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4101T	00004	
CG Omega	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4113T	00005	
CG Omega Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4113T	00006	
CG Omega Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4113T	00007	
CG Omega Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4113T	00008	
Coronet	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4116T	00009	
Clarendon Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4140T	00010	
Univers Medium	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4148T	00011	
Univers Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4148T	00012	
Univers Medium Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4148T	00013	
Univers Bold Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s3b4148T	00014	
Univers Med. Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s0b4148T	00015	
Univers Bold Condensed	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v4s3b4148T	00016	
Univers Med. Cond. It.	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s0b4148T	00017	
Univers Bold Cond. It.	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v5s3b4148T	00018	
Antique Olive	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4168T	00019	
Antique Olive Bold	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4168T	00020	
Antique Olive Italic	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4168T	00021	
Garamond Antiqua	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s0b4197T	00022	
Garamond Halbfett	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v0s3b4197T	00023	
Garamond Kursiv	Scalable	<esc>(01X<esc>(s1p12v1s0b4197T	00024	

PS フォントリスト

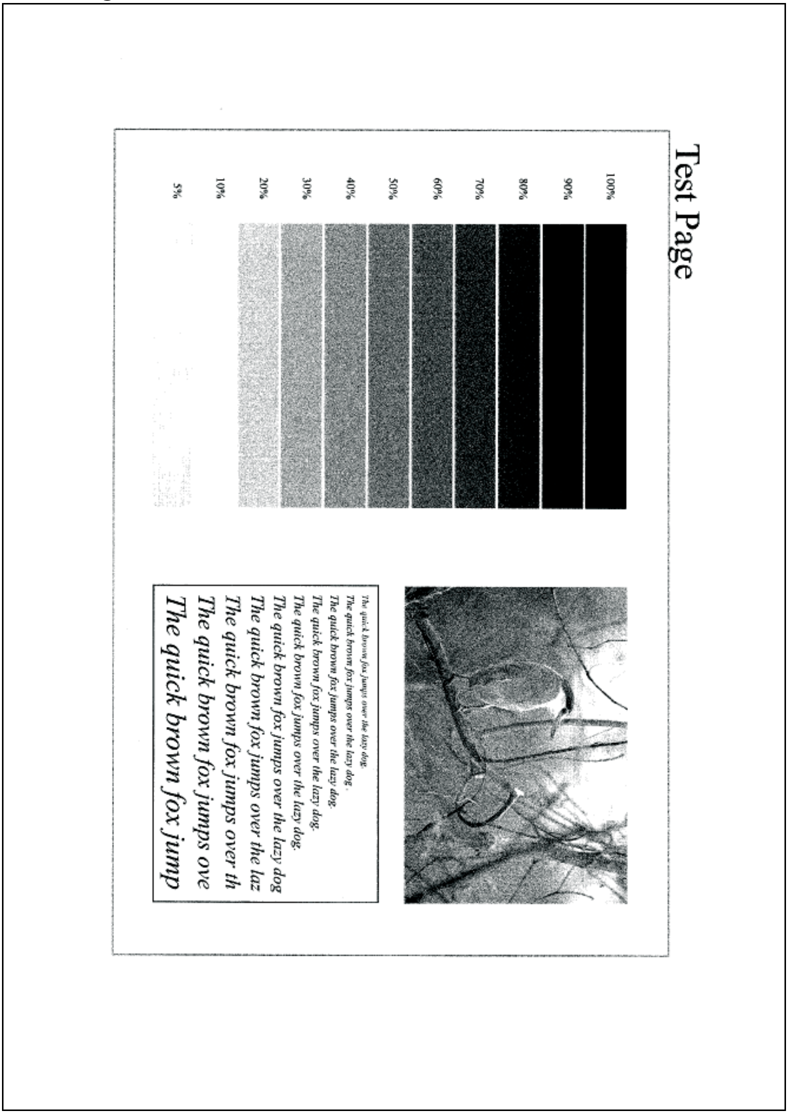
KONICA MINOLTA 750

PS Font List P.1

Internal Fonts

Font		Font #
Albertus MT	AlbertusMT	00000
Albertus MT Italic	AlbertusMT-Italic	00001
Albertus MT Light	AlbertusMT-Light	00002
Antique Olive Roman	AntiqueOlive-Roman	00003
Antique Olive Italic	AntiqueOlive-Italic	00004
Antique Olive Bold	AntiqueOlive-Bold	00005
Antique Olive Compact	AntiqueOlive-Compact	00006
Apple Chancery	Apple-Chancery	00007
Arial	ArialMT	00008
Arial Italic	Arial-ItalicMT	00009
Arial Bold	Arial-BoldMT	00010
Arial Bold Italic	Arial-BoldItalicMT	00011
ITC Avant Garde Gothic Book	AvantGarde-Book	00012
ITC Avant Garde Gothic Book Oblique	AvantGarde-BookOblique	00013
ITC Avant Garde Gothic Demi	AvantGarde-Demi	00014
ITC Avant Garde Gothic Demi Oblique	AvantGarde-DemiOblique	00015
Bodoni Roman	Bodoni	00016
Bodoni Italic	Bodoni-Italic	00017
Bodoni Bold	Bodoni-Bold	00018
Bodoni Bold Italic	Bodoni-BoldItalic	00019
Bodoni Poster	Bodoni-Poster	00020
Bodoni Poster Compressed	Bodoni-PosterCompressed	00021
ITC Bookman Light	Bookman-Light	00022
ITC Bookman Light Italic	Bookman-LightItalic	00023
ITC Bookman Demi	Bookman-Demi	00024
ITC Bookman Demi Italic	Bookman-DemiItalic	00025
	Carta	00026
Chicago	Chicago	00027
Clarendon Roman	Clarendon	00028
Clarendon Bold	Clarendon-Bold	00029

Test Page


Test Page
100%
90%
80%
70%
60%
50%
40%
30%
20%
10%
5%
The quick brown fox jumps over the lazy dog.
The quick brown fox jumps over the lazy dog.
The quick brown fox jumps over the lazy dog.
The quick brown fox jumps over the lazy dog.
The quick brown fox jumps over the lazy dog.
The quick brown fox jumps over the lazy dog
The quick brown fox jumps over the laz
The quick brown fox jumps over th
The quick brown fox jumps ove
The quick brown fox jump

12.4 スクリーンフォントについて

付属 CD-ROM には、Windows 標準添付以外の TrueType フォントが［スクリーンフォント］として添付されています。

このスクリーンフォントをご使用のシステムにインストールすることで、プリンタフォントと TrueType フォントの WYSIWYG 環境が実現されます。また、印刷パフォーマンスも向上する場合があります。

TrueType フォントのインストール手順（Windows 98SE/Me/NT/2000）

1 タスクバーの［スタート］をクリックします。

2 ［設定］を選択します。

3 ［コントロールパネル］を選択します。

［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

4 ［フォント］アイコンをダブルクリックします。

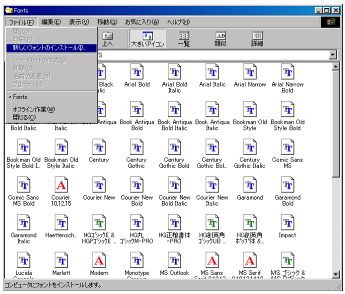
［フォント］ウィンドウが表示されます。

※ Windows 98SE のイラストを使用しています。

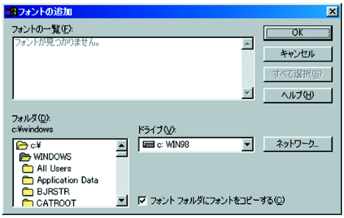


5 ［ファイル］メニューを選択します。

［新しいフォントのインストール］を選択します。
［フォントの追加］ダイアログが表示されます。



6 User Software CD-ROM の［¥ScreenFont¥PCL］もしくは、［¥ScreenFont¥PostScript¥win］フォルダ内から、追加するフォントを選択します。このとき、［フォントフォルダにフォントをコピーする］チェックボックスを ON にします。



7 ［OK］をクリックします。

TrueType フォントのインストール手順 (Windows XP/Server 2003/XP x64/Server 2003 x64)

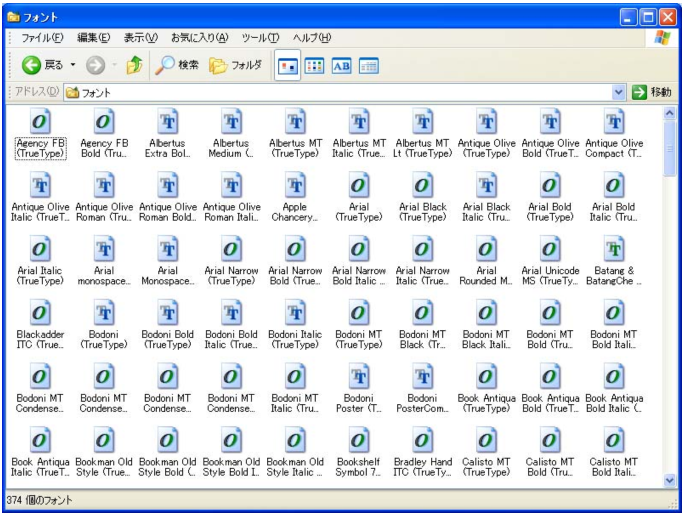
1 タスクバーの［スタート］をクリックします。

2 ［設定］を選択します (PC の設定により［設定］がない場合があります。その場合手順 3 から行います。)

3 ［コントロールパネル］を選択し、［コントロールパネル］下が［クラシック表示に切り替える］となっている場合、クリックします。
［コントロールパネル］ウィンドウが表示されます。

4 ［フォント］アイコンをダブルクリックします。

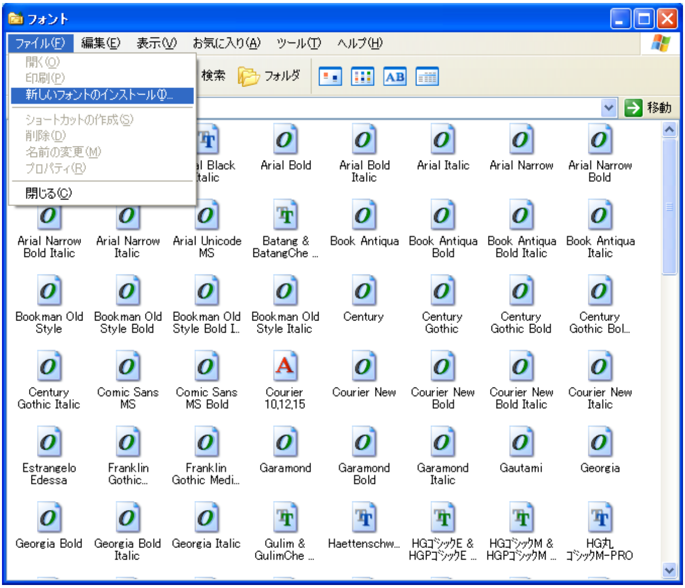
［フォント］ウィンドウが表示されます。



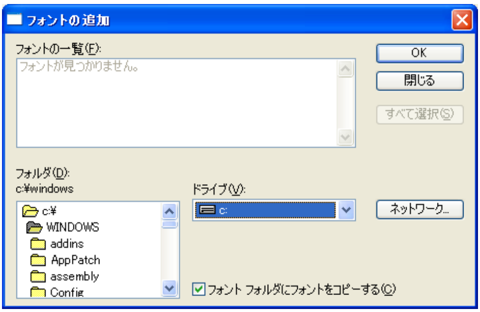
Windows XP のイラストを使用しています。

5 ［ファイル］メニューを選択し、［新しいフォントのインストール］を選択します。

［フォントの追加］ダイアログが表示されます。



6 ［User Software CD-ROM］の［¥ScreenFont¥PCL］もしくは［¥ScreenFont¥PostScript¥win］フォルダ内から、追加するフォントを選択します。このとき、［フォントフォルダにフォントをコピーする］チェックボックスを ON にします。



7 ［OK］をクリックします。

12.5 用語集

用語	説明
10BASE-T/100BASE-TX	Ethernet の規格における仕様の一種。 銅でできた線材を 2 本ずつより合わせたケーブルを使っている。 通信速度は 10Base-T が 10Mbps、100Base-TX が 100Mbps である。
Adobe ® Flash ®	Adobe Systems 社（旧 Macromedia 社）の開発した、ベクターグラフィックのアニメーションや音声を組み合わせたコンテンツを作成するソフト、またはそのファイル形式。キーボードやマウスからの入力により、双方向性を持たせたコンテンツを扱える。ファイル容量を比較的小さく抑えることができ、ウェブブラウザに専用のプラグインを導入して閲覧できる。
AppleTalk	Apple 社が開発したネットワーク機能を実現するプロトコル群の総称。
bit	Binary Digit の略。コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の最小単位。0 か 1 かでデータを表す。
BMP	Bitmap の略。画像データを保存するファイル形式の 1 つ（拡張子は .bmp）。 Windows 上で一般的に使用されている。白黒（2 値）の画像からフルカラー（1677 万 7216 色）までの色数を指定できる。基本的には圧縮せずに画像を保存する。
Bonjour	ネットワーク上に接続しているデバイスを自動的に検出し、設定を行う。Macintosh（Mac OS X のみ）のネットワーク技術。10.3 までは "Rendezvous" と呼ばれていたが、10.4 から名称変更された。
BOOTP	BOOTstrap Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。 ただし現在では BOOTP をベースとして一部改良した DHCP が主流になっている。
Byte	コンピュータやプリンタなどが扱う情報（データ量）の単位。1Byte=8bit で構成される。
Default Gateway	同一 LAN 上に存在しないコンピュータへアクセスする際に使用する「出入り口」の代表となるコンピュータやルータなどの機器のこと。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 TCP/IP ネットワーク上のクライアントマシンが、サーバからネットワークに関する設定を自動的に読込むプロトコル。 DHCP サーバで DHCP クライアント用に IP アドレスを一括管理するだけで、アドレスの重複を避け、容易にネットワークの構築ができる。
DNS	Domain Name System の略。 ネットワーク環境において、ホスト名から対応する IP アドレスを取得できるようにするシステムのこと。これによりユーザーは、憶えにくく、分かりにくい IP アドレスではなく、ホストの名前を指定してネットワーク上の他のパソコンにアクセスできるようになる。

用語	説明
DPI （dpi）	Dots Per Inch の略。プリンタやスキャナなどで使われる解像度の単位。 1 インチを何個の点の集まりとして表現するかを表す。 この値が高いほど、より精細な表現が可能となる。
FTP	File Transfer Protocol の略。インターネットやイントラネットなどの TCP/IP ネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルのこと。
HTTP	HyperText Transfer Protocol の略。Web サーバとクライアント（Web ブラウザなど）がデータを送受信するのに使われるプロトコル。文書に関連付けられている画像、音声、動画などのファイルを、表現形式などの情報を含めてやり取りできる。
IEEE1284	Institute of Electrical and Electronic Engineers 1284 の略。パラレルポートの標準規格。プリンタ用に開発された。
IPP	Internet Printing Protocol の略。インターネットなどの TCP/IP ネットワークを通じて、印刷データの送受信や印刷機器の制御を行なうプロトコルのこと。インターネットを通じて遠隔地のプリンタにデータを送って印刷することもできる。
IPX/SPX	Internetwork Packet exchange/Sequenced Packet exchange の略。Novel 社により開発された、NetWare 環境下で一般的に使用されるプロトコルのこと。
IP アドレス	インターネット上で個々のネットワーク機器を識別する符号（アドレス）。192.168.1.10 のように最大 3 桁の数字 4 つで表される。コンピュータを始めとしてインターネットに接続した機器には、全て IP アドレスが割振られる。
LAN	Local Area Network の略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピュータ同士を接続したネットワークのこと。
LPR/LPD	Line Printer Request/Line Printer Daemon の略。WindowsNT 系、UNIX 系におけるネットワーク経由印刷の 1 種。TCP/IP を使って、Windows、UNIX からの印刷データをネットワーク上にあるプリンタに出力させることができる。
MAC Address	Media Access Control address の略。各 Ethernet カード固有の ID 番号で、これを元にカード間のデータの送受信が行われる。48 ビットの数字で表現されており、前半の 24 ビットは IEEE が管理・割当てをしている各メーカーごとに固有な番号で、後半の 24 ビットはメーカーが一意にカードに割当てる番号である。
NDPS	Novell Distributed Print Services の略。NDS 環境において高機能なプリントソリューションを提供する。NDPS をプリントサーバとして利用することにより、希望するプリンタからの出力、新規プリンタ導入時のドライバの自動ダウンロードなど、プリンタ利用に関する煩雑な管理環境を簡素化・自動化できるほか、ネットワーク・プリンタに関わる統合的な管理を行うことができる。
NDS	Novell Directory Service の略。 ネットワーク上に存在するサーバやプリンタ、ユーザ情報などの共有資源、またそれらに対する個々のユーザのアクセス権限などの情報を、階層構造で一元管理できる。
NetBIOS	Network Basic Input Output System の略。 IBM 社によって開発された通信インターフェイスのこと。

用語	説明
NetBEUI	NetBIOS Extended User Interface の略。IBM 社が開発したネットワークプロトコル。コンピュータ名を設定するだけで、小規模なネットワークを構築できる。
NetWare	ノベル社が開発したネットワーク OS。 通信プロトコルに NetWare IPX/SPX を使用している。
Nprinter/Rprinter	Netware 環境下でプリントサーバを使用する場合の、リモートプリンタサポートモジュールのこと。 Netware 3.x で Rprinter、Netware 4.x で Nprinter を使用する。
OHP/OHT	OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。
OS（オーエス）	Operating System の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。Windows/MacOS/Unix もその中の 1 つ。
PDF	Portable Document Format の略。電子形式書類の 1 つ（拡張子は .pdf）。PostScript をベースとしたフォーマットで、Adobe Acrobat Reader という無料ソフトを使用して閲覧できる。
PDL	Page Description Language の略。ページプリンタで印刷するとき、プリンタにページ単位で印刷イメージを指示する言語。
PostScript	米 Adobe 社によって開発された、とくに高品質が要求される印刷処理で一般的に利用される代表的なページ記述言語のこと。
PPD	PostScript Printer Description の略。解像度や利用可能紙サイズ等、PostScript プリンタの機種固有の情報を記述したファイルのこと。
Proxy Server	Internet との接続において、各クライアントの代わりに外部との接続窓口となり、組織全体で効率的にセキュリティを確保するために設置されるサーバのこと。
Pserver	Netware 環境下におけるプリントサーバモジュールのこと。 プリントジョブの監視、変更、休止、再開、および中止を行う。
Queue Name	ネットワーク印刷を行うときに、印刷を許可させる為に機器毎に設定する名称。
RIP	Raster Image Processor の略。PostScript 等のページ記述言語を用いて記述されたテキストデータを、画像イメージに展開する処理のこと。通常はプリンタに内蔵されている。
RGB	Red（赤）、Green（緑）、Blue（青）の略。 モニタ等の色表現で用いられる原色で、RGB 3 色の輝度比率を変化させて全ての色を表現する。
SLP	Service Location Protocol の略。TCP/IP ネットワーク上のサービスの検索や、クライアントの自動設定などを可能にするプロトコルのこと。
SMB	Server Message Block の略。主に Windows 間でネットワークを通じてファイル共有やプリンタ共有を実現するプロトコルのこと。
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol の略。　電子メールを送信／転送するためのプロトコルのこと。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略。TCP/IP を使ったネットワーク環境での管理プロトコルのこと。

用語	説明
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットにて使用されている事実上標準的なプロトコルのこと。 個々のネットワーク機器を識別するために、IP アドレスを使用する。
TrueType	アウトラインフォントの一種。Apple 社と Microsoft 社によって開発され、Macintosh や Windows には標準で採用されている。 ディスプレイ表示と印刷の両方に使用できる。
USB	Universal Serial Bus の略。 コンピュータとマウスやプリンタ等を接続するための汎用インターフェース規格のこと。
アウトラインフォント	文字の形を、直線や曲線による輪郭線で表したフォントのこと。 文字サイズが大きくなっても、ギザギザの無い画面表示と印刷ができる。
アンインストール	インストールされているソフトウェアを削除すること。
イーサネット（Ethernet）	LAN の伝送路に関する規格のこと。
印刷ジョブ	PC から印刷機器に送信される印刷要求のこと。
インストール	ハードウェア、OS、アプリケーション、プリンタドライバ等を、コンピュータのシステムに組み込むこと。
ウェブブラウザ	Web ページを閲覧するためのソフトウェアのこと。 Internet Explorer や、Netscape Navigator などがある。
解像度	画像や印刷物の細部を、どれだけ正確に再現できるかを表したもの。
輝度	ディスプレイ等の画面の明るさのこと。
キュー名	LPD/LPR 印刷の際に必要な論理プリンタ名のこと。
共有プリンタ	ネットワーク上のサーバに接続され、複数のコンピュータから使用可能なように設定されたプリンタのこと。
クライアント	ネットワークを介して、サーバが提供するサービスを利用する側のコンピュータのこと。
グレースケール	黒から白への階調情報を使用して表現したモノクロ画像の表現形式のこと。
ゲートウェイ	ネットワークとネットワークを接続するポイントとなるハードウェアやソフトウェアのこと。単に接続するだけでなく、接続先のネットワークに合わせて、データのフォーマット、アドレス、プロトコルなどを変換する。
サブネットマスク	TCP/IP ネットワークをいくつかの小さなネットワーク（サブネット）に区切るために用いる値。 IP アドレスの上位何ビットがネットワークアドレスであるかを識別するために使用する。
スクリーンフォント	CRT などのモニタ上で、文字／記号を表示するためのフォント。
スプール（Spool）	Simultaneous Peripheral Operation On-Line の略。 プリンタ出力で、データを直接プリンタに送らず、一時的に別の場所に貯めておき、後でまとめてプリンタに送信すること。

用語	説明
ドライバ	コンピュータと周辺機器の橋渡しをするソフトウェアのこと。
ハードディスク	データを保存するための大容量記憶装置。 電源を OFF しても、データが保持される。
パラレルインターフェイス	複数の信号を同時に送受信するデータ転送方式のこと。 プリンタ接続用の IEEE1284 をさす場合が多い。
プラグアンドプレイ	周辺機器を PC に接続した時に、適切なドライバが自動検索されて使用可能になる仕組みのこと。
プリンタドライバ	コンピュータとプリンタの橋渡しをするソフトウェアのこと。
プリンタバッファ	印刷ジョブのデータ処理のために、一時的に利用されるメモリ領域。
プリントキュー	スプーラにおいて、発生したプリントジョブを記憶しておくソフトウェアシステム。
フレームタイプ	Netware 環境において使用される通信形式の種類のこと。 同じフレームタイプ同士でなければ、通信する事が出来ない。
プレビュー	印刷／スキャン処理前に、あらかじめ処理後のイメージを表示する機能のこと。
プロトコル	コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と互いに通信するための規約のこと。
プロパティ	属性情報のこと。 プリンタドライバを使用する際は、プロパティから様々な機能の設定を行う事ができる。 またファイルのプロパティでは、そのファイルの属性情報を確認する事ができる。
プロファイル	カラー属性ファイル。 カラー入出力機器が色再現を行なうために使用する、各原色の入出力の相関関係がまとめられた専用ファイルのこと。
ホスト名	ネットワーク上の機器を表す名前のこと。
メモリ	データを一時保存するための記憶装置のこと。 電源を OFF した時にデータが消去されるものと、消去されないものがある。
ローカルプリンタ	コンピュータのパラレル／ USB ポートに接続されたプリンタのこと。

12.6 索引

す

せ

そ

た

ち

て

と

な

に

ね

は

ふ

れ

わ

お問い合わせは

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 **http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-510010（受付時間：土、日、祝日を除く9:00〜12:00 / 13:00〜17:00）

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

2007.1
750_600_prt_ug_jpn_v30